

Data Projector

簡易説明書 _____ **JP**Quick Reference Manual ____ **GB**Guide de référence rapide _ **FR**Manual de referencia rápida _ **ES**Kurzreferenz _____ **DE**Guida rapida all'uso _____ **IT**Краткое справочное руководство _ **RU**

VPL-FHZ120L/FHZ90L

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と付属の CD-ROM に入っている取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

よくあるお問い合わせはホームページをご利用ください。

<http://www.sony.jp/professional/support/>

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南 1-7-1

Printed in China

EAC

4741335020

このマニュアルについて

本書は、本機で映像を映すまでの簡単な説明と、本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。
「インジケータの見かた」、「エアーフィルターを掃除する」は必要に応じてご覧ください。
操作方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。

Step 1

準備する 16 ページ

Step 2

接続する 18 ページ

Step 3

投写する 20 ページ

インジケータの見かた 22 ページ

エアーフィルターを掃除する 24 ページ

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検（有料）を、ソニーの修理窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

すぐに、ソニーの修理窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ ソニーの修理窓口につながる。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口に交換をご相談ください。



注意

付属の電源コードを使用する

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



禁止

容量の低い電源延長コードを使用しない

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。



アース線を
接続せよ

安全アースを接続する

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。



指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



プラグをコン
セントから抜く

お手入れの際は電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコン
セントから抜く

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

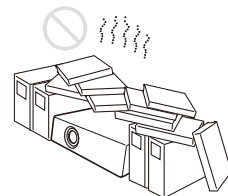


禁止

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。充分に通気ができるように以下の項目をお守りください。

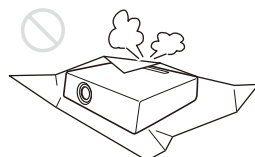
- ・ 周辺の壁や物から離して設置してください（13 ページ）。



- ・ 吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしない。



- ・ 出荷時に包装されているシート、柔らかい布地、書類、毛足の長いじゅうたん、小さい紙などの上に設置しない。吸い上げられて、吸気口がふさがれます。



禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。



禁止

レンズ交換は天吊り状態で行わない

天吊り状態でレンズ交換を行なうとレンズの落下によりけがや事故の原因となります



禁止

レンズ交換の際は、電源を切って電源プラグを抜く

レンズ交換時にあやまって強い光が目に入ると目を傷める恐れがあります。レンズ交換は、電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。



指示

指定された部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。電池、フィルターは指定されたものを使用してください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はソニーの修理窓口にご相談ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーの修理窓口にご連絡ください。



禁止

レンズをのぞかない

投写中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。



注意

電源コードのアース端子から外した絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管する

万一誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますのでただちに医師にご相談ください。



禁止

プロジェクターにぶら下らない

落下してけがの原因となります。



禁止

熱器具の近くや直射日光が当たる場所で使用しない

火災や感電の原因となることがあります。



禁止

製品の上に物を載せない

製品の上に物を載せると、故障や事故の原因となります。特に、水が入った物をおくと内部に水が入り、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

盗難防止用バーを盗難防止の目的以外に使用しない

運搬、設置目的で使用すると、落下する危険があり事故の原因となります。

注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり**周辺の商品に損害**を
与えることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上、あるいは傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



水ぬれ禁止

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。



注意

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。



禁止

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

火災の原因となることがあります。



禁止

本機を立てておかない

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。



注意

電源コード、接続ケーブルに足を引っ掛けない

電源コードや接続ケーブルに足を引っ掛けると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。



手を挟まれないよう注意

設置の際、本機と設置部分での指挟みこみに注意する

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



接触禁止

落雷の恐れがあるときは、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



注意

運搬・移動は慎重に行う

- ・床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。
- ・キャビネットのカバーを開けたまま、電源を切らずに移動させないでください。感電の原因となることがあります。



注意

運搬するときは必ず左右側面を2人で持つ

運搬するときは、必ず左右側面のくぼみを2人で持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落してけがをすることがあります。

床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようご注意ください。



注意

本機を運搬するときは落下に注意する

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、ケガの原因となります。



注意

天吊り状態でエアフィルターを取り外す際は、周りに人がいない事を確認してから取り外す

天吊りのままエアフィルターを取り外す際は落下に注意しないと思わぬ事故の原因となります。



注意

定期的にフィルターに汚れが無いことを確認する

万が一汚れているときにはクリーニングする、または交換してください。放置すると火災の原因になることがあります。



高温

排気口付近に手や物を近づけない

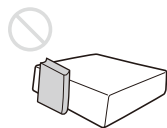
排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置くとやけどや変形の原因になります。



禁止

投写中にレンズのすぐ前で光を遮らない

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。
投写を一時的に中断するときには、ピクチャーミュート機能をお使いください。



注意

レンズの取り外し以外ではレンズレバーを操作しない

レンズが緩み落下によるけがや事故の原因となります。



注意

光源まわりの点検について

本機はレーザーを使用しているため、光源まわりの点検等の整備を行う場合は、特別な注意と環境が必要です。必ずソニーの修理窓口にご相談ください。



指示

キャビネットのカバー類はしっかり固定する

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。



注意

レンズシフト調整時に指を挟まない

レンズと本体の間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。



手を挟まれないよう注意

脚部調整時に指を挟まない

脚部の調整は慎重に行ってください。脚部に指を挟み、けがの原因となることがあります。

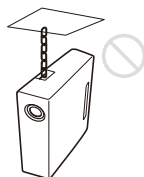


注意

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使

用しない

盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊下げなどの設置に使用したりすると、落下してけがや故障の原因となることがあります。



禁止

障害距離内に立ち入らない

レンズからの光が眩しいため、目を痛める恐れがあります。



注意

製品本体へ確実にレンズを取り付ける

確実に取り付けないとレンズが外れてけがや事故の原因となります。

⚠ 警告



禁止

天井への取り付けには細心の注意を払う

- ・天井への取り付け強度が不十分だと、落下により死亡や大けがにつながる場合があります。必ずソニー製または推奨の取付金具を使用してください。
- ・取り付けを安全に行うために、本書および取付金具説明書の注意事項をお読みください。
- ・取り付けは、取付金具説明書の手順に従い確実に行ってください。
取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。
また、取り付け時には手をすべらせてプロジェクターを落下させ、けがをすることのないようご注意ください。



禁止

調整用工具を内部に入れない

調整中などに、工具を誤って内部に落とすと火災や感電の原因となることがあります。
万一、落とした場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてください。

⚠ 注意



指示

低い天井に天吊りしない

頭などをぶつけてけがをすることがあります。



指示

天吊りを行う際は必ず天井の強度を確認する

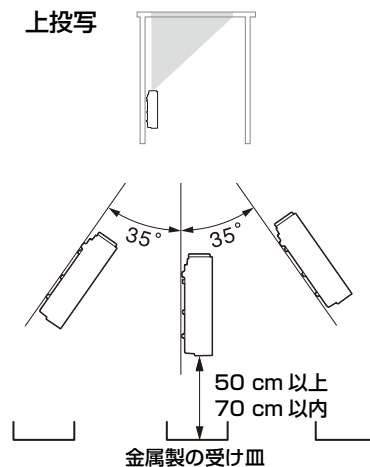
天井の強度を確認しないまま設置すると落下による事故の原因となります。

注意

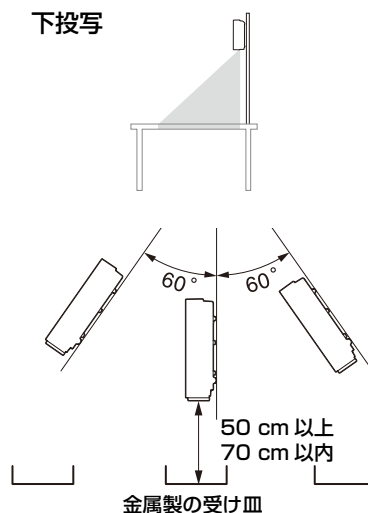
本機の開口部を下側に向け、図のような角度で設置する場合は、開口部の真下の下図の距離に、70 cm×40 cm以上の金属製の受け皿を設置してください。

また、上から開口部に異物や水滴が入らないように注意してください。

上投写



下投写



天吊りする場合の安全上のご注意

⚠ 警告



禁止

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

天井への取り付けは必ずお買い上げ店もしくは専門の設置業者へご相談ください。

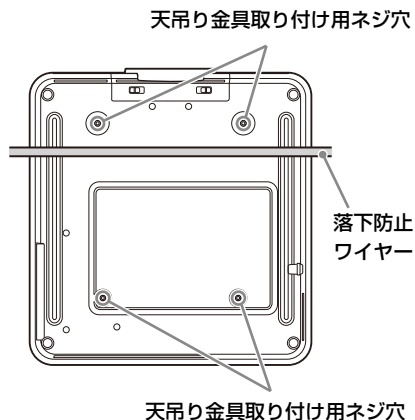


指示

落下防止をする

天吊りする場合、必ずワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。その施工は、必ずお買い上げ店もしくは専門の設置業者へご相談ください。

下から見た図



落下防止ワイヤーは、前後の天吊り金具取り付け用ネジ穴の間に通してください。
(本機には落下防止ワイヤーは付属していません。)

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

⚠ 警告

- ・ 機器の表示に合わせて ⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- ・ 充電しない。
- ・ 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。

- ・ コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- ・ 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- ・ 液漏れした電池を使用しない。
- ・ 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

⚠ 注意

- ・ 外装チューブをはがしたり、傷つけない。
- ・ 指定された種類の電池以外は使用しない。
- ・ 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

その他の安全上のご注意

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

注意

- ・ 指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
- ・ 使用済みの電池、または製品本体は、国または地域の法令に従って処理してください。電池、または製品本体を廃棄する場合は、焼却したり火の中に捨てたりしないでください。また、機械的に粉碎したり、切断したりしないでください。破裂したり火災が発生することがあります。電池を極度の低気圧にさらさないでください。爆発や可燃性の液体ガスの漏れが発生する可能性があります。
- ・ 直射日光の下や火気の近くなど、高温のところに電池を置かないでください。発火・破裂・火災の原因となります。電池を水や海水に浸けたり、濡らしたりしないでください。感電の原因となります。

ご注意

LAN 端子の接続について

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。

本機に付属、または推奨の電源コードセットをご使用ください。本機に電源コードセットが付属されている場合、その電源コードセットは、他の機器には使用しないでください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

レーザーおよび光強度についての安全上のご注意

明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。

RG2 IEC 62471-5:2015

警告！

- ・ 目へのビームの直接被ばくを禁止する。
- ・ 操作者は障害距離内でのビームへの被ばくを管理するか、または、障害距離内にいる映像を見る者の目の被ばくを防ぐような高さに製品を設置しなければならない。



JIS C6802:2014
クラス 1 レーザー製品

警告

レンズをのぞかない。投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと、強い光が目にも悪影響を与えることがあります。

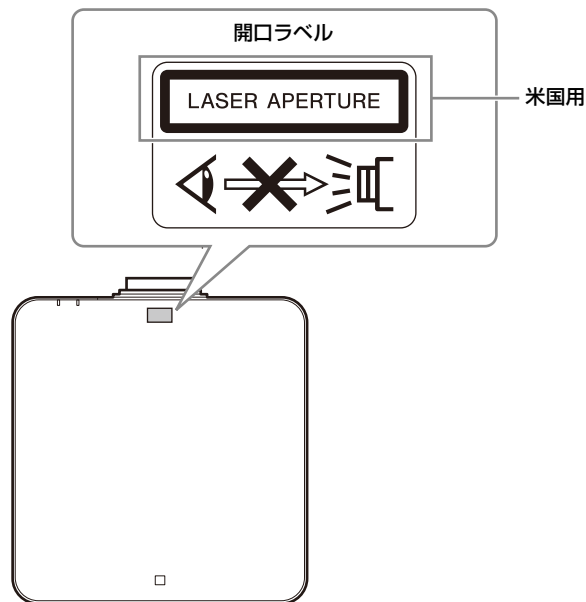
注意

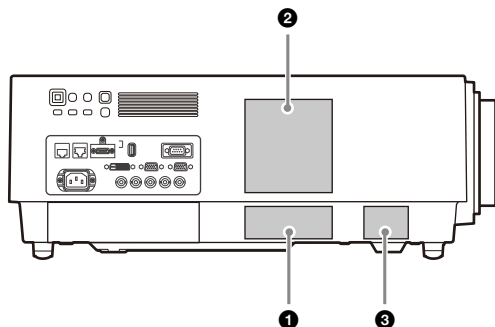
ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

注意

本製品に対し光学機器を使用すると、目に対する危険が高まります。

ラベルの位置情報





① リスクグループ説明ラベル

注意 ビームをのぞき込まないこと RG2 このプロジェクタは、投射比が3.4より大きい交換レンズを装着すると、RG3になることがある。運転前に取扱説明書のレンズ一覧と障害距離を参照すること。RG3になるプロジェクタとレンズの組み合わせは、業務用であって、民生用ではない。	Caution Do not stare into the beam RG2 This projector may become RG3 when an interchangeable lens with throw ratio greater than 3.4 is installed. Refer to the manual for the lens list and hazard distance before operation. Such combinations of projector and lens are intended for professional use only, and are not intended for consumer use.
---	--

② リスクグループ説明ラベル

Attention Ne pas regarder fixement dans le faisceau RG2 Ce projecteur peut passer au Groupe de risque RG3 lorsqu'un objectif interchangeable dont le rapport de projection est supérieur à 3,4 est installé. Consultez le manuel pour voir la liste des objectifs et la distance de risque avant de faire fonctionner le projecteur. De telles combinaisons du projecteur et de l'objectif sont destinées à une utilisation exclusivement professionnelle, pas à une utilisation par les consommateurs.	Vorsicht Schauen Sie nicht länger in den Strahl RG2 Dieser Projektor ist unter Umständen als RG3 einzustufen, wenn ein Wechselobjektiv mit einem größeren Projektionsverhältnis als 3,4 installiert wird. Schlagen Sie vor dem Betrieb im Handbuch die Objektvliste und den Gefahrenabstand nach. Solche Kombinationen von Projektor und Objektiv sind ausschließlich auf den professionellen Betrieb ausgelegt und nicht für private Zwecke gedacht.
Precaución No mire directamente al haz RG2 Este proyector puede pasar a ser de tipo RG3 si se instala un objetivo intercambiable con una relación de proyección superior a 3,4. Consulte el manual para ver una lista de objetivos y la distancia de riesgo antes de la utilización. Estas combinaciones de proyector y objetivo están pensadas únicamente para usos profesionales y no para su utilización por parte de los consumidores.	Осторожно Не смотрите в луч RG2 Этот проектор может стать RG3, когда установлен сменный объектив с коэффициентом проекционного отношения, превышающим 3,4. Перед началом работы ознакомьтесь с руководством по применению для получения информации о перечне перечне объективов и опасном расстоянии. Такие комбинации проектора и объектива предназначены только для профессионального использования и не предназначены для использования потребителями в личных целях.
Attenzione Non fissare il raggio RG2 Il presente proiettore può diventare RG3 se si installa un obiettivo intercambiabile con rapporto di proiezione maggiore di 3,4. Per l'elenco degli obiettivi e la distanza di pericolo, consultare il manuale prima dell'utilizzo. Tali combinazioni di proiettore e obiettivo sono previste solo per uso professionale e non per l'uso personale.	Försiktighet! Titta inte rakt in i strålen RG2 Denna projektor kan bli RG3 när ett utbytbar objektv med ett projiceringsförhållande som är större än 3,4 monteras. Se handboken för en lista över objektv och riskavstånd före användning. Sådana kombinationer av projektorer och objektv är endast avsedda för professionell användning och inte för användning av konsument.

③ クラス1 / クラス3R ラベル



レーザー特性

4.7 W レーザーダイオード

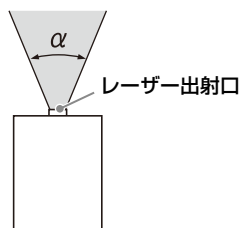
64 個 (VPL-FHZ120L)

48 個 (VPL-FHZ90L)

レーザーダイオードの波長

450 ~ 460 nm

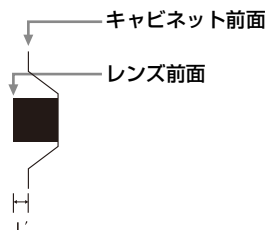
本機におけるレンズからのビームの広がり角



レンズ	ズーム最大時 α	ズーム最小時 α
VPLL-4008	61°	—
VPLL-Z4015	49°	33°
VPLL-Z4111	35°	27°
VPLL-Z4019	28°	22°
VPLL-Z4025	22°	12°
VPLL-Z4045	12°	7°

レンズ前面（中心）からキャビネット前面までの距離 L

レンズ	L'
VPLL-4008	98 mm
VPLL-Z4015	88 mm
VPLL-Z4111	123 mm
VPLL-Z4019	67 mm
VPLL-Z4025	96 mm
VPLL-Z4045	93 mm



光障害を避けるための注意事項

本製品は、IEC 62471-5：2015 によりリスクグループ 2（RG2）ですが、高スローレシオ（TR）レンズを使用時にはリスクグループ 3（RG3）になります。



警告
リスクグループ 3（RG3）となるレンズは天吊り設置でご使用ください。他の設置方法は禁止しています。
対象のレンズをご使用する場合は、お買上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

RG2 製品は、近距離から光を直接凝視しなければ、安全に使用できます。

注意
明るい光源と同じように、ビームを覗きこまないこと
リスクグループ 2（RG2）IEC 62471-5:2015

RG3 製品は、近距離（障害距離内）から光を直接覗きこむと、瞬間的であっても光障害をもたらすことがあります。

警告！
目へのビームの直接被ばくを禁止します
リスクグループ 3（RG3）IEC 62471-5:2015

本製品の各交換レンズの障害距離を下表に示します。

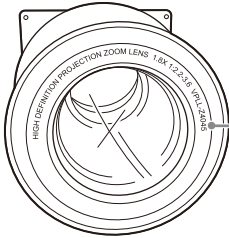
○：許可 —：禁止

レンズ型名	スローレシオ*1	障害距離 単位：m	卓上 設置	天吊り 設置	型名記 載有無
VPLL-4008	1.0	対象外 (RG2)	○	○	○
VPLL-Z4111	1.3 - 2.0	対象外 (RG2)	○	○	—
VPLL-Z4015	1.9 - 2.4	対象外 (RG2)	○	○	○
VPLL-Z4019	2.4 - 3.1	対象外 (RG2)	○	○	○

レンズ型名	スローレシオ*1	障害距離 単位：m	卓上 設置	天吊り 設置	型名記 載有無
VPLL-Z4025	3.0 - 3.4	対象外 (RG2)	—	○*2	○
	3.4 - 4.1	1.1 (RG3)			
	4.1 - 4.8	1.2 (RG3)			
	4.8 - 5.5	1.3 (RG3)			
	5.5 - 5.6	1.4 (RG3)			
VPLL-Z4045	5.6 - 6.5	2.1 (RG3)	—	○*2	○
	6.5 - 8.6	2.2 (RG3)			
	8.6 - 9.6	2.3 (RG3)			

*1：画面サイズ（横）を投写距離で割った値
スローレシオはプロジェクターと使用されるレンズの組み合わせにより決定します。
これらは VPL-FHZ120L または VPL-FHZ90L をご使用時の場合の値になります。
*2：これらの組み合わせは家庭で使用することを意図しない業務用製品です。

設置については、お買上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



レンズ型名は、レンズ前方に記載されています。

投写範囲のうち、レンズから障害距離内は「障害範囲」です（右図）。この範囲内は、光強度が角膜の最大許容露光量（M.P.E.）を超えるため、操作者 / 観客などが光線を直接見ることは危険です。

設置時に守るべきこと（RG3 のレンズ使用時）
RG3 製品を設置するときは、以下の設置例を参照しいずれかの方法で行ってください。
・観客の目が障害範囲に入らないよう充分高い位置（2.5 m 以上）に設置する。
・観客の立ち入りを制限する物理的な障壁（または床にサイン）などを設ける。

操作時に守るべきこと

RG3 製品を十分な高さに設置せずに使用する場合は、障害範囲に観客が立ち入らないよう制限してください。
やむを得ず障害範囲に人が立ち入る場合は、電源を切る、または BLANK ボタンを押し、一時的に映像を消す、などの操作を行ってください。

RG2 製品使用時も、観客が不用意に近距離から光を覗きこまないよう注意してください。

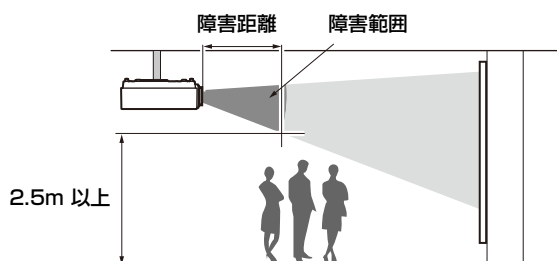
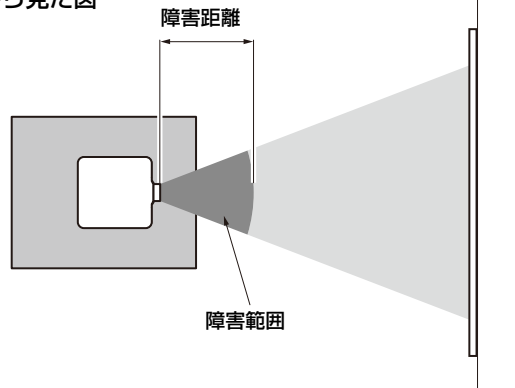
保守時に守るべきこと (RG3 のレンズ使用時)

保守は、RG3 製品取り扱いの訓練を受けたサービス担当者限定してください。

RG3 製品の障害距離・障害範囲

RG3 製品の天井設置

上から見た図



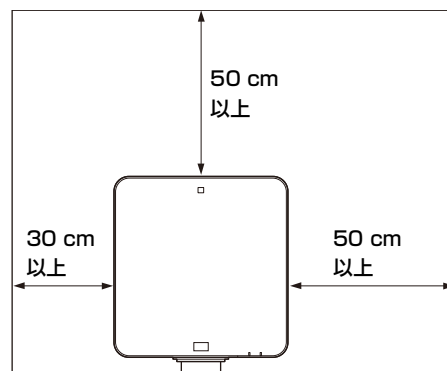
RG3 レンズを使用した場合、本製品は家庭で使用することを意図しない業務用製品です。設置については、お買上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

使用上のご注意

設置について

- ・ 図のように、周辺の壁や物から離して設置してください。

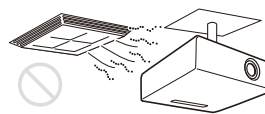
上から見た図



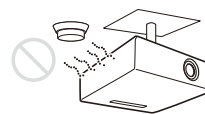
- ・ 温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。



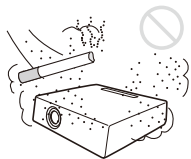
- ・ 空調の冷暖気が直接当たる場所での使用は避けてください。結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。



- ・ 熱感知器や煙感知器のそばでの使用は避けてください。感知器が誤動作する原因となることがあります。



- ・ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。このような場所で使用するとエアフィルターがつままりやすくなったり、故障の原因となることがあります。



- ・海拔 1500m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの高地モードを「入」にしてください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
- ・設置する角度に応じて設置設定メニューの設置角度を正しく設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

レンズ、外装のお手入れ

- ・必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- ・布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ・殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・レンズを素手で触らないでください。
- ・レンズ面のお手入れのしかた：
メガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水を少し含ませて拭きとってください。アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入洗浄剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- ・外装のお手入れのしかた：
柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。アルコールやベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

部屋の照明について

美しく見やすい画像にするために、直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。

本機の発熱について

使用中、使用直後にキャビネットの温度が上がる場合がありますが、故障ではありません。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少の音が生じます。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

自動クリーニング機能の音について

自動でほこりを叩き落とすクリーニング機能が作動した際には、多少の音が生じます。これはプロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。

レンズの交換について

別売りアクセサリとして指定されているレンズ以外は取り付けないでください。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の色組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

結露について

プロジェクターを設置している室内の急激な温度変化および、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだときなどは結露を引き起こすことがあります。

結露は故障の原因となりますので、冷暖房の温度調節にはご注意ください。

結露が起きたときは、プロジェクターの電源を入れたまま約2時間放置した後でお使いください。

セキュリティに関するご注意

- ・通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- ・使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- ・セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。(取扱説明書の「ネットワーク機能を利用する」参照)
また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- ・設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

- ・お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- ・本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

付属品を確認する

リモコン (RM-PJ30) (1)
 単 3 型乾電池 (2)
 電源コード (1)
 プラグホルダー (1)
 端子カバー (1)
 簡易説明書 (本書) (1)
 取扱説明書 (CD-ROM) (1)
 保証書 (1)

CD-ROM マニュアルの使いかた

Adobe Reader がインストールされたコンピューターで、取扱説明書を閲覧できます。

Adobe Reader は、Adobe のウェブサイトから無償でダウンロードできます。

1 CD-ROM 内の「index.html」ファイルを開く。

2 読みたい言語の取扱説明書を選択する。

◆CD-ROM が破損または紛失した場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口経由で購入できます。

リモコンに電池を入れる

電池の使用に関するご注意

リモコンには、以下のバッテリーが必要です。

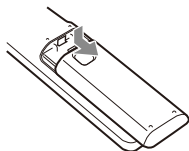
- ・ 単 3 型乾電池
- ・ 2 個

破裂の原因となりますので、以下のバッテリー以外は、使わないでください。

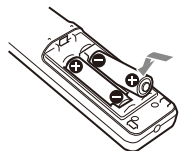
- ・ マンガン乾電池またはアルカリ乾電池

1 ふたを外し、⊕ と ⊖ の方向を確認して単 3 型乾電池 2 個 (付属) を入れる。

上から押して
スライドさせる。



必ず ⊖ 極側から電池
を入れてください。



2 ふたを閉める。

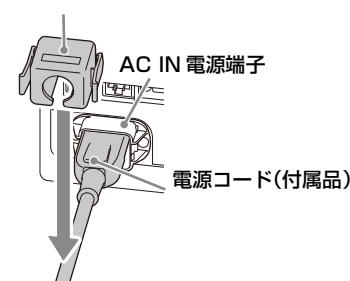
⚠ 警告

電池については、「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

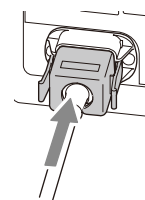
電源コードを接続する

1 電源コードを AC IN 電源端子に差し込み、プラグホルダーを電源コードに取り付ける。

プラグホルダー(付属品)



2 プラグホルダーをスライドさせて、本体に固定する。



投写レンズを取り付ける

ご注意

- ・ 天吊状態では行わないでください。
- ・ 取り付け可能な投写レンズについては「別売アクセサリ」をご覧ください。
- ・ 別売アクセサリとして指定されているレンズ以外は取り付けしないでください。
- ・ 投写レンズを落とさないように気をつけてください。
- ・ レンズ面には手を触れないでください。

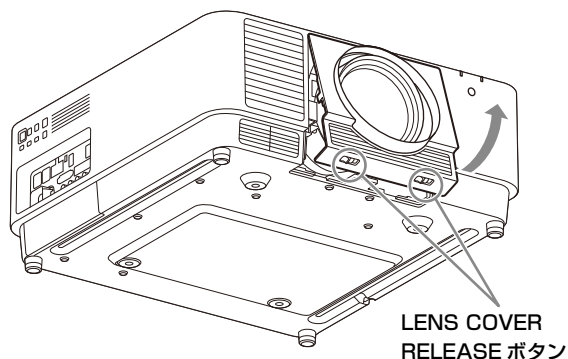
- 1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。



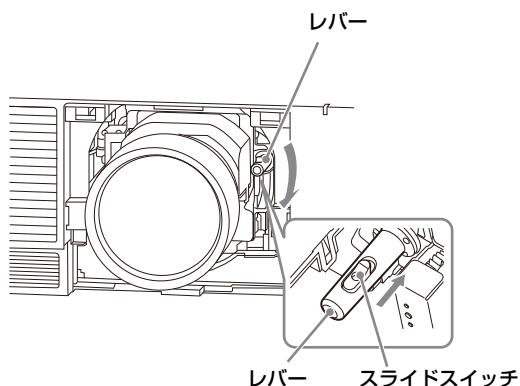
注意
レンズ交換時にあやまって強い光が目に入ると目を傷める恐れがあります。レンズを交換する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

- 2 レンズカバーを取り外す。

LENS COVER RELEASE ボタンを内側に動かしながら、「カチッ」と音がするまでレンズカバーを引き出します。



- 3 接点基板がレンズ正面から見て左側にある状態で、投写レンズを奥まで差し込む。
- 4 スライドスイッチを押し込みながら、「カチッ」と音がするまでレバーを下げる。



- 5 レンズカバーを取り付ける。

レンズカバーの上側をトップカバーに引掛け、「カチッ」と音がするまで押し込みます。その後、LENS COVER RELEASE ボタンを内側に動かしながら、レンズカバーを差し込んでください。

レンズが取り付けられている場合でも、同じ手順でレンズカバーの取り付け／取り外しが可能です。

投写レンズを取り外す

- 1 投写レンズをセンター位置に戻す。

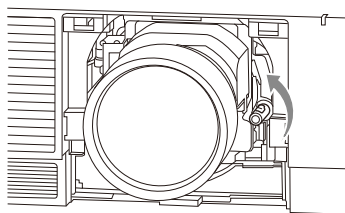
本機の電源を入れている状態で、リモコンの LENS SHIFT ボタンを押し、その後、リモコンの RESET ボタンを押してください。投写レンズがセンター位置に戻ります。

- 2 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。



注意
レンズ交換時にあやまって強い光が目に入ると目を傷める恐れがあります。レンズを交換する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

- 3 レンズカバーを取り外す。
- 4 スライドスイッチを押し込みながらレバーを制限まで上げ、レンズをまっすぐに引き出す。



- 5 レンズカバーを取り付ける。

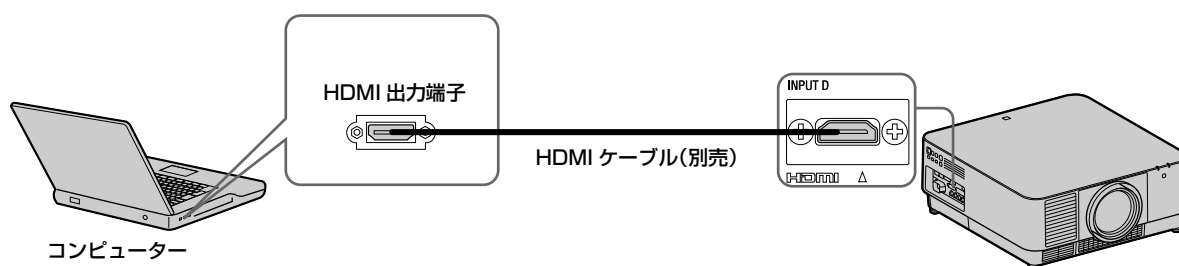
ご注意

- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューターとの接続

入力 D (INPUT D)

HDMI 出力端子付きのコンピューターと接続します。

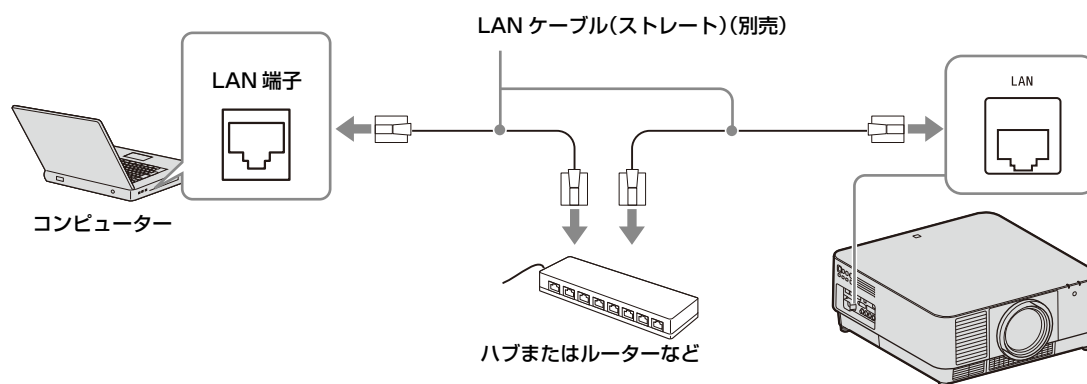


ご注意

- ・ HDMI で接続する機器は、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・ HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください。(ソニー製を推奨します。)
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

ネットワーク機器との接続

LAN 端子の使用



ご注意

LAN 端子でネットワーク機能をご使用の際は、「LAN 設定」が「LAN 端子」になっていることをご確認ください。

HDBaseT™機器との接続

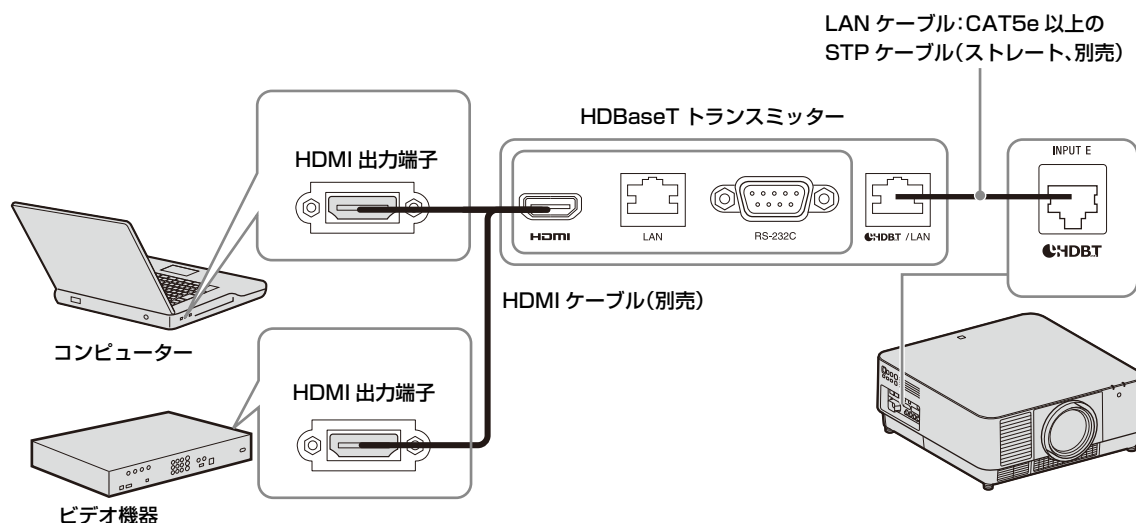
HDBaseT トランスミッターを経由して、コンピューター、ビデオ機器、ネットワーク機器と接続します。

本機と HDBaseT トランスミッターとの接続に関するご注意

- ・ ケーブル配線工事は、工事専門業者、または販売店に依頼してください。工事に不備があると、ケーブル伝送特性が得られず、映像が途切れたり乱れたりする原因となります。
- ・ ケーブルは、ハブやルーターを介さずに直接接続してください。
- ・ 次の条件に適合したケーブルをお使いください。
 - CAT5e 以上の規格に適合
 - シールドタイプ(コネクタを含む)
 - ストレート結線
 - 単線
- ・ ケーブル敷設時には、ケーブルテスターやケーブルアナライザーなどを使用して、ケーブルの特性が CAT5e 以上の特性を満たしていることを確認してください。途中に中継コネクタを介している場合は、それも含めて測定してください。
- ・ ノイズの影響を少なくするため、ケーブルはできるだけ巻かず引き伸ばした状態で、設置・使用してください。
- ・ ケーブルは、他のケーブル、特に電源ケーブルから離して敷設してください。
- ・ 複数のケーブルを敷設するときは、束ねないで並走する距離をできるだけ短くしてください。
- ・ ケーブルの伝送可能距離は最長 100 m です。これを上回ると映像が途切れたり、LAN 通信で誤動作したりすることがあります。最長伝送距離以上でのご使用はご遠慮ください。
- ・ 他社製機器に起因する操作や性能上の不具合などについては、各メーカーにお問い合わせください。

コンピューター、ビデオ機器との接続

入力 E (INPUT E)

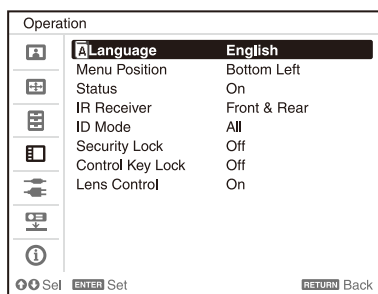


◆その他の接続方法は、取扱説明書 (CD-ROM) の「接続する」をご覧ください。

メニューの表示言語を切り替える

お買い上げ時は、メニュー画面やメッセージの表示言語が英語に設定されています。以下の手順で変更してください。

- 1 電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 本機の電源を入れる。
本体の I/O ボタンまたはリモコンの I ボタンを押します。
- 3 MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示する。
見えにくい場合は、画面のフォーカス、サイズ、位置を調整してください（20 ページ）。
- 4 表示言語を切り替える。
 - ① ▲ または ▼ を押して、Operation ( 操作設定) を選び、ENTER ボタンを押す。
 - ② ▲ または ▼ を押して、「Language」( 表示言語) を選び、ENTER ボタンを押す。



- ③ ▲/▼/◀/▶ を押して、表示言語を選び、ENTER ボタンを押す。

- 5 MENU ボタンを押し、メニュー画面を消す。

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、装着するレンズとスクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、取扱説明書の「投写距離とレンズシフト量」をご覧ください。

- 1 電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 再生する機器と接続する（18 ページ）。
- 3 本機の電源を入れる。

本体の I/O ボタンまたはリモコンの I ボタンを押します。

- 4 再生する機器の電源を入れる。

- 5 投写する映像を選ぶ。

本機またはリモコンの INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切替パレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押すか、▲/▼ ボタンを押し、投写する映像を選びます。信号入力時は右側に  が表示されます。^{*1}

または、リモコンの入力を選択して切り替えることができます。

^{*1}：入力 F は対応するオプションアダプターを装着時に、常に  が表示されます。（VPL-FHZ120L のみ）

- 6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

出力先の切り替えは、コンピューターによって異なります。

（例）



- 7 投写画面を調整する（20 ページ）。

電源を切る

- 1 本体の I/O ボタンまたはリモコンの I/O ボタンを押す。
シャットダウンが開始され、スタンバイ状態になります。
- 2 電源コードを抜く。

投写画面を調整する

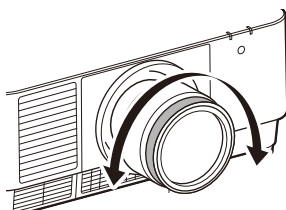
画面のフォーカスを調整する（フォーカス）



電動フォーカスレンズを装着しているとき

リモコンまたは操作部の FOCUS ボタンを押し、▲/▼/◀/▶ ボタンで調整します。

手動フォーカスレンズを装着しているとき
フォーカスリングを回して調整します。



画面のサイズを調整する（ズーム）

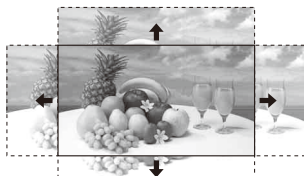


電動ズームレンズを装着しているとき

リモコンまたは操作部の ZOOM ボタンを押し、▲/▼/◀/▶ ボタンで調整します。

画面の位置を調整する（レンズシフト）

リモコンまたは操作部の LENS SHIFT/SHIFT ボタンを押し、▲/▼/◀/▶ ボタンで調整します。

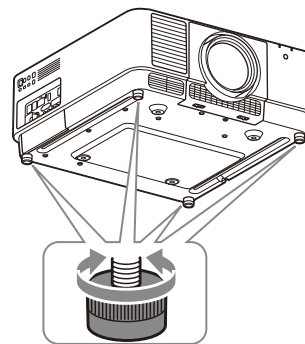


レンズをセンター位置に戻すには

画面の位置を調整中にリモコンの RESET ボタンを押します。

前後の調整脚部で調整する

台が水平でない場合は、前後の調整脚部で調整できます。



ご注意

- ・ 調整脚部で調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・ 調整脚部を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

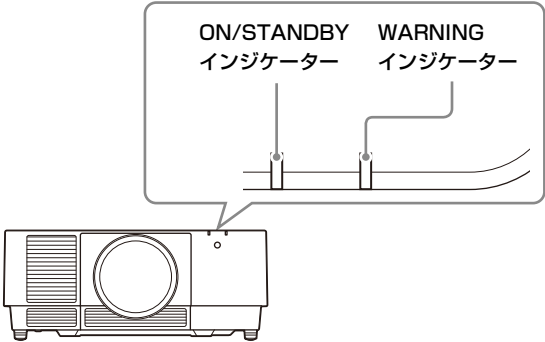
調整用パターンを表示する

リモコンの PATTERN ボタンを押すと、投写画面上に調整用パターンを表示することができます。▲/▼ でパターンの柄を、◀/▶ でパターンの色を変更できます。もう一度 PATTERN ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

◆さらに画面の調整が必要な場合は、取扱説明書（CD-ROM）の「映像の投写と画面の調整」をご覧ください。

インジケータの見かた

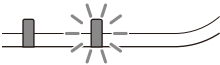
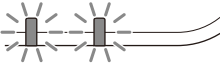
本機では、本体前面の ON/STANDBY インジケータと WARNING インジケータの点灯・点滅により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。インジケータが赤色に点滅している場合は、「警告表示と対処方法」（23 ページ）に従って対処してください。



動作状態の表示

インジケータの状態	動作状態	意味
 (赤点灯) (消灯)	スタンバイ状態	本機に通电されており、設定により各種待機となっている状態です。
 (緑点滅) (消灯)	起動準備中	本機に電源が入り、操作可能になるまでの状態、またはソフトウェアアップデート中の状態です。
 (緑点灯) (消灯)	電源が入っている状態	映像が投写できる状態です。
 (オレンジ点灯) (消灯)	その他待機状態	無信号時設定（ライトオフ）状態、またはクイックリスタートの待機状態です。

警告表示と対処方法

インジケータの状態	点滅回数	意味／対処のしかた
 (赤点灯) (赤点滅)	2 回	フィルターカバーまたはエアーフィルターが確実に取り付けられていません。 フィルターカバーまたはエアーフィルターの取り付け状態を確認し、確実に取り付けてください。(24 ページ)
	3 回	光源が正常に点灯しません。 電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
	4 回	本体ソフトウェアの更新時のエラーです。 電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認します。USB または LAN 端子に接続されていることを確認したあと、もう一度電源コードをコンセントに差し込み電源を入れて、再度ソフトウェアの更新を行ってください。
	6 回	本機への強い衝撃を検出しました。 本体に明らかな異常が見られない場合、電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
	8 回	レンズが適切に装着されていません。 レンズの取り付け状態を確認し、確実に取り付けてください。(16 ページ)
 (赤点滅) (赤点滅) 同時に点滅	2 回	本機内部の温度が異常です。 以下の対処を行ってください。 ・エアーフィルターが目詰まりしていないか確認し、フィルターを掃除または交換してください。(24 ページ) ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか確認し、十分な間隔を確保してください。 ・本機周囲の温度を確認し、動作保証温度の範囲内でご使用ください。

上記以外のインジケータ点滅時には電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
 それでも解決しない場合はソニーの修理窓口にご相談ください。

◆ご使用中にトラブルが発生したり、メッセージが表示された場合は、取扱説明書 (CD-ROM) の「メッセージ一覧」または「故障かな? と思ったら」をご覧ください。

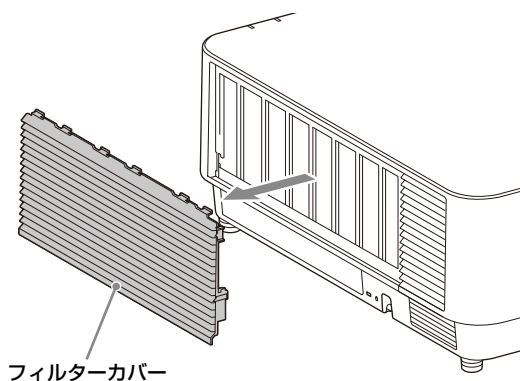
エアフィルターを掃除する

エアフィルター掃除のメッセージが表示された場合は、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアフィルターに交換してください。新しいエアフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

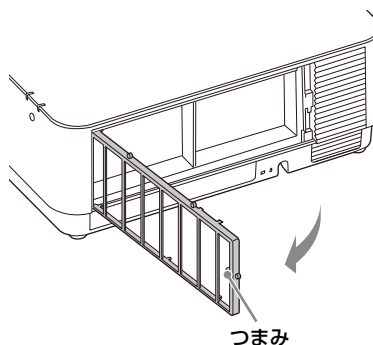
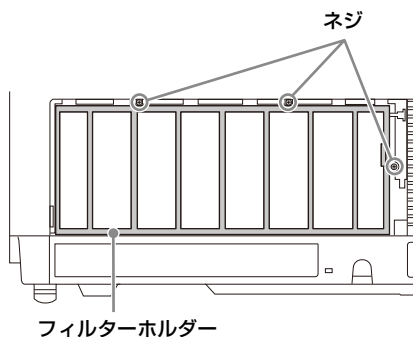
⚠ 注意

メッセージが表示されたあとに、そのままの状態でご使用を続けると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

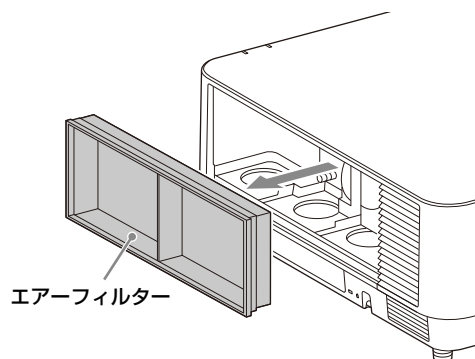
- 1 電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 フィルターカバー上側の左右を押しながら下方にずらし、フィルターカバーを外す。



- 3 ネジ（3本）をゆるめ、フィルターホルダー右のつまみを持ち回転させて引き抜く。



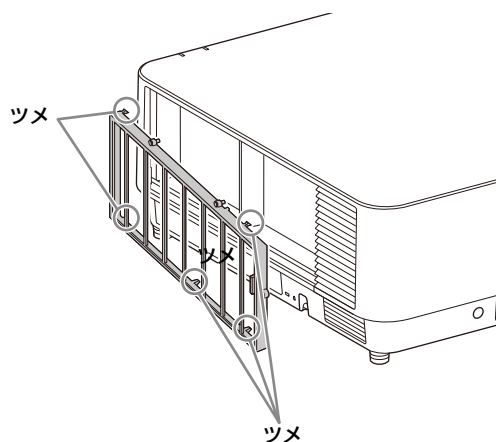
- 4 本体からエアフィルターを取り出す。



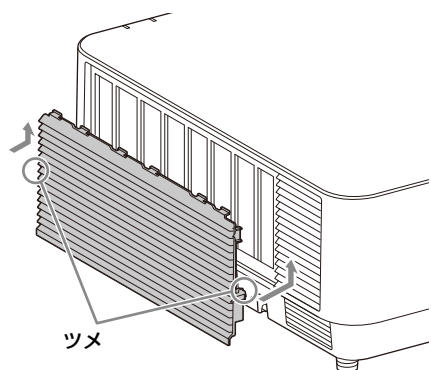
- 5 取り出したエアフィルターを掃除機で掃除する。

6 エアーフィルターを元に戻し、フィルターホルダーを取り付ける。

フィルターホルダーを取り付けるときは、左側 2 か所のツメを差し込んだあと、右側 3 か所のツメを差し込みます。次にネジ 3 本を締めてください。



7 フィルターカバーのツメを差し込み、押し上げる。



ご注意

エアーフィルターが確実に装着されていないと、本機の電源が入りません。

About the Quick Reference Manual

This Quick Reference Manual explains the basic operations for projecting pictures. It also describes important notes and cautions to which you have to pay attention when handling and using this unit. Refer to "Indicators" and "Cleaning the Air Filter" as necessary. For details on the operations, refer to the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Step 1	Preparing Page 18
Step 2	ConnectingPage 20
Step 3	Projecting..... Page 22
	Indicators..... Page 24
	Cleaning the Air Filter..... Page 26

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture. To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

This apparatus must be earthed.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

CAUTION

- Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
- When you dispose of the battery or the product, you must obey the law in the corresponding area or country. Do not dispose of the battery or the product in a fire or a hot oven, or mechanically crush or cut the battery. It may explode or cause a fire. Do not subject the battery to extremely low air pressure that may result in an explosion or the leakage of flammable liquid or gas.
- Do not place the battery in a high temperature place, such as under direct sunlight or near fire. It may ignite, explode, or cause a fire. Do not immerse or wet the battery in water or seawater. This may cause an electric shock.

CAUTION

About the LAN connector

For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port.

WARNING

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.

2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

WARNING

Operation of this equipment in a residential environment could cause radio interference.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of part 15 of FCC Rules.

If you have any questions about this product, you may call;

Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or <http://www.sony.com/>

Supplier's Declaration of Conformity

Trade Name	: SONY
Model	: VPL-FHZ120L/FHZ90L
Responsible party	: Sony Electronics Inc.
Address	: 16535 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number	: 858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

For the customers in Europe

This apparatus shall not be used in the residential area.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

For the customers in the U.S.A.

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://www.sony.com/psa/warranty> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Canada

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://www.sonybiz.ca/pro/lang/en/ca/article/resources-warranty> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Europe

Sony Professional Solutions Europe - Standard Warranty and Exceptions on Standard Warranty. Please visit <http://www.pro.sony.eu/warranty> for important information and complete terms and conditions.

For the customers in Korea

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://bpeng.sony.co.kr/handler/BPAS-Start> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the Customers in Brazil only

Apenas para clientes no Brasil

DESCARTE DE PILHAS E BATERIAS



Após o uso, as pilhas e/ou baterias deverão ser entregues ao estabelecimento comercial ou rede de assistência técnica autorizada.

Pilhas e Baterias não recarregáveis

Atenção:

Verifique as instruções de uso do aparelho certificando-se de que as polaridades (+) e (-) estão no sentido indicado. As pilhas poderão vazar ou explodir se as polaridades forem invertidas, expostas ao fogo, desmontadas ou recarregadas.

Evite misturar com pilhas de outro tipo ou com pilhas usadas, transportá-las ou armazená-las soltas, pois aumenta o risco de vazamento.

Retire as pilhas caso o aparelho não esteja sendo utilizado, para evitar possíveis danos na eventualidade de ocorrer vazamento.

As pilhas devem ser armazenadas em local seco e ventilado.

No caso de vazamento da pilha, evite o contato com a mesma. Lave qualquer parte do corpo afetado com água abundante. Ocorrendo irritação, procure auxílio médico.

Não remova o invólucro da pilha.

Mantenha fora do alcance das crianças. Em caso de ingestão procure auxílio médico imediatamente.

Türkiye'deki müşteriler için AEEE Yönetmeliğine Uygundur



廢電池請回收

第一類雷射產品

警告使用者：
此為甲類資訊技術設備，於居住環境中使用時，可能會造成射頻擾動，在此種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

設備名稱：商用投影機						
單元	限用物質及其化學符號					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 (Cr ⁺⁶)	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷電路板	—	○	○	○	○	○
外殼	—	○	○	○	○	○
光學組件	—	○	○	○	○	○
電源供應單元	—	○	○	○	○	○
輸出入端子	—	○	○	○	○	○
附配件(遙控器/ 電源線)	—	○	○	○	○	○
備考1. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。						
備考2. “—” 係指該項限用物質為排除項目。						

T4-1

Safety Warning for Laser and Light Intensity

For the customers in the U.S.A.

CAUTION

Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure.

This product is classified as a CLASS 3R LASER PRODUCT.

WARNING

LASER RADIATION
AVOID DIRECT EYE EXPOSURE
CLASS 3R LASER PRODUCT

CAUTION

Do not look into the lens while in use.

CAUTION

Do not allow children to operate this product without supervision.

CAUTION

The use of optical instruments with this product will increase eye hazard.

For the customers in other countries



IEC 60825-1:2014
CLASS 1 LASER PRODUCT

WARNING: Do not look into the lens while in use.

Caution

Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure.

Caution

The use of optical instruments with this product will increase eye hazard.

As with any bright light source, do not stare into the beam, RG2 IEC 62471-5:2015.

WARNING

- No direct exposure to the beam shall be permitted
- Operators shall control access to the beam within the hazard distance or install the product

at a height that will prevent eye exposure within the hazard distance

För kunderna i Sverige



IEC 60825-1:2014
LASERPRODUKT AV KLASST 1

VARNING: Titta aldrig in i projektorns lins medan den används.

Försiktighet!

Användandet av kontroller eller justeringar eller utförandet av andra procedurer än de som specificeras här kan resultera i exponering av farlig strålning.

Försiktighet!

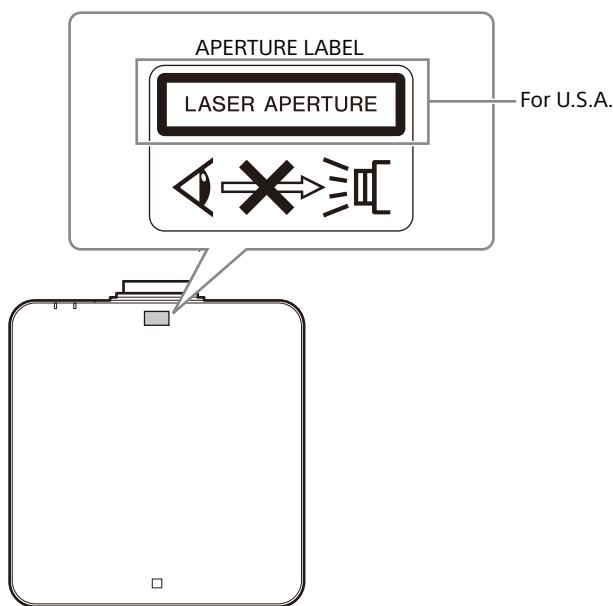
Användandet av optiska instrument med denna produkt ökar risk för ögonskada.

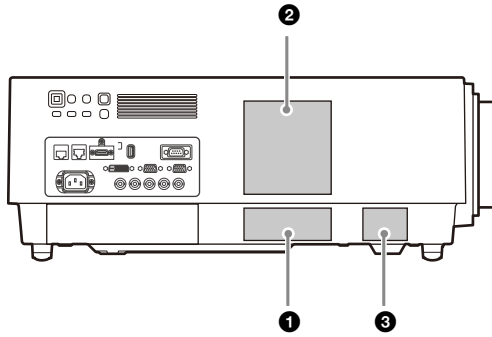
Precis som med alla starka ljuskällor bör man inte titta direkt i strålen, RG2 IEC 62471-5:2015.

VARNING:

- Ingen direkt exponering mot strålen måste tillåtas.
- Operatörerna måste kontrollera åtkomsten till strålen inom riskavstånd eller installera produkten på höjden som förhindrar exponering av åskådarnas ögon inom riskavstånd.

Location information of the labels





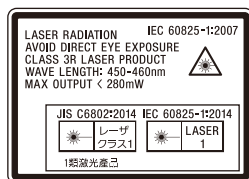
① Explanatory label for risk group (for countries other than U.S.A)

注意 ビームをのぞきまなないこと RG2 このプロジェクタは、投光比が 3.4より大きい交換レンズを装着 すると、RG3になることがある。 運転前に取扱説明書のレンズ一覧 と警告距離を参照すること。 RG3になるプロジェクタとレンズ の組み合わせは、業務用であって、 民生用ではない。	Caution Do not stare into the beam RG2 This projector may become RG3 when an interchangeable lens with throw ratio greater than 3.4 is installed. Refer to the manual for the lens list and hazard distance before operation. Such combinations of projector and lens are intended for professional use only, and are not intended for consumer use.
--	--

② Explanatory label for risk group

Attention Ne pas regarder fixement dans le faisceau RG2 Ce projecteur peut passer au Groupe de risque RG3 lorsqu'un objectif interchangeable dont le rapport de projection est supérieur à 3,4 est installé. Consultez le manuel pour voir la liste des objectifs et la distance de risque avant de faire fonctionner le projecteur. De telles combinaisons du projecteur et de l'objectif sont destinées à une utilisation exclusivement professionnelle, pas à une utilisation par les consommateurs.	Vorsicht Schauen Sie nicht länger in den Strahl RG2 Dieser Projektor ist unter Umständen als RG3 einzustufen, wenn ein Wechselobjektiv mit einem größeren Projektionsverhältnis als 3,4 installiert wird. Schlagen Sie vor dem Betrieb im Handbuch die Objektivliste und den Gefahrenabstand nach. Solche Kombinationen von Projektor und Objektiv sind ausschließlich auf den professionellen Betrieb ausgelegt und nicht für private Zwecke gedacht.
Precaución No mire directamente al haz RG2 Este proyector puede pasar a ser de tipo RG3 si se instala un objetivo intercambiable con una relación de proyección superior a 3,4. Consulte el manual para ver una lista de objetivos y la distancia de riesgo antes de la utilización. Estas combinaciones de proyector y objetivo están pensadas únicamente para usos profesionales y no para su utilización por parte de los consumidores.	Осторожно Не смотрите в луч RG2 Этот проектор может стать RG3, когда установлен сменный объектив с коэффициентом проекционного отношения, превышающим 3,4. Перед началом работы ознакомьтесь с руководством по применению для получения информации о перечне перечне объективов и опасном расстоянии. Такие комбинации проектора и объектива предназначены только для профессионального использования и не предназначены для использования потребителями в личных целях.
Attenzione Non fissare il raggio RG2 Il presente proiettore può diventare RG3 se si installa un obiettivo intercambiabile con rapporto di proiezione maggiore di 3,4. Per l'elenco degli obiettivi e la distanza di pericolo, consultare il manuale prima dell'utilizzo. Tali combinazioni di proiettore e obiettivo sono previste solo per uso professionale e non per l'uso personale.	Försiktighet! Titta inte rakt in i strålen RG2 Denna projektor kan bli RG3 när ett utbytbar objektiv med ett projiceringsförhållande som är större än 3,4 monteras. Se handboken för en lista över objektivet och riskavstånd före användning. Sådana kombinationer av projektorer och objektiv är endast avsedda för professionell användning och inte för användning av konsument.

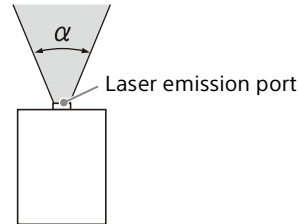
③ CLASS 1/CLASS 3R LABEL



Light source specifications

4.7 W laser diodes
 × 64 (VPL-FHZ120L)
 × 48 (VPL-FHZ90L)
 Wavelength: 450 - 460 nm

Beam divergence angle from lens of this unit

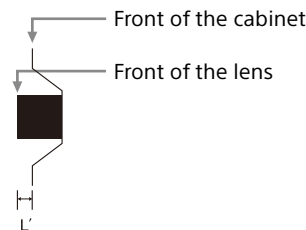


Lens	Zoom maximum: α	Zoom minimum: α
VPLL-4008	61°	—
VPLL-Z4015	49°	33°
VPLL-Z4111	35°	27°
VPLL-Z4019	28°	22°
VPLL-Z4025	22°	12°
VPLL-Z4045	12°	7°

The distance L' between the front of the lens (center) and the front of the cabinet

Unit: mm (inches)

Lens	L'
VPLL-4008	98 (3 7/8)
VPLL-Z4015	88 (3 15/32)
VPLL-Z4111	123 (4 27/32)
VPLL-Z4019	67 (2 5/8)
VPLL-Z4025	96 (3 25/32)
VPLL-Z4045	93 (3 21/32)



SAFETY WARNING TO AVOID EYE INJURIES

This product according to the IEC 62471-5:2015 becomes Risk Group 2 (RG2), but it becomes Risk Group 3 (RG3) at use of high throw ratio (TR) lens.



WARNING

LENSES CATEGORIZED AS RISK GROUP 3 (RG3) SHALL BE FOR CEILING INSTALLATION ONLY. ANY OTHER INSTALLATION IS PROHIBITED. BEFORE USING SUCH LENSES, PLEASE CONTACT SONY'S AUTHORIZED DEALER.

RG2 projectors can be safely used in all situations, except if intra-beam (direct) viewing is intended at close distance.

As with any bright light source, do not stare into the beam, RG2 IEC 62471-5:2015

Risk Group 3 (RG3) products pose a potential hazard even for momentary exposures from direct, intra-beam viewing at close distance (in Hazard Distance).

No direct exposure to the beam shall be permitted, RG3 IEC 62471-5:2015

Hazard Distance values of each interchangeable lenses of this product are shown in the following table.

X: permitted —: prohibited

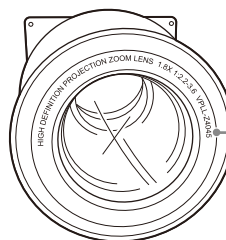
Lens type	Throw ratio(*1)	Hazard Distance Unit: m (inches)	Table Top Installation	Ceiling Installation	Type marking in front
VPLL-4008	1.0	Not available (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4111	1.3 – 2.0	Not available (RG2)	X	X	—
VPLL-Z4015	1.9 – 2.4	Not available (RG2)	X	X	X

Lens type	Throw ratio(*1)	Hazard Distance Unit: m (inches)	Table Top Installation	Ceiling Installation	Type marking in front
VPLL-Z4019	2.4 – 3.1	Not available (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4025	3.0 – 3.4	Not available (RG2)	—	X (*2)	X
	3.4 – 4.1	1.1 (43 5/16") (RG3)			
	4.1 – 4.8	1.2 (47 1/4") (RG3)			
	4.8 – 5.5	1.3 (51 3/16") (RG3)			
	5.5 – 5.6	1.4 (55 1/8") (RG3)			
VPLL-Z4045	5.6 – 6.5	2.1 (82 11/16") (RG3)	—	X (*2)	X
	6.5 – 8.6	2.2 (86 5/8") (RG3)			
	8.6 – 9.6	2.3 (90 9/16") (RG3)			

*1: Value dividing screen size (H) by projection distance
The throw ratio is determined depending on the projector with which each lens is used.
The above values are specific for the models VPL-FHZ120L and VPL-FHZ90L.

*2: These combinations are intended for professional use only, and are not for consumer use.

For more details about the installation, consult with your local Sony Authorized Dealer or qualified Sony personnel.



The lens type is marked in front of the lens.

Within the projection range, the area between a lens and the hazard distance is identified as the Hazard Area (refer to the following figures). The intensity of the light exceeds the Maximum Permissible Exposure (M.P.E.) on the eye cornea in the Hazard Area. It is dangerous if the operator or spectator looks at the light beam directly.

For secure installation (for products with an RG3 lens attached)

When you install an RG3 product, refer to the installation examples below and perform the following.

- Install the product on a place where a sufficient height (2.5 m or higher) is ensured above floor level to avoid looking at the light beam in the Hazard Area.
- Use physical barriers (or a warning sign on the floor) for spectators to avoid unintentional access to the area.

For secure operation

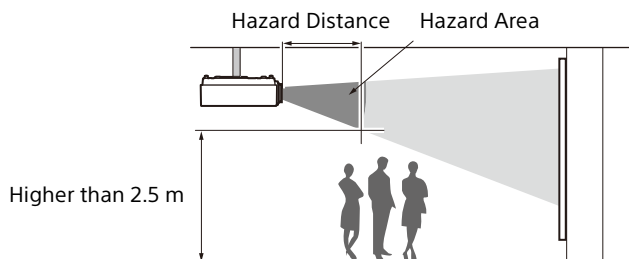
If you install the RG3 product without ensuring sufficient height, operators should limit access of spectators to the Hazard Area.

If someone unavoidably enters to the Hazard Area, turn off the product or press the BLANK key to cut off the image temporarily.

Even when using the RG2 product, make sure that spectators do not look into intra-beam (direct) at close range.

For secure maintenance (for products with an RG3 lens attached)

Maintenance of the RG3 product must be conducted by qualified service personnel.



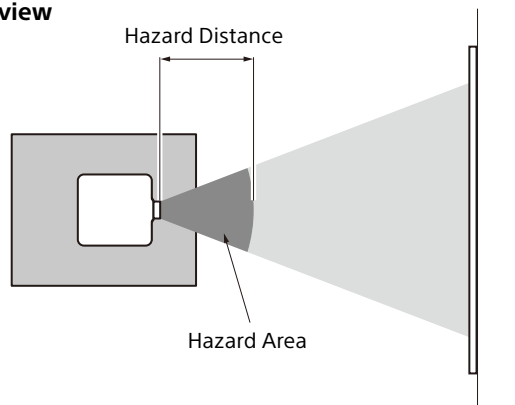
The projectors with an RG3 lens attached are intended for professional use only, and are not for consumer use.

For more details about the installation, consult with your local Sony Authorized Dealer or qualified Sony personnel.

RG3 product: Hazard Distance and Area

Ceiling installation of RG3 product

Top view



SÄKERHETSVARNING FÖR ATT UNDVIKA ÖGONSKADOR

Denna produkt, enligt IEC 62471-5:2015, tillhör riskgrupp 2 (RG2), men kan tillhöra riskgrupp 3 (RG3) vid användning med ett objektiv med högt projiceringsförhållande (TR).



VARNING

OBJEKTIV SOM KATEGORISERAS SOM RISKGRUPP 3 (RG3) SKA ENDAST INSTALLERAS I TAK. ALL ANNAN INSTALLATION ÄR FÖRBJUDEN. KONTAKTA SONYS BEHÖRIGA ÅTERFÖRSÄLJARE INNAN SÅDANA OBJEKTIV ANVÄNDS.

RG2-projektörer kan användas säkert i alla situationer förutom om visning sker med infraråle (direkt) på kort avstånd.

Precis som med alla starka ljuskällor får du inte titta direkt in i strålen, RG2 IEC 62471-5:2015

Produkter av riskgrupp 3 (RG3) utgör en möjlig fara även vid tillfällig exponering genom direktvisning med infraråle på kort avstånd (farligt avstånd).

Ingen direktexponering för strålen tillåts, RG3 IEC 62471-5:2015

Värden för farligt avstånd när det gäller denna produkts utbytbara objektiv visas i följande tabell.

X: tillåtet —: förbjudet

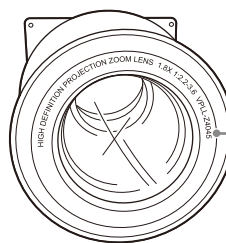
Objektivtyp	Projiceringsförhållande(*1)	Farligt avstånd Mått enhet: m	Bords- installation	Tak- installation	Objektivtyps- beskrivning
VPLL-4008	1,0	Ej tillgängligt (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4111	1,3 – 2,0	Ej tillgängligt (RG2)	X	X	—
VPLL-Z4015	1,9 – 2,4	Ej tillgängligt (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4019	2,4 – 3,1	Ej tillgängligt (RG2)	X	X	X

Objektivtyp	Projiceringsförhållande(*1)	Farligt avstånd Mått enhet: m	Bords- installation	Tak- installation	Objektivtyps- beskrivning
VPLL-Z4025	3,0 – 3,4	Ej tillgängligt (RG2)	—	X (*2)	X
	3,4 – 4,1	1,1 (RG3)			
	4,1 – 4,8	1,2 (RG3)			
	4,8 – 5,5	1,3 (RG3)			
	5,5 – 5,6	1,4 (RG3)			
VPLL-Z4045	5,6 – 6,5	2,1 (RG3)	—	X (*2)	X
	6,5 – 8,6	2,2 (RG3)			
	8,6 – 9,6	2,3 (RG3)			

*1: Värden är skärmstorlek (H) delat med projiceringsavstånd
Projiceringsförhållandet avgörs beroende på vilken projektor som objektivet används tillsammans med. Värdena ovan är specifika för modellerna VPL-FHZ120L och VPL-FHZ90L.

*2: Dessa kombinationer är endast avsedda för professionell användning och inte för användning av konsument.

Rådfråga din lokala, behöriga Sony-återförsäljare eller kvalificerade Sony-personal för mer information om installationen.



Objektivtypen står markerad på objektivets framsida.

Området mellan objektivet och riskavståndet inom projiceringsintervallet, identifieras som riskområdet (se följande bilder). Ljusets intensitet överstiger maximal tillåten exponering (M.P.E.) för hornhinnan i riskområdet. Det är farligt om användaren eller åskådaren tittar direkt i ljusstrålen.

För säker installation (för produkter med ett RG3-objektiv monterat)

När du installerar en RG3-produkt, se installationsexemplen nedan och utför följande.

- Installera produkten på en plats med tillräcklig höjd (minst 2,5 meter) ovanför golvnivå för att undvika att man tittar in i ljusstrålen inom riskområdet.
- Använd fysiska barriärer (eller varningstecken på golvet) för att undvika att åskådare oavsiktligen får åtkomst till området.

För säker manövrering

Om RG3-produkten installeras utan att försäkra om tillräcklig höjd, bör användare begränsa åtkomst till riskområdet för åskådare.

Stäng av produkten eller tryck på tangenten

BLANK för att tillfälligt stänga av bilden, om någon oundvikligen går in i riskområdet.

Se till att inte någon åskådare tittar in i intrastrålen (direkt) på nära avstånd, även när RG2-produkten används.

För säkert underhåll (för produkter med ett RG3-objektiv monterat)

Underhåll av RG3-produkten måste utföras av kvalificerad servicepersonal.

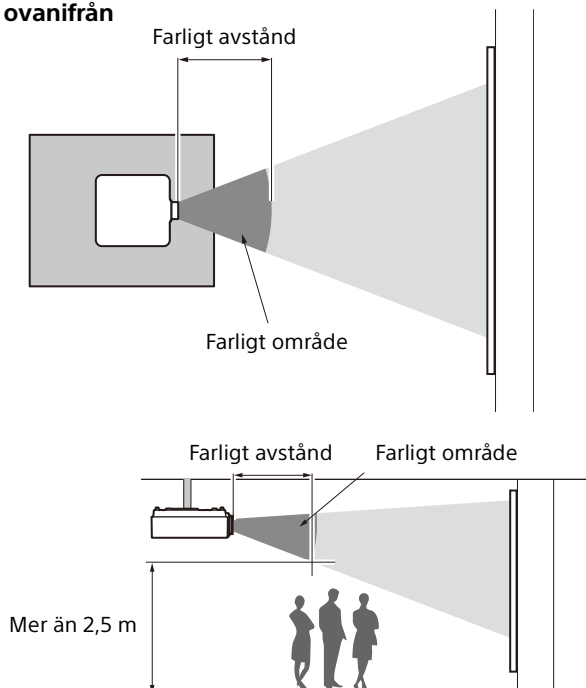
Projektorerna med ett RG3-objektiv monterat är endast avsedda för professionell användning och inte för användning av konsument.

Rådfråga din lokala, behöriga Sony-återförsäljare eller kvalificerade Sony-personal för mer information om installationen.

RG3-produkt: riskavstånd och -område

Takinstallation av RG3-produkt

Vy ovanifrån



避免眼睛受傷的安全警告

本產品依據IEC 62471-5:2015，歸類為危險群2（RG2）；但是在使用高投射比（TR）鏡頭時，歸類為危險群3（RG3）。



警告

歸類為危險群3（RG3）的鏡頭僅應安裝在天花板上。禁止安裝在任何其他地方。

使用此類鏡頭前，請聯絡 SONY 授權經銷商。

RG2投影機可安全用於所有狀況，除非要進行近距離光束內（直接）觀看。

對於任何明亮的光源，請勿直視光束；RG2 IEC 62471-5:2015

危險群3（RG3）產品即使對於暫時性的近距離（危險距離）直接光束內觀看暴露也具有潛在危險。

不得直接暴露於光束；RG3 IEC 62471-5:2015

下表顯示本產品每一可互換鏡頭的危險距離值。

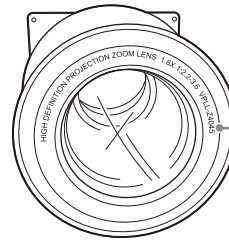
X：允許 —：禁止

鏡頭類型	投射比 (*1)	危險距離單位：m	桌上安裝	天花板安裝	鏡頭類型說明
VPLL-4008	1.0	不適用 (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4111	1.3 - 2.0	不適用 (RG2)	X	X	—
VPLL-Z4015	1.9 - 2.4	不適用 (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4019	2.4 - 3.1	不適用 (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4025	3.0 - 3.4	不適用 (RG2)	—	X (*2)	X
	3.4 - 4.1	1.1 (RG3)			
	4.1 - 4.8	1.2 (RG3)			
	4.8 - 5.5	1.3 (RG3)			
	5.5 - 5.6	1.4 (RG3)			

鏡頭類型	投射比 (*1)	危險距離單位：m	桌上安裝	天花板安裝	鏡頭類型說明
VPLL-Z4045	5.6 - 6.5	2.1 (RG3)	—	X (*2)	X
	6.5 - 8.6	2.2 (RG3)			
	8.6 - 9.6	2.3 (RG3)			

- *1: 畫面尺寸（高）除以投射距離所得的值
投射比視使用各鏡頭的投影機而定。
上述數值針對VPL-FHZ120L和VPL-FHZ90L機型。
- *2: 這些組合僅供專業使用，不供消費者使用。

如需關於安裝的詳細資訊，請詢問當地Sony授權經銷商或合格的Sony人員。



鏡頭類型標註於鏡頭正面。

在投射區域內，從鏡頭到危險距離之間的範圍界定為危險區域（請參閱下圖）。光線強度超過危險區域中眼睛角膜的最大許可暴露量（M.P.E.）。如果操作員或觀眾直視光束，則有危險性。

為了完成安全安裝（適用於使用RG3鏡頭的產品）

安裝RG3產品時，請參閱下列安裝範例，並執行下列操作。

- 請將產品安裝於距離地板有足夠高度之處（2.5 m 或以上），以避免直視危險區域內的光束。
- 使用實體障礙物（或在地板上放置標誌），以免觀眾誤入區域。

為了安全操作

如果RG3產品安裝高度不足，操作員應管制觀眾進入危險區域。

如果無法避免人員進入危險區域，請關閉產品電源，或按下BLANK鍵暫時切斷畫面。

即使使用RG2產品，也請確保觀眾不會近距離直視光束內部（直接）。

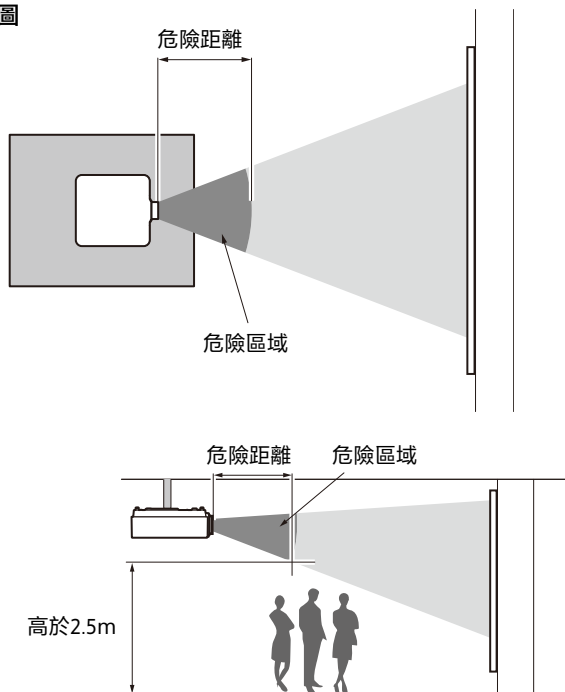
為了安全維護（適用於使用RG3鏡頭的產品）

RG3產品的維護工作必須由合格的服務人員進行。

RG3產品：危險距離與區域

安裝於天花板的RG3產品

上視圖



安裝有RG3鏡頭的投影機僅供專業使用，不可供消費者使用。
如需關於安裝的詳細資訊，請詢問當地Sony授權經銷商或合格的Sony人員。

Precautions

On safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified Sony personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while in use.
- Do not let children use the unit alone.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes — the air coming out is hot.
- Be careful not to catch your fingers by the feet (adjustable) when you adjust the height of the unit. Do not push hard on the top of the unit with the adjuster out.
- Be sure to use two people to grasp both sides of the unit when carrying the unit.
- Avoid using an extension cord with a low voltage limited since it may cause the short-circuit and physical incidents.
- Do not catch your finger between the unit and surface of the floor when moving the projector installed on the floor.
- Be careful not to catch your finger in the cooling fan.
- Do not carry the projector with the cabinet on and with its cover open.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.
- If the ventilation holes are blocked, internal heat builds up, and it may cause a fire or damage the unit. To allow adequate air circulation and prevent internal heat build-up, follow the items below:

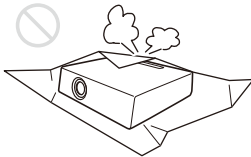
- Place the unit, leaving sufficient space from walls or any objects (Page 15).



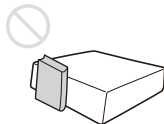
- Avoid using something to cover the ventilation holes (exhaust/intake).



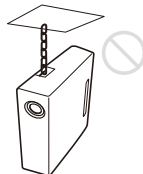
- Do not place the unit on surfaces such as an original packing sheet, soft cloth, papers, rugs, or scraps of paper. The ventilation holes may take in such materials.



- Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the picture muting function to cut off the picture.



- Do not use the Security bar for the purpose of preventing theft for transporting or installing the unit. If you lift the unit by the Security bar or hang the unit by this bar, it may cause the unit to fall and be damaged, and may result in personal injury.



For dealers

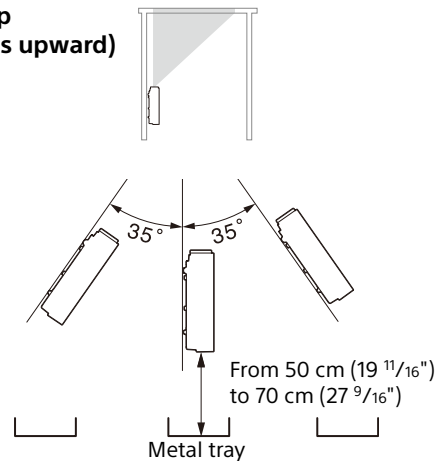
- When the projector is mounted on the ceiling, a Sony bracket or recommended equivalent must be used for installation.
- Be sure to secure the cabinet cover firmly when installing to the ceiling firmly.

Caution

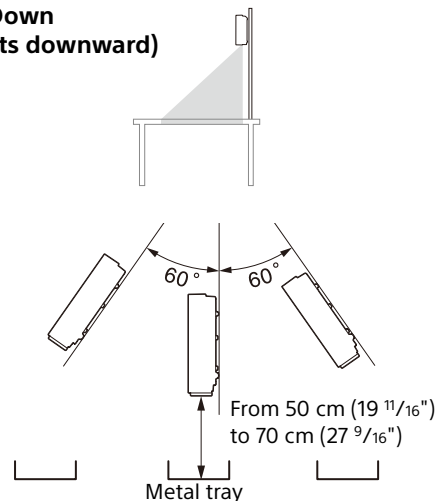
When installing the unit at the angle illustrated, if the ventilation holes are facing down, install a metal tray (min. 70 cm × 40 cm (27 ⁹/₁₆" × 15 ³/₄")) at the distance indicated below directly under the ventilation holes.

Ensure that foreign materials or liquids do not drop into the ventilation holes.

Front Up (Projects upward)



Front Down (Projects downward)



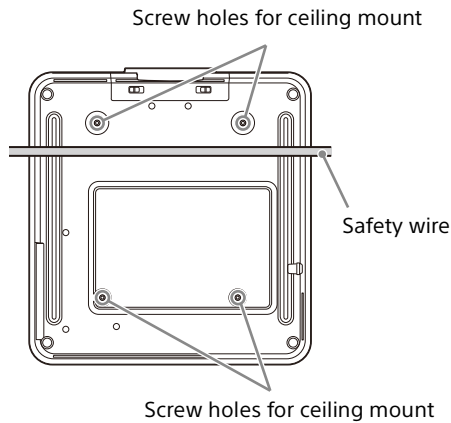
Safety precautions for installing the unit on a ceiling

- Never mount the projector on the ceiling or move it by yourself. Be sure to consult the store

where you purchased the projector or a dedicated installer.

- When installing the unit on a ceiling, be sure to use a safety wire, etc., to prevent the unit from falling. For the installation, be sure to consult the store where you purchased the projector or a dedicated installer.

Bottom view

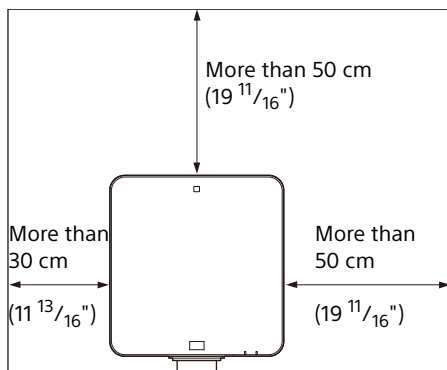


Put a safety wire between front and back of the screw holes for the ceiling mount.
(A safety wire is not supplied with the projector.)

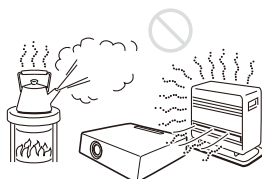
On Installation

- When installing the unit, leave space between any walls, etc. and the unit as illustrated.

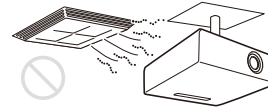
Top view



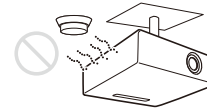
- Avoid using the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or temperature is very low.



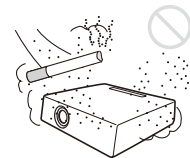
- Avoid installing the unit in a location subject to direct cool or warm air from an air-conditioner. Installing in such a location may cause malfunction of the unit due to moisture condensation or rise in temperature.



- Avoid installing the unit in a location near a heat or smoke sensor. Installing in such a location may cause malfunction of the sensor.



- Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it.



- When using the unit at an altitude of 1,500 m or higher, set "High Altitude Mode" to "On" in the Installation menu. Failing to set this mode when using the unit at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.
- Set an installation attitude on the Installation menu correctly to suit to the installation angle. Continuing to use the wrong setting may affect component reliability.

On cleaning the lens and the cabinet

- Be sure to disconnect the AC power cord from the AC outlet before cleaning.
- If you rub on the unit with a stained cloth, the cabinet may be scratched.
- If the unit is exposed to volatile materials such as insecticide, or the unit is in contact with a rubber or vinyl resin product for a long period of time, the unit may deteriorate or the coating may come off.
- Do not touch the lens with bare hands.
- On cleaning the lens surface:
Wipe the lens gently-with a soft cloth, such as a

glass cleaning cloth. Stubborn stains may be removed with a soft cloth lightly dampened with water. Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or a chemical cleaning cloth.

- **On cleaning the cabinet:**

Clean the cabinet gently with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a soft cloth lightly dampened with mild detergent solution and wrung, followed by wiping with a soft dry cloth. Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or a chemical cleaning cloth.

On Illumination

To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.

On Heat Dissipation

The temperature of the projector cabinet may increase during or immediately after use; however, this is not a malfunction.

On Screen

When using a screen with an uneven surface, stripes pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the unit or the zooming magnifications. This is not a malfunction of the unit.

On Fan

Since the projector is equipped with a fan inside to prevent internal temperature from rising, there may be some noise. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction. If, however, in a case of abnormal noise, consult with qualified Sony personnel.

About sounds occurring from using the auto cleaning function

When the auto dust-cleaning function is enabled, some tapping sounds occur. They arise from the structure of the projector and are not malfunctions.

About Lens Replacement

Do not attach any lens other than the specified accessory lens sold separately.

On inspection of light source related parts

Since the unit uses a laser, when performing maintenance or inspection of light source related parts, particular attention and a safe environment are necessary. Be sure to consult with qualified Sony personnel.

LCD Projector

The LCD projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that continuously appear on the LCD projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.

Also, when you use multiple LCD projectors to project onto a screen, even if they are of the same model, the color reproduction among projectors may vary, since color balance may be set differently from one projector to the next.

On condensation

If the room temperature where the projector is installed changes rapidly, or if the projector is moved suddenly from a cold to a warm place, condensation in the projector may occur. As the condensation may cause malfunction, be careful in adjusting temperature settings of the air conditioner. If condensation occurs, leave the projector turned on for about two hours before use.

Notes on security

- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND RESULTING FROM A FAILURE TO IMPLEMENT PROPER SECURITY MEASURES ON TRANSMISSION DEVICES, UNAVOIDABLE DATA LEAKS RESULTING FROM TRANSMISSION SPECIFICATIONS, OR SECURITY PROBLEMS OF ANY KIND.
- Depending on the operating environment, unauthorized third parties on the network may

be able to access the unit. When connecting the unit to the network, be sure to confirm that the network is protected securely.

- From a safety standpoint, when using the unit connected with the network, it is strongly recommended to access the Control window via a Web browser and change the access limitation settings from the factory preset values (refer to "Using Network Features" in the Operating Instructions).

Changing the password regularly is also recommended.

- Do not browse any other website in the Web browser while making settings or after making settings. Since the login status remains in the Web browser, close the Web browser when you complete the settings to prevent unauthorized third parties from using the unit or harmful programs from running.

Notes

- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR CLAIMS OF ANY KIND MADE BY USERS OF THIS UNIT OR MADE BY THIRD PARTIES.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR THE TERMINATION OR DISCONTINUATION OF ANY SERVICES RELATED TO THIS UNIT THAT MAY RESULT DUE TO CIRCUMSTANCES OF ANY KIND.

Checking the Supplied Accessories

RM-PJ30 Remote Commander (1)
Size AA (R6) batteries (2)
AC power cord (1)
Plug holder (1)
Terminal cover (1)
Quick Reference Manual (this manual) (1)
Operating Instructions (CD-ROM) (1)

Using the CD-ROM manuals

The manuals can be viewed on a computer with Adobe Reader installed.
You can download Adobe Reader for free from the Adobe website.

- 1 Open the "index.html" file on the CD-ROM.
- 2 Select the language of the manual you want to view.

Note

If you damage or lose the CD-ROM, you can purchase a new one from your dealer or Sony service representative.

Installing batteries

CAUTION

The following size and number of batteries are required for the Remote Commander.

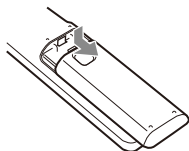
- Size AA (R6) battery
- 2 pieces

To avoid risk of explosion, use only the following type of battery.

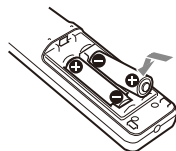
- Manganese or alkaline battery

- 1 Remove the lid, then install the two AA (R6) batteries (supplied) with the correct polarity.

While pressing the lid, slide it.



Be sure to install the battery from the ⊖ side.

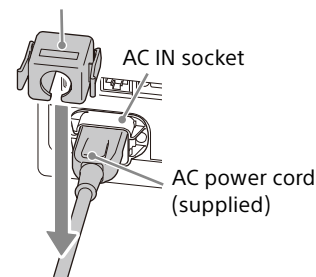


- 2 Replace the lid.

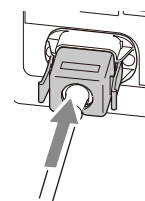
Connecting the AC Power Cord

- 1 Plug the AC power cord into the AC IN socket, then attach the plug holder to the AC power cord.

Plug holder (supplied)



- 2 Slide the plug holder over the AC power cord to fix to the unit.



Attaching the Projection Lens

Notes

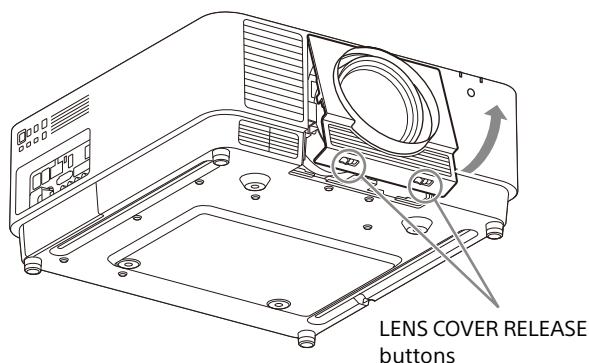
- Avoid removing/attaching the lens with the projector installed suspended from a ceiling.
- For usable projection lenses, see "Optional accessories" on the Operating Instructions.
- Do not attach any lens other than the specified accessory lens sold separately.
- Be careful not to drop the projection lens.
- Avoid touching the lens surface.

- 1 Turn off the projector, then unplug the AC power cord from the wall outlet.

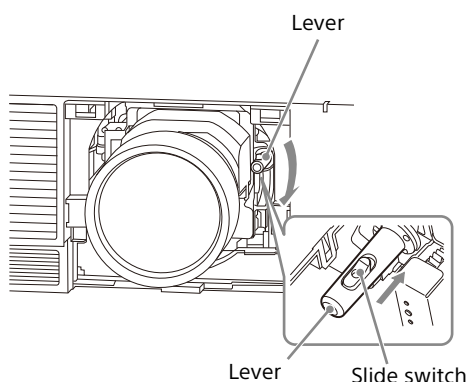
Caution

When replacing the lens, your eyes may be damaged if a strong light accidentally gets into your eyes. Before replacing the lens, turn off the projector and then unplug the AC power cord.

- 2** Remove the lens cover.
While sliding the LENS COVER RELEASE buttons inward, pull out the lens cover until it clicks into place.



- 3** Turn the contact substrate to the left facing the front of the lens and insert the lens to the end.
- 4** While pressing the slide switch, lower the lever until it clicks into place.



- 5** Attach the lens cover.
Hang the upper side of the lens cover on the top cover of the projector and press it until it clicks into place. Then, while sliding the LENS COVER RELEASE buttons inward, insert the lens cover.

Even when the lens is attached, you can attach/remove the lens cover in the same way.

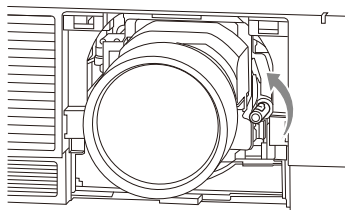
Removing the Projection Lens

- 1** Return the projection lens to the center position.
While the projector is turned on, press the LENS SHIFT key on the Remote Commander, then press the RESET key on it. The projection lens returns to the center position.
- 2** Turn off the projector, then unplug the AC power cord from the wall outlet.

Caution

When replacing the lens, your eyes may be damaged if a strong light accidentally gets into your eyes. Before replacing the lens, turn off the projector and then unplug the AC power cord.

- 3** Remove the lens cover.
- 4** While pressing the slide switch, move the lever up to the limit, and pull the lens straight out.



- 5** Attach the lens cover.

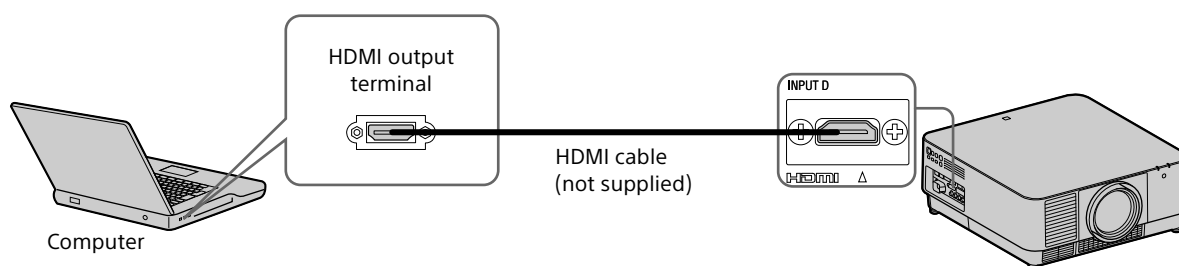
Notes

- Turn off all devices before making any connections.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs firmly; Loose connections may reduce performance of picture signals or cause a malfunction. When unplugging a cable, be sure to grip the plug, not the cable itself.
- For more information, refer also to the instruction manual of the device to be connected.

Connecting to a Computer

INPUT D

This terminal is used when connecting the projector to a computer with a HDMI output terminal.

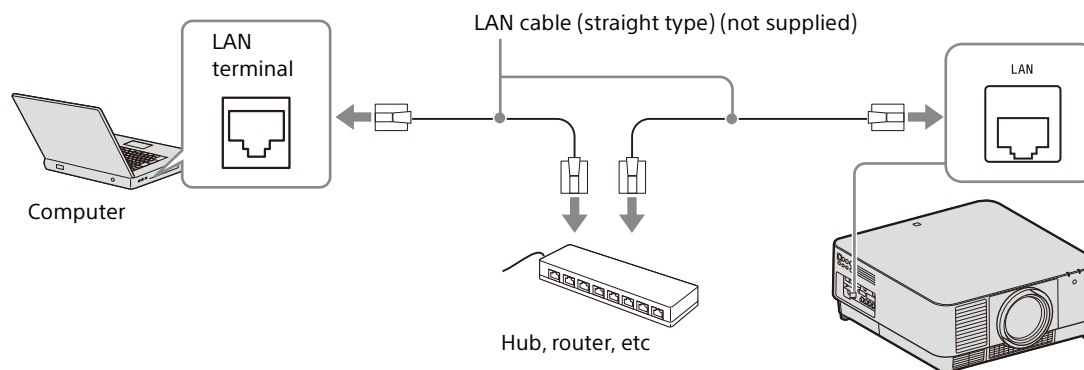


Notes

- Use HDMI-compatible device which has the HDMI Logo.
- Use a high speed HDMI cable(s) on which the cable type logo is specified. (Sony products are recommended.)
- The HDMI terminal of this projector is not compatible with DSD (Direct Stream Digital) signal or CEC (Consumer Electronics Control) signal.

Connecting to a Network Equipment

Using a LAN terminal



Note

When using network features via the LAN terminal, be sure to check if "LAN Setting" is set to "LAN Port".

Connecting to a HDBaseT™ Device

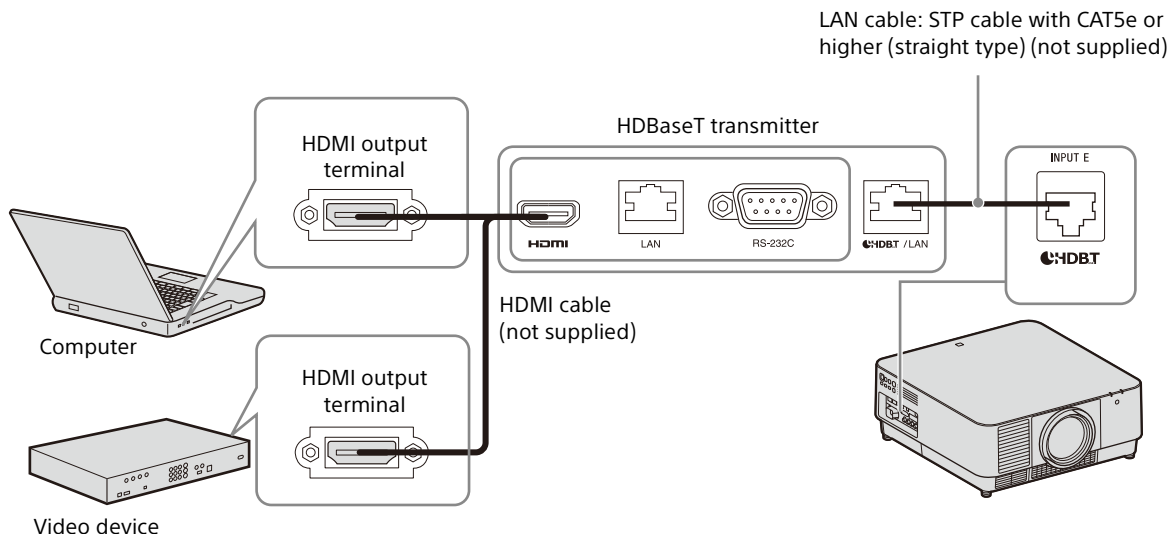
The HDBaseT transmitter is used when connecting the projector to a computer, video device, or network equipment.

Notes for connecting this unit to the HDBaseT transmitter

- Ask a professional or Sony dealer to perform wiring. If wiring has been insufficiently performed, it affects the transmission characteristics of the cable, and causes broken or unstable images.
- Connect the cable directly to the HDBaseT transmitter without going through a hub or router.
- Use cables that meet the following conditions.
 - CAT5e or higher
 - Shielded type (covering connectors)
 - Straight wire connection
 - Single wire
- When installing the cables, use a cable tester, cable analyzer, or similar device to check if the cables meet the CAT5e or higher requirement. If there is a transit connector between this unit and the HDBaseT transmitter, include it when measuring.
- To reduce the affect of noise, install and use the cable in a manner where it is not rolled up and it is as straight as possible.
- Install the cable away from the other cables (especially the power cable).
- When installing multiple cables, do not bind them and keep the running parallel distance as short as possible.
- The transmittable distance of the cable is 100 m (approx. 328 feet) maximum. If it exceeds 100 m (approx. 328 feet), it may cause broken images or a malfunction in LAN communication. Do not use the HDBaseT transmitter beyond the maximum transmittable distance of the cable.
- For operation or function problems caused by devices of other manufacturers, contact the relevant manufacturer.

Connecting to a computer/video device

INPUT E



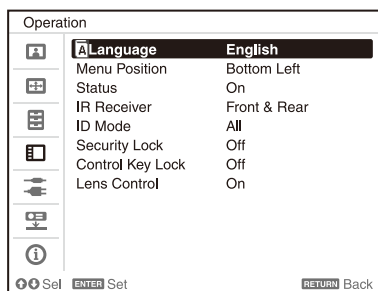
For information on other connecting methods, refer to "Connecting the Projector" in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Selecting the Menu Language

The factory setting for the language for displaying menus, messages, etc. is English.

To change the on-screen language, proceed as follows:

- 1 Plug the AC power cord into a wall outlet.
- 2 Turn on the projector.
Press the I/⏻ key on the main unit or the I key on the Remote Commander.
- 3 Press the MENU key to display the menu.
If the display cannot be properly seen, adjust the focus, size, and position of the projected image (Page 23).
- 4 Select the menu language.
 - ① Press the ▲ or ▼ key to select the Operation (Ⓐ) menu then press the ENTER key.
 - ② Press the ▲ or ▼ key to select "Language (A)" then press the ENTER key.



- ③ Press the ▲/▼/◀/▶ key to select a language, then press the ENTER key.
- 5 Press the MENU key to turn off the menu screen.

Projecting an Image

The size of a projected image depends on the attached lens or the distance between the projector and screen. Place the projector so that the projected image fits the screen size. For details on projection distances and projected image sizes, see "Projection Distance and Lens Shift Range" on the Operating Instructions.

- 1 Plug the AC power cord into a wall outlet.

- 2 Connect all necessary devices to the projector (Page 20).
- 3 Turn on the projector.
Press the I/⏻ key on the main unit or the I key on the Remote Commander.
- 4 Turn on the connected device.
- 5 Select the input source.
Press the INPUT key on the projector or on the Remote Commander to display the input select window. Press the INPUT key repeatedly or the ▲/▼ key to select an image to be projected. The signal icon → appears on the right side in the input select window when a signal is input.*1
Also, you can select an input signal on the Remote Commander.
*1: When INPUT F is input with the compatible optional adaptor attached, the signal icon → always appears. (Available for VPL-FHZ120L only)
- 6 Change the computer screen output destination to an external display.
How to change the output destination varies, depending on the type of computer.

(Example)



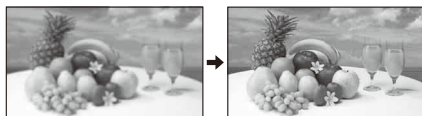
- 7 Adjust the projected image (Page 23).

Turning Off the Power

- 1 Press the I/⏻ key on the main unit or the ⏻ key on the Remote Commander.
The shutdown process is started and the projector enters the standby mode.
- 2 Unplug the AC power cord from the wall outlet.

Adjusting the Projected Image

Focusing the image (Focus)

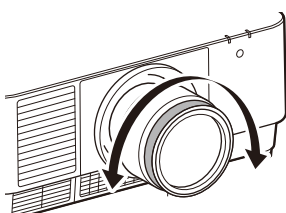


When attaching the Electric focus lens

Press the FOCUS key on the projector or the Remote Commander then press the $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ key.

When attaching the Manual focus lens

Turn the focus ring.



Adjusting the image size (Zoom)

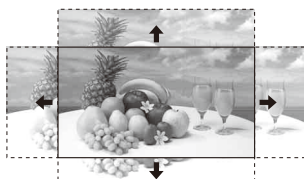


When attaching the Electric zoom lens

Press the ZOOM key on the projector or the Remote Commander then press the $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ key.

Adjusting the position of the image (Lens shift)

Press the LENS SHIFT/SHIFT key on the projector or the Remote Commander then press the $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ key.

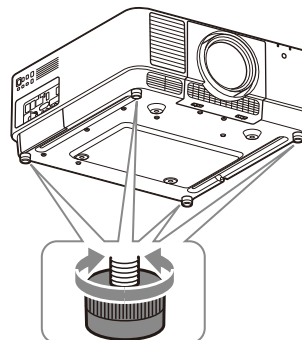


To return the lens to the center position of the projected image

Press the RESET key on the Remote Commander while adjusting the position of the image.

Adjusting the tilt of the projector with the adjustable feet

When the projector is placed on an uneven surface, adjust it using the adjustable feet.



Notes

- Be careful not to pinch your fingers.
- Do not push hard on the top of the projector with the adjustable feet extended. It may cause a malfunction.

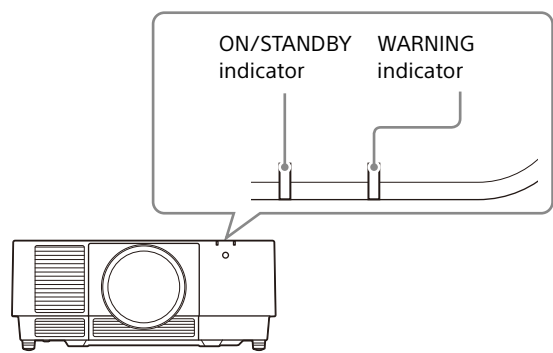
Displaying a pattern for adjusting an image

You can display a pattern for adjusting the projected image with the PATTERN key on the Remote Commander. Use $\uparrow/\downarrow$ to change the pattern and $\leftarrow/\rightarrow$ to change its color. Press the PATTERN key again to restore the previous image.

If you need to further adjust projected images, refer to "Projecting/Adjusting an Image" in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Indicators

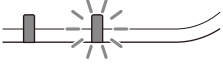
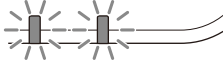
You can check the projector status or abnormality by checking the lighting/flashing status of the ON/STANDBY indicator and WARNING indicator on the front. If the indicators flash in red, address the problem in accordance with “Warning indication and remedies” (Page 25).



Status indication

Indicator status	Operating status	Description
 (Lights in red) (Off)	Standby	The power is supplied to the projector and the projector is in a standby mode according to the setting.
 (Flashes in green) (Off)	Warm-up	The projector warms up after it is turned on, or the software update is in progress.
 (Lights in green) (Off)	Ready	The projector is ready for projection.
 (Lights in (Off) orange)	Other standby status	The projector is in With No Input (Light Cutoff), or Quick Reboot standby mode.

Warning indication and remedies

Indicator status	Number of flashes	Meaning/Remedies
 (Lights in red) (Flashes in red)	Twice	The filter cover or air filter is not installed securely. Check how the filter cover or air filter is attached and install it securely (Page 26).
	Three times	The light source does not light properly. Unplug the AC power cord and make sure the ON/STANDBY indicator turns off, then plug the AC power cord into the wall outlet and turn on the projector.
	Four times	An error is detected when updating the software of the unit. Unplug the AC power cord and make sure the ON/STANDBY indicator turns off. Check the USB or LAN connection before plugging the AC power cord into the wall outlet and turning on the projector. Then update the software again.
	Six times	A strong shock to the projector is detected. If there is no visible abnormality, unplug the AC power cord and make sure the ON/STANDBY indicator turns off, then plug the AC power cord into the wall outlet and turn on the projector.
	Eight times	The lens is not attached appropriately. Check how the lens is attached and install it securely (Page 18).
 (Flashes in red) (Flashes in red) Both indicators flash	Twice	The temperature in the projector is abnormal. Perform the following. • Check if the air filter is clogged, then clean or replace it (Page 26). • Check if the ventilation holes (intake/exhaust) are not blocked by the wall or an object and secure a sufficient gap. • Check the ambient temperature and use the projector within the range of operating temperature.

If the indicators flash in a manner other than described above, unplug the AC power cord and make sure the ON/STANDBY indicator turns off, then plug the AC power cord into the wall outlet and turn on the projector.

If the problem still persists, consult with qualified Sony personnel.

If there is any problem or an error message appears on the screen, refer to "Messages List" or "Troubleshooting" in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Cleaning the Air Filter

When the message that prompts cleaning the air filter appears, clean the air filter.

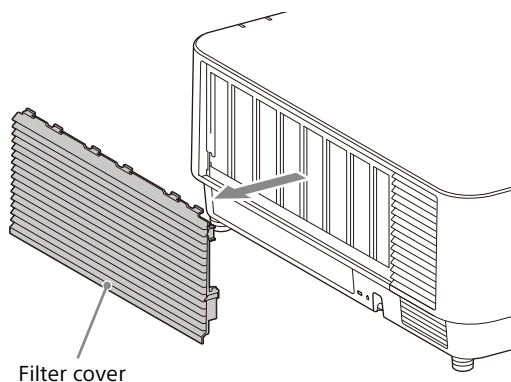
If the dust cannot be removed from the air filter even after cleaning, replace the air filter with a new one.

For details on a new air filter, consult with qualified Sony personnel.

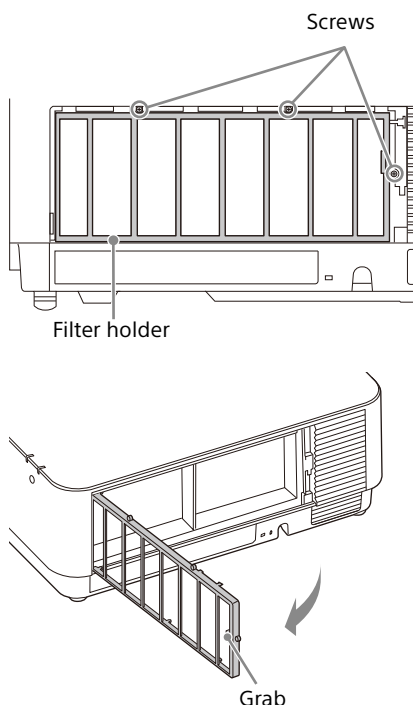
Caution

If you continue to use the projector even after the message is displayed, dust may accumulate, clogging it. As a result, the temperature may rise inside the unit, leading to a possible malfunction or fire.

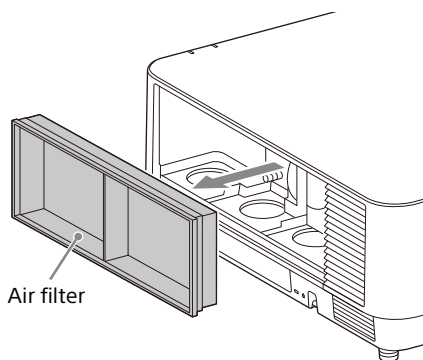
- 1 Turn off the projector and disconnect the AC power cord from a wall outlet.
- 2 Slide the filter cover downward by pushing its upper corners on both sides to remove the filter cover.



- 3 Loosen the three screws and pull out the filter holder by pinching the grab on the right side and rotating the filter holder.

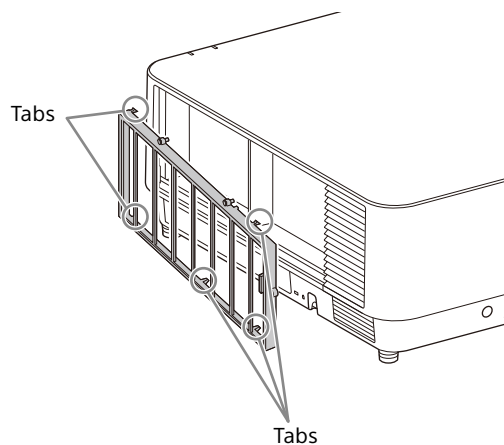


- 4 Pull out the air filter from the main unit.

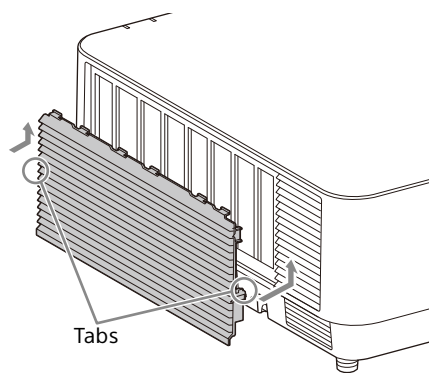


- 5 Clean the air filter with a vacuum cleaner.

- 6** Replace the air filter and attach the filter holder.
When attaching the filter holder, first insert the two tabs on the left, insert the three tabs on the right, and tighten the three screws.



- 7** Insert the tabs on the filter cover and slide the filter cover upward.



Note

Be sure to attach the air filter firmly; the power cannot be turned on if it is not attached securely.

A propos du Guide de référence rapide

Ce Guide de référence rapide explique les opérations de base de projection des images. Vous y trouverez également des mises en garde et des remarques importantes qu'il convient de respecter au cours de la manipulation et de l'utilisation de cet appareil.

Le cas échéant, reportez-vous aux sections « Témoins » et « Nettoyage du filtre à air ».

Pour plus d'informations sur l'utilisation, reportez-vous au Mode d'emploi que vous trouverez sur le CD-ROM fourni.

Etape 1

Préparation Page 13

Etape 2

Raccordement Page 15

Etape 3

Projection Page 17

Témoins Page 19

Nettoyage du filtre à air Page 21

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour future référence.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT

Cet appareil doit être relié à la terre.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

ATTENTION

- Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur.
- Lors de la mise au rebut de la batterie ou du produit, vous devez respecter la loi de la région ou du pays concerné. Ne mettez pas la batterie ou le produit au rebut dans un feu ou un four chaud, ou n'écrasez pas mécaniquement la batterie et ne la coupez pas. Elle risque d'exploser ou de provoquer un incendie. Ne soumettez pas la batterie à une pression d'air extrêmement basse qui pourrait entraîner une explosion ou une fuite de liquide ou de gaz inflammable.
- Ne placez pas la batterie dans un endroit à température élevée, tel qu'à la lumière directe du soleil ou à proximité d'un feu. Elle risque de prendre feu, d'exploser ou de provoquer un incendie. Ne plongez pas et ne mouillez pas la batterie dans de l'eau douce ou de l'eau de mer. Cela risque de provoquer une électrocution.

ATTENTION

À propos du connecteur LAN

Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port.

AVERTISSEMENT

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

AVERTISSEMENT

L'utilisation de cet appareil dans un environnement domestique risque de provoquer des interférences radio.

Pour les clients au Canada

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

Pour les clients en Europe

Ne pas utiliser cet appareil dans une zone résidentielle.

Pour les clients au Canada

GARANTIE LIMITÉE DE SONY - Rendez-vous sur <http://www.sonybiz.ca/pro/lang/en/ca/article/resources-warranty> pour obtenir les informations importantes et l'ensemble des termes et conditions de la garantie limitée de Sony applicable à ce produit.

Avertissement de sécurité pour l'intensité du laser et de la lumière



IEC 60825-1:2014
PRODUIT LASER DE CLASSE 1

AVERTISSEMENT: Ne regardez pas dans l'objectif pendant son utilisation.

ATTENTION

L'emploi de commandes ou ajustements ou l'exécution de procédures autres que celles spécifiées ici peut provoquer une exposition dangereuse au rayonnement.

ATTENTION

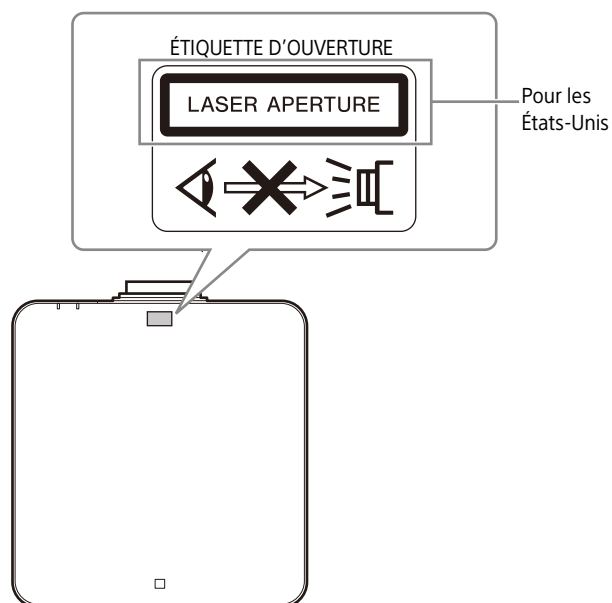
L'emploi d'instruments optiques avec ce produit augmentera les risques pour les yeux.

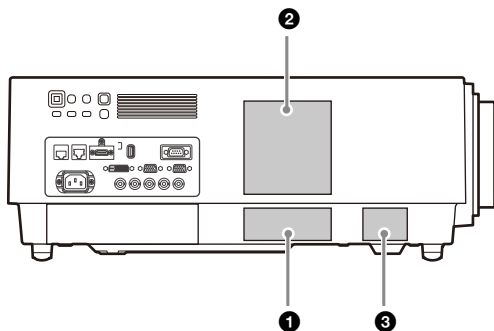
Comme pour n'importe quelle source de lumière vive, ne regardez pas fixement le faisceau, RG2 IEC 62471-5:2015.

AVERTISSEMENT

- Aucune exposition directe au faisceau ne sera autorisée
- Les opérateurs doivent contrôler l'accès au faisceau en fonction de la distance de risque ou installer le produit à une hauteur permettant d'éviter toute exposition des yeux en fonction de la distance de risque

Informations sur l'emplacement des étiquettes





① Étiquette explicative pour le groupe à risque (pour les pays autres que les États-Unis)

注意 ビームをのぞき込まないこと RG2 このプロジェクタは、投光比が3.4より大きい交換レンズを装着すると、RG3になることがある。運転前に取扱説明書のレンズ一覧と警告距離を確認すること。RG3になるプロジェクタとレンズの組み合わせは、業務用であって、民生用ではない。	Caution Do not stare into the beam RG2 This projector may become RG3 when an interchangeable lens with throw ratio greater than 3.4 is installed. Refer to the manual for the lens list and hazard distance before operation. Such combinations of projector and lens are intended for professional use only, and are not intended for consumer use.
---	--

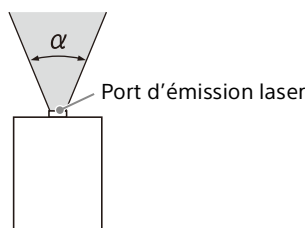
② Étiquette explicative pour le groupe à risque

Attention Ne pas regarder fixement dans le faisceau RG2 Ce projecteur peut passer au Groupe de risque RG3 lorsqu'un objectif interchangeable dont le rapport de projection est supérieur à 3.4 est installé. Consultez le manuel pour voir la liste des objectifs et la distance de risque avant de faire fonctionner le projecteur. De telles combinaisons du projecteur et de l'objectif sont destinées à une utilisation exclusivement professionnelle, pas à une utilisation par les consommateurs.	Vorsicht Schauen Sie nicht länger in den Strahl RG2 Dieser Projektor ist unter Umständen als RG3 einzustufen, wenn ein Wechselobjektiv mit einem größeren Projektionsverhältnis als 3,4 installiert wird. Schlagen Sie vor dem Betrieb im Handbuch die Objektivliste und den Gefahrenabstand nach. Solche Kombinationen von Projektor und Objektiv sind ausschließlich auf den professionellen Betrieb ausgelegt und nicht für private Zwecke gedacht.
Precaución No mire directamente al haz RG2 Este proyector puede pasar a ser de tipo RG3 si se instala un objetivo intercambiable con una relación de proyección superior a 3,4. Consulte el manual para ver una lista de objetivos y la distancia de riesgo antes de la utilización. Estas combinaciones de proyector y objetivo están pensadas únicamente para usos profesionales y no para su utilización por parte de los consumidores.	Осторожно Не смотрите в луч RG2 Этот проектор может стать RG3, когда установлен сменный объектив с коэффициентом проекционного отношения, превышающим 3,4. Перед началом работы ознакомьтесь с руководством по применению для получения информации о перечне объективов и опасном расстоянии. Такие комбинации проектора и объектива предназначены только для профессионального использования и не предназначены для использования потребителями в личных целях.
Attenzione Non fissare il raggio RG2 Il presente proiettore può diventare RG3 se si installa un obiettivo intercambiabile con rapporto di proiezione maggiore di 3,4. Per l'elenco degli obiettivi e la distanza di pericolo, consultare il manuale prima dell'utilizzo. Tali combinazioni di proiettore e obiettivo sono previste solo per uso professionale e non per l'uso personale.	Försiktighet! Titta inte rakt in i strålen RG2 Denna projektor kan bli RG3 när ett utbytbar objektiv med ett projiceringsförhållande som är större än 3,4 monteras. Se handboken för en lista över objektiv och riskavstånd före användning. Sådana kombinationer av projektorer och objektiv är endast avsedda för professionell användning och inte för användning av konsument.

③ ÉTIQUETTE DE CLASSE 1/CLASSE 3R



Angle de divergence du faisceau par rapport à l'objectif de cet appareil

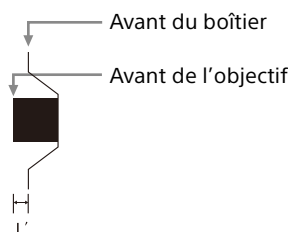


Objectif	Zoom maximum : α	Zoom minimum : α
VPLL-4008	61°	—
VPLL-Z4015	49°	33°
VPLL-Z4111	35°	27°
VPLL-Z4019	28°	22°
VPLL-Z4025	22°	12°
VPLL-Z4045	12°	7°

Distance L' entre l'avant de l'objectif (centre) et l'avant du boîtier

Unité : mm (pouces)

Objectif	L'
VPLL-4008	98 (3 7/8)
VPLL-Z4015	88 (3 15/32)
VPLL-Z4111	123 (4 27/32)
VPLL-Z4019	67 (2 5/8)
VPLL-Z4025	96 (3 25/32)
VPLL-Z4045	93 (3 21/32)



Spécifications de la source lumineuse

Diodes laser 4,7 W

× 64 (VPL-FHZ120L)

× 48 (VPL-FHZ90L)

Longueur d'onde : 450 - 460 nm

AVERTISSEMENT DE SÉCURITÉ POUR ÉVITER LES LÉSIONS OCULAIRES

Ce produit conformément à l'IEC 62471-5:2015 passe au Groupe de risque 2 (RG2), mais il passe au Groupe de risque 3 (RG3) lors de l'utilisation d'un objectif dont le rapport de projection est élevé (TR).



AVERTISSEMENT

LES OBJECTIFS CLASSÉS DANS LE GROUPE DE RISQUE 3 (RG3) DOIVENT ÊTRE INSTALLÉS AU PLAFOND UNIQUEMENT. TOUTE AUTRE INSTALLATION EST INTERDITE. AVANT D'UTILISER CES OBJECTIFS, VEUILLEZ CONTACTER UN REVENDEUR AGRÉÉ SONY.

Les projecteurs RG2 peuvent être utilisés sans danger dans toutes les situations, sauf si le visionnement (direct) intra-faisceau est prévu à proximité.

Comme avec n'importe quelle source de lumière intense, ne pas regarder fixement dans le faisceau, RG2 IEC 62471-5:2015

Les produits du Groupe de risque 3 (RG3) présentent un danger potentiel, même pour les expositions momentanées lors d'une visualisation intra-faisceau directe à faible distance (dans la Distance de risque).

Aucune exposition directe au faisceau ne sera autorisée, RG3 IEC 62471-5:2015

Les valeurs de la Distance de risque pour chaque objectif interchangeable de ce produit sont présentées dans le tableau suivant.

X: autorisé —: interdit

Type d'objectif	Rapport de projection (*1)	Distance de risque Unité : m (pouces)	Installation sur une table	Installation au plafond	Description du type d'objectif
VPLL-4008	1,0	Indisponible (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4111	1,3 – 2,0	Indisponible (RG2)	X	X	—
VPLL-Z4015	1,9 – 2,4	Indisponible (RG2)	X	X	X

Type d'objectif	Rapport de projection (*1)	Distance de risque Unité : m (pouces)	Installation sur une table	Installation au plafond	Description du type d'objectif
VPLL-Z4019	2,4 – 3,1	Indisponible (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4025	3,0 – 3,4	Indisponible (RG2)	—	X (*2)	X
	3,4 – 4,1	1,1 (43 5/16") (RG3)			
	4,1 – 4,8	1,2 (47 1/4") (RG3)			
	4,8 – 5,5	1,3 (51 3/16") (RG3)			
	5,5 – 5,6	1,4 (55 1/8") (RG3)			
VPLL-Z4045	5,6 – 6,5	2,1 (82 11/16") (RG3)	—	X (*2)	X
	6,5 – 8,6	2,2 (86 5/8") (RG3)			
	8,6 – 9,6	2,3 (90 9/16") (RG3)			

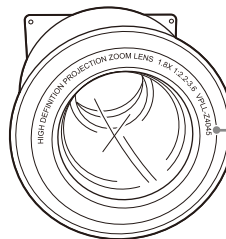
*1: Valeur divisant la taille d'écran (H) par la distance de projection

Le rapport de projection est déterminé en fonction du projecteur avec lequel l'objectif est utilisé.

Les valeurs indiquées ci-dessus sont spécifiques des modèles VPL-FHZ120L et VPL-FHZ90L.

*2: Ces combinaisons sont destinées à un usage professionnel uniquement et non à un usage privé.

Pour plus de détails sur l'installation, consultez votre revendeur agréé Sony local ou un personnel Sony qualifié.



Le type d'objectif et le taux de projection sont indiqués ici.

Dans la zone de projection, la zone située entre un objectif et la distance de risque est identifiée comme la zone de risque (reportez-vous aux figures suivantes). L'intensité de la lumière dépasse l'Exposition maximale autorisée (M.P.E.) sur la cornée dans la zone de risque. Le fait que l'opérateur ou le spectateur regarde directement le faisceau lumineux est dangereux.

Pour une installation sûre (pour les produits sur lesquels est fixé un objectif RG3)

Lorsque vous installez un produit RG3, reportez-vous aux exemples d'installation ci-dessous et procédez comme suit.

- Installez le produit à un emplacement garantissant une hauteur suffisante (2,5 m ou plus) au-dessus du niveau du sol pour éviter de regarder le faisceau lumineux dans la zone de risque.
- Utilisez des barrières physiques (ou un signal d'avertissement sur le sol) à l'attention des spectateurs pour éviter un accès involontaire à la zone.

Pour un fonctionnement sûr

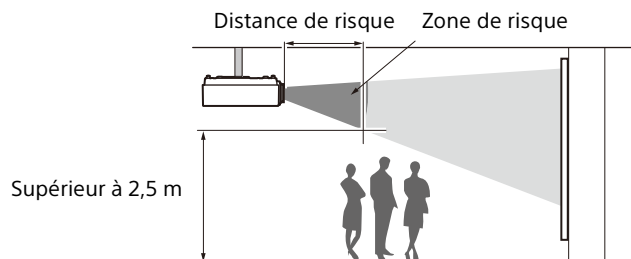
Si vous installez le produit RG3 sans assurer une hauteur suffisante, les opérateurs doivent limiter l'accès des spectateurs à la zone de risque.

Si quelqu'un pénètre tout de même dans la zone de risque, mettez le produit hors tension ou appuyez sur la touche BLANK afin de couper momentanément l'image.

Même lorsque vous utilisez le produit RG2, assurez-vous que les spectateurs ne regardent pas (directement) dans le faisceau à courte distance.

Pour une maintenance sûre (pour les produits sur lesquels est fixé un objectif RG3)

La maintenance du produit RG3 doit être effectuée par un personnel qualifié.



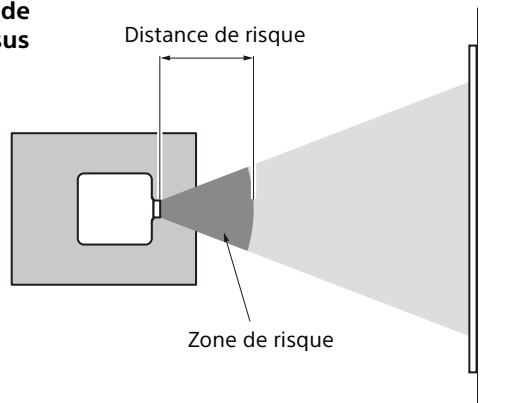
Les projecteurs équipés d'un objectif RG3 sont destinés à un usage professionnel uniquement et non à un usage domestique.

Pour plus de détails sur l'installation, consultez votre revendeur agréé Sony local ou un personnel Sony qualifié.

Produit RG3 : distance et zone de risque

Installation au plafond d'un produit RG3

Vue de dessus



Précautions

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre projecteur est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, informez-vous auprès d'un technicien Sony agréé.
- Si du liquide ou un objet solide pénètre dans le coffret, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien Sony agréé avant de poursuivre l'utilisation.
- Débranchez le projecteur de la prise murale en cas de non-utilisation pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, le tirer par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- L'appareil demeure connecté à la source d'alimentation secteur tant qu'il est branché sur la prise murale, et ce même si l'appareil est éteint.
- Ne regardez pas dans l'objectif pendant son utilisation.
- Ne laissez pas les enfants utiliser l'appareil sans surveillance.
- Ne mettez pas la main et ne posez aucun objet près des orifices de ventilation ; l'air qui s'en échappe est très chaud.
- Prenez garde de ne pas vous coincer les doigts dans les pieds (réglables) lorsque vous réglez la hauteur de l'appareil. Ne exercez pas une pression forte sur le dessus de l'appareil alors que le dispositif de réglage est sorti.
- Deux personnes doivent transporter l'appareil en le saisissant par les deux côtés.
- Évitez d'utiliser un cordon prolongateur à faible tension, car cela risquerait de causer un court-circuit et un accident matériel.
- Prenez garde de vous coincer les doigts entre l'appareil et la surface du plancher lorsque vous déplacez le projecteur alors qu'il est installé sur le plancher.
- Prenez garde de vous coincer les doigts dans le ventilateur de refroidissement.
- Ne transportez pas le projecteur sans avoir d'abord fermé le cabinet et le couvercle.
- N'installez pas l'appareil près d'une source de chaleur telle qu'un radiateur ou un conduit d'air, ou dans un emplacement exposé directement à la lumière du soleil, très poussiéreux ou humide, ou sujet à des vibrations mécaniques ou chocs.

- Si les orifices de ventilation sont obstrués, la chaleur interne augmente et peut entraîner un incendie ou endommager l'appareil. Pour assurer la circulation correcte de l'air et éviter toute surchauffe interne, appliquez les recommandations suivantes :

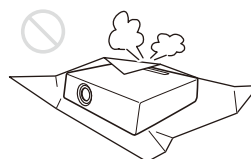
- Posez l'appareil de manière à laisser un espace suffisant entre celui-ci et les murs ou tout objet (Page 10).



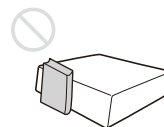
- Évitez de recouvrir les orifices de ventilation (évacuation/admission).



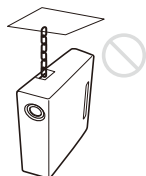
- Ne posez pas l'appareil sur des surfaces telles que sa feuille d'emballage, un linge doux, des journaux, un tapis ou des bouts de papier. Ces matériaux risqueraient d'obstruer les orifices de ventilation.



- Ne placez pas des objets juste devant l'objectif pour éviter de bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque de les endommager. Utilisez la touche de masquage d'image pour couper l'image.



- N'utilisez pas la barre de sécurité comme antivol lors du transport ou de l'installation de l'appareil. Si vous soulevez ou accrochez l'appareil au moyen de la barre de sécurité, il risque de tomber et d'être endommagé, voire de provoquer des blessures.



Pour les revendeurs

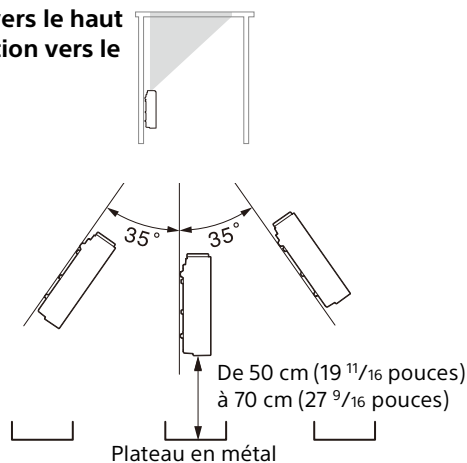
- Quand le projecteur est fixé au plafond, un support Sony ou un support équivalent recommandé doit être utilisé pour l'installation.
- Vous devez fermer le couvercle du cabinet solidement lors de l'installation au plafond.

Attention

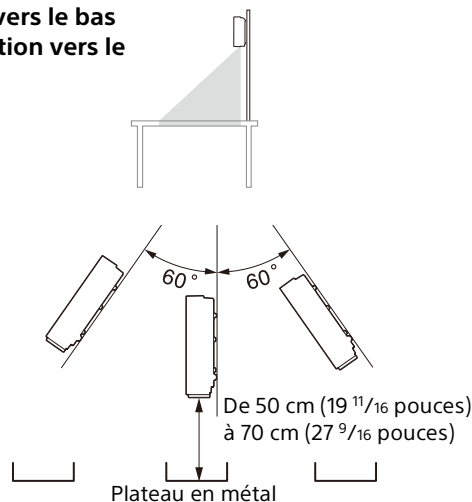
Lorsque vous installez l'appareil sous l'angle illustré et que les orifices de ventilation sont dirigés vers le bas, fixez un plateau en métal (min. 70 cm × 40 cm (27 ⁹/₁₆ pouces × 15 ³/₄ pouces)) à la distance indiquée, directement en dessous des orifices de ventilation.

Veillez à ce qu'aucun liquide ou corps étranger ne pénètre dans les orifices de ventilation.

Avant vers le haut (Projection vers le haut)



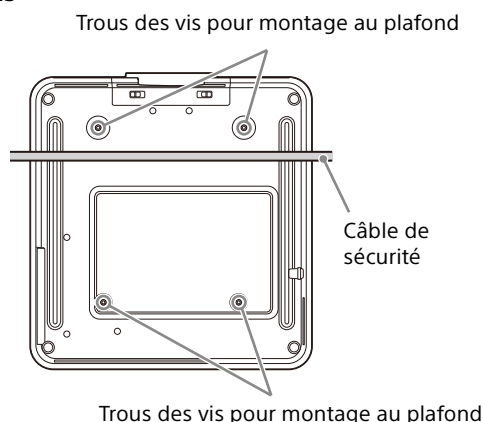
Avant vers le bas (Projection vers le bas)



Précautions de sécurité relatives à l'installation de l'appareil au plafond

- N'installez jamais le projecteur au plafond et ne le déplacez jamais par vos propres moyens. Veillez à vous adresser au magasin auprès duquel vous avez acheté le projecteur ou à un installateur spécialisé.
- Lorsque vous installez l'appareil au plafond, veillez à utiliser un fil de sécurité, par exemple, pour l'empêcher de tomber. Pour l'installation, veillez à vous adresser au magasin auprès duquel vous avez acheté le projecteur ou à un installateur spécialisé.

Vue du bas

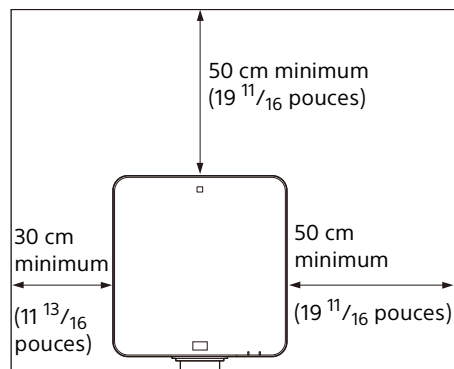


Placez un câble de sécurité entre la partie avant et arrière des orifices des vis pour le montage au plafond.
(Le câble de sécurité n'est pas fourni avec le projecteur.)

Lors de l'installation

- Lorsque vous installez l'appareil, laissez un espace entre celui-ci et les murs, etc. comme illustré.

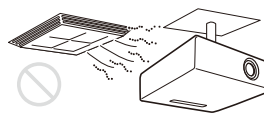
Vue de dessus



- Évitez d'utiliser l'appareil dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.



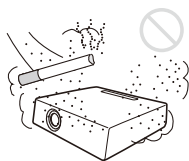
- Évitez d'installer l'appareil dans un endroit exposé directement au flux d'air froid ou chaud d'un climatiseur. L'installation dans un tel lieu peut engendrer une défaillance de l'appareil à cause de la condensation de l'humidité ou d'une hausse de température.



- Évitez d'installer l'appareil dans un endroit situé à proximité d'un détecteur de chaleur ou de fumée. Cela risquerait de provoquer une défaillance du détecteur.



- N'installez pas le projecteur dans un environnement très poussiéreux ou enfumé. Le filtre à air pourrait se colmater avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages du projecteur.



- Si l'appareil est utilisé à une altitude de 1 500 m ou plus, réglez l'option « Mode haute altit. » sur « On » dans le menu Installation. Si ce réglage du mode n'est pas effectué alors que l'on utilise l'appareil à haute altitude, des effets négatifs peuvent s'ensuivre, tels qu'une baisse de fiabilité de certains composants.
- Définissez correctement une attitude d'installation via le menu Installation en fonction de l'angle d'installation. L'utilisation prolongée d'un mauvais réglage risque d'affecter la fiabilité des composants.

Nettoyage de l'objectif et du boîtier

- Veillez à débrancher le cordon d'alimentation de la prise secteur avant de procéder au nettoyage.
- Si vous frottez l'appareil avec un chiffon sale, vous risquez de le rayer.
- Si l'appareil est exposé à des substances volatiles telles que des insecticides, ou en cas de contact prolongé avec un produit en caoutchouc ou en résine vinylique, l'appareil risque de se détériorer ou de perdre son revêtement.
- Ne touchez pas l'objectif avec les mains nues.
- Nettoyage de la surface de la lentille :
Essuyez délicatement l'objectif avec un chiffon doux, notamment un chiffon de nettoyage pour vitres. Les taches tenaces peuvent être éliminées avec un chiffon doux légèrement humide. N'utilisez jamais de solvant tel qu'alcool, benzène, diluant ou détergent acide, alcalin ou abrasif, pas plus qu'une lingette de nettoyage chimique.

- Nettoyage du boîtier :
Nettoyez délicatement le boîtier avec un chiffon doux. Les taches tenaces peuvent être éliminées avec un chiffon doux légèrement imprégné d'une solution détergente neutre et tordu. Ensuite, essuyez avec un chiffon doux et sec. N'utilisez jamais de solvant tel qu'alcool, benzène, diluant ou détergent acide, alcalin ou abrasif, pas plus qu'une lingette de nettoyage chimique.

Éclairage

Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.

À propos de la dissipation de chaleur

La température du boîtier du projecteur peut augmenter pendant ou juste après utilisation, mais il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.

Écran

Si un écran à surface inégale est utilisé, il se peut, dans de rares cas, que des motifs de lignes apparaissent sur l'écran suivant la distance qui sépare l'écran de l'appareil ou suivant le taux de grossissement du zoom. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement de l'appareil.

Ventilateur

Le projecteur renferme un ventilateur qui empêche la température interne d'augmenter et qui peut donc générer du bruit. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'une défaillance. Toutefois, en cas de bruit anormal, adressez-vous à un technicien Sony agréé.

À propos des sons découlant de l'utilisation de la fonction d'auto-nettoyage

Lorsque la fonction de dépoussiérage automatique est activée, des claquements se produisent. Ils proviennent de la structure du projecteur et ne constituent pas des dysfonctionnements.

À propos du remplacement de l'objectif

Ne fixez pas un objectif autre que l'objectif accessoire spécifié vendu séparément.

À propos du contrôle des pièces de la source d'éclairage

Comme l'appareil utilise un laser, il convient d'être particulièrement vigilant et de travailler dans un environnement sûr lors de l'entretien ou du contrôle des pièces de la source d'éclairage. Veuillez à vous adresser à un technicien Sony agréé.

Projecteur LCD

Le projecteur LCD est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Il se peut toutefois que vous constatiez que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement. Si vous utilisez plusieurs projecteurs LCD pour projeter sur un écran, la reproduction des couleurs peut varier selon les projecteurs, même s'ils sont du même modèle. Ceci est dû au fait que l'équilibre des couleurs peut être réglé différemment sur les projecteurs.

Remarque concernant la condensation

Si la pièce dans laquelle le projecteur est installé subit de brusques changements de températures ou si vous déplacez le projecteur d'un endroit froid à un endroit chaud, de la condensation peut se former à l'intérieur du projecteur. Étant donné que la condensation peut provoquer un dysfonctionnement, réglez la température de votre climatiseur avec précaution. Si de la condensation se forme, laissez le projecteur allumé pendant deux heures avant de l'utiliser.

Remarques sur la sécurité

- Sony ne peut être tenue responsable de tout dommage, de quelque nature que ce soit, résultant d'une incapacité à mettre en place des mesures de sécurité adaptées pour les dispositifs de transmission, de fuites de données inévitables dues aux spécifications de transmission ou de tout autre problème de sécurité.
- Selon l'environnement d'exploitation, il est possible que des tiers non autorisés sur le réseau puissent accéder à l'appareil. Avant de connecter l'appareil au réseau, vérifiez que le réseau est bien protégé.
- Pour des raisons de sécurité, lors de l'utilisation de cet appareil connecté au réseau, il est fortement recommandé d'accéder à la fenêtre de commande via un navigateur Web et de modifier la limitation d'accès des valeurs d'usine préétablies (reportez-vous à la section « Utilisation des fonctionnalités réseau » du Mode d'emploi). Il est par ailleurs recommandé de modifier régulièrement le mot de passe.
- Ne consultez aucun autre site Web dans le navigateur Web pendant ou après la configuration. Étant donné que l'état de connexion est conservé dans le navigateur Web, fermez ce dernier lorsque la configuration est terminée pour empêcher tout tiers non autorisé d'utiliser l'appareil ou d'exécuter des programmes malveillants.

Remarques

- Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. Sony n'assurera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.
- Sony n'assurera pas de responsabilité pour les réclamations, quelle qu'elles soient, effectuées par les utilisateurs de cet appareil ou par des tierces parties.
- Sony n'assurera pas de responsabilité pour la cessation ou l'interruption de tout service lié à cet appareil, résultant de quelque circonstance que ce soit.

Vérification des accessoires fournis

Télécommande RM-PJ30 (1)
Piles de format AA (R6) (2)
Cordon d'alimentation secteur (1)
Porte-fiche (1)
Cache des bornes (1)
Guide de référence rapide (ce manuel) (1)
Mode d'emploi (CD-ROM) (1)

Utilisation des manuels sur CD-ROM

Vous devez installer Adobe Reader sur votre ordinateur pour pouvoir visualiser ces manuels. Vous pouvez télécharger Adobe Reader gratuitement depuis le site Web d'Adobe.

- 1 Ouvrez le fichier « index.html » sur le CD-ROM.
- 2 Sélectionnez la langue du manuel que vous souhaitez visualiser.

Remarque

Si vous perdez ou endommagez le CD-ROM, vous pouvez acheter un CD-ROM de remplacement auprès de votre revendeur ou représentant du service Sony.

Mise en place des piles

ATTENTION

La taille et le nombre de piles suivants sont requis pour la télécommande.

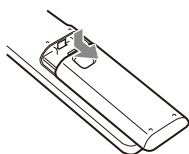
- Pile de format AA (R6)
- 2 pièces

Pour éviter tout risque d'explosion, utilisez uniquement le type de pile suivant.

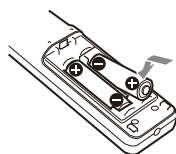
- Pile au manganèse ou alcaline

- 1 Retirez le couvercle, puis installez les deux piles AA (R6) (fournies) en respectant les polarités.

Faites glisser le couvercle tout en appuyant dessus.



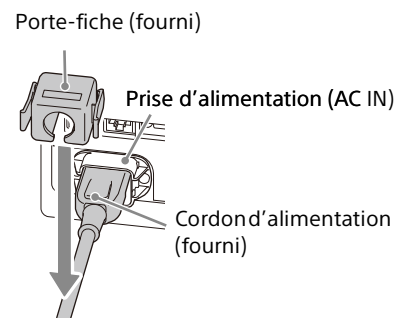
Installez les piles en commençant par le côté ⊖.



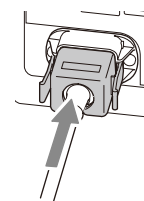
- 2 Remettez le couvercle en place.

Raccordement du cordon d'alimentation

- 1 Branchez le cordon d'alimentation sur la prise d'alimentation (AC IN), puis fixez-lui le porte-fiche.



- 2 Glissez le porte-fiche par-dessus le cordon d'alimentation afin de le fixer à l'appareil.



Fixation de l'objectif de projection

Remarques

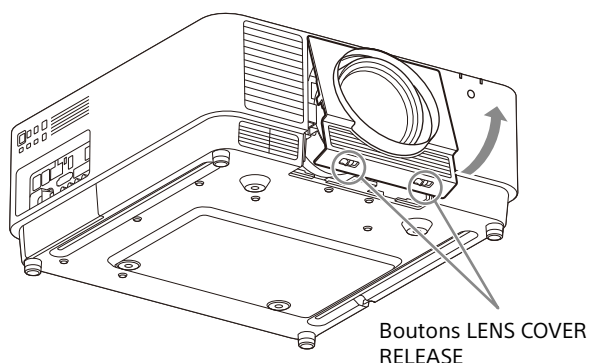
- Évitez de retirer/fixer l'objectif si le projecteur est suspendu au plafond.
- Pour connaître les objectifs de projection utilisables, reportez-vous à la section « Accessoires en option » du Mode d'emploi.
- Ne fixez pas d'autre objectif que l'objectif accessoire (vendu séparément) spécifié.
- Veillez à ne pas faire tomber l'objectif de projection.
- Évitez de toucher la surface de l'objectif.

- 1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.

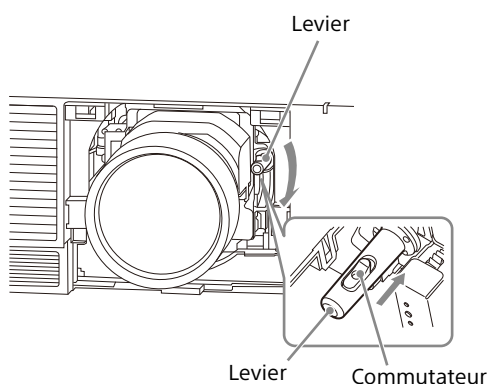
Mise en garde

Lors du remplacement de l'objectif, vos yeux peuvent être endommagés si une forte lumière pénètre accidentellement dans vos yeux. Avant de remplacer l'objectif, mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur.

- 2** Retirez le bouchon d'objectif.
Lorsque vous faites glisser les boutons LENS COVER RELEASE vers l'intérieur, tirez sur le couvercle de l'objectif jusqu'à entendre un clic.



- 3** Tournez le substrat de contact vers la gauche, l'objectif face à vous, puis insérez l'objectif jusqu'au bout.
- 4** En faisant glisser le commutateur, abaissez le levier jusqu'à entendre un clic.



- 5** Fixez le bouchon d'objectif.
Accrochez la partie supérieure du couvercle de l'objectif au couvercle supérieur du projecteur, puis appuyez dessus jusqu'à entendre un clic. Ensuite, lorsque vous faites glisser les boutons LENS COVER RELEASE vers l'intérieur, insérez le couvercle de l'objectif.

Même lorsque l'objectif est fixé, vous pouvez fixer/retirer le bouchon d'objectif de la même manière.

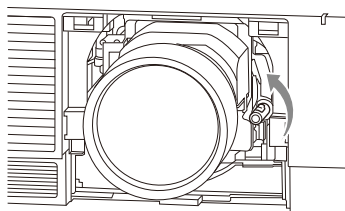
Retrait de l'objectif de projection

- 1** Remettez l'objectif de projection sur la position centrale.
Lorsque l'appareil est sous tension, appuyez sur la touche LENS SHIFT de la télécommande, puis appuyez sur sa touche RESET. L'objectif de projection revient sur la position centrale.
- 2** Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.

Mise en garde

Lors du remplacement de l'objectif, vos yeux peuvent être endommagés si une forte lumière pénètre accidentellement dans vos yeux. Avant de remplacer l'objectif, mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur.

- 3** Retirez le bouchon d'objectif.
- 4** En appuyant sur le commutateur, relevez le levier jusqu'à la limite, puis tirez sur l'objectif pour le retirer.



- 5** Fixez le bouchon d'objectif.

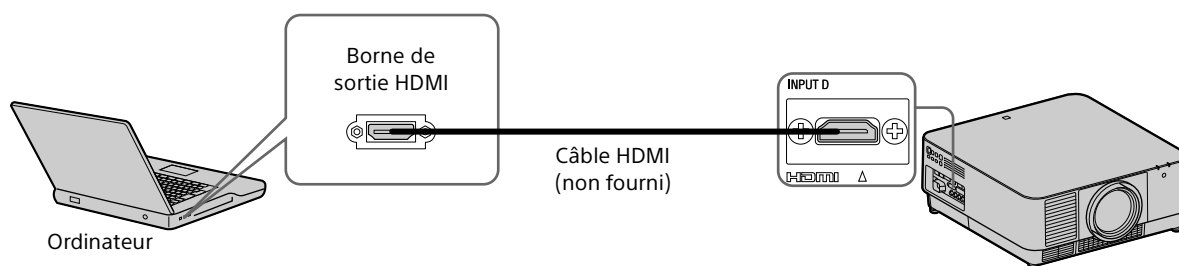
Remarques

- Mettez tous les appareils hors tension avant tout raccordement.
- Utilisez les câbles appropriés pour chaque raccordement.
- Insérez la fiche des câbles à fond ; de mauvais contacts peuvent réduire les performances des signaux d'image ou entraîner des dysfonctionnements. Débranchez les câbles en les tenant par leur fiche. Ne tirez pas sur le câble lui-même.
- Pour plus d'informations, consultez aussi la documentation de l'appareil à raccorder.

Raccordement d'un ordinateur

INPUT D

Cette borne permet de raccorder le projecteur à un ordinateur à l'aide de la borne de sortie HDMI.

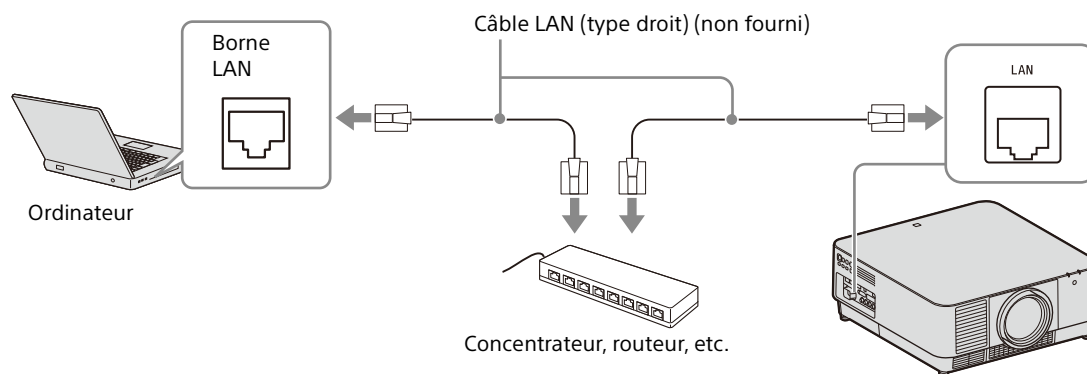


Remarques

- Utilisez un appareil compatible HDMI portant le logo HDMI.
- Utilisez un ou des câbles HDMI haute vitesse portant le logo correspondant au type de câble. (Les produits Sony sont recommandés.)
- La borne HDMI de ce projecteur n'est pas compatible avec le signal DSD (Direct Stream Digital - technologie de numérisation) ou le signal CEC (Consumer Electronics Control - contrôle « interéléments »).

Raccordement d'un équipement réseau

Utilisation d'une borne LAN



Remarque

Quand vous utilisez les fonctions réseau via la borne LAN, assurez-vous que « Param. LAN » est réglé sur « Port LAN ».

Raccordement d'un appareil HDBaseT™

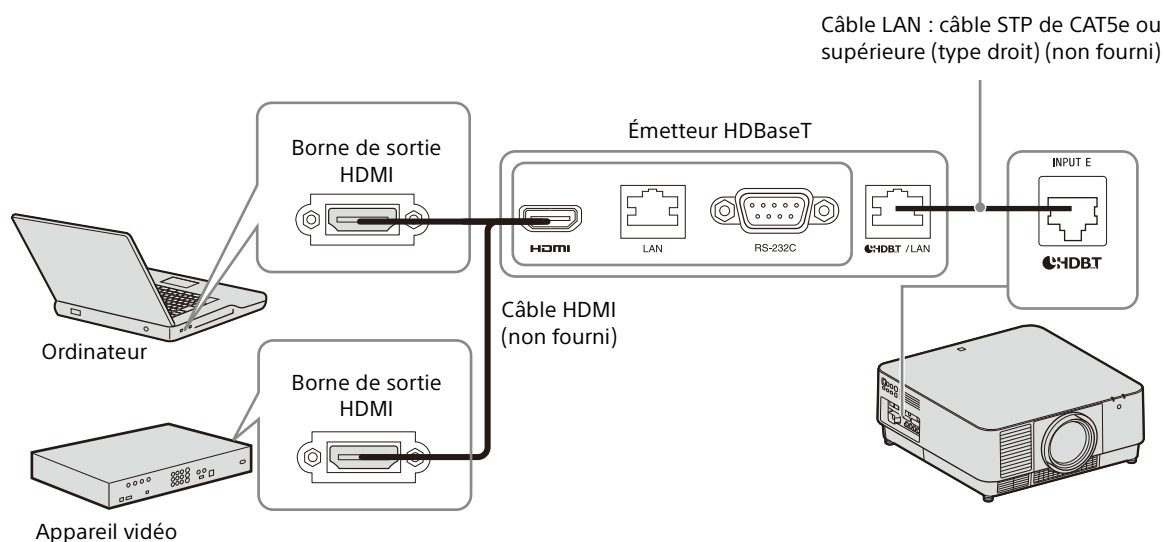
L'émetteur HDBaseT permet de raccorder le projecteur à un ordinateur, appareil vidéo, ou équipement réseau.

Remarques concernant le raccordement de cet appareil à l'émetteur HDBaseT

- Confiez le câblage à un professionnel ou à un revendeur Sony. Si le câblage n'a pas été effectué correctement, les caractéristiques de transmission du câble peuvent en être affectées, et produire des images coupées ou instables.
- Raccordez directement le câble à l'émetteur HDBaseT sans passer par un concentrateur ou un routeur.
- Utilisez les câbles satisfaisant aux conditions suivantes.
 - CAT5e ou supérieure
 - Type blindé (couvrant les connecteurs)
 - Raccordement à fil droit
 - Fil unique
- Pour installer les câbles, utilisez un testeur de câble, un analyseur de câble ou un périphérique similaire afin de vérifier si les câbles satisfont à l'exigence de la CAT5e ou supérieure. S'il y a un connecteur de transit entre cet appareil et l'émetteur HDBaseT, incluez-le dans la mesure.
- Pour réduire l'effet du bruit, installez et utilisez le câble de sorte qu'il ne s'enroule pas et reste le plus droit possible.
- Installez le câble à l'écart des autres câbles (notamment du câble d'alimentation).
- Lorsque vous installez plusieurs câbles, ne les reliez pas et maintenez la distance parallèle cumulée aussi courte que possible.
- La distance de transmission du câble est de 100 m (environ 328 pieds) au maximum. Si elle dépasse 100 m (environ 328 pieds), les images risquent de se couper ou un dysfonctionnement de la communication LAN risque de produire. N'utilisez pas l'émetteur HDBaseT au-delà de la distance de transmission maximale du câble.
- Pour les problèmes d'utilisation ou de fonctionnement causés par les appareils d'autres fabricants, veuillez contacter le fabricant correspondant.

Raccordement d'un ordinateur/appareil vidéo

INPUT E

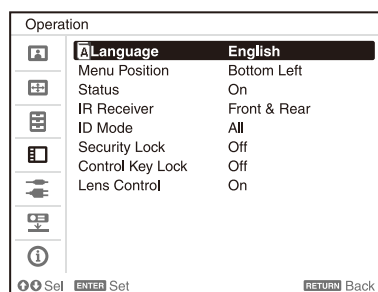


Pour en savoir plus sur les méthodes de raccordement, reportez-vous à la section « Raccordement du projecteur » du Mode d'emploi figurant sur le CD-ROM fourni.

Sélection de la langue de menu

L'anglais est défini d'origine comme langue d'affichage des menus, des messages, etc. Pour changer la langue des menus à l'écran, procédez comme suit :

- 1 Branchez le cordon d'alimentation secteur sur une prise murale.
- 2 Mettez le projecteur sous tension.
Appuyez sur la touche I/⏻ de l'appareil principal ou sur la touche I de la télécommande.
- 3 Appuyez sur la touche MENU pour afficher le menu.
Si l'affichage n'est pas net, réglez la mise au point, la taille et la position de l'image projetée (Page 18).
- 4 Sélectionnez la langue des menus.
 - ① Appuyez sur la touche ↑ ou ↓ pour sélectionner le menu Operation (⏻), puis appuyez sur la touche ENTER.
 - ② Appuyez sur la touche ↑ ou ↓ pour sélectionner « Language (A) », puis appuyez sur la touche ENTER.



- ③ Appuyez sur la touche ↑/↓/←/→ pour sélectionner la langue, puis appuyez sur la touche ENTER.
- 5 Appuyez sur la touche MENU pour désactiver l'écran de menu.

Projection d'une image

La taille de l'image projetée dépend de l'objectif fixé ou de la distance entre le projecteur et l'écran. Placez le projecteur de façon à adapter l'image projetée à la taille de l'écran. Pour plus de détails sur les distances de projection et les tailles de l'image projetée, reportez-vous à la section « Distance de projection et plage de déplacement d'objectif » du Mode d'emploi.

- 1 Branchez le cordon d'alimentation secteur sur une prise murale.
- 2 Raccordez tous les appareils nécessaires au projecteur (Page 15).
- 3 Mettez le projecteur sous tension.
Appuyez sur la touche I/⏻ de l'appareil principal ou sur la touche I de la télécommande.
- 4 Mettez sous tension l'appareil raccordé.
- 5 Sélectionnez la source d'entrée.
Appuyez sur la touche INPUT du projecteur ou de la télécommande pour afficher la fenêtre de sélection d'entrée. Appuyez plusieurs fois sur la touche INPUT ou appuyez sur la touche ↑/↓ pour sélectionner l'image à projeter. L'icône de signal -Ⓜ- apparaît sur la droite de la fenêtre de sélection d'entrée lorsqu'un signal entre.*1
Vous pouvez également sélectionner un signal d'entrée sur la télécommande.

*1: Lorsque INPUT F reçoit un signal et l'adaptateur en option compatible est fixé, l'icône de signal -Ⓜ- s'affiche toujours. (Disponible pour le VPL-FHZ120L uniquement)

- 6 Changez la destination de sortie de l'écran de l'ordinateur vers un écran externe.
La procédure à suivre pour modifier la sortie dépend du type d'ordinateur.
(Exemple)



- 7 Réglez l'image projetée (Page 18).

Mise hors tension

- 1 Appuyez sur la touche I/⏻ de l'appareil principal ou sur la touche ⏻ de la télécommande.
Le processus de veille démarre et le projecteur entre en mode de veille.
- 2 Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.

Réglage de l'image projetée

Mise au point de l'image (Focus)

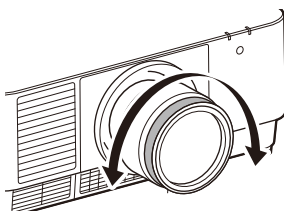


Lors de la fixation de l'objectif à mise au point électrique

Appuyez sur la touche FOCUS du projecteur ou de la télécommande, puis appuyez sur la touche ⬆/⬇/⬅/➡.

Lors de la fixation de l'objectif à mise au point manuelle

Tournez la bague de mise au point.



Réglage de la taille de l'image (Zoom)

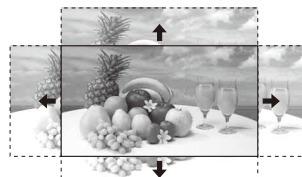


Lors de la fixation de l'objectif à zoom électrique

Appuyez sur la touche ZOOM du projecteur ou de la télécommande, puis appuyez sur la touche ⬆/⬇/⬅/➡.

Réglage de la position de l'image (Déplac. objectif)

Appuyez sur la touche LENS SHIFT/SHIFT du projecteur ou de la télécommande, puis appuyez sur la touche ⬆/⬇/⬅/➡.

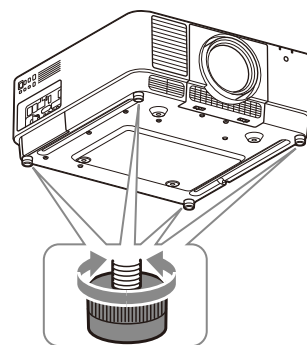


Pour repositionner l'objectif au centre de l'image projetée

Appuyez sur la touche RESET de la télécommande pendant le réglage de la position de l'image.

Réglage de l'inclinaison du projecteur à l'aide des supports réglables

Lorsque le projecteur est placé sur une surface inégale, vous pouvez l'ajuster à l'aide des supports réglables.



Remarques

- Veillez à ne pas vous coincer les doigts.
- Évitez d'appuyer fortement sur le dessus du projecteur lorsque les supports réglables sont déployés. Cela pourrait entraîner un dysfonctionnement.

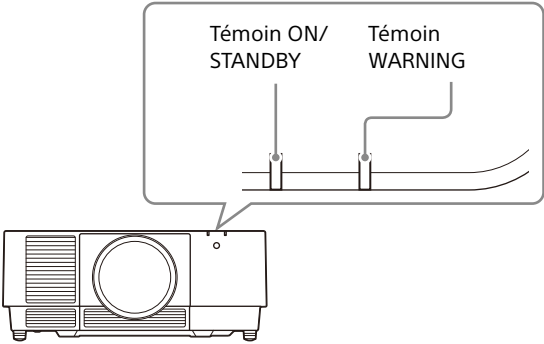
Affichage d'une mire pour le réglage d'une image

Vous pouvez afficher une mire pour régler l'image projetée à l'aide de la touche PATTERN de la télécommande. Utilisez ⬆/⬇ pour changer de mire et ⬅/➡ pour changer sa couleur. Appuyez à nouveau sur la touche PATTERN pour rétablir l'image précédente.

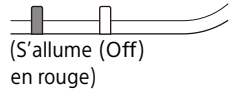
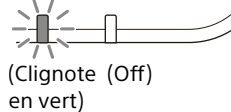
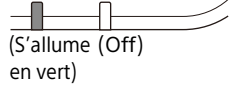
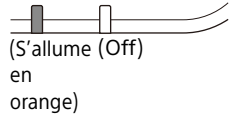
Si vous devez poursuivre l'ajustement des images projetées, reportez-vous à la section « Projection/Réglage d'une image » du Mode d'emploi figurant sur le CD-ROM fourni.

Témoins

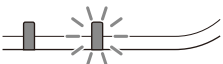
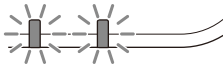
Vous pouvez vérifier l'état du projecteur ou une anomalie en vérifiant l'état d'éclairage/de clignotement du témoin ON/STANDBY et du témoin WARNING situé à l'avant. Si les témoins clignotent en rouge, reportez-vous à la section « Indications d'avertissements et solutions » afin de remédier au problème (Page 20).



Indication de l'état

État du témoin	État d'utilisation	Description
 (S'allume (Off) en rouge)	Veille	L'alimentation est fournie au projecteur et le projecteur est en mode de veille en fonction du réglage.
 (Clignote (Off) en vert)	Chauffe	Le projecteur chauffe après avoir été mis sous tension, ou la mise à jour du logiciel est en cours.
 (S'allume (Off) en vert)	Prêt	Le projecteur est prêt pour la projection.
 (S'allume (Off) en orange)	Autre état de veille	Le projecteur est en mode veille Sans entrée (Coupure éclairage) ou Redémarrage rapide.

Indications d'avertissements et solutions

État du témoin	Nombre de clignotements	Signification/Solutions
 (S'allume en rouge) (Clignote en rouge)	Deux fois	Le couvercle du filtre ou le filtre à air n'est pas installé solidement. Vérifiez la fixation du couvercle du filtre ou du filtre à air et installez-le solidement (Page 21).
	Trois fois	La source lumineuse ne s'allume pas correctement. Débranchez le cordon d'alimentation secteur et vérifiez que le témoin ON/STANDBY s'éteint, puis branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise murale et mettez le projecteur sous tension.
	Quatre fois	Une erreur a été détectée lors de la mise à jour du logiciel de l'appareil. Débranchez le cordon d'alimentation secteur et vérifiez que le témoin ON/STANDBY s'éteint. Vérifiez la connexion USB ou LAN avant de brancher le cordon d'alimentation secteur dans la prise murale et de mettre le projecteur sous tension. Ensuite, procédez à nouveau à la mise à jour du logiciel.
	Six fois	Un choc important sur le projecteur est détecté. Si tout semble normal, débranchez le cordon d'alimentation secteur et vérifiez que le témoin ON/STANDBY s'éteint, puis branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise murale et mettez le projecteur sous tension.
	Huit fois	L'objectif n'est pas fixé correctement. Vérifiez la fixation de l'objectif et installez-le solidement (Page 13).
 (Clignote en rouge) (Clignote en rouge) Les deux témoins clignotent	Deux fois	La température interne du projecteur est anormale. Effectuez les actions suivantes. • Vérifiez si le filtre à air est encrassé, puis nettoyez-le ou remplacez-le (Page 21). • Vérifiez si les orifices de ventilation (évacuation/prise d'air) ne sont pas obstrués par le mur ou un objet et prévoyez un intervalle suffisant. • Vérifiez la température ambiante et utilisez le projecteur dans la plage de température de fonctionnement.

Si les témoins clignotent différemment de la description ci-dessus, débranchez le cordon d'alimentation secteur et vérifiez que le témoin ON/STANDBY s'éteint, puis branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise murale et mettez le projecteur sous tension.

Si le problème persiste, contactez un technicien Sony agréé.

En cas de problème ou si un message d'erreur apparaît à l'écran, reportez-vous à la section « Liste des messages » ou « Dépannage » du Mode d'emploi figurant sur le CD-ROM fourni.

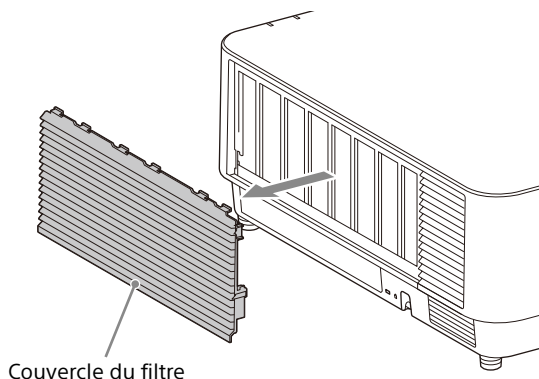
Nettoyage du filtre à air

Lorsque le message vous invitant à nettoyer le filtre à air apparaît, nettoyez le filtre à air. S'il n'est pas possible d'enlever la poussière du filtre à air, même après un nettoyage, remplacez ce dernier par un neuf. Pour plus d'informations sur les filtres à air neufs, contactez un technicien Sony agréé.

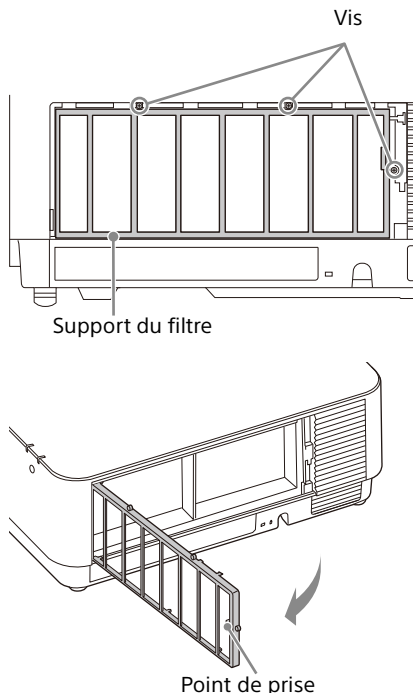
Mise en garde

Si vous continuez d'utiliser le projecteur alors que le message est affiché, la poussière risque de s'accumuler et de colmater l'appareil. La température peut alors augmenter à l'intérieur de l'appareil et provoquer un mauvais fonctionnement ou un incendie.

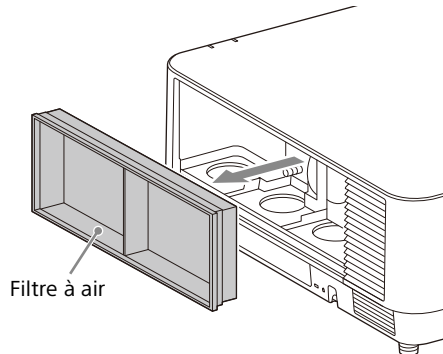
- 1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.
- 2 Pour retirer le couvercle du filtre, faites-le glisser vers le bas en poussant ses coins supérieurs de chaque côté.



- 3 Desserrez les vis (trois pièces) et retirez le support du filtre en pinçant le point de prise du côté droit et en tournant le support du filtre.

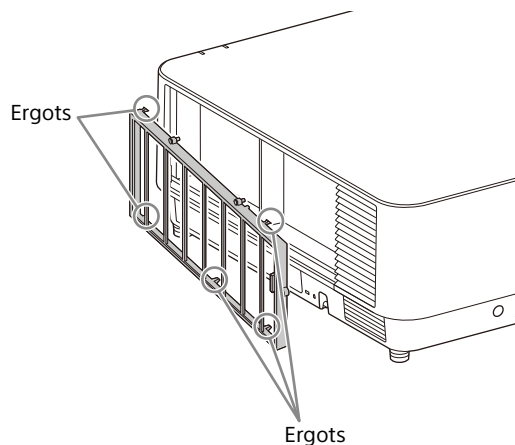


- 4 Extrayez le filtre à air de l'appareil principal.

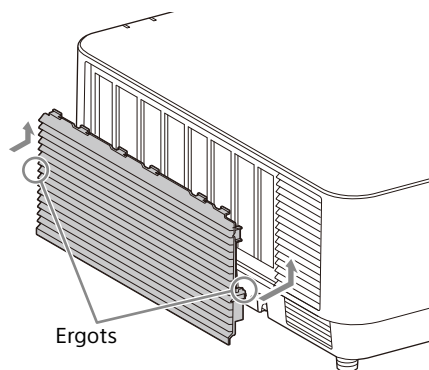


- 5 Nettoyez le filtre à air avec un aspirateur.

- 6** Remplacez le filtre à air et fixez le support du filtre.
Pour fixer le support du filtre, insérez tout d'abord les deux ergots sur la gauche, insérez les trois ergots sur la droite, puis serrez les trois vis.



- 7** Insérez les ergots du couvercle du filtre puis faites glisser le couvercle du filtre vers le haut.



Remarque

Fixez solidement l'ensemble du filtre à air ; il est impossible de mettre le projecteur sous tension si le couvercle n'est pas correctement fixé.

Acerca del Manual de referencia rápida

Este Manual de referencia rápida explica las operaciones básicas para proyectar imágenes. También presenta notas y precauciones importantes que deben tenerse muy en cuenta al manipular y utilizar esta unidad.

Consulte "Indicadores" y "Limpieza del filtro de aire" si resulta necesario.

Para obtener más información sobre las operaciones, consulte el Manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM suministrado.

Paso 1

Preparación..... Página 13

Paso 2

Conexión Página 15

Paso 3

Proyección..... Página 17

Indicadores..... Página 19

Limpieza del filtro de airePágina 21

Antes de poner en funcionamiento la unidad, lea detenidamente este manual y consérvelo para referencias futuras.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de incendio o electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA

Este aparato debe conectarse a tierra.

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

PRECAUCIÓN

- Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante.
- Cuando deseche la batería o el producto, debe cumplir con la legislación de su área o país. No deseche la batería o el producto en el fuego o en un horno caliente, ni la corte o aplaste mecánicamente. Podría explotar o provocar un incendio. No someta a la batería a una presión de aire extremadamente baja ya que podría dar lugar a una explosión o a la fuga de gas o líquido inflamable.
- No coloque la batería en un lugar donde la temperatura sea elevada; por ejemplo, bajo la luz directa del sol o cerca del fuego. Podría prenderse, explotar o provocar un incendio. No sumerja ni humedezca la batería con agua o agua de mar. Podría producirse una descarga eléctrica.

PRECAUCIÓN

Acerca del conector LAN

Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva.

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión y amperaje.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

ADVERTENCIA

El uso de este equipo en un entorno residencial podría causar interferencias radioeléctricas.

Para los clientes de Europa

Este dispositivo no debe utilizarse en zonas residenciales.

Advertencia de seguridad de láser e intensidad de la luz



IEC 60825-1:2014
PRODUCTO LÁSER DE CLASE 1

ADVERTENCIA: No examine la lente mientras la utilice

PRECAUCIÓN

La utilización de controles o ajustes, o la realización de procedimientos no especificados aquí pueden resultar en la exposición a radiación peligrosa.

PRECAUCIÓN

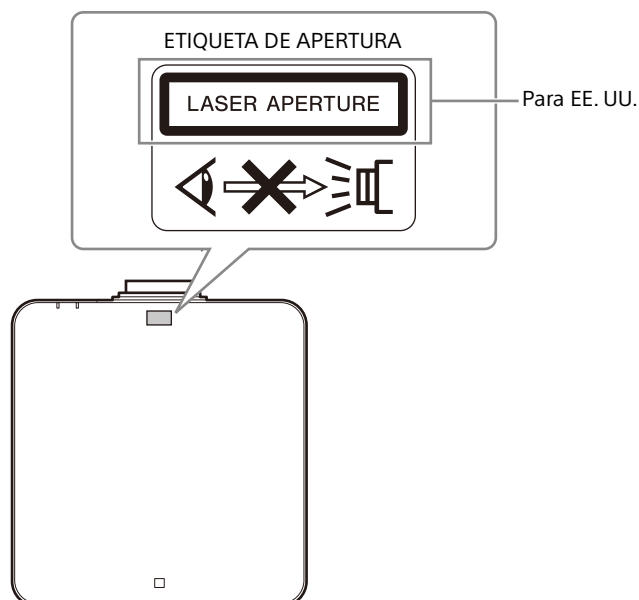
El uso de instrumentos ópticos con este producto aumentará el peligro para los ojos.

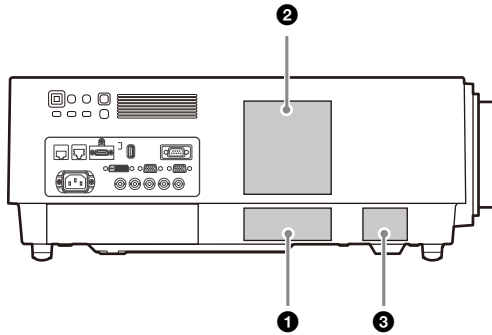
Al igual que con cualquier fuente de luz brillante, no mire fijamente al haz de luz, RG2 IEC 62471-5:2015.

ADVERTENCIA

- La exposición directa al haz está terminantemente prohibida
- Los operadores deben asegurarse de que el acceso al haz no se produce dentro de los límites de la distancia de riesgo o bien instalar el producto a una altura que impida la exposición ocular dentro de la distancia de riesgo

Información sobre la posición de las etiquetas





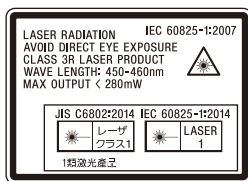
1 Etiqueta informativa de grupo de riesgo (Para países diferentes de EE. UU.)

注意 ビームをのぞき込まないこと RG2 このプロジェクタは、投射比が 3.4より大きい交換レンズを装着 すると、RG3になることがある。 運転前に取扱説明書のレンズ一覧 と警告距離を参照すること。 RG3になるプロジェクタとレンズ の組み合わせは、業務用であって、 民生用ではない。	Caution Do not stare into the beam RG2 This projector may become RG3 when an interchangeable lens with throw ratio greater than 3.4 is installed. Refer to the manual for the lens list and hazard distance before operation. Such combinations of projector and lens are intended for professional use only, and are not intended for consumer use.
--	--

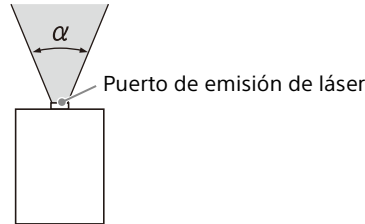
2 Etiqueta informativa de grupo de riesgo

Attention Ne pas regarder fiquement dans le faisceau RG2 Ce projecteur peut passer au Groupe de risque RG3 lorsqu'un objectif interchangeable dont le rapport de projection est supérieur à 3.4 est installé. Consultez le manuel pour voir la liste des objectifs et la distance de risque avant de faire fonctionner le projecteur. De telles combinaisons du projecteur et de l'objectif sont destinées à une utilisation exclusivement professionnelle, pas à une utilisation par les consommateurs.	Vorsicht Schauen Sie nicht länger in den Strahl RG2 Dieser Projektor ist unter Umständen als RG3 einzustufen, wenn ein Wechselobjektiv mit einem größeren Projektionsverhältnis als 3.4 installiert wird. Schlagen Sie vor dem Betrieb im Handbuch die Objektivliste und den Gefahrenabstand nach. Solche Kombinationen von Projektor und Objektiv sind ausschließlich auf den professionellen Betrieb ausgelegt und nicht für private Zwecke gedacht.
Precaución No mire directamente al haz RG2 Este proyector puede pasar a ser de tipo RG3 si se instala un objetivo intercambiable con una relación de proyección superior a 3.4. Consulte el manual para ver una lista de objetivos y la distancia de riesgo antes de la utilización. Estas combinaciones de proyector y objetivo están pensadas únicamente para usos profesionales y no para su utilización por parte de los consumidores.	Осторожно Не смотрите в луч RG2 Этот проектор может стать RG3, когда установлен сменный объектив с коэффициентом проекционного отношения, превышающим 3.4. Перед началом работы ознакомьтесь с руководством по применению для получения информации о перечне перечне объективов и опасном расстоянии. Такие комбинации проектора и объектива предназначены только для профессионального использования и не предназначены для использования потребителями в личных целях.
Attenzione Non fissare il raggio RG2 Il presente proiettore può diventare RG3 se si installa un obiettivo intercambiabile con rapporto di proiezione maggiore di 3.4. Per l'elenco degli obiettivi e la distanza di pericolo, consultare il manuale prima dell'utilizzo. Tali combinazioni di proiettore e obiettivo sono previste solo per uso professionale e non per l'uso personale.	Försiktighet! Titta inte rakt in i strålen RG2 Denna projektor kan bli RG3 när ett utbytbar objektiv med ett projekteringsförhållande som är större än 3.4 monteras. Se handboken för en lista över objektiv och riskavstånd före användning. Sådana kombinationer av projektorer och objektiv är endast avsedda för professionell användning och inte för användning av konsument.

3 ETIQUETA DE CLASE 1/CLASE 3R



Ángulo de divergencia del haz de luz desde la lente de esta unidad

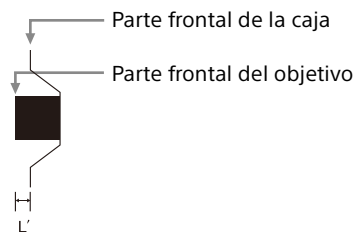


Objetivo	Zoom máximo: α	Zoom mínimo: α
VPLL-4008	61°	—
VPLL-Z4015	49°	33°
VPLL-Z4111	35°	27°
VPLL-Z4019	28°	22°
VPLL-Z4025	22°	12°
VPLL-Z4045	12°	7°

Distancia L' entre la parte frontal del objetivo (centro) y la parte frontal de la caja

Unidad: mm

Objetivo	L'
VPLL-4008	98
VPLL-Z4015	88
VPLL-Z4111	123
VPLL-Z4019	67
VPLL-Z4025	96
VPLL-Z4045	93



Especificaciones de la fuente de luz

Diodos láser de 4,7 W
 × 64 (VPL-FHZ120L)
 × 48 (VPL-FHZ90L)
 Longitud de onda: 450 - 460 nm

ADVERTENCIA DE SEGURIDAD PARA EVITAR LESIONES OCULARES

Este producto conforme con la norma IEC 62471-5:2015 es un producto del grupo de riesgo 2 (RG2), pero será un producto del grupo de riesgo 3 (RG3) si se utiliza un objetivo con una relación de proyección (TR) elevada.



ADVERTENCIA

LOS OBJETIVOS CLASIFICADOS EN EL GRUPO DE RIESGO 3 (RG3) SOLO DEBEN INSTALARSE EN TECHOS. CUALQUIER OTRO TIPO DE INSTALACIÓN ESTÁ PROHIBIDO. ANTES DE UTILIZAR ESTOS OBJETIVOS, PÓNGASE EN CONTACTO CON UN DISTRIBUIDOR DE SONY AUTORIZADO.

Los proyectores RG2 pueden utilizarse de forma segura en todas las situaciones, excepto si se prevé la visualización directa del haz a corta distancia.

Al igual que sucede con cualquier fuente de luz intensa, evite mirar directamente al haz, RG2 IEC 62471-5:2015

Los productos del grupo de riesgo 3 (RG3) plantean un riesgo potencial incluso en el caso de exposiciones mínimas que impliquen una visualización directa del haz a corta distancia (dentro de la distancia de riesgo).

La exposición directa al haz está terminantemente prohibida, RG3 IEC 62471-5: 2015

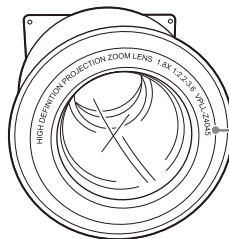
En la siguiente tabla se indican los valores de la distancia de riesgo de los objetivos intercambiables de este producto.

Tipo de objetivo	Relación de proyección (*1)	Distancia de riesgo Unidad: m	Instalación de sobremesa	Instalación en el techo	Descripción del tipo de objetivo
VPLL-4008	1,0	No disponible (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4111	1,3 – 2,0	No disponible (RG2)	X	X	—
VPLL-Z4015	1,9 – 2,4	No disponible (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4019	2,4 – 3,1	No disponible (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4025	3,0 – 3,4	No disponible (RG2)	—	X (*2)	X
	3,4 – 4,1	1,1 (RG3)			
	4,1 – 4,8	1,2 (RG3)			
	4,8 – 5,5	1,3 (RG3)			
	5,5 – 5,6	1,4 (RG3)			
VPLL-Z4045	5,6 – 6,5	2,1 (RG3)	—	X (*2)	X
	6,5 – 8,6	2,2 (RG3)			
	8,6 – 9,6	2,3 (RG3)			

*1: Valor resultante de la división del tamaño de la pantalla (H) por la distancia de proyección
La relación de proyección se determina en función del proyector con el que se utiliza el objetivo.
Los valores anteriores son específicos de los modelos VPL-FHZ120L y VPL-FHZ90L.

*2: Estas combinaciones están pensadas para usos profesionales y no para el uso por parte del gran público.

Para obtener más información sobre la instalación, consulte con su distribuidor autorizado de Sony o con personal cualificado de Sony.



El tipo de objetivo está marcado en la parte frontal del objetivo.

Dentro del intervalo de proyección, la zona entre un objetivo y la distancia de riesgo se conoce como área de riesgo (consulte las siguientes imágenes). Dentro del área de riesgo, la intensidad de la luz supera la exposición máxima permitida (M.P.E.) en la córnea del ojo. Resulta peligroso mirar directamente el haz de luz.

Para una instalación segura (productos con un objetivo RG3 instalado)

Al instalar un producto RG3, tome como referencia los ejemplos de instalación siguientes y realice los pasos descritos a continuación.

- Instale el producto en un lugar con una altura suficiente (Altura de 2,5 m o más) por encima del nivel del suelo para evitar mirar directamente el haz de luz dentro del área de riesgo.
- Utilice barreras físicas (o un letrero de advertencia en el suelo) para evitar el acceso involuntario de los espectadores al área.

Para una utilización segura

Si instala el producto RG3 a una altura insuficiente, los operadores deben limitar el acceso de los espectadores al área de riesgo.

Si de todas formas alguien accede al área de riesgo, apague el producto o pulse la tecla BLANK para interrumpir la imagen de forma temporal.

Incluso utilizando el producto RG2, asegúrese de que los espectadores no miran directamente el haz a corta distancia.

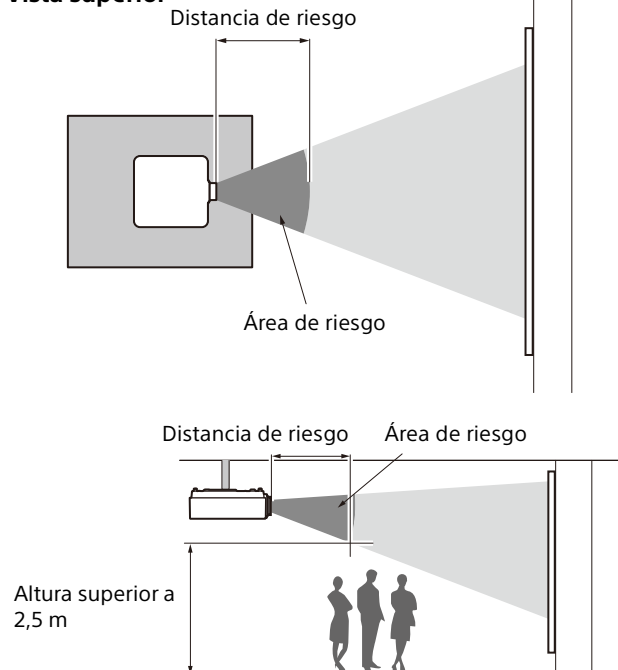
Para un mantenimiento seguro (productos con un objetivo RG3 instalado)

El mantenimiento del producto RG3 debe dejarse en manos de personal de servicio cualificado.

Producto RG3: distancia y área de riesgo

Instalación en el techo de un producto RG3

Vista superior



Los proyectores con un objetivo RG3 están pensados únicamente para usos profesionales y no para su utilización por parte de los consumidores.

Para obtener más información sobre la instalación, consulte con su distribuidor autorizado de Sony o con personal cualificado de Sony.

Precauciones

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado de Sony antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No examine la lente mientras la utilice.
- No deje que los niños utilicen la unidad sin supervisión.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación. El aire que sale está caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el pie (ajustable) cuando ajuste la altura de la unidad. No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior de la unidad cuando el ajustador esté fuera.
- Asegúrese de que dos personas sujetan ambos lados de la unidad al trasladar la unidad.
- Evite utilizar un cable prolongador con un bajo límite de tensión, ya que puede producir cortocircuitos e incidentes físicos.
- No se atrape los dedos entre la unidad y la superficie del suelo al mover un proyector instalado en el suelo.
- Tenga cuidado de no atraparse los dedos con el ventilador de refrigeración.
- No transporte el proyector guardado en su estuche y con la tapa abierta.
- No instale la unidad en una ubicación cercana a fuentes de calor tales como radiadores o conducciones de aire, ni en un lugar sujeto a la luz directa del sol, demasiado polvo o humedad, vibraciones mecánicas o golpes.

- Si se bloquean los orificios de ventilación, el calor interno aumentará y esto podría provocar un incendio o dañar la unidad. Con el fin de facilitar una circulación de aire adecuada y evitar el recalentamiento interno, siga los consejos que se indican a continuación:

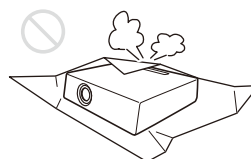
- Coloque la unidad, dejando un espacio suficiente en relación con paredes u objetos (Página 10).



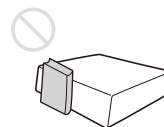
- Procure no utilizar ningún objeto que cubra los orificios de ventilación (salida/entrada de aire).



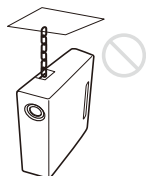
- No coloque la unidad sobre superficies tales como partes del embalaje original, paños suaves, papeles, cojines o trozos de papel. Dichos materiales podrían pegarse a los orificios de ventilación.



- No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto. Utilice la tecla de función de apagado de la imagen para interrumpir la imagen.



- No utilice la barra de seguridad para evitar robos durante el transporte o la instalación de la unidad. Si eleva la unidad o la deja suspendida mediante la barra de seguridad, es posible que la unidad se caiga y se dañe, asimismo, podría provocar daños personales.



Para los distribuidores

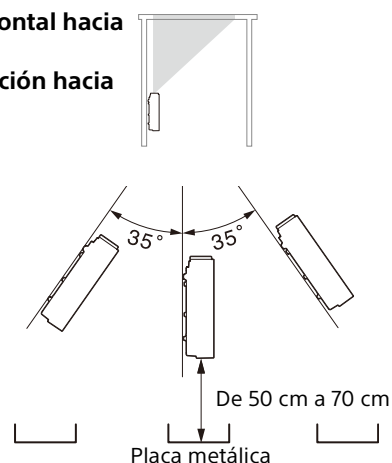
- Si se instala el proyector en el techo, es necesario utilizar un soporte Sony o un soporte equivalente recomendado.
- Cierre firmemente la tapa de la carcasa cuando lo instale en el techo.

Precaución

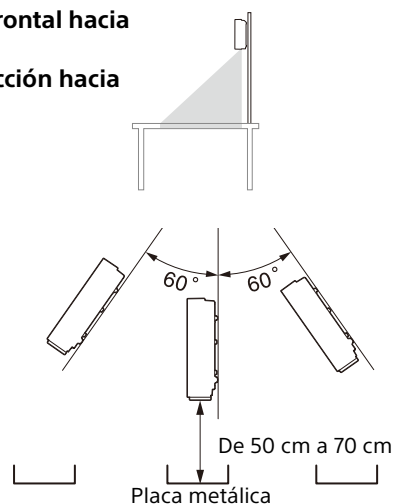
Cuando instale la unidad en el ángulo mostrado, si los orificios de ventilación están orientados hacia abajo, coloque una placa metálica (mín. 70 cm x 40 cm) a la distancia indicada a continuación directamente por debajo de los orificios de ventilación.

Asegúrese de que no penetran materiales extraños ni líquidos por los orificios de ventilación.

**Parte frontal hacia arriba
(Proyección hacia arriba)**



**Parte frontal hacia abajo
(Proyección hacia abajo)**

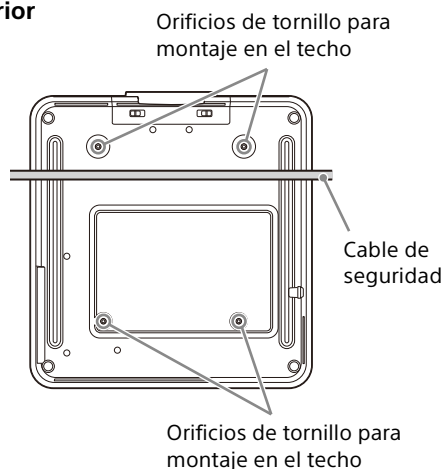


Precauciones de seguridad para instalar la unidad en el techo

- Nunca instale el proyector en el techo ni lo desplace sin ayuda. Consulte con la tienda en la que compró el proyector o con un instalador experimentado.

- Si instala la unidad en el techo, utilice un cable de seguridad o un sistema similar para evitar que la unidad se desprenda. Para realizar la instalación, consulte con la tienda en la que compró el proyector o con un instalador experimentado.

Vista inferior

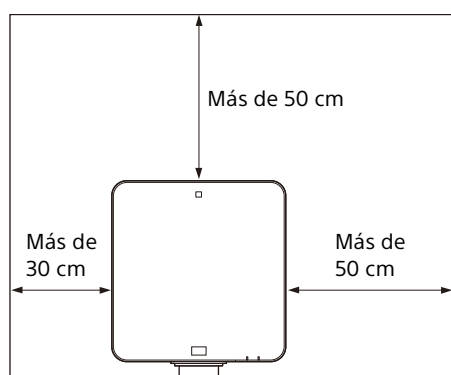


Instale un cable de seguridad entre las partes delantera y trasera de los orificios de tornillo para montaje en el techo. (El cable de seguridad no está incluido con el proyector.)

Sobre la instalación

- Cuando instale la unidad, deje espacio entre cualquier pared o similar y la unidad como se muestra en la ilustración.

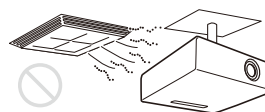
Vista superior



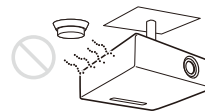
- Evite utilizar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.



- Evite instalar la unidad en lugares expuestos a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aparato de climatización. Si se instala en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o a un aumento de temperatura.



- Evite instalar la unidad en una ubicación cercana a un sensor de calor o de humo. Si se instala en una ubicación de estas características, podría provocar un fallo de funcionamiento del sensor.



- Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro del aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente.



- Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, ajuste la opción "Modo gran altitud" del menú Instalación en "Sí". Si no se establece este modo cuando se utiliza la unidad a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.
- Ajuste la altitud de instalación correcta en el menú Instalación de acuerdo con el ángulo de instalación. El uso prolongado de un ajuste incorrecto podría afectar a la fiabilidad del componente.

Limpieza del objetivo y de la carcasa

- Asegúrese de desconectar el cable de alimentación de CA de la toma de corriente de CA antes de limpiar la unidad.
- Si frota la unidad con un paño sucio, la carcasa podría rayarse.
- Si la unidad se expone a materiales volátiles, como insecticidas, o si está en contacto con algún producto de goma o resina de vinilo durante un período de tiempo prolongado, la unidad podría deteriorarse o el recubrimiento podría desprenderse.
- No toque el objetivo con las manos desprotegidas.
- Acerca de la limpieza de la superficie del objetivo:
Limpie suavemente el objetivo con un paño suave, como una gamuza. Las manchas resistentes pueden eliminarse con un paño suave ligeramente humedecido con agua. No utilice nunca solventes como el alcohol, el benceno o los disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos.
- Acerca de la limpieza de la carcasa:
Limpie la carcasa suavemente con un paño suave. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño suave ligeramente humedecido en una solución detergente neutra previamente escurrido y, a continuación, pasando un paño suave y seco. No utilice nunca solventes como el alcohol, el benceno o los disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos.

Iluminación

Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.

Disipación de calor

La temperatura de la carcasa del proyector puede subir mientras se utiliza el equipo o inmediatamente después; sin embargo, esto no indica un problema de funcionamiento.

Pantalla

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y la unidad, o de la ampliación del zoom. Esto no significa una avería de la unidad.

Ventilador

Es posible que se produzca ruido, ya que el proyector está equipado con un ventilador en su interior para evitar que la temperatura interna aumente. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica un fallo de funcionamiento. Si, no obstante, se produce un ruido anómalo, consulte con personal especializado de Sony.

Acerca de los sonidos generados durante la función de limpieza automática

Cuando la función de limpieza automática de polvo está activada, pueden producirse sonidos de golpeteo. Tienen su origen en la estructura del proyector y no indican ningún fallo de funcionamiento.

Acerca de la sustitución del objetivo

No utilice ningún objetivo diferente del objetivo especificado como accesorio (vendido por separado).

Revisión de componentes relacionados con la fuente de luz

La unidad utiliza un láser, por lo que al realizar el mantenimiento o la revisión de componentes relacionados con la fuente de luz, es necesario trabajar con las máximas precauciones y en un entorno seguro. Pida siempre consejo a un técnico de Sony cualificado.

Proyector LCD

El proyector LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros o brillantes (rojos, azules o verdes), o ambos, de forma continua en el proyector. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.

Además, si utiliza varios proyectores LCD para proyectar en una pantalla, es posible que la reproducción de colores no sea igual en todos los proyectores, incluso si son del mismo modelo, ya que el balance de color puede estar configurado de manera distinta.

Acerca de la condensación

Si la temperatura de la habitación en la que se instala el proyector cambia rápidamente, o si el proyector se traslada súbitamente de un lugar muy frío a uno muy cálido, es posible que se produzca condensación en el proyector. La condensación puede provocar errores de funcionamiento, por lo que debe prestarse atención al ajustar la temperatura del aire acondicionado. Si se produce condensación, deje el proyector encendido durante dos horas antes de utilizarlo.

Notas sobre la seguridad

- SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO DEBIDOS A LA OMISIÓN DE LAS MEDIDAS DE SEGURIDAD ADECUADAS EN DISPOSITIVOS DE TRANSMISIÓN, FUGAS DE DATOS INEVITABLES DERIVADAS DE LAS ESPECIFICACIONES DE TRANSMISIÓN O PROBLEMAS DE SEGURIDAD DE CUALQUIER TIPO.
- En función del entorno operativo, es posible que terceros no autorizados en la red puedan acceder a la unidad. Al conectar la unidad a la red, confirme siempre que la red está correctamente protegida.

- Desde el punto de vista de la seguridad, al utilizar la unidad conectada a la red, se recomienda encarecidamente acceder a la ventana de control a través de un navegador web y modificar la limitación de acceso de los valores predeterminados de fábrica (consulte "Uso de las funciones de red" en el Manual de instrucciones). Asimismo, se recomienda cambiar la contraseña periódicamente.
- No visite otros sitios web con el navegador web mientras ajuste la configuración o justo después. El navegador web recuerda los ajustes de inicio de sesión, por lo que debe cerrarlo al completar la configuración para evitar que terceros no autorizados utilicen la unidad o evitar la instalación de programas maliciosos.

Notas

- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarla. SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR RECLAMACIONES DE NINGÚN TIPO REALIZADAS POR USUARIOS DE ESTA UNIDAD O POR TERCEROS.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE DE LA FINALIZACIÓN NI DE LA INTERRUPCIÓN, POR LA CIRCUNSTANCIA QUE FUERA, DE CUALQUIER SERVICIO RELACIONADO CON ESTA UNIDAD.

Comprobación de los accesorios suministrados

Mando a distancia RM-PJ30 (1)
 Pilas de tamaño AA (R6) (2)
 Cable de alimentación de CA (1)
 Sujeta-enchufe (1)
 Tapa del terminal (1)
 Manual de referencia rápida (este manual) (1)
 Manual de instrucciones (CD-ROM) (1)

Utilización de los manuales del CD-ROM

Los manuales pueden consultarse en un ordenador que tenga instalado Adobe Reader. Puede descargar la aplicación Adobe Reader de forma gratuita desde el sitio web de Adobe.

- 1 Abra el archivo "index.html" en el CD-ROM.
- 2 Seleccione el idioma del manual que desee consultar.

Nota

Si se le estropea o pierde el CD-ROM, podrá adquirir uno de sustitución a través de su distribuidor o de un representante de servicio de Sony.

Colocación de las pilas

PRECAUCIÓN

Se necesitan los tamaños y el número de pilas siguientes para el mando a distancia.

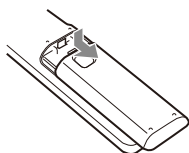
- Pila de tamaño AA (R6)
- 2 unidades

Para evitar el riesgo de explosión, utilice únicamente el siguiente tipo de pilas.

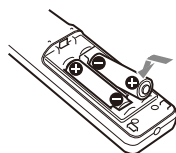
- Pila alcalina o de manganeso

- 1 Retire la tapa y coloque las dos pilas AA (R6) (suministradas) con la polaridad correcta.

Deslice la tapa mientras la presiona.



Asegúrese de instalar la pila comenzando por el lado ⊖.

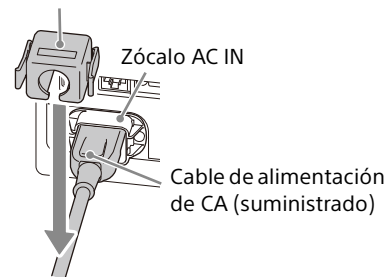


- 2 Vuelva a colocar la tapa.

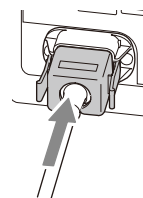
Conexión del cable de alimentación de CA

- 1 Enchufe el cable de alimentación de CA en el zócalo AC IN; seguidamente, fije el sujeta-enchufe al cable de alimentación de CA.

Sujeta-enchufe (suministrado)



- 2 Deslice el sujeta-enchufe por el cable de alimentación de CA para fijarlo a la unidad.



Montaje del objetivo de proyección

Notas

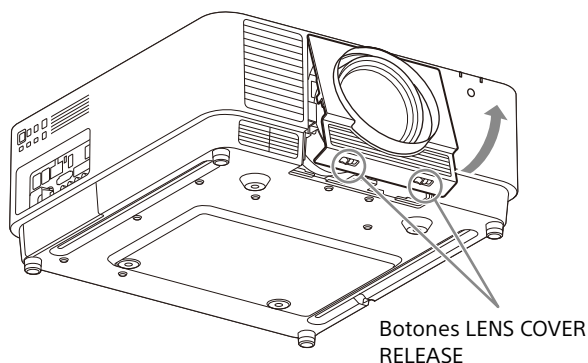
- Evite extraer/colocar el objetivo con el proyector instalado en el techo.
- Para obtener información sobre los objetivos de proyección que pueden utilizarse, consulte "Accesorios opcionales" en el Manual de instrucciones.
- No coloque ningún objetivo que no sea el objetivo accesorio especificado que se vende por separado.
- Asegúrese de no dejar caer el objetivo de proyección.
- Evite tocar la superficie del objetivo.

- 1 Apague el proyector y, a continuación, desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de corriente.

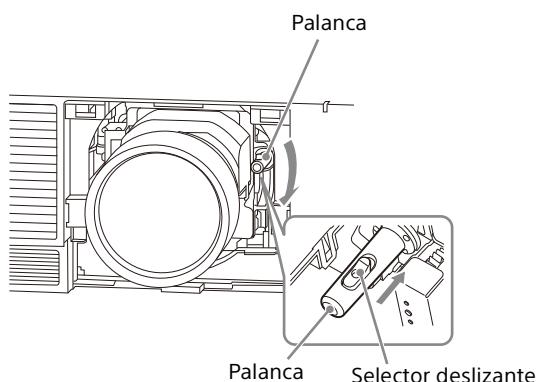
Precaución

Al sustituir el objetivo, puede sufrir daños en los ojos si una luz intensa incide accidentalmente en ellos. Antes de sustituir el objetivo, apague el proyector y, a continuación, desconecte el cable de alimentación de CA.

- 2** Desmonte la tapa del objetivo.
Mientras desliza los botones LENS COVER RELEASE hacia dentro, tire de la tapa del objetivo hasta que encaje en su posición.



- 3** Gire la superficie de contacto hacia la izquierda mirando hacia la parte frontal del objetivo e introduzca por completo el objetivo.
- 4** Mientras presiona el selector deslizante, baje la palanca hasta que encaje en su posición.



- 5** Monte la tapa del objetivo.
Coloque el borde superior de la tapa del objetivo sobre la cubierta superior del proyector y presiónelo hasta que encaje en su posición. A continuación, deslice los botones LENS COVER RELEASE hacia dentro y, al mismo tiempo, inserte la tapa del objetivo.

Aunque el objetivo esté montado, puede montar/desmontar la tapa del objetivo de la misma forma.

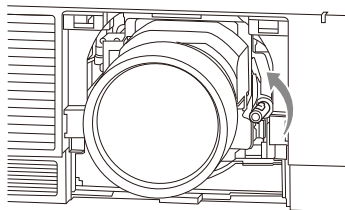
Desmontaje del objetivo de proyección

- 1** Vuelva a colocar el objetivo de proyección en la posición central.
Mientras el proyector esté encendido, pulse la tecla LENS SHIFT del mando a distancia y, a continuación, pulse la tecla RESET. El objetivo de proyección vuelve a la posición central.
- 2** Apague el proyector y, a continuación, desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de corriente.

Precaución

Al sustituir el objetivo, puede sufrir daños en los ojos si una luz intensa incide accidentalmente en ellos. Antes de sustituir el objetivo, apague el proyector y, a continuación, desconecte el cable de alimentación de CA.

- 3** Desmonte la tapa del objetivo.
- 4** Mientras presiona el selector deslizante, suba la palanca hasta el límite y extraiga el objetivo.



- 5** Monte la tapa del objetivo.

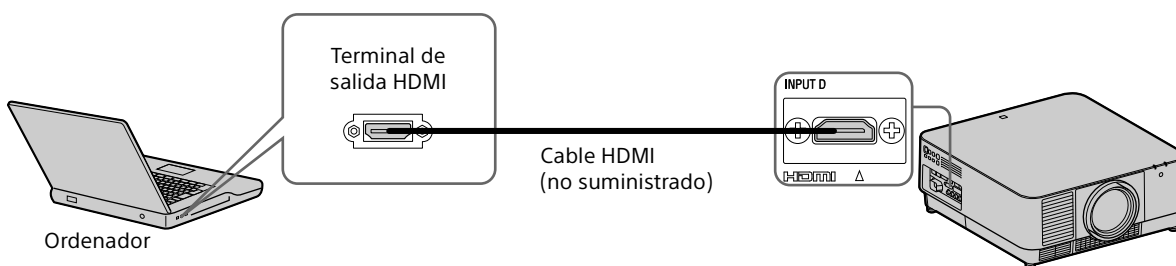
Notas

- Apague todos los dispositivos antes de realizar cualquier conexión.
- Utilice los cables apropiados para cada conexión.
- Inserte firmemente los enchufes de los cables; las conexiones mal realizadas pueden reducir la calidad de las señales de imagen o provocar una avería. Cuando desconecte un cable, asegúrese de sujetarlo por el enchufe, no del mismo cable.
- Para obtener más información, consulte también los manuales de instrucciones del dispositivo que vaya a conectar.

Conexión a un ordenador

INPUT D

Este terminal se utiliza al conectar el proyector a un ordenador con un terminal de salida HDMI.

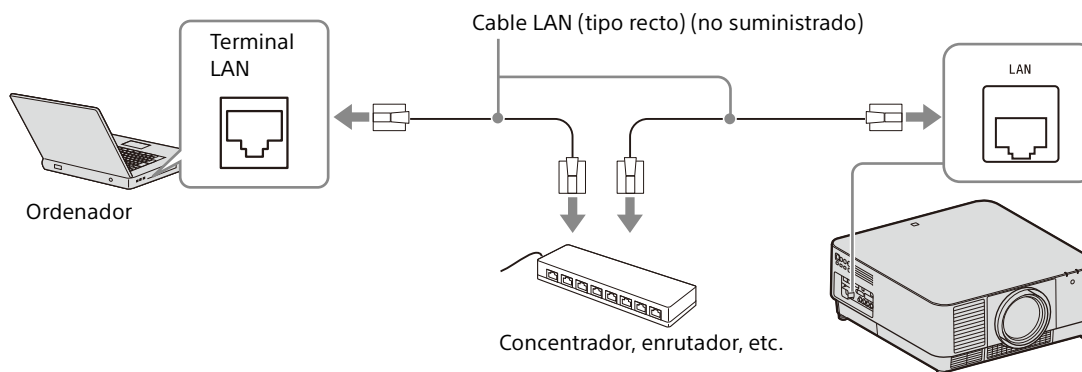


Notas

- Utilice dispositivos compatibles con HDMI con el logotipo HDMI.
- Utilice cables HDMI de alta velocidad en los que aparezca el logotipo del tipo de cable. (Se recomiendan los productos Sony.)
- El terminal HDMI de este proyector no es compatible con señales DSD (Direct Stream Digital, Flujo directo digital) o CEC (Consumer Electronics Control, Control de electrónica de consumo).

Conexión de un equipo de red

Utilización de un terminal LAN



Nota

Al utilizar las funciones de red a través del terminal LAN, asegúrese de comprobar si la opción "Ajuste LAN" está ajustada en "Pto. LAN".

Conexión a un dispositivo HDBaseT™

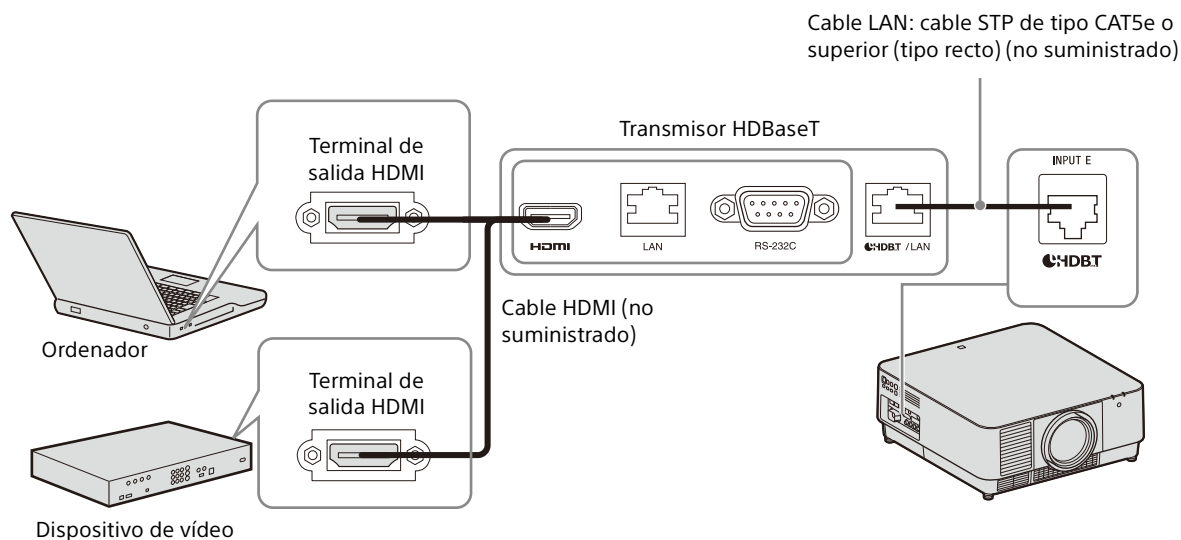
Para conectar el proyector a un ordenador, dispositivo de vídeo o equipo de red se utiliza el transmisor HDBaseT.

Notas para conectar esta unidad y el transmisor HDBaseT

- Consulte a un profesional o distribuidor de Sony para realizar el cableado. Si el cableado no es correcto, no se podrán utilizar las características de transmisión del cable, y la imagen puede interrumpirse o perder estabilidad.
- Conecte el cable directamente al transmisor HDBaseT sin pasar por un concentrador ni por un enrutador.
- Utilice cables que cumplan las condiciones que se exponen a continuación.
 - CAT5e o superior
 - Tipo apantallado (conectores cubiertos)
 - Conexión de cable recto
 - Cable sencillo
- Al instalar los cables, utilice un probador de cables, analizador de cables o dispositivo similar para comprobar si los cables cumplen el requisito CAT5e o superior. Si hay un conector de transición entre esta unidad y el transmisor HDBaseT, inclúyalo al medir.
- Para reducir el efecto del ruido, instale y use el cable de modo que no se enrolle y quede lo más recto posible.
- Instale el cable lejos de los demás cables (sobre todo del cable de alimentación).
- Al instalar varios cables, no los una, y procure que la distancia en paralelo entre ellos sea lo menor posible.
- La distancia de cobertura del cable es de 100 m como máximo. Si supera los 100 m, la imagen puede interrumpirse o pueden producirse fallos en la comunicación LAN. No utilice el transmisor HDBaseT más allá de la distancia de cobertura máxima del cable.
- En caso de problemas o averías provocados por dispositivos de otros fabricantes, póngase en contacto con el fabricante en cuestión.

Conexión a un ordenador/dispositivo de vídeo

INPUT E

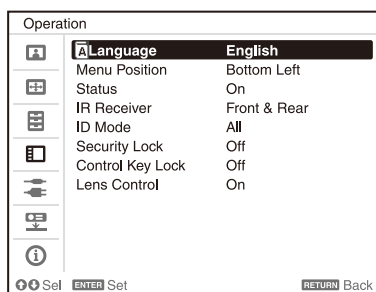


Para obtener información sobre otros métodos de conexión, consulte "Conexión del proyector" en el Manual de instrucciones incluido en el CD-ROM suministrado.

Selección del idioma del menú

El idioma predeterminado de fábrica para visualizar los menús, mensajes, etc. es el inglés. Para cambiar el idioma de las indicaciones en pantalla, haga lo siguiente:

- 1 Conecte el cable de alimentación de CA a una toma de pared.
- 2 Encienda el proyector.
Pulse la tecla I/⏻ de la unidad principal o la tecla I del mando a distancia.
- 3 Pulse la tecla MENU para visualizar el menú.
Si la pantalla no se visualiza correctamente, ajuste el enfoque, el tamaño y la posición de la imagen proyectada (Página 18).
- 4 Seleccione el idioma del menú.
 - ① Pulse la tecla ↑ o ↓ para seleccionar el menú Operation (E) y, a continuación, pulse la tecla ENTER.
 - ② Pulse la tecla ↑ o ↓ para seleccionar "Language (A)" y, a continuación, pulse la tecla ENTER.
- 5 Pulse la tecla MENU para desactivar la pantalla de menú.



Proyección de una imagen

El tamaño de una imagen proyectada depende del objetivo instalado o de la distancia existente entre el proyector y la pantalla. Coloque el proyector de modo que la imagen proyectada se ajuste al tamaño de la pantalla. Para obtener más información sobre las distancias de proyección y los tamaños de las imágenes proyectadas, consulte "Distancia de proyección y rango de desplazamiento del objetivo" en el Manual de instrucciones.

- 1 Conecte el cable de alimentación de CA a una toma de pared.
- 2 Conecte todos los dispositivos necesarios al proyector (Página 15).
- 3 Encienda el proyector.
Pulse la tecla I/⏻ en la unidad principal o la tecla I del mando a distancia.
- 4 Encienda el dispositivo conectado.
- 5 Seleccione la fuente de entrada.
Pulse la tecla INPUT del proyector o el mando a distancia para visualizar la ventana de selección de entrada. Pulse la tecla INPUT varias veces o la tecla ↑/↓ para seleccionar la imagen que se va a proyectar. El icono de señal -E- aparece en el lado derecho de la ventana de selección de entrada cuando se recibe una señal de entrada.^{*1}
También puede seleccionar una señal de entrada en el mando a distancia.
- 6 Cambie el destino de salida de la pantalla del ordenador por una pantalla externa.
La manera de cambiar el destino de salida variará en función del tipo de ordenador.
(Ejemplo)



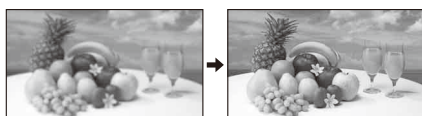
- 7 Ajuste la imagen proyectada (Página 18).

Apagado de la alimentación

- 1 Pulse la tecla I/⏻ en la unidad principal o la tecla ⏻ del mando a distancia.
Se inicia el proceso de apagado y el proyector pasa al modo de espera.
- 2 Desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de pared.

Ajuste de la imagen proyectada

Enfoque de la imagen (enfoque)

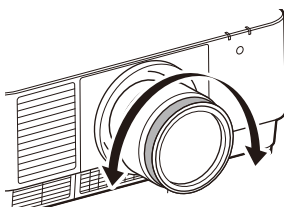


Cuando coloque el objetivo de enfoque eléctrico

Pulse la tecla FOCUS del proyector o del mando a distancia y, a continuación, pulse la tecla **↑/↓/←/→**.

Cuando coloque el objetivo de enfoque manual

Gire el anillo de enfoque.



Ajuste del tamaño de imagen (zoom)

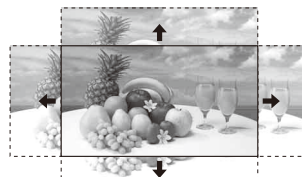


Cuando coloque el objetivo de zoom eléctrico

Pulse la tecla ZOOM del proyector o del mando a distancia y, a continuación, pulse la tecla **↑/↓/←/→**.

Ajuste de la posición de la imagen (desplazamiento del objetivo)

Pulse la tecla LENS SHIFT/SHIFT del proyector o del mando a distancia y, a continuación, pulse la tecla **↑/↓/←/→**.

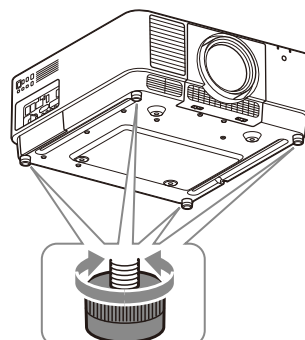


Para volver a colocar el objetivo en la posición central de la imagen proyectada

Pulse la tecla RESET del mando a distancia mientras realiza el ajuste de la posición de la imagen.

Ajuste de la inclinación del proyector con el pie ajustable

Cuando el proyector está colocado en una superficie irregular, puede ajustar su posición utilizando el pie ajustable.



Notas

- Tenga cuidado para no pillarse los dedos.
- No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior del proyector cuando el pie ajustable esté extendido. Puede producirse un problema de funcionamiento.

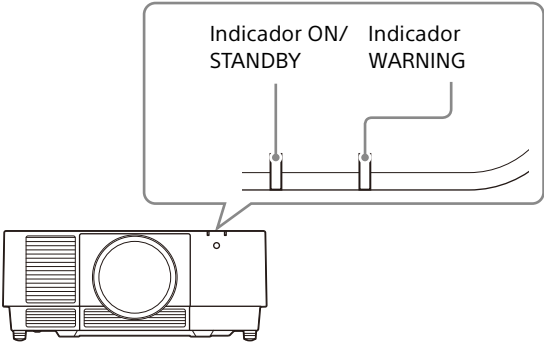
Visualización de un patrón para ajustar una imagen

Puede visualizar un patrón para ajustar la imagen proyectada con la tecla PATTERN del mando a distancia. Utilice **↑/↓** para cambiar el patrón y **←/→** para cambiar su color. Vuelva a pulsar la tecla PATTERN para restablecer la imagen anterior.

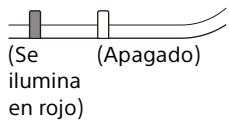
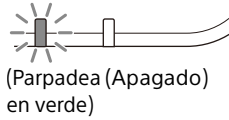
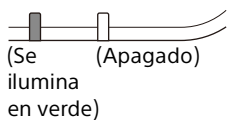
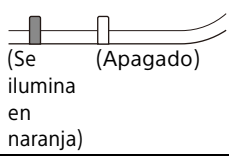
Si necesita realizar otros ajustes en las imágenes proyectadas, consulte "Proyección/Ajuste de una imagen" en el Manual de instrucciones incluido en el CD-ROM suministrado.

Indicadores

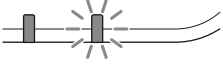
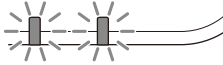
Puede comprobar el estado del proyector o si existe algún tipo de anomalía comprobando el estado de iluminación/parpadeo del indicador ON/STANDBY y del indicador WARNING de la parte frontal. Si los indicadores parpadean en rojo, solucione el problema de acuerdo con “Soluciones e indicadores de advertencia” (Página 20).



Indicación de estado

Estado del indicador	Estado de funcionamiento	Descripción
 (Se ilumina en rojo)	Espera	La alimentación se suministra al proyector y este se encuentra en el modo Espera de acuerdo con la configuración.
 (Parpadea (Apagado) en verde)	Calentamiento	El proyector se calienta después de encenderlo o si hay una actualización de software en curso.
 (Se ilumina en verde)	A punto	El proyector está listo para la proyección.
 (Se ilumina en naranja)	Otro estado de espera	El proyector está en el modo de espera Sin entrada (Apagado luz) o Reinicio rápido.

Soluciones e indicadores de advertencia

Estado del indicador	Número de parpadeos	Significado/Solución
 (Se ilumina en rojo) (Parpadea en rojo)	Dos veces	La cubierta del filtro o el filtro de aire no se han instalado de forma segura. Compruebe cómo se han instalado la cubierta del filtro o el filtro de aire e instálelos de forma segura (Página 21).
	Tres veces	La fuente de luz no se enciende correctamente. Desconecte el cable de alimentación de CA y asegúrese de que el indicador ON/STANDBY se apague y, a continuación, conecte el cable de alimentación de CA en la toma de corriente y encienda el proyector.
	Cuatro veces	Se ha detectado un error durante la actualización del software de la unidad. Desconecte el cable de alimentación de CA y asegúrese de que el indicador ON/STANDBY se apaga. Compruebe la conexión USB o LAN antes de conectar el cable de alimentación de CA a la toma de pared y encender el proyector. A continuación, actualice de nuevo el software.
	Seis veces	Se detecta un golpe fuerte en el proyector. Si no detecta ninguna anomalía a simple vista, desconecte el cable de alimentación de CA y asegúrese de que el indicador ON/STANDBY se apague y, a continuación, conecte el cable de alimentación de CA en la toma de corriente y encienda el proyector.
	Ocho veces	El objetivo no está montado correctamente. Compruebe cómo se ha colocado el objetivo e instálelo de forma segura (Página 13).
 (Parpadea en rojo) (Parpadea en rojo) Ambos indicadores parpadean	Dos veces	La temperatura del proyector es anómala. Realice las siguientes acciones. • Compruebe si el filtro de aire está obstruido y, a continuación, límpielo o vuelva a colocarlo (Página 21). • Compruebe que los orificios de ventilación (entrada/salida) no estén bloqueados por la pared u otro objeto y deje suficiente espacio. • Compruebe la temperatura ambiente y utilice el proyector dentro del rango de temperatura de funcionamiento.

Si los indicadores parpadean de otra forma diferente a la descrita anteriormente, desconecte el cable de alimentación de CA y asegúrese de que el indicador ON/STANDBY se apague y, a continuación, conecte el cable de alimentación de CA en la toma de corriente y encienda el proyector.
Si el problema persiste, consulte con personal especializado de Sony.

Si tiene cualquier problema o aparece un mensaje de error en la pantalla, consulte "Lista de mensajes" o "Solución de problemas" en el Manual de instrucciones incluido en el CD-ROM suministrado.

Limpieza del filtro de aire

Cuando aparezca un mensaje que indica limpiar el filtro de aire, límpielo.

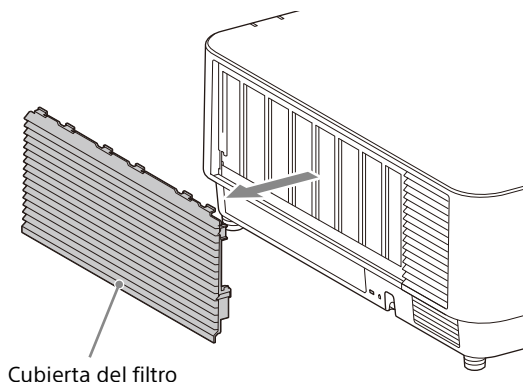
Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire incluso después de haberlo limpiado, sustitúyalo por uno nuevo.

Para obtener información detallada sobre un nuevo filtro de aire, consulte con personal especializado de Sony.

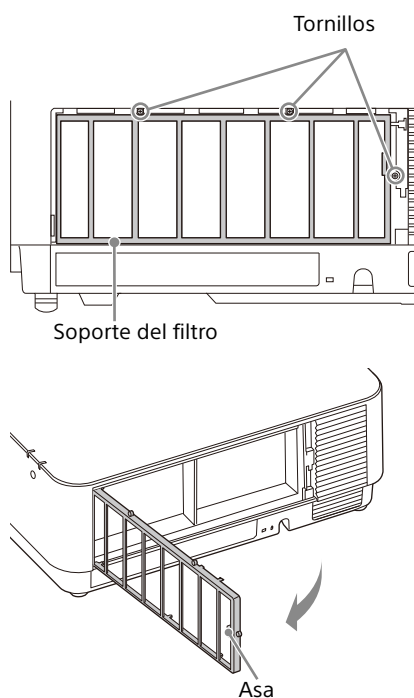
Precaución

Si continúa utilizando el proyector después de que aparezca el mensaje, es posible que se acumule el polvo y lo obstruya. Como consecuencia, la temperatura puede aumentar en el interior de la unidad, lo que podría provocar un fallo de funcionamiento o un incendio.

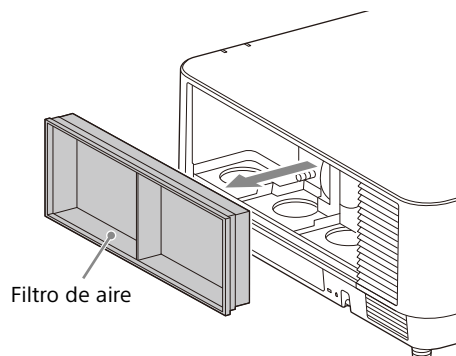
- 1 Apague el proyector y desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de corriente.
- 2 Deslice hacia abajo la cubierta del filtro presionando sus bordes superiores en los dos lados para retirarla.



- 3 Afloje los tornillos (tres) y extraiga el soporte del filtro sujetándola por el asa del lado derecho y girando el soporte del filtro.

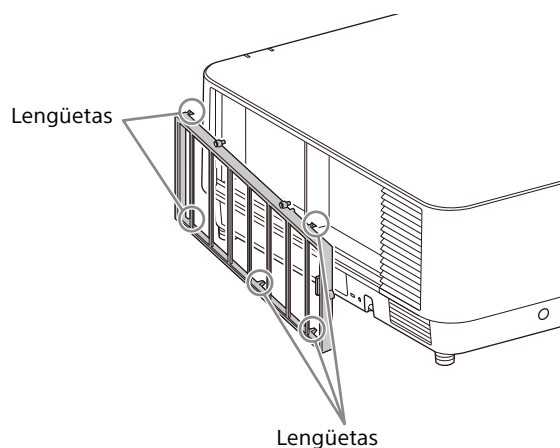


- 4 Extraiga el filtro de aire de la unidad principal.

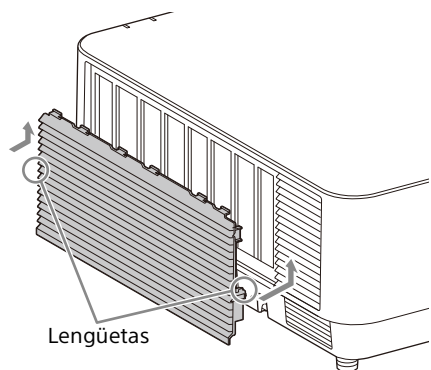


- 5 Limpie el filtro de aire con un aspirador.

- 6** Vuelva a colocar el filtro de aire y coloque el soporte del filtro.
Al montar el soporte del filtro, inserte primero las dos lengüetas de la izquierda, después las tres de la derecha y, a continuación, apriete los tres tornillos.



- 7** Introduzca las lengüetas de la cubierta del filtro y deslice la cubierta del filtro hacia arriba.



Nota

Asegúrese de sujetar firmemente el filtro de aire; la alimentación no se puede encender si no está colocado con seguridad.

Informationen zur Kurzreferenz

In dieser Kurzreferenz werden die Grundfunktionen für das Projizieren von Bildern erläutert. Es werden auch wichtige Hinweise und Vorsichtsmaßnahmen erläutert, die Sie bei Handhabung und Gebrauch dieses Geräts beachten müssen.

Schlagen Sie bei Bedarf unter „Anzeigen“ und „Reinigen des Luftfilters“ nach.

Einzelheiten zu den Bedienungsvorgängen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Schritt 1

Vorbereitung Seite 13

Schritt 2

Anschlüsse Seite 16

Schritt 3

Projizieren..... Seite 18

Anzeigen Seite 20

Reinigen des Luftfilters Seite 22

Bitte lesen Sie dieses Handbuch vor der Benutzung des Geräts sorgfältig durch und bewahren Sie es zum späteren Nachschlagen auf.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden. Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG

Dieses Gerät muss geerdet werden.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

VORSICHT

- Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.
- Beachten Sie beim der Entsorgung des Akkus oder des Geräts die örtlichen Vorschriften. Entsorgen Sie den Akku oder das Gerät nicht durch Verbrennen. Erhitzen Sie den Akku nicht, und beschädigen Sie ihn nicht. Andernfalls besteht Explosions- und Brandgefahr. Setzen Sie den Akku keinem extrem niedrigen Luftdruck aus, der zu einer Explosion oder dem Austreten brennbarer Flüssigkeiten oder Gase führen könnte.
- Setzen Sie den Akku keinen hohen Temperaturen aus wie etwa in direkter Sonneneinstrahlung oder in der Nähe von Wärmequellen. Er kann sich entzünden, explodieren oder einen Brand verursachen. Halten Sie den Akku fern von Wasser und Salzwasser. Andernfalls besteht Stromschlaggefahr.

VORSICHT

Hinweis zum LAN-Anschluss

Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/ Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

WARNUNG

Der Betrieb dieses Geräts in Wohnbereichen kann Funkstörungen verursachen.

Für Kunden in Europa

Dieser Apparat darf nicht im Wohnbereich verwendet werden.

Sicherheitswarnung für Laser und Lichtintensität



IEC 60825-1:2014
LASERPRODUKT DER KLASSE 1

WARNUNG: Schauen Sie nicht in das Objektiv, während es verwendet wird.

VORSICHT

Bei Betätigung von Bedien- und Einstellteilen oder Ausführung von Bedienvorgängen, die nicht ausdrücklich in dieser Bedienungsanleitung aufgeführt sind, droht u.U. die Einwirkung gefährlicher Laserstrahlung.

Vorsicht

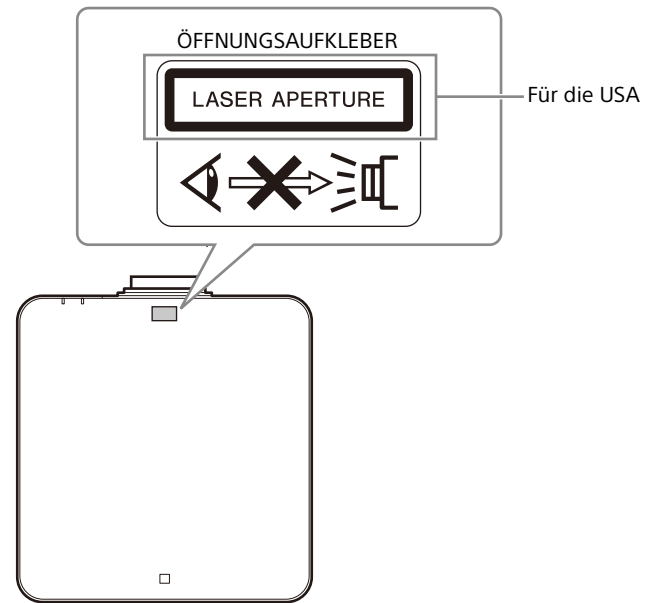
Der Einsatz von optischen Hilfen bei Benutzung dieses Produktes verstärkt die Gefahr von Augenschäden.

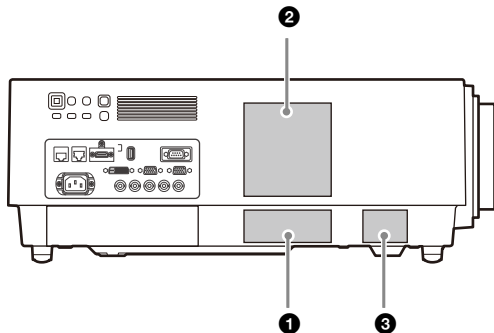
Schauen Sie wie bei jeder hellen Lichtquelle nicht in den Strahl, siehe RG2 IEC 62471-5:2015.

WARNUNG

- Die Augen dürfen dem Strahl nicht direkt ausgesetzt werden
- Der Bediener muss den Zugang zum Strahl innerhalb des Gefahrenabstands kontrollieren oder das Gerät in einer Höhe aufstellen, in welcher der direkte Blick in den Strahl innerhalb des Gefahrenabstands nicht möglich ist

Position der Aufkleber





① Aufkleber mit Erläuterung zur Risikogruppe (Für Länder außerhalb der USA)

注意 ビームをのぞきまなないこと RG2 このプロジェクタは、投射比が 3.4より大きい交換レンズを装着 すると、RG3になることがある。 運転前に取扱説明書のレンズ一覧 と警告距離を参照すること。 RG3になるプロジェクタとレンズ の組み合わせは、業務用であって、 民生用ではない。	Caution Do not stare into the beam RG2 This projector may become RG3 when an interchangeable lens with throw ratio greater than 3.4 is installed. Refer to the manual for the lens list and hazard distance before operation. Such combinations of projector and lens are intended for professional use only, and are not intended for consumer use.
--	--

② Aufkleber mit Erläuterung zur Risikogruppe

Attention Ne pas regarder fixement dans le faisceau RG2 Ce projecteur peut passer au Groupe de risque RG3 lorsqu'un objectif interchangeable dont le rapport de projection est supérieur à 3.4 est installé. Consultez le manuel pour voir la liste des objectifs et la distance de risque avant de faire fonctionner le projecteur. De telles combinaisons du projecteur et de l'objectif sont destinées à une utilisation exclusivement professionnelle, pas à une utilisation par les consommateurs.	Vorsicht Schauen Sie nicht länger in den Strahl RG2 Dieser Projektor ist unter Umständen als RG3 einzustufen, wenn ein Wechselobjektiv mit einem größeren Projektionsverhältnis als 3,4 installiert wird. Schlagen Sie vor dem Betrieb im Handbuch die Objektivliste und den Gefahrenabstand nach. Solche Kombinationen von Projektor und Objektiv sind ausschließlich auf den professionellen Betrieb ausgelegt und nicht für private Zwecke gedacht.
Precaución No mire directamente al haz RG2 Este proyector puede pasar a ser de tipo RG3 si se instala un objetivo intercambiable con una relación de proyección superior a 3.4. Consulte el manual para ver una lista de objetivos y la distancia de riesgo antes de la utilización. Estas combinaciones de proyector y objetivo están pensadas únicamente para usos profesionales y no para su utilización por parte de los consumidores.	Осторожно Не смотрите в луч RG2 Этот проектор может стать RG3, когда установлен сменный объектив с коэффициентом проекционного отношения, превышающим 3.4. Перед началом работы ознакомьтесь с руководством по применению для получения информации о перечне перечне объективов и опасном расстоянии. Такие комбинации проектора и объектива предназначены только для профессионального использования и не предназначены для использования потребителями в личных целях.
Attenzione Non fissare il raggio RG2 Il presente proiettore può diventare RG3 se si installa un obiettivo intercambiabile con rapporto di proiezione maggiore di 3.4. Per l'elenco degli obiettivi e la distanza di pericolo, consultare il manuale prima dell'utilizzo. Tali combinazioni di proiettore e obiettivo sono previste solo per uso professionale e non per l'uso personale.	Försiktighet! Titta inte rakt in i strålen RG2 Denna projektor kan bli RG3 när ett utbytbar objektiv med ett projiceringsförhållande som är större än 3.4 monteras. Se handboken för en lista över objektiv och riskavstånd före användning. Sådana kombinationer av projektorer och objektiv är endast avsedda för professionell användning och inte för användning av konsument.

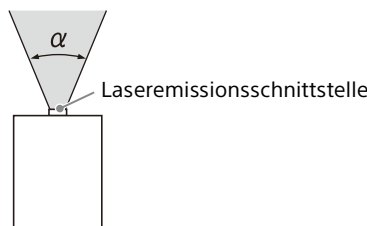
③ AUFKLEBER MIT DEM HINWEIS ZUR KLASSE 1/ KLASSE 3R



Technische Daten der Lichtquelle

4,7-W-Laserdioden
× 64 (VPL-FHZ120L)
× 48 (VPL-FHZ90L)
Wellenlänge: 450 - 460 nm

Ablenkungswinkel des Strahls vom Objektiv dieses Geräts

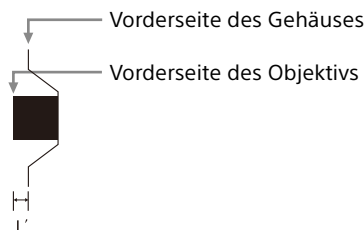


Objektiv	Maximaler Zoom: α	Minimaler Zoom: α
VPLL-4008	61°	—
VPLL-Z4015	49°	33°
VPLL-Z4111	35°	27°
VPLL-Z4019	28°	22°
VPLL-Z4025	22°	12°
VPLL-Z4045	12°	7°

Die Entfernung L' zwischen der Vorderseite des Objektivs (Mitte) und der Vorderseite des Gehäuses

Einheit: mm

Objektiv	L'
VPLL-4008	98
VPLL-Z4015	88
VPLL-Z4111	123
VPLL-Z4019	67
VPLL-Z4025	96
VPLL-Z4045	93



SICHERHEITSWARNUNG ZUM VERMEIDEN VON AUGENSCHÄDEN

Dieses Produkt wird gemäß IEC 62471-5:2015 in Risikogruppe 2 (RG2) eingestuft, gehört aber bei Verwendung eines Objektivs mit hohem Projektionsverhältnis (TR) zu Risikogruppe 3 (RG3).



WARNUNG

OBJEKTIVE DER RISIKOGRUPPE 3 (RG3) SIND AUSSCHLIESSLICH AUF DECKENINSTALLATION AUSGELEGT. EINE ANDERE INSTALLATION IST UNZULÄSSIG.

WENDEN SIE SICH VOR DEM GEBRAUCH SOLCHER OBJEKTIVE BITTE AN EINEN AUTORISIERTEN HÄNDLER VON SONY.

RG2-Projektoren können in allen Situationen sicher eingesetzt werden, allerdings nicht bei direktem Blick in den Strahl aus kurzer Distanz. **Schauen Sie wie bei allen hellen Lichtquellen nicht längere Zeit in den Strahl – RG2 IEC 62471-5:2015**

Produkte der Risikogruppe 3 (RG3) stellen auch bei kurzzeitiger Exposition durch direkten Blick in den Strahl aus kurzer Distanz (im Gefahrenabstand) eine potenzielle Gefahr dar.

Die Augen dürfen dem Strahl nicht direkt ausgesetzt werden – RG3 IEC 62471-5:2015

Die folgende Tabelle enthält Werte für den Gefahrenabstand der einzelnen Wechselobjektive dieses Produkts.

X: zulässig —: unzulässig

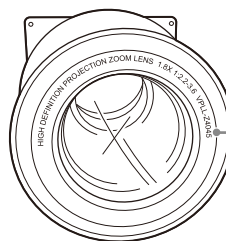
Objektivtyp	Projektionsverhältnis (*1)	Gefahrenabstand Einheit: m	Tischinstallation	Deckeninstallation	Beschreibung Objektivtyp
VPLL-4008	1,0	Nicht verfügbar (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4111	1,3 – 2,0	Nicht verfügbar (RG2)	X	X	—

Objektivtyp	Projektionsverhältnis (*1)	Gefahrenabstand Einheit: m	Tischinstallation	Deckeninstallation	Beschreibung Objektivtyp
VPLL-Z4015	1,9 – 2,4	Nicht verfügbar (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4019	2,4 – 3,1	Nicht verfügbar (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4025	3,0 – 3,4	Nicht verfügbar (RG2)	—	X (*2)	X
	3,4 – 4,1	1,1 (RG3)			
	4,1 – 4,8	1,2 (RG3)			
	4,8 – 5,5	1,3 (RG3)			
	5,5 – 5,6	1,4 (RG3)			
VPLL-Z4045	5,6 – 6,5	2,1 (RG3)	—	X (*2)	X
	6,5 – 8,6	2,2 (RG3)			
	8,6 – 9,6	2,3 (RG3)			

*1: Projektionsgröße (H) geteilt durch die Projektionsentfernung
Das Projektionsverhältnis hängt vom Projektor ab, mit dem die einzelnen Objektive verwendet werden. Die Werte oben gelten für die Modelle VPL-FHZ120L und VPL-FHZ90L.

*2: Diese Kombinationen sind ausschließlich auf den professionellen Betrieb ausgelegt und nicht für private Zwecke gedacht.

Für Einzelheiten zur Installation wenden Sie sich an Ihren autorisierten Sony-Händler vor Ort oder an qualifizierte Sony-Mitarbeiter.



Der Objektivtyp ist vorne am Objektiv angegeben.

Der Projektionsbereich zwischen Objektiv und Gefahrenabstand wird als Gefahrenbereich bezeichnet (siehe die folgenden Abbildungen). Innerhalb des Gefahrenbereichs übersteigt die Lichtintensität den M.P.E.-Wert (Maximum Permissible Exposure - maximal zulässige Bestrahlung (MZB)) für die Augenhornhaut. Es ist für den Bediener oder Zuschauer gefährlich, direkt in den Lichtstrahl zu schauen.

Sichere Installation (für Produkte mit angebrachtem RG3-Objektiv)

Beachten Sie bei der Installation eines RG3-Produkts die Installationsbeispiele unten und gehen Sie folgendermaßen vor.

- Installieren Sie das Produkt an einem Ort mit ausreichender Höhe (mindestens 2,5 m) über dem Fußboden, um zu verhindern, dass Personen innerhalb des Gefahrenbereichs in den Lichtstrahl blicken.
- Bringen Sie physische Barrieren (oder Warnzeichen auf dem Fußboden) an, damit Zuschauer den Gefahrenbereich nicht versehentlich betreten.

Sicherer Betrieb

Wenn Sie das RG3-Produkt nicht in ausreichender Höhe installieren, sollten die Bediener den Zutritt zum Gefahrenbereich für Zuschauer absperren. Wenn dennoch eine Person den Gefahrenbereich betritt, schalten Sie das Produkt aus oder drücken Sie die Taste BLANK, um das Bild vorübergehend auszuschalten.

Stellen Sie auch bei Verwendung eines RG2-Produkts sicher, dass Zuschauer nicht aus kurzer Distanz direkt in den Strahl schauen.

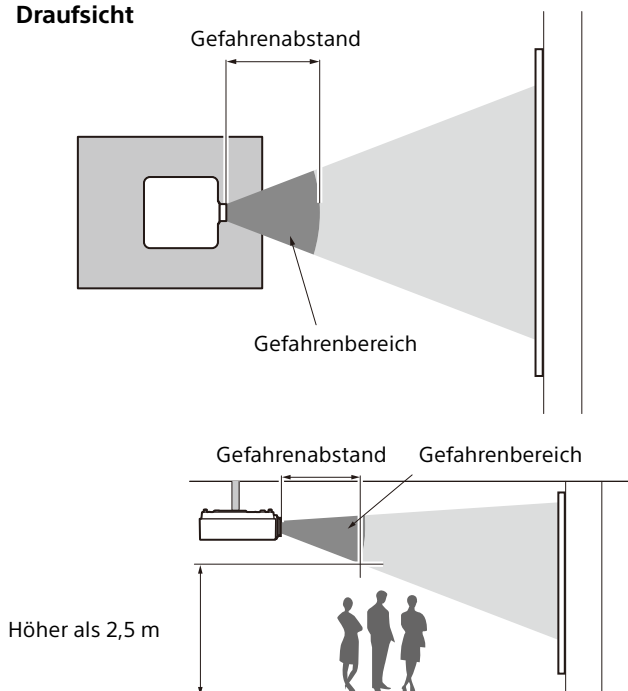
Sichere Wartung (für Produkte mit angebrachtem RG3-Objektiv)

Die Wartung des RG3-Produkts darf nur von qualifiziertem Kundendienstpersonal vorgenommen werden.

RG3-Produkt: Gefahrenabstand und -bereich

Deckeninstallation des RG3-Produkts

Draufsicht



Projektoren mit einem RG3-Objektiv sind ausschließlich auf den professionellen Betrieb ausgelegt und nicht für private Zwecke gedacht. Für Einzelheiten zur Installation wenden Sie sich an Ihren autorisierten Sony-Händler vor Ort oder an qualifizierte Sony-Mitarbeiter.

Vorsichtsmaßnahmen

Info zur Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony- Personal.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertes Sony- Personal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an der Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Schauen Sie nicht in das Objektiv, während es verwendet wird.
- Lassen Sie Kinder das Gerät nicht allein betätigen.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen fern — die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie beim Einstellen der Höhe des Geräts darauf, dass Sie sich nicht die Finger an den Füßen (einstellbar) einklemmen. Vermeiden Sie festes Drücken auf die Oberseite des Gerätes bei ausgefahrenem Einstellfuß.
- Achten Sie darauf, dass Sie das Gerät zu zweit tragen und dabei an beiden Seiten festhalten.
- Vermeiden Sie die Benutzung eines Verlängerungskabels mit niedriger Spannungsgrenze, weil es einen Kurzschluss und Sachschäden verursachen kann.
- Klemmen Sie sich nicht die Finger zwischen dem Projektor und der Bodenfläche, wenn Sie den auf den Boden gestellten Projektor bewegen.
- Achten Sie darauf, dass Ihre Finger nicht vom Lüfter erfasst werden.
- Tragen Sie den Projektor nicht mit aufgesetztem Gehäuse und offener Abdeckung.

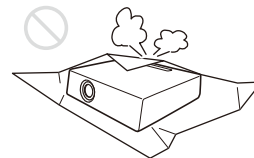
- Installieren Sie den Projektor nicht in der Nähe von Wärmequellen, wie z.B. Heizkörpern oder Warmluftauslässen, oder an Orten, die direktem Sonnenlicht, starkem Staubniederschlag oder Feuchtigkeit, Vibrationen oder Erschütterungen ausgesetzt sind.
- Wenn die Lüftungsöffnungen blockiert sind, staut sich im Geräteinneren die Wärme und es kann zu einem Brand oder Schäden am Gerät kommen. Befolgen Sie die unten aufgeführten Punkte, um eine angemessene Luftzirkulation zu gewährleisten und einen Wärmestau im Geräteinneren zu vermeiden.
- Stellen Sie das Gerät in einem ausreichenden Abstand von Wänden oder Gegenständen auf (Seite 10).



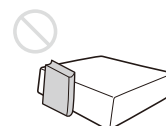
- Blockieren Sie die Lüftungsöffnungen (Auslass/ Einlass) nicht durch irgendwelche Gegenstände.



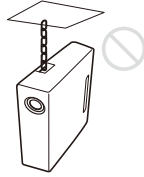
- Platzieren Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie dem Originalverpackungsmaterial, einem weichen Tuch, Papier, Teppichen oder Papierresten. Diese Materialien können durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.



- Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor das Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Mit der Funktionstaste der Bildabschaltung können Sie das Bild abschalten.



- Nutzen Sie den Sicherheitsriegel nicht, um den Diebstahl des Geräts beim Transport oder der Montage des Geräts zu vermeiden. Wenn Sie das Gerät am Sicherheitsriegel aufheben oder es an diesem Riegel aufhängen, kann es herunterfallen und beschädigt werden und es kann zu Personenschäden kommen.



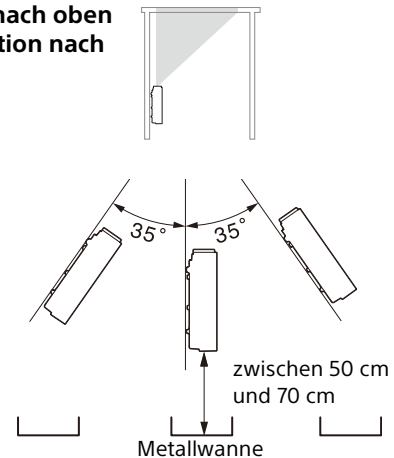
Für Händler

- Wenn der Projektor an der Decke montiert wird, muss zur Installation eine Sony-Halterung oder eine gleichwertige, empfohlene Vorrichtung verwendet werden.
- Sorgen Sie bei Deckenmontage für eine einwandfreie Sicherung der Gehäuseabdeckung.

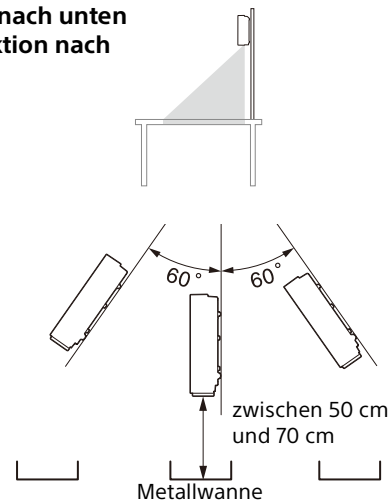
Vorsicht

Wenn das Gerät in dem in der Abbildung gezeigten Winkel installiert wird und die Lüftungsöffnungen nach unten weisen, müssen Sie direkt unter den Lüftungsöffnungen im unten angegebenen Abstand eine Metallwanne anbringen. Achten Sie darauf, dass keine Fremdkörper oder Flüssigkeiten in die Lüftungsöffnungen gelangen.

**Vorne nach oben
(Projektion nach oben)**



**Vorne nach unten
(Projektion nach unten)**

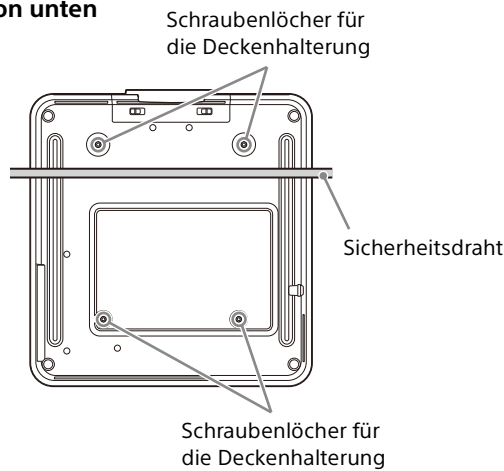


Sicherheitshinweise zur Montage des Geräts an der Decke

- Montieren Sie den Projektor auf keinen Fall selbst an der Decke und hängen Sie ihn nicht alleine um. Wenden Sie sich dazu unbedingt an das Geschäft, in dem Sie den Projektor gekauft haben, oder an einen Fachmonteur.

- Verwenden Sie bei der Montage des Geräts an der Decke unbedingt einen Sicherungsdraht o. Ä., damit das Gerät nicht herunterfallen kann. Wenden Sie sich für die Montage unbedingt an das Geschäft, in dem Sie den Projektor gekauft haben, oder an einen Fachmonteur.

Ansicht von unten

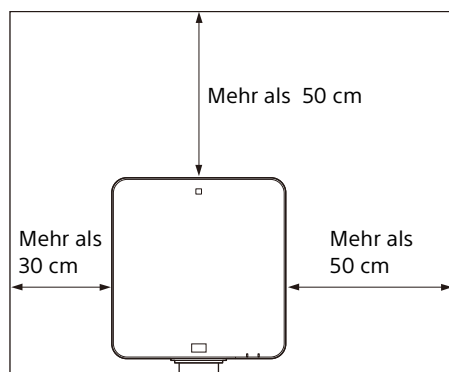


Setzen Sie einen Sicherungsdraht zwischen der Vorder- und Rückseite der Schraubenlöcher für die Deckenhalterung ein.
(Der Sicherungsdraht ist nicht im Lieferumfang des Projektors enthalten.)

Info zur Installation

- Halten Sie bei der Installation die Abstände zwischen Wänden usw. und dem Gerät gemäß der Abbildung ein.

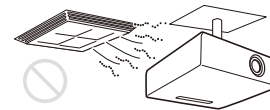
Draufsicht



- Vermeiden Sie die Verwendung des Geräts an einem Ort, an dem die Temperatur oder Luftfeuchtigkeit sehr hoch sind oder die Temperatur sehr niedrig ist.



- Vermeiden Sie die Aufstellung des Geräts an einem Ort, an dem es kühler oder warmer Luft von einer Klimaanlage ausgesetzt ist. Die Aufstellung an solch einem Ort kann aufgrund der Kondensation von Feuchtigkeit oder einem Temperaturanstieg zu Fehlfunktionen des Geräts führen.



- Vermeiden Sie die Aufstellung des Geräts in der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors. Die Aufstellung an solch einem Ort kann zu Fehlfunktionen des Sensors führen.



- Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann.



- Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, setzen Sie „Höhenlagenmodus“ im Menü Installation auf „Ein“. Wird dieser Modus bei Verwendung des Gerätes in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

- Stellen Sie im Menü Installation die richtige Einbaulage ein, die dem Installationswinkel entspricht. Wenn Sie längere Zeit die falsche Einstellung verwenden, wird möglicherweise die Zuverlässigkeit von Bauteilen beeinträchtigt.

Info zum Reinigen von Objektiv und Gehäuse

- Achten Sie darauf, das Netzkabel von der Netzsteckdose zu lösen, bevor Sie das Gerät reinigen.
- Wenn Sie das Gehäuse mit einem schmutzigen Tuch abwischen, kann das Gehäuse verkratzt werden.
- Wenn das Gerät flüchtigen Stoffen, wie z. B. Insektiziden, ausgesetzt ist, oder wenn das Gerät über längere Zeit in Kontakt mit einem Gummi- oder Vinylharzprodukt kommt, kann das Gerät beschädigt werden oder die Beschichtung kann sich lösen.
- Berühren Sie das Objektiv nicht mit bloßen Händen.
- Hinweise zur Reinigung der Objektivoberfläche: Wischen Sie das Objektiv vorsichtig mit einem weichen Tuch ab, wie z. B. mit einem Glasreinigungstuch. Hartnäckige Flecken können mit einem weichen Tuch entfernt werden, das leicht mit Wasser befeuchtet wurde. Verwenden Sie niemals Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner und verwenden Sie keine sauren, alkalischen oder aggressiven Reinigungsmittel oder chemische Reinigungstücher.
- Hinweise zur Reinigung des Gehäuses: Reinigen Sie das Gehäuse vorsichtig mit einem weichen Tuch. Hartnäckige Flecken können mit einem weichen Tuch entfernt werden, das leicht mit einer milden Reinigungslösung befeuchtet und ausgewrungen wurde. Wischen Sie das Gehäuse danach mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden Sie niemals Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner und verwenden Sie keine sauren, alkalischen oder aggressiven Reinigungsmittel oder chemische Reinigungstücher.

Info zur Beleuchtung

Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.

Hinweis zur Wärmeabstrahlung

Die Temperatur des Projektorgehäuses kann während oder unmittelbar nach dem Gebrauch ansteigen. Dies ist allerdings keine Fehlfunktion.

Hinweise zur Leinwand

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Gerät oder der Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Gerätes.

Hinweise zum Lüfter

Da der Projektor im Inneren mit einem Lüfter ausgestattet ist, der einen Anstieg der internen Temperatur verhindert, kann es zu einer gewissen Geräuschentwicklung kommen. Dies ist das normale Ergebnis des Herstellungsprozesses und stellt keine Fehlfunktion dar. Sie sollten sich aber an qualifiziertes Sony-Personal wenden, wenn es zu ungewöhnlichen Geräuschen kommt.

Hinweise zu den Geräuschen bei Verwendung der automatischen Reinigungsfunktion

Wenn die automatische Staubreinigungsfunktion aktiviert ist, sind Klopfgeräusche zu hören. Sie sind auf die Struktur des Projektors zurückzuführen und weisen nicht auf eine Fehlfunktion hin.

Austausch des Objektivs

Bringen Sie kein anderes Objektiv als das als Zubehör angegebene, gesondert erhältliche Objektiv an.

Hinweis zur Inspektion von zur Lichtquelle gehörenden Teilen

Da das Gerät mit einem Laser arbeitet, sind bei der Wartung oder Inspektion von zur Lichtquelle gehörenden Teilen besondere Vorsicht und eine sichere Umgebung erforderlich. Wenden Sie sich dazu unbedingt an qualifizierte Sony-Fachleute.

Info zum LCD-Projektor

Der LCD-Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Projektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung.

Wenn Sie mehrere LCD-Projektoren für die Projizierung auf einer Leinwand verwenden, kann außerdem selbst bei identischen Modellen die Farbwiedergabe bei den verschiedenen Projektoren variieren, da für jeden Projektor eigene Einstellungen der Farbbalance vorgenommen werden können.

Hinweis zur Kondensation

Wenn sich die Temperatur in dem Raum, in dem der Projektor aufgestellt ist, schnell ändert oder wenn der Projektor plötzlich von einem kalten an einen warmen Ort gebracht wird, kann es im Inneren des Projektors zu einer Kondensation kommen. Da die Kondensation zu einer Fehlfunktion führen kann, sollten Sie bei den Temperatureinstellungen einer Klimaanlage vorsichtig sein.

Lassen Sie den Projektor vor der Verwendung ungefähr zwei Stunden eingeschaltet, wenn es zu einer Kondensation gekommen ist.

Hinweise zur Sicherheit

- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART DURCH UNTERLASSENE GEEIGNETE SICHERHEITSMASSNAHMEN AN ÜBERTRAGUNGSGERÄTEN, DURCH UNVERMEIDBARE DATENPREISGABE AUFGRUND DER ÜBERTRAGUNGSSPEZIFIKATIONEN ODER DURCH SICHERHEITSPROBLEME JEDLICHER ART ÜBERNEHMEN.
- Je nach Betriebsumgebung können unbefugte Dritte im Netzwerk unter Umständen auf dieses Gerät zugreifen. Achten Sie beim Verbinden des Geräts mit dem Netzwerk darauf, dass das Netzwerk gut abgesichert ist.

- Vom Sicherheitsstandpunkt sollten Sie unbedingt über einen Webbrowser auf das Steuerfenster zugreifen und die werkseitig eingestellten Werte für die Zugriffseinschränkung ändern, wenn das Gerät mit dem Netzwerk verbunden ist (siehe „Die Netzwerkfunktionen“ in der Bedienungsanleitung). Es wird auch empfohlen, das Passwort regelmäßig zu ändern.
- Rufen Sie keine andere Website im Webbrowser auf, während Sie Einstellungen vornehmen oder nachdem Sie Einstellungen vorgenommen haben. Da der Anmeldestatus beim Webbrowser gespeichert bleibt, schließen Sie den Webbrowser, wenn Sie die Einstellungen abgeschlossen haben, um zu verhindern, dass unautorisierte Dritte das Gerät nutzen oder schädliche Programme ausführen.

Hinweise

- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR ANSPRÜCHE JEDER ART VON DEN BENUTZERN DIESES GERÄTS ODER VON DRITTER SEITE ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR DIE BEENDIGUNG ODER EINSTELLUNG VON DIENSTLEISTUNGEN BEZÜGLICH DIESES GERÄTS GLEICH AUS WELCHEM GRUND ÜBERNEHMEN.

Überprüfen des mitgelieferten Zubehörs

RM-PJ30-Fernbedienung (1)
Batterien der Größe AA (R6) (2)
Netzkabel (1)
Steckerhalter (1)
Anschlussabdeckung (1)
Kurzreferenz (vorliegende Anleitung) (1)
Bedienungsanleitung (CD-ROM) (1)

Verwenden der Anleitungen auf der CD-ROM

Die Anleitungen können auf einem Computer, auf dem der Adobe Reader installiert ist, angezeigt werden.

Sie können den Adobe Reader kostenlos von der Adobe-Website herunterladen.

- 1 Öffnen Sie die Datei „index.html“ auf der CD-ROM.
- 2 Wählen Sie die Sprache der Anleitung aus, die Sie anzeigen lassen möchten.

Hinweis

Wenn Sie die CD-ROM verloren oder beschädigt haben, können Sie Ersatz bei Ihrem Händler oder der Sony-Servicevertretung bestellen.

Einlegen der Batterien

VORSICHT

Batterien der folgenden Größe und in folgender Anzahl sind für die Fernbedienung erforderlich:

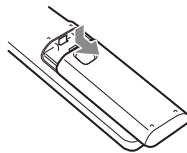
- Batterie der Größe AA (R6)
- 2 Stück

Verwenden Sie nur den folgenden Batterietyp, da andernfalls Explosionsgefahr besteht:

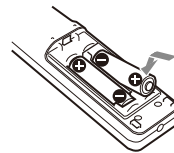
- Mangan- oder Alkalibatterie

- 1 Entfernen Sie die Abdeckung, und legen Sie dann die beiden Batterien der Größe AA (R6) (mitgeliefert) mit der richtigen Polarität ein.

Den Deckel drücken und schieben.



Die Batterien mit der Seite $\ominus$ zuerst einlegen.

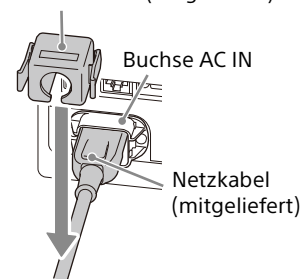


- 2 Bringen Sie den Deckel wieder an.

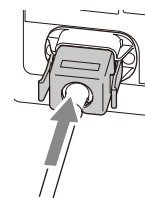
Anschließen des Netzkabels

- 1 Stecken Sie das Netzkabel in die Buchse AC IN und bringen Sie dann den Steckerhalter am Netzkabel an.

Steckerhalter (mitgeliefert)



- 2 Schieben Sie den Steckerhalter über das Netzkabel, um dieses am Gerät zu befestigen.



Anbringen des Projektionsobjektivs

Hinweise

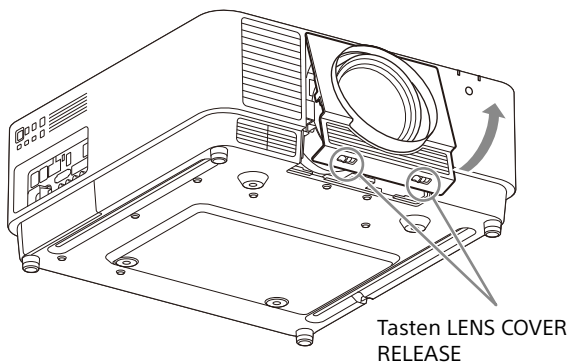
- Nehmen Sie das Objektiv möglichst nicht ab bzw. bringen Sie es nicht an, solange der Projektor an der Decke montiert ist.
- Die geeigneten Projektionsobjektive finden Sie unter „Sonderzubehör“ in der Bedienungsanleitung.
- Verwenden Sie ausschließlich die angegebenen, gesondert erhältlichen Zubehörobjective.
- Achten Sie darauf, das Projektionsobjektiv nicht fallen zu lassen.
- Berühren Sie die Objektivoberfläche möglichst nicht.

- 1 Schalten Sie den Projektor aus und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

Vorsicht

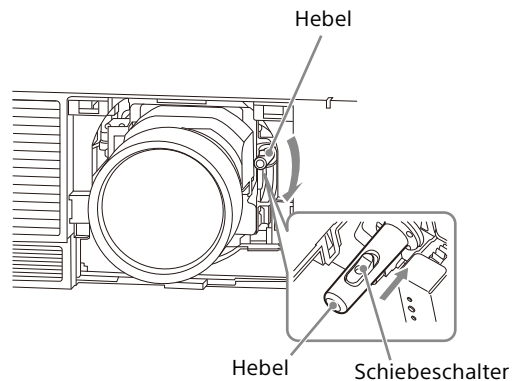
Wenn beim Auswechseln des Objektivs versehentlich sehr helles Licht in Ihre Augen fällt, kann dies zu Augenschäden führen. Schalten Sie vor dem Auswechseln des Objektivs den Projektor aus und lösen Sie das Netzkabel.

- 2 Nehmen Sie die Objektivabdeckung ab. Schieben Sie die Tasten LENS COVER RELEASE nach innen und ziehen Sie dabei die Objektivabdeckung heraus, bis sie hörbar einrastet.



- 3 Drehen Sie den Kontaktbereich von vorne auf das Objektiv schauend nach links und setzen Sie das Objektiv bis zum Anschlag ein.

- 4 Halten Sie den Schiebeschalter gedrückt und bewegen Sie den Hebel nach unten, bis er mit einem Klicken einrastet.



- 5 Bringen Sie die Objektivabdeckung an. Hängen Sie die obere Seite der Objektivabdeckung in die obere Abdeckung des Projektors ein und drücken Sie auf sie, bis sie hörbar einrastet. Schieben Sie die Tasten LENS COVER RELEASE nach innen und setzen Sie dabei die Objektivabdeckung ein.

Auch wenn das Objektiv angebracht ist, können Sie die Objektivabdeckung auf dieselbe Weise anbringen bzw. abnehmen.

Abnehmen des Projektionsobjektivs

- 1 Bringen Sie das Projektionsobjektiv in die mittlere Position. Drücken Sie bei eingeschaltetem Projektor die Taste LENS SHIFT auf der Fernbedienung und drücken Sie dann die Taste RESET auf der Fernbedienung. Das Projektionsobjektiv kehrt in die mittlere Position zurück.

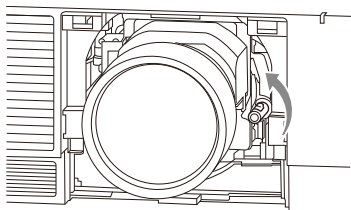
- 2 Schalten Sie den Projektor aus und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

Vorsicht

Wenn beim Auswechseln des Objektivs versehentlich sehr helles Licht in Ihre Augen fällt, kann dies zu Augenschäden führen. Schalten Sie vor dem Auswechseln des Objektivs den Projektor aus und lösen Sie das Netzkabel.

- 3 Nehmen Sie die Objektivabdeckung ab.

- 4** Halten Sie den Schiebeschalter gedrückt, bewegen Sie den Hebel ganz nach oben und ziehen Sie das Objektiv gerade heraus.



- 5** Bringen Sie die Objektivabdeckung an.

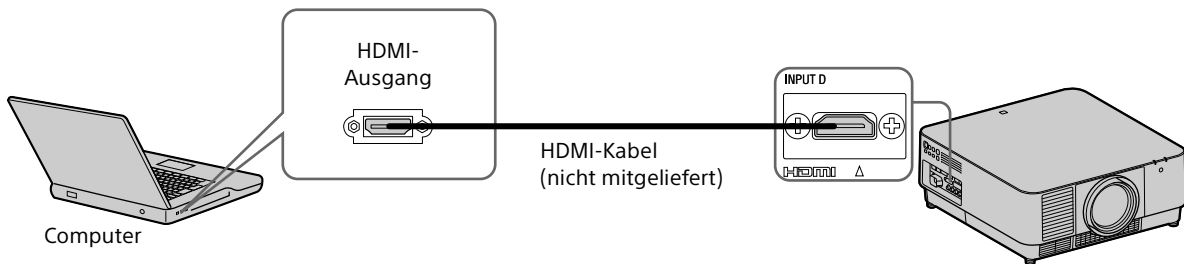
Hinweise

- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse vornehmen.
- Verwenden Sie für jede Verbindung die korrekten Kabel.
- Stecken Sie die Kabelstecker fest hinein. Lose Verbindungen können die Bildqualität beeinträchtigen oder zu einer Fehlfunktion führen. Ziehen Sie beim Herausziehen eines Kabels am Stecker, nicht am Kabel selbst.
- Weitere Informationen dazu finden Sie auch in der Bedienungsanleitung zum anzuschließenden Gerät.

Anschließen an einen Computer

INPUT D

Verwenden Sie diesen Anschluss, wenn Sie den Projektor über einen HDMI-Ausgang an einen Computer anschließen.

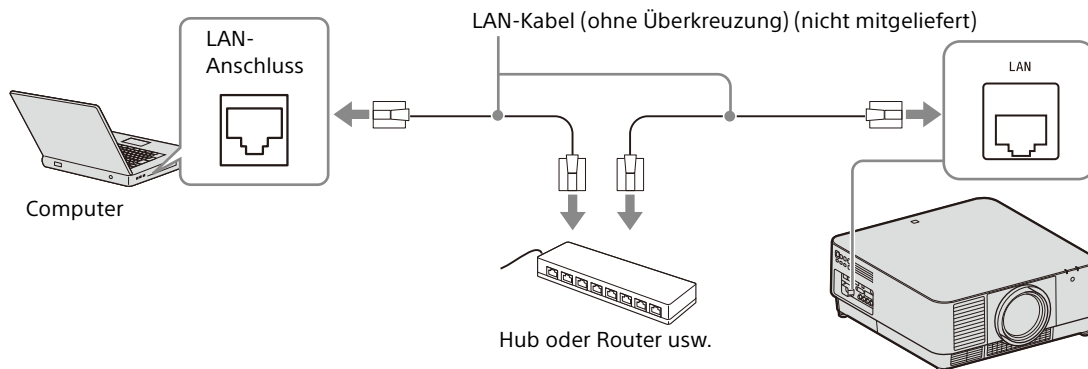


Hinweise

- Verwenden Sie HDMI-kompatible Geräte mit HDMI-Logo.
- Verwenden Sie HDMI-Hochgeschwindigkeitskabel, die das Logo des Kabeltyps aufweisen. (Sony-Produkte werden empfohlen.)
- Der HDMI-Anschluss dieses Projektors ist nicht mit dem DSD-Signal (Direct Stream Digital) oder CEC-Signal (Consumer Electronics Control) kompatibel.

Anschließen an ein Netzwerkgerät

Verwenden eines LAN-Anschlusses



Hinweis

Überprüfen Sie bei Verwendung von Netzwerkfunktionen über den LAN-Anschluss unbedingt, ob „LAN-Einstellung“ auf „LAN-Anschluss“ gesetzt ist.

Anschließen an ein HDBaseT™-Gerät

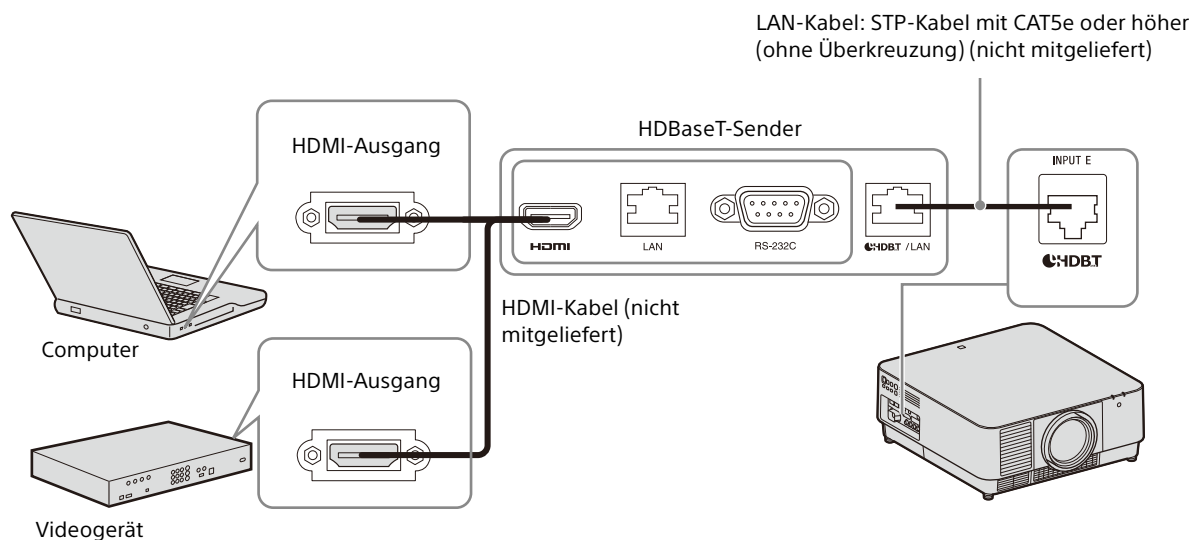
Verwenden Sie den HDBaseT-Sender, wenn Sie den Projektor an einen Computer, ein Videogerät oder ein Netzwerkgerät anschließen.

Hinweise zum Anschließen dieses Geräts an den HDBaseT-Sender

- Beauftragen Sie einen Fachmann oder Sony-Händler, den Anschluss vorzunehmen. Wenn der Anschluss nicht korrekt ausgeführt wird, wirkt sich dies auf die Übertragungseigenschaften des Kabels aus und führt zu Bildstörungen oder instabilen Bildern.
- Verbinden Sie das Kabel nicht über einen Hub oder Router, sondern direkt mit dem HDBaseT-Sender.
- Verwenden Sie Kabel, die folgende Bedingungen erfüllen.
 - CAT5e oder höher
 - Abgeschirmte Kabel (Anschlüsse abgedeckt)
 - Anschluss ohne Überkreuzung
 - Einzeldraht
- Verwenden Sie beim Installieren der Kabel einen Kabeltester, Kabelanalysator oder ein ähnliches Gerät, um zu überprüfen, ob die Kabel die Anforderungen an CAT5e oder höher erfüllen. Bei einem Durchleitungsstecker zwischen diesem Gerät und dem HDBaseT-Sender achten Sie darauf, ihn bei der Messung zu berücksichtigen.
- Um Störungen zu verringern, installieren und verwenden Sie das Kabel so, dass es nicht aufgerollt und möglichst gerade verlegt ist.
- Installieren Sie das Kabel nicht nahe bei anderen Kabeln (vor allem dem Netzkabel).
- Wenn Sie mehrere Kabel installieren, binden Sie diese nicht zusammen und achten Sie darauf, dass sie nur möglichst kurz parallel verlaufen.
- Die Übertragungsreichweite des Kabels beträgt maximal 100 m. Bei mehr als 100 m kann es zu Bildstörungen oder zu einer Fehlfunktion in der LAN-Kommunikation kommen. Verwenden Sie den HDBaseT-Sender nicht in größerer Entfernung als die maximale Übertragungsreichweite des Kabels.
- Bei Betriebs- oder Funktionsproblemen aufgrund von Geräten anderer Hersteller kontaktieren Sie bitte den entsprechenden Hersteller.

Anschließen an einen Computer/ein Videogerät

INPUT E

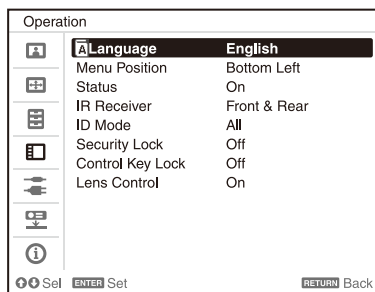


Informationen zu anderen Anschlussmethoden finden Sie unter „Anschließen des Projektors“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Wählen der Menüsprache

Die werkseitige Einstellung für die Sprache zur Anzeige der Menüs, Meldungen usw. ist Englisch. Um die Sprache für die Bildschirmanzeige zu ändern, gehen Sie wie folgt vor:

- 1 Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.
- 2 Schalten Sie den Projektor ein.
Drücken Sie die Taste **I/⏻** am Hauptgerät bzw. die Taste **I** auf der Fernbedienung.
- 3 Rufen Sie mit der Taste MENU das Menü auf.
Wenn die Anzeige nicht richtig zu sehen ist, passen Sie die Bildschärfe, die Größe und Position des projizierten Bildes an (Seite 19).
- 4 Wählen Sie die Menüsprache.
 - ① Drücken Sie die Taste **↑** oder **↓** zur Auswahl des Menüs Operation (**Ⓔ**), und drücken Sie dann die Taste ENTER.
 - ② Drücken Sie die Taste **↑** oder **↓** zur Auswahl von „Language (**A**)“, und drücken Sie dann die Taste ENTER.



- ③ Drücken Sie die Taste **↑/↓/←/→** zur Auswahl einer Sprache, und drücken Sie dann die Taste ENTER.
- 5 Drücken Sie die Taste MENU, um den Menübildschirm auszublenden.

Projizieren von Bildern

Die Größe des projizierten Bilds hängt von dem eingesetzten Objektiv oder dem Abstand zwischen Projektor und Leinwand ab. Stellen Sie den Projektor so auf, dass das projizierte Bild auf die Leinwand passt. Einzelheiten zu

Projektionsentfernung und Projektionsbildgrößen finden Sie unter „Projektionsentfernung und Objektivverschiebungsbereich“ in der Bedienungsanleitung.

- 1 Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.
- 2 Schließen Sie alle erforderlichen Geräte an den Projektor an (Seite 16).
- 3 Schalten Sie den Projektor ein.
Drücken Sie die Taste **I/⏻** am Hauptgerät bzw. die Taste **I** auf der Fernbedienung.
- 4 Schalten Sie das angeschlossene Gerät ein.
- 5 Wählen Sie das Eingangssignal aus.
Rufen Sie mit der Taste INPUT am Projektor oder auf der Fernbedienung das Fenster zur Eingangswahl auf. Drücken Sie mehrmals die Taste INPUT oder die Taste **↑/↓**, um das zu projizierende Bild auszuwählen. Beim Eingang eines Signals erscheint das Signalsymbol **Ⓢ** rechts im Fenster zur Eingangswahl.^{*1}
Sie können das Eingangssignal auch mit der Fernbedienung auswählen.
- 6 Ändern Sie das Ausgabeziel für den Computerbildschirm in eine externe Anzeige. Wie Sie das Ausgabeziel ändern, hängt vom jeweiligen Computertyp ab.

^{*1}: Wenn ein kompatibler Zusatzadapter angebracht und an INPUT F ein Signal eingespeist wird, wird das Signalsymbol **Ⓢ** immer angezeigt. (Nur beim VPL-FHZ120L verfügbar)

(Beispiel)



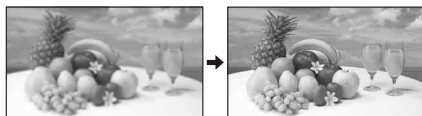
- 7 Stellen Sie das projizierte Bild ein (Seite 19).

Ausschalten des Projektors

- 1 Drücken Sie die Taste **I/⏻** am Hauptgerät bzw. die Taste **⏻** auf der Fernbedienung.
Das Herunterfahren beginnt und der Projektor wechselt in den Bereitschaftsmodus.
- 2 Ziehen Sie den Stecker des Netzkabels aus der Netzsteckdose.

Einstellen des projizierten Bildes

Fokussieren des Bildes (Fokus)

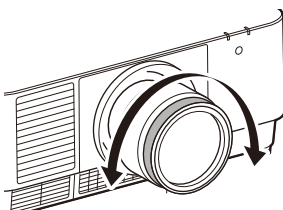


Wenn das Objektiv mit elektronischem Fokus angebracht ist

Drücken Sie die Taste FOCUS am Projektor oder auf der Fernbedienung und drücken Sie dann die Taste $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Wenn das Objektiv mit manuellem Fokus angebracht ist

Drehen Sie den Fokussiering.



Einstellen der Bildgröße (Zoom)

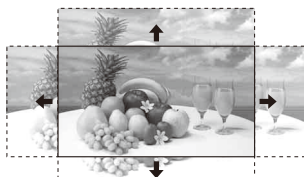


Wenn das Objektiv mit elektronischem Zoom angebracht ist

Drücken Sie die Taste ZOOM am Projektor oder auf der Fernbedienung und drücken Sie dann die Taste $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

Einstellen der Position des Bildes (Objektivverschiebung)

Drücken Sie die Taste LENS SHIFT/SHIFT am Projektor oder auf der Fernbedienung und drücken Sie dann die Taste $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.

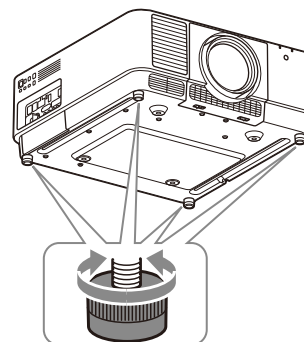


So stellen Sie das Objektiv wieder so ein, dass der mittlere Bildbereich projiziert wird

Drücken Sie während der Einstellung der Bildposition die Taste RESET auf der Fernbedienung.

Einstellen der Neigung des Projektors mit den verstellbaren Füßen

Wenn der Projektor auf einer unebenen Fläche aufgestellt wird, können Sie seine Position mithilfe der verstellbaren Füße einstellen.



Hinweise

- Achten Sie darauf, sich nicht die Finger einzuklemmen.
- Üben Sie keinen Druck auf die Oberseite des Projektors aus, solange die verstellbaren Füße ausgefahren sind. Andernfalls kann es zu einer Fehlfunktion kommen.

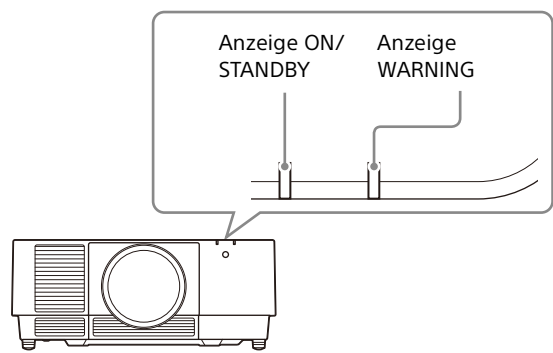
Anzeigen eines Testmusters zum Einstellen des Bildes

Sie können mit der Taste PATTERN auf der Fernbedienung ein Muster zum Einstellen des projizierten Bildes anzeigen lassen. Mit $\uparrow/\downarrow$ können Sie das Muster und mit $\leftarrow/\rightarrow$ die Farbe ändern. Durch erneutes Drücken der Taste PATTERN können Sie das vorherige Bild wiederherstellen.

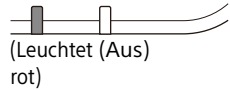
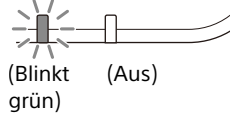
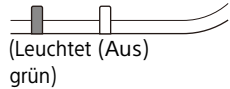
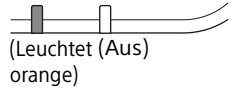
Wenn Sie weitere Einstellungen an projizierten Bildern vornehmen müssen, finden Sie Informationen unter „Projizieren/Einstellen von Bildern“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Anzeigen

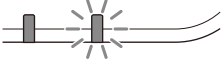
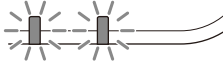
Die Anzeige ON/STANDBY und die Anzeige WARNING an der Vorderseite geben durch Leuchten bzw. Blinken Aufschluss über den Status des Projektors und weisen auf Funktionsstörungen hin. Wenn die Anzeigen rot blinken, beheben Sie das Problem wie in „Warnanzeigen und Abhilfemaßnahmen“ beschrieben (Seite 21).



Statusanzeige

Verhalten der Anzeige	Betriebsstatus	Beschreibung
	Bereitschaft	Der Projektor wird mit Strom versorgt und befindet sich im eingestellten Bereitschaftsmodus.
	Aufwärmen	Der Projektor befindet sich nach dem Einschalten in der Aufwärmphase oder die Softwareaktualisierung läuft gerade.
	Bereit	Der Projektor kann zur Bildprojektion verwendet werden.
	Anderer Bereitschaftsmodus	Der Projektor befindet sich im Modus Keine Eingabe (Licht aus) oder im Bereitschaftsmodus Schneller Neustart.

Warnanzeigen und Abhilfemaßnahmen

Verhalten der Anzeige	Anzahl des Blinkens	Bedeutung/Abhilfemaßnahmen
 (Leuchtet rot) (Blinkt rot)	Zweimal	Die Filterabdeckung oder der Luftfilter ist nicht sicher angebracht. Überprüfen Sie, wie die Filterabdeckung und der Luftfilter angebracht sind, und bringen Sie die Teile gegebenenfalls sicher an (Seite 22).
	Dreimal	Die Lichtquelle leuchtet nicht richtig. Lösen Sie das Netzkabel, vergewissern Sie sich, dass die Anzeige ON/STANDBY erlischt, stecken Sie das Netzkabel wieder in die Netzsteckdose und schalten Sie den Projektor ein.
	Viermal	Beim Aktualisieren der Software des Geräts wird ein Fehler erkannt. Lösen Sie das Netzkabel und vergewissern Sie sich, dass die Anzeige ON/STANDBY erlischt. Überprüfen Sie die USB- oder LAN-Verbindung, stecken Sie dann das Netzkabel wieder in die Netzsteckdose und schalten Sie den Projektor ein. Aktualisieren Sie die Software dann erneut.
	Sechsmal	Der Projektor wurde einem heftigen Stoß ausgesetzt. Wenn keine Schäden zu sehen sind, lösen Sie das Netzkabel, vergewissern Sie sich, dass die Anzeige ON/STANDBY erlischt, stecken Sie das Netzkabel wieder in die Netzsteckdose und schalten Sie den Projektor ein.
	Achtmal	Das Objektiv ist nicht ordnungsgemäß angebracht. Überprüfen Sie, wie das Objektiv angebracht ist, und bringen Sie es gegebenenfalls sicher an (Seite 14).
 (Blinkt rot) (Blinkt rot) Beide Anzeigen blinken	Zweimal	Die Temperatur im Projektor liegt außerhalb des zulässigen Bereichs. Gehen Sie folgendermaßen vor. • Überprüfen Sie, ob der Luftfilter verschmutzt ist, reinigen Sie ihn bei Bedarf oder tauschen Sie ihn aus (Seite 22). • Überprüfen Sie, ob die Lüftungsöffnungen (Einlass/Auslass) durch eine Wand oder einen Gegenstand blockiert sind, und sorgen Sie gegebenenfalls für einen ausreichenden Abstand. • Prüfen Sie die Umgebungstemperatur und verwenden Sie den Projektor innerhalb des zulässigen Betriebstemperaturbereichs.

Wenn die Anzeigen anders blinken als oben beschrieben, lösen Sie das Netzkabel, vergewissern Sie sich, dass die Anzeige ON/STANDBY erlischt, stecken Sie das Netzkabel wieder in die Netzsteckdose und schalten Sie den Projektor ein.

Wenn das Problem weiterhin besteht, wenden Sie sich an qualifiziertes Fachpersonal von Sony.

Falls ein Problem auftritt oder eine Fehlermeldung auf dem Bildschirm erscheint, finden Sie Informationen unter „Liste der Meldungen“ oder „Fehlerbehebung“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

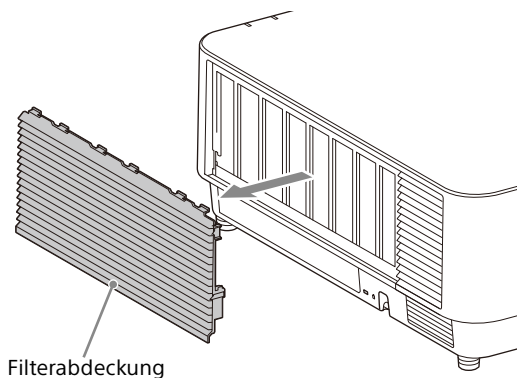
Reinigen des Luftfilters

Wenn Sie in einer Meldung dazu aufgefordert werden, müssen Sie den Luftfilter reinigen. Falls der Luftfilter auch nach dem Reinigen nicht frei von Staub ist, tauschen Sie den Luftfilter gegen einen neuen aus. Um Einzelheiten über den neuen Luftfilter zu erfahren, konsultieren Sie bitte qualifiziertes Sony-Personal.

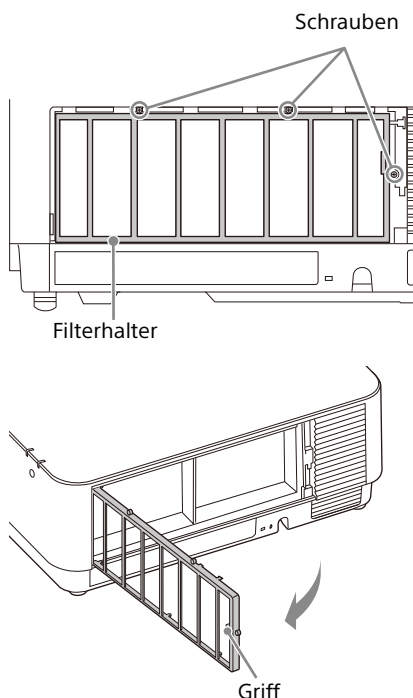
Vorsicht

Wenn Sie den Projektor auch nach der angezeigten Meldung weiter verwenden, kann sich Staub ansammeln und den Filter verstopfen. Als Folge davon erhöht sich möglicherweise die Temperatur im Inneren des Geräts und es besteht die Gefahr einer Fehlfunktion oder Feuergefahr.

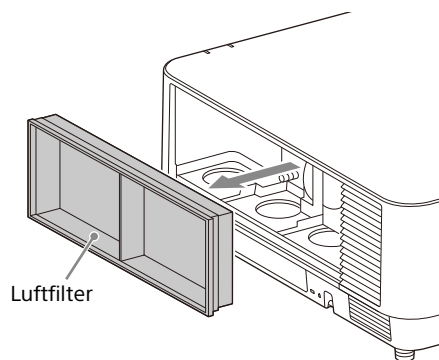
- 1 Schalten Sie den Projektor aus und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.
- 2 Verschieben Sie die oberen Ecken auf beiden Seiten und schieben Sie die Filterabdeckung zum Abnehmen nach unten.



- 3 Lösen Sie die Schrauben (drei Stück) und ziehen Sie den Filterhalter heraus, indem Sie den Griff auf der rechten Seite zusammendrücken und den Filterhalter drehen.

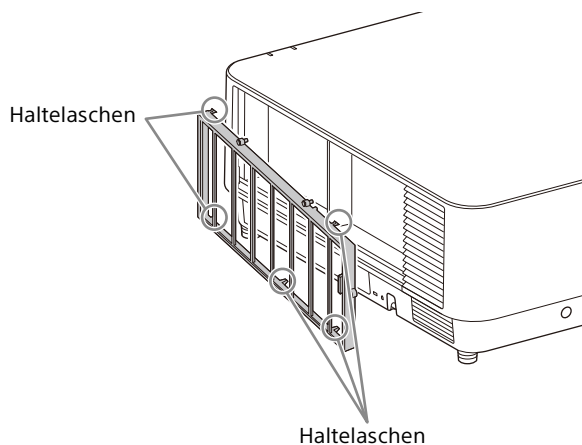


- 4 Ziehen Sie den Luftfilter aus dem Hauptgerät.

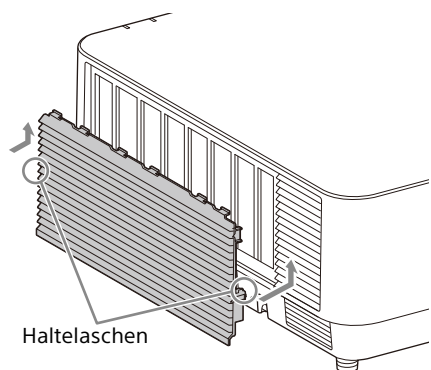


- 5 Reinigen Sie den Luftfilter mit einem Staubsauger.

- 6** Setzen Sie den Luftfilter wieder ein und bringen Sie den Filterhalter an.
Setzen Sie beim Anbringen des Filterhalters zunächst die beiden Haltelaschen auf der linken und dann die drei Haltelaschen auf der rechten Seite ein und ziehen Sie die drei Schrauben an.



- 7** Setzen Sie die Haltelaschen an der Filterabdeckung ein und schieben Sie die Filterabdeckung nach oben.



Hinweis

Bringen Sie den Luftfilter fest an. Andernfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.

Informazioni sulla Guida rapida all'uso

Questa Guida rapida all'uso spiega le operazioni di base per la proiezione di immagini. Inoltre, sono descritte note e precauzioni importanti a cui prestare attenzione durante l'uso di questa unità.

Vedere "Spie" e "Pulizia del filtro dell'aria" in base alle necessità.

Per i dettagli sulle operazioni, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM in dotazione.

Punto 1

Preparazione..... Pagina 13

Punto 2

Collegamento..... Pagina 15

Punto 3

Proiezione Pagina 17

Spie..... Pagina 19

Pulizia del filtro dell'ariaPagina 21

Leggere attentamente questo manuale prima di utilizzare l'unità, e conservarlo per riferimenti futuri.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

AVVERTENZA

Questo apparato deve essere collegato a terra.

AVVERTENZA

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

ATTENZIONE

- Pericolo di esplosione in caso di sostituzione incorretta della batteria. Sostituire la batteria con una uguale o equivalente seguendo le raccomandazioni del produttore.
- Smaltire la batteria o il prodotto in conformità con le normative vigenti nella regione o paese di utilizzo. Non smaltire la batteria o il prodotto in forni ad alta temperatura o nel fuoco. Non tagliare né frantumare meccanicamente la batteria. Questo potrebbe causarne l'esplosione o dar luogo a incendi. Non esporre la batteria a pressioni atmosferiche estremamente basse. Questo potrebbe causare esplosioni o perdite di gas o liquidi infiammabili.
- Non esporre la batteria ad elevate temperature, come ad esempio sotto luce solare diretta o in prossimità di fiamme per evitare che possa prendere fuoco, esplodere o causare incendi. Non immergere né bagnare la batteria in acqua. Questo potrebbe causare scariche elettriche.

ATTENZIONE

Informazioni sul connettore LAN

Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta.

AVVERTENZA

1. Utilizzare il cavo di alimentazione (a 3 conduttori) / connettore per l'apparecchio / spina con contatti di messa a terra approvato e conforme alle normative sulla sicurezza in vigore nel paese specifico.
2. Utilizzare il cavo di alimentazione (a 3 conduttori) / connettore per l'apparecchio / spina adatto alle caratteristiche di tensione e corrente della rete elettrica.

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione / connettore per l'apparecchio / spina di cui sopra, rivolgersi a personale qualificato.

AVVERTENZA

L'utilizzo di questo apparecchio in un ambiente residenziale potrebbe causare interferenze radio.

Per i clienti in Europa

L'apparecchio non deve essere utilizzato in aree residenziali.

Avvertenza di sicurezza per laser e intensità luminosa



IEC 60825-1:2014
PRODUCTO LÁSER DE CLASE 1

AVVERTENZA: Non guardare nella lente durante l'uso.

ATTENZIONE

L'uso di comandi o regolazioni o l'esecuzione di procedimenti diversi da quelli specificati in questo manuale possono causare esposizione a radiazioni pericolose.

ATTENZIONE

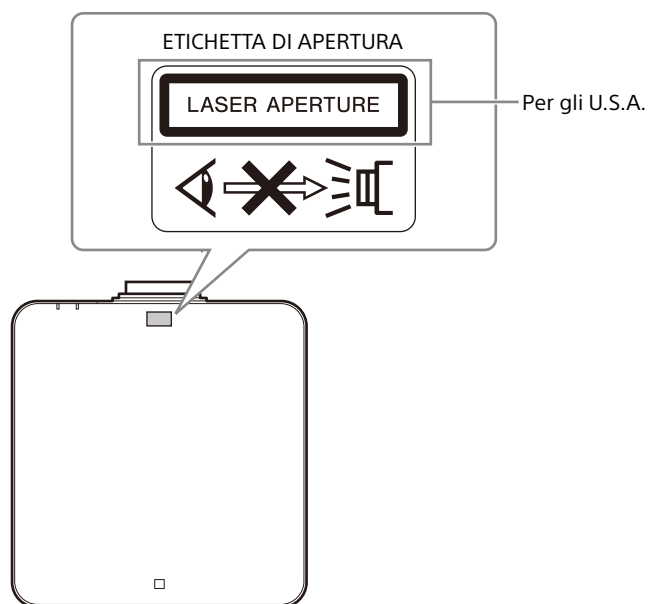
L'uso di strumenti ottici con questo prodotto aumenta il rischio di danni alla vista.

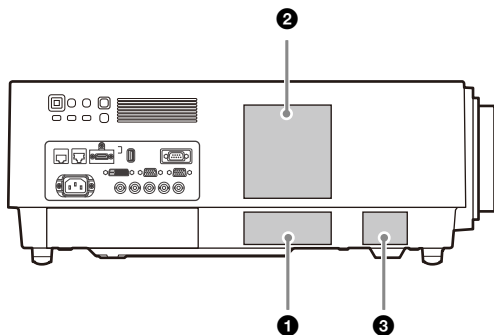
Come per qualsiasi sorgente luminosa intensa, non fissare direttamente il fascio di luce, RG2 IEC 62471-5:2015.

AVVERTENZA

- Non deve essere consentita alcuna esposizione diretta al raggio
- Gli operatori devono controllare l'accesso al raggio entro la distanza di pericolo o installare il prodotto a un'altezza che impedisca l'esposizione oculare entro la distanza di pericolo

Informazioni sulla posizione delle etichette





① Etichetta esplicativa per gruppo di rischio (Per i paesi diversi dagli U.S.A)

注意 ビームをのぞき込まないこと RG2 このプロジェクタは、投射比が 3.4より大きい交換レンズを装着 すると、RG3になることがある。 運転前に取扱説明書のレンズ一覧 と警告距離を参照すること。 RG3になるプロジェクタとレンズ の組み合わせは、業務用であって、 民生用ではない。	Caution Do not stare into the beam RG2 This projector may become RG3 when an interchangeable lens with throw ratio greater than 3.4 is installed. Refer to the manual for the lens list and hazard distance before operation. Such combinations of projector and lens are intended for professional use only, and are not intended for consumer use.
--	--

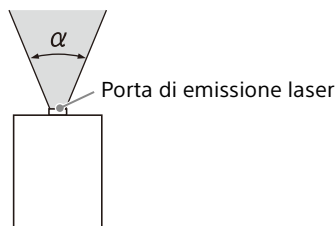
② Etichetta esplicativa per gruppo di rischio

Attention Ne pas regarder fixement dans le faisceau RG2 Ce projecteur peut passer au Groupe de risque RG3 lorsqu'un objectif interchangeable dont le rapport de projection est supérieur à 3.4 est installé. Consultez le manuel pour voir la liste des objectifs et la distance de risque avant de faire fonctionner le projecteur. De telles combinaisons du projecteur et de l'objectif sont destinées à une utilisation exclusivement professionnelle, pas à une utilisation par les consommateurs.	Vorsicht Schauen Sie nicht länger in den Strahl RG2 Dieser Projektor ist unter Umständen als RG3 einzustufen, wenn ein Wechselobjektiv mit einem größeren Projektionsverhältnis als 3.4 installiert wird. Schlagen Sie vor dem Betrieb im Handbuch die Objektivliste und den Gefahrenabstand nach. Solche Kombinationen von Projektor und Objektiv sind ausschließlich auf den professionellen Betrieb ausgelegt und nicht für private Zwecke gedacht.
Precaución No mire directamente al haz RG2 Este proyector puede pasar a ser de tipo RG3 si se instala un objetivo intercambiable con una relación de proyección superior a 3.4. Consulte el manual para ver una lista de objetivos y la distancia de riesgo antes de la utilización. Estas combinaciones de proyector y objetivo están pensadas únicamente para usos profesionales y no para su utilización por parte de los consumidores.	Осторожно Не смотрите в луч RG2 Этот проектор может стать RG3, когда установлен сменный объектив с коэффициентом проекционного отношения, превышающим 3.4. Перед началом работы ознакомьтесь с руководством по применению для получения информации о перечне перечне объективов и опасном расстоянии. Такие комбинации проектора и объектива предназначены только для профессионального использования и не предназначены для использования потребителями в личных целях.
Attenzione Non fissare il raggio RG2 Il presente proiettore può diventare RG3 se si installa un obiettivo intercambiabile con rapporto di proiezione maggiore di 3.4. Per l'elenco degli obiettivi e la distanza di pericolo, consultare il manuale prima dell'utilizzo. Tali combinazioni di proiettore e obiettivo sono previste solo per uso professionale e non per l'uso personale.	Försiktighet! Titta inte rakt in i strålen RG2 Denna projektor kan bli RG3 när ett utbytbar objektiv med ett projekteringsförhållande som är större än 3.4 monteras. Se handboken för en lista över objektiv och riskavstånd före användning. Sådana kombinationer av projektorer och objektiv är endast avsedda för professionell användning och inte för användning av konsument.

③ ETICHETTA CLASSE 1/CLASSE 3R



Angolo di divergenza del raggio dall'obiettivo dell'unità

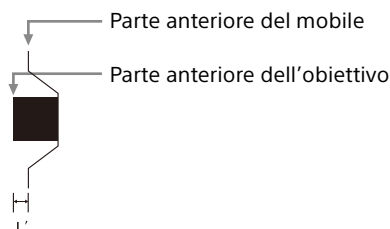


Obiettivo	Zoom max: α	Zoom min: α
VPLL-4008	61°	—
VPLL-Z4015	49°	33°
VPLL-Z4111	35°	27°
VPLL-Z4019	28°	22°
VPLL-Z4025	22°	12°
VPLL-Z4045	12°	7°

La distanza L' tra la parte anteriore dell'obiettivo (centro) e la parte anteriore del mobile

Unità: mm

Obiettivo	L'
VPLL-4008	98
VPLL-Z4015	88
VPLL-Z4111	123
VPLL-Z4019	67
VPLL-Z4025	96
VPLL-Z4045	93



Specifiche sorgente luminosa

Diodi laser 4,7 W

× 64 (VPL-FHZ120L)

× 48 (VPL-FHZ90L)

Lunghezza d'onda: 450 - 460 nm

AVVERTENZA DI SICUREZZA PER EVITARE LESIONI OCULARI

Il presente prodotto in base a IEC 62471-5:2015 può diventare Gruppo di rischio 2 (RG2), ma diviene Gruppo di rischio 3 (RG3) utilizzando un obiettivo ad alto rapporto di proiezione (TR).



AVVERTENZA

GLI OBIETTIVI CLASSIFICATI COME GRUPPO DI RISCHIO 3 (RG3) SONO UTILIZZABILI SOLO CON INSTALLAZIONE A SOFFITTO. OGNI ALTRA INSTALLAZIONE È VIETATA. PRIMA DI UTILIZZARE TALI OBIETTIVI, RIVOLGERSI A UN RIVENDITORE AUTORIZZATO SONY.

I proiettori RG2 possono essere utilizzati in sicurezza in tutte le situazioni, tranne se la visualizzazione all'interno del raggio (diretta) è prevista a distanza ravvicinata.

Come per ogni sorgente di luce intensa, non fissare il raggio, RG2 IEC 62471-5:2015

I prodotti del Gruppo di rischio 3 (RG3) costituiscono un potenziale pericolo anche per esposizioni momentanee alla visualizzazione diretta, all'interno del raggio a distanza ravvicinata (nella Distanza di pericolo).

Non deve essere consentita alcuna esposizione diretta al raggio, RG3 IEC 62471-5:2015

I valori di Distanza di pericolo di ciascun obiettivo intercambiabile del presente prodotto sono mostrati nella tabella seguente.

X: consentito —: vietato

Tipo di obiettivo	Rapporto di proiezione (*1)	Distanza di pericolo Unità: m	Installazione su tavolo	Installazione a soffitto	Descrizione del tipo di obiettivo
VPLL-4008	1,0	Non disponibile (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4111	1,3 – 2,0	Non disponibile (RG2)	X	X	—
VPLL-Z4015	1,9 – 2,4	Non disponibile (RG2)	X	X	X

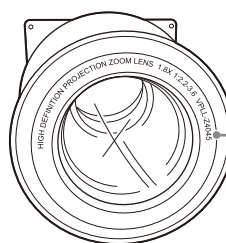
Tipo di obiettivo	Rapporto di proiezione (*1)	Distanza di pericolo Unità: m	Installazione su tavolo	Installazione a soffitto	Descrizione del tipo di obiettivo
VPLL-Z4019	2,4 – 3,1	Non disponibile (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4025	3,0 – 3,4	Non disponibile (RG2)	—	X (*2)	X
	3,4 – 4,1	1,1 (RG3)			
	4,1 – 4,8	1,2 (RG3)			
	4,8 – 5,5	1,3 (RG3)			
	5,5 – 5,6	1,4 (RG3)			
VPLL-Z4045	5,6 – 6,5	2,1 (RG3)	—	X (*2)	X
	6,5 – 8,6	2,2 (RG3)			
	8,6 – 9,6	2,3 (RG3)			

*1: Valore ottenuto dividendo la dimensione dello schermo (H) per la distanza di proiezione

Il rapporto di proiezione è determinato in funzione del proiettore con il quale viene utilizzato ciascun obiettivo. I valori precedenti sono specifici per i modelli VPL-FHZ120L e VPL-FHZ90L.

*2: Queste combinazioni sono intese solo per utilizzo professionale e non sono per utilizzo domestico.

Per ulteriori informazioni sull'installazione, consultare il Rivenditore autorizzato Sony o personale Sony qualificato.



Il tipo di obiettivo è indicato sulla parte frontale dello stesso.

Entro il campo di proiezione, l'area tra obiettivo e distanza di pericolo viene identificata come Area di pericolo (vedere le figure seguenti). L'intensità della luce supera l'Esposizione massima consentita (M.P.E.) sulla cornea dell'occhio nell'Area di pericolo. È pericoloso se l'operatore o lo spettatore fissa direttamente il raggio.

Per l'installazione sicura (per prodotti con un obiettivo RG3 montato)

Quando si installa un prodotto RG3, consultare gli esempi di installazione di seguito ed eseguire quanto indicato.

- Installare il prodotto in una posizione dove sia garantita un'altezza sufficiente (2,5 m o più) dal livello del pavimento per evitare di dover guardare il raggio luminoso nell'Area di pericolo.
- Utilizzare barriere fisiche (o un'indicazione di avvertenza sul pavimento) per gli spettatori affinché non accedano involontariamente all'area.

Per un utilizzo in sicurezza

Se si installa il prodotto RG3 senza garantire un'altezza sufficiente, gli operatori devono limitare l'accesso degli spettatori all'Area di pericolo. Se qualcuno entra inevitabilmente nell'Area di pericolo, spegnere il prodotto o premere il tasto BLANK per disattivare temporaneamente l'immagine.

Anche quando si utilizza un prodotto RG2, accertare che gli spettatori non possano guardare all'interno del raggio (direttamente) a distanza ravvicinata.

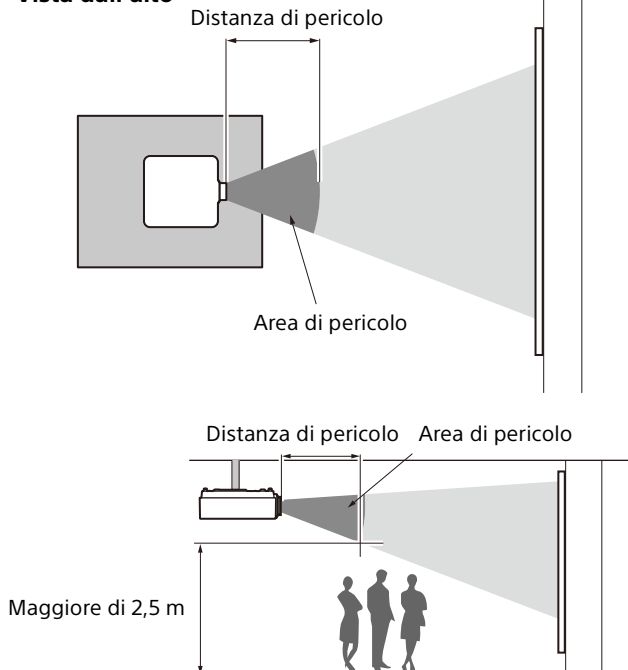
Per una manutenzione sicura (per prodotti con un obiettivo RG3 montato)

La manutenzione del prodotto RG3 deve essere eseguita da personale di assistenza qualificato.

Prodotto RG3: area e distanza di pericolo

Installazione a soffitto del prodotto RG3

Vista dall'alto



I proiettori con obiettivo RG3 montato sono intesi solo per uso professionale e non per uso personale.

Per ulteriori informazioni sull'installazione, consultare il Rivenditore autorizzato Sony o personale Sony qualificato.

Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale. Se è necessaria una regolazione della tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se dei liquidi o degli oggetti dovessero cadere nel mobile, scollegare l'unità e, prima di utilizzarla nuovamente, farla controllare da personale Sony qualificato.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa di rete dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- Finché l'unità è collegata alla presa a muro, non è elettricamente isolata dall'alimentazione CA, anche se l'unità è stata spenta.
- Non guardare nella lente durante l'uso.
- Non lasciare che i bambini utilizzino l'unità senza controllo da parte di un adulto.
- Non avvicinare mani o oggetti alle prese di ventilazione: l'aria che ne fuoriesce è molto calda.
- Nel regolare l'altezza dell'unità, prestare attenzione a non pizzicare le dita nel supporto (regolabile). Non premere con forza la parte superiore dell'unità quando il dispositivo di regolazione è allungato.
- Per trasportare l'unità sono necessarie due persone per poter afferrare entrambi i lati.
- Non usare un cavo di prolunga di tensione nominale inferiore che potrebbe causare corti circuiti e infortuni.
- Nello spostare il proiettore installato sul pavimento, non pizzicare le dita fra l'unità e la superficie del pavimento.
- Prestare attenzione a non incastrare le dita nella ventola di raffreddamento.
- Non trasportare il proiettore con il mobile e il coperchio aperto.
- Non installare l'unità in una posizione prossima a sorgenti di calore quali radiatori o condotti di aria, oppure in un luogo esposto alla luce solare diretta, a polvere o umidità eccessiva, vibrazione meccanica o urti.

- Se i fori di aerazione sono ostruiti, il calore potrebbe accumularsi all'interno e causare incendi o danni all'unità. Per consentire un'adeguata circolazione dell'aria e impedire l'accumulo di calore all'interno, attenersi alle indicazioni riportate di seguito:

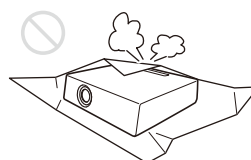
- Posizionare l'unità lasciando spazio sufficiente dai muri o altri oggetti (Pagina 10).



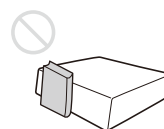
- Evitare di coprire i fori di aerazione (scarico/aspirazione).



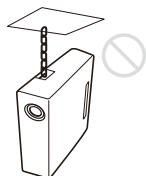
- Non collocare l'unità sull'imballaggio originale, su tessuti morbidi, carta, tappeti o frammenti di carta. I fori di aerazione potrebbero aspirare tali materiali.



- Non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l'oggetto. Utilizzare il tasto della funzione di disattivazione dell'immagine per escludere l'immagine.



- Non utilizzare la barra di sicurezza, pensata per impedire il furto, al fine di trasportare o installare l'unità. Se l'unità viene sollevata o viene appesa per mezzo della barra di sicurezza, l'unità potrebbe cadere e danneggiarsi, provocando eventualmente infortuni.



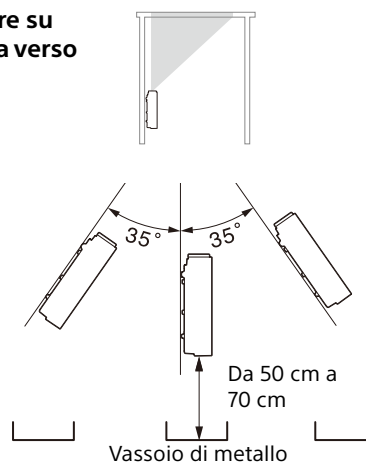
Per rivenditori

- Se si installa il proiettore sul soffitto, utilizzare per l'installazione una staffa Sony o equivalente consigliata.
- Fissare saldamente il coperchio dell'unità per una installazione sul soffitto sicura.

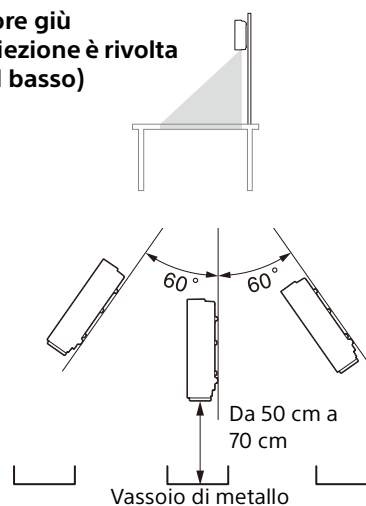
Attenzione

Se i fori di ventilazione fossero rivolti verso il basso quando si installa l'unità con l'angolo illustrato, installare un vassoio di metallo (min. 70 cm × 40 cm) alla distanza indicata di seguito, immediatamente sotto i fori di ventilazione. Assicurarsi che eventuali materiali estranei o liquidi non cadano nei fori di ventilazione.

**Anteriore su
(Proietta verso
l'alto)**



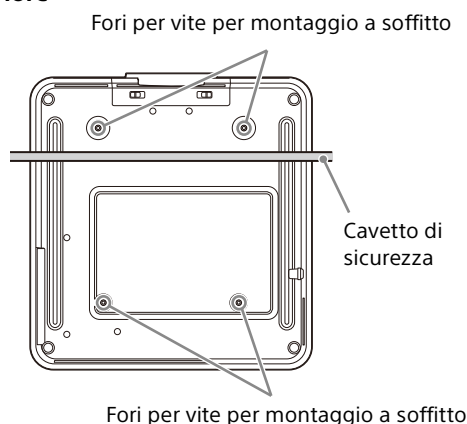
**Anteriore giù
(La proiezione è rivolta
verso il basso)**



Precauzioni di sicurezza per l'installazione dell'unità sul soffitto

- Non montare mai il proiettore sul soffitto né spostarlo da soli. Rivolgersi al negozio in cui è stato acquistato il proiettore o a un installatore specializzato.
- Se si installa l'unità sul soffitto, accertarsi di utilizzare un cavetto di sicurezza, ecc., per impedire la caduta dell'unità. Per l'installazione, rivolgersi al negozio in cui è stato acquistato il proiettore o a un installatore specializzato.

Vista inferiore

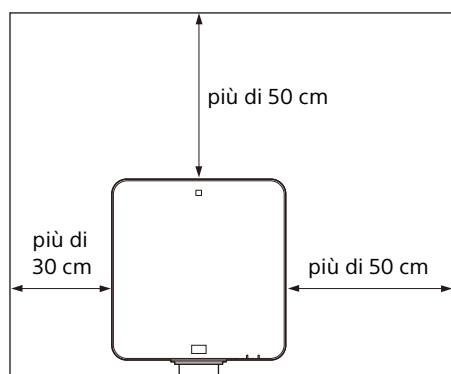


Mettere un cavetto di sicurezza tra i fori per vite anteriore e posteriore per il montaggio a soffitto. (Il cavetto di sicurezza non è fornito con il proiettore.)

Informazioni sull'installazione

- Durante l'installazione dell'unità, lasciare uno spazio tra qualsiasi parete, ecc. e l'unità come illustrato.

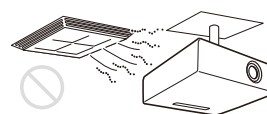
Vista dall'alto



- Evitare di utilizzare l'unità in un ambiente in cui la temperatura o l'umidità è molto elevata o in cui la temperatura è molto bassa.



- Evitare di installare l'unità in un luogo su cui è diretta l'aria fredda o calda di un climatizzatore. L'installazione in una posizione di questo genere potrebbe provocare problemi di funzionamento dell'unità, dovuti alla condensazione dell'umidità o all'aumento della temperatura.



- Evitare di installare l'unità in prossimità di un sensore di calore o di fumo. L'installazione in tali posizioni può causare problemi di funzionamento del sensore.



- Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro dell'aria, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità.



- Quando si usa l'unità a una quota di 1.500 m o superiore, impostare "Modo quota el." su "Inser." nel menu Installazione. Se non viene impostato questo modo quando l'unità è usata a quote elevate, potrebbero presentarsi effetti negativi, come la riduzione dell'affidabilità di alcuni componenti.
- Impostare una corretta modalità di installazione nel menu Installazione in base all'angolo di installazione. Un uso continuo dell'impostazione errata può influire negativamente sull'affidabilità del componente.

Pulizia della lente e del telaio

- Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA prima della pulizia.
- Non sfregare l'unità con un panno non pulito, onde evitare di graffiarla.
- Se l'unità è esposta a materiali volatili, come gli insetticidi, o se rimane in contatto con un prodotto in gomma o resina di vinile per un periodo prolungato, l'unità potrebbe deteriorarsi e il rivestimento potrebbe staccarsi.
- Non toccare la lente a mani nude.
- Pulizia della superficie della lente:
Pulire delicatamente la lente con un panno morbido, ad esempio un panno per la pulizia degli occhiali. Rimuovere le macchie persistenti con un panno morbido leggermente inumidito con acqua. Non utilizzare solventi quali alcol, benzina o diluenti, detergenti alcalini, abrasivi o acidi, oppure panni per pulizia contenenti agenti chimici.
- Pulizia del telaio:
Pulire delicatamente il telaio con un panno morbido. Rimuovere le macchie ostinate utilizzando un panno morbido leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata e strizzato, quindi asciugare con un panno morbido asciutto. Non utilizzare solventi quali alcol, benzina o diluenti, detergenti alcalini, abrasivi o acidi, oppure panni per pulizia contenenti agenti chimici.

Illuminazione

Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non dovrebbe essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.

Informazioni sulla dissipazione di calore

La temperatura dell'involucro del proiettore può aumentare durante o immediatamente dopo l'utilizzo. Tuttavia non si tratta di un malfunzionamento.

Schermo

Se si utilizza uno schermo avente una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire dei motivi a strisce in funzione della distanza fra lo schermo e l'unità o dell'ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento dell'unità.

Ventola

Il proiettore è munito di una ventola interna per impedire l'innalzamento della temperatura interna, pertanto potrebbe produrre qualche rumore. È un risultato normale del processo di fabbricazione e non è indice di problemi di funzionamento. Tuttavia, in caso di rumori anomali è consigliabile rivolgersi a personale Sony qualificato.

Informazioni sui suoni emessi durante l'uso della funzione di pulizia automatica

Quando è attivata la funzione di pulizia automatica dalla polvere, possono verificarsi alcuni ticchettii, provenienti dalla struttura del proiettore, ma non indicano malfunzionamento.

Informazioni sulla sostituzione dell'obiettivo

Non inserire obiettivi diversi da quello accessorio specificato venduto a parte.

Per il controllo delle parti relative alla sorgente luminosa

Poiché l'unità utilizza un laser, quando si esegue la manutenzione o il controllo delle parti relative alla sorgente luminosa, è necessario prestare particolare attenzione e operare in un ambiente sicuro. Per l'installazione rivolgersi a personale Sony qualificato.

Proiettore LCD

Il proiettore LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia potrebbero essere visibili dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi) che appaiono in modo permanente sul proiettore LCD. Questo è un risultato normale del processo di fabbricazione e non costituisce un guasto. Inoltre, usando più proiettori LCD per proiettare su uno schermo, anche se sono dello stesso modello, la risoluzione dei colori dei vari proiettori può cambiare in quanto il bilanciamento dei colori potrebbe essere impostato diversamente da un proiettore all'altro.

Informazioni sulla condensa

Se la temperatura dell'ambiente dove il proiettore installato cambia rapidamente, o se il proiettore viene improvvisamente spostato da una stanza fredda a una calda, è possibile che sul proiettore si formi condensa. Dato che la condensa può provocare malfunzionamenti, prestare attenzione alle regolazioni delle impostazioni di temperatura del condizionatore d'aria. Se si forma condensa, lasciare il proiettore acceso per circa due ore prima dell'uso.

Note sulla sicurezza

- SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO RISULTANTI DALLA MANCATA IMPLEMENTAZIONE DI MISURE DI PROTEZIONE ADEGUATE SUI DISPOSITIVI DI TRASMISSIONE, DA INEVITABILI DIFFUSIONI DI DATI RISULTANTI DALLE SPECIFICHE TECNICHE DELLA TRASMISSIONE O DA PROBLEMATICHE RELATIVE ALLA SICUREZZA DI QUALSIASI TIPO.
- In base all'ambiente operativo, terze parti non autorizzate alla rete potrebbero essere in grado di accedere all'unità. Quando si collega l'unità alla rete, accertarsi di confermare che la rete è efficacemente protetta.
- Per garantire la protezione, quando si utilizza l'unità collegata alla rete, si consiglia di accedere alla finestra di controllo tramite un browser Web e di modificare le impostazioni della limitazione di accesso rispetto ai valori predefiniti (consultare "Uso delle funzionalità di rete" nelle Istruzioni d'uso).
Si consiglia anche di modificare la password regolarmente.

- Non accedere ad altri siti con il browser Web durante o dopo la determinazione delle impostazioni. Poiché lo stato di accesso rimane nel browser Web, chiudere il browser una volta completate le impostazioni per impedire che terze parti non autorizzate possano utilizzare l'unità o eseguire programmi pericolosi.

Note

- Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER RICHIESTE O RICORSI DI NESSUN TIPO PRESENTATI DA UTENTI DI QUESTO APPARATO O DA TERZI.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER LA CANCELLAZIONE O LA MANCATA CONTINUAZIONE PER QUALSIASI CAUSA O CIRCOSTANZA DI SERVIZI CORRELATI A QUESTO APPARATO.

Verifica degli accessori in dotazione

Telecomando RM-PJ30 (1)
 Pile AA (R6) (2)
 Cavo di alimentazione CA (1)
 Supporto della spina (1)
 Coperchio dei terminali (1)
 Guida rapida all'uso (questo manuale) (1)
 Istruzioni d'uso (CD-ROM) (1)

Uso dei manuali su CD-ROM

I manuali possono essere visualizzati su un computer sul quale è installato Adobe Reader. È possibile scaricare gratuitamente Adobe Reader dal sito web di Adobe.

- 1 Aprire il file "index.html" sul CD-ROM.
- 2 Selezionare in che lingua visualizzare il manuale desiderato.

Nota

In caso di danneggiamento o di perdita del CD-ROM, è possibile acquistarne uno nuovo rivolgendosi al proprio rivenditore o presso un centro di assistenza Sony.

Inserimento delle pile

ATTENZIONE

Il telecomando richiede il seguente tipo e il seguente numero di batterie:

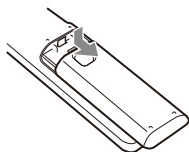
- Batteria AA (R6)
- 2 pezzi

Per evitare il rischio di esplosioni, utilizzare unicamente batterie di tipo:

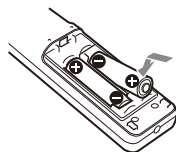
- Batteria al manganese o alcalina

- 1 Rimuovere il coperchio e inserire le due pile AA (R6) (in dotazione) rispettando la polarità corretta.

Premere e fare scorrere il coperchio.



Accertarsi di inserire le pile dal lato ⊖.

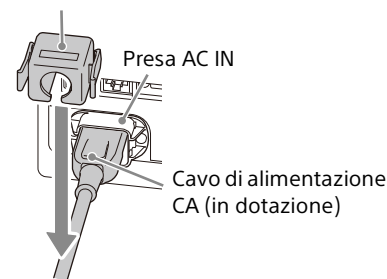


- 2 Rimontare il coperchio.

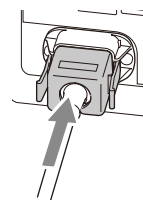
Collegamento del cavo di alimentazione CA

- 1 Collegare il cavo di alimentazione CA alla presa AC IN, quindi inserire il supporto della spina sul cavo di alimentazione CA.

Supporto della spina (in dotazione)



- 2 Fare scorrere il supporto della spina sul cavo di alimentazione CA per assicurarli all'unità.



Montaggio dell'obiettivo di proiezione

Note

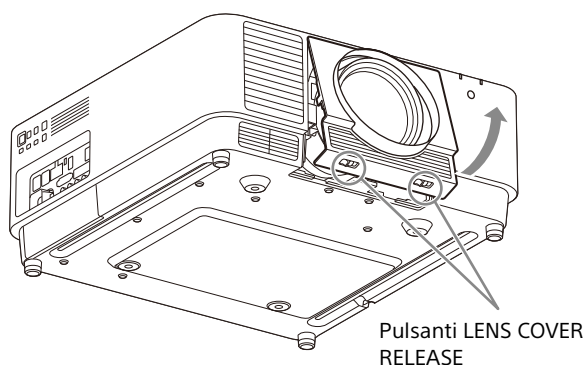
- Evitare di rimuovere/inserire l'obiettivo quando il proiettore è sospeso al soffitto.
- Per gli obiettivi di proiezione utilizzabili, vedere "Accessori opzionali" nelle Istruzioni d'uso.
- Non utilizzare obiettivi diversi dagli obiettivi accessori specificati e venduti separatamente.
- Prestare attenzione a non far cadere l'obiettivo di proiezione.
- Evitare di toccare la superficie dell'obiettivo.

- 1 Spegnerne il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro.

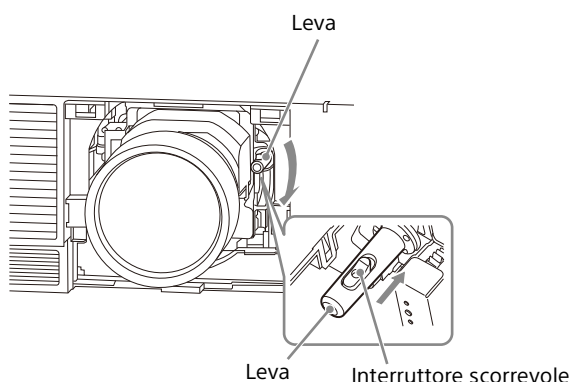
Attenzione

Quando si sostituisce l'obiettivo, se una luce intensa raggiunge accidentalmente gli occhi, questi potrebbero venire danneggiati. Prima di sostituire l'obiettivo, spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA.

- 2** Rimuovere il coperchio dell'obiettivo.
Quando si fanno scorrere all'interno i pulsanti LENS COVER RELEASE, estrarre il coperchio dell'obiettivo fino a bloccarlo in posizione.



- 3** Ruotare il substrato di contatto a sinistra guardando la parte anteriore dell'obiettivo e inserire a fondo l'obiettivo.
- 4** Mentre si preme l'interruttore laterale, abbassare la leva fino a fissarla in posizione.



- 5** Montare il coperchio dell'obiettivo.
Attaccare il lato superiore del coperchio dell'obiettivo al coperchio superiore del proiettore e premerlo fino a bloccarlo in posizione. Quindi, mentre si fanno scorrere all'interno i pulsanti LENS COVER RELEASE, inserire il coperchio dell'obiettivo.

Anche quando è montato l'obiettivo, è possibile montare/rimuovere il coperchio allo stesso modo.

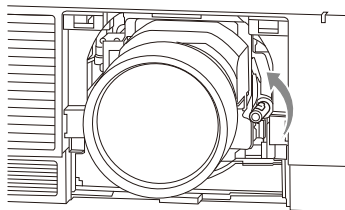
Rimozione dell'obiettivo di proiezione

- 1** Riportare l'obiettivo di proiezione alla posizione centrale.
Con il proiettore acceso, premere il tasto LENS SHIFT sul telecomando, quindi premere il tasto RESET. L'obiettivo di proiezione ritorna alla posizione centrale.
- 2** Spegner il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro.

Attenzione

Quando si sostituisce l'obiettivo, se una luce intensa raggiunge accidentalmente gli occhi, questi potrebbero venire danneggiati. Prima di sostituire l'obiettivo, spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA.

- 3** Rimuovere il coperchio dell'obiettivo.
- 4** Mentre si preme l'interruttore scorrevole, spostare la leva in alto fino al limite ed estrarre l'obiettivo.



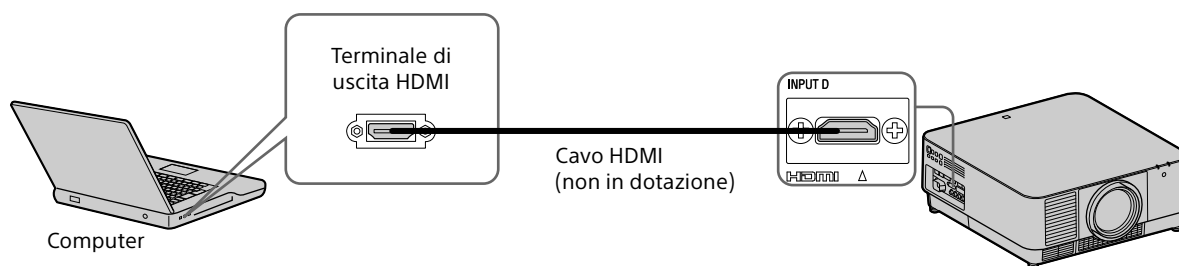
- 5** Montare il coperchio dell'obiettivo.

Note

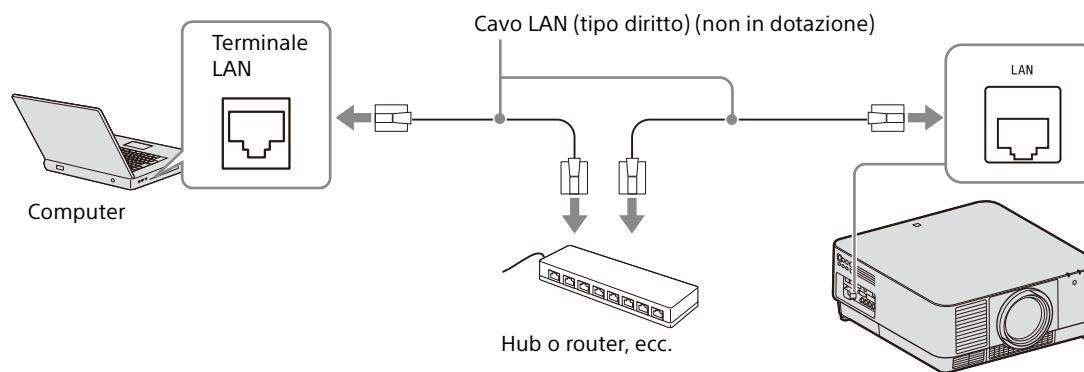
- Spegnerne tutti i dispositivi prima di effettuare qualsiasi collegamento.
- Usare cavi adatti a ciascun collegamento.
- Inserire saldamente le spine dei cavi; eventuali collegamenti instabili potrebbero ridurre le prestazioni dei segnali di immagine o causare malfunzionamenti. Per scollegare un cavo, tirare la spina, non il cavo stesso.
- Per maggiori informazioni, fare riferimento anche al manuale d'uso del dispositivo da collegare.

Collegamento a un computer**INPUT D**

Questo terminale viene utilizzato quando si collega il proiettore a un computer con terminale di uscita HDMI.

**Note**

- Utilizzare un dispositivo compatibile HDMI con il logo HDMI.
- Utilizzare un cavo HDMI ad alta velocità su cui è specificato il logo del tipo di cavo (sono consigliati prodotti Sony).
- Il terminale HDMI di questo proiettore non è compatibile con il segnale DSD (Direct Stream Digital, streaming digitale diretto) o CEC (Consumer Electronics Control, controllo elettronica di consumo).

Collegamento a un'apparecchiatura di rete**Tramite un terminale LAN****Nota**

Quando si utilizzano le funzionalità di rete tramite il terminale LAN, verificare che "Imp. LAN" sia impostato su "Porta LAN".

Collegamento a un dispositivo HDBaseT™

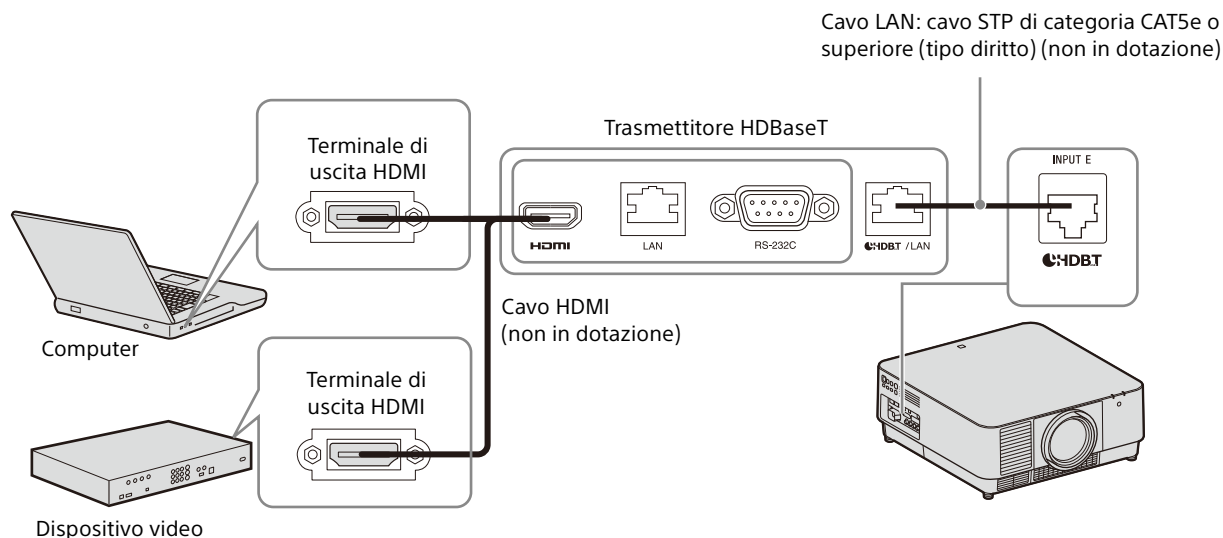
Il trasmettitore HDBaseT viene utilizzato quando si collega il proiettore a un computer, un dispositivo video o un'apparecchiatura di rete.

Note per la connessione di questa unità e del trasmettitore HDBaseT

- Chiedere ad un professionista o ad un rivenditore Sony di eseguire il cablaggio. Se il cablaggio non è stato eseguito correttamente, le caratteristiche di trasmissione del cavo ne risentono provocando immagini instabili o interruzione delle immagini.
- Collegare il cavo direttamente al trasmettitore HDBaseT, senza passare attraverso un hub o un router.
- Utilizzare cavi che soddisfino le seguenti condizioni.
 - CAT5e o superiori
 - Tipo schermato (con copertura dei connettori)
 - Connessione dritta
 - Conduttore singolo
- Quando si installano i cavi, utilizzare un tester per cavi, un analizzatore per cavi o un dispositivo simile per verificare che questi soddisfino i requisiti CAT5e o superiori. Se è presente un connettore di transito fra questa unità e il trasmettitore HDBaseT, includerlo durante la misura.
- Per ridurre gli effetti dei disturbi, installare e utilizzare il cavo in modo che non sia arrotolato e che sia il più dritto possibile.
- Installare il cavo a distanza da altri cavi (in particolare cavi di alimentazione).
- Quando si installano più cavi, non legarli fra di loro e mantenere i tratti in parallelo il più corti possibile.
- La distanza massima di trasmissione dei cavi è di circa 100 m. Se si superano i 100 m, si potranno verificare interruzioni dell'immagine o malfunzionamenti della comunicazione LAN. Non utilizzare il trasmettitore HDBaseT oltre la distanza massima trasmissibile del cavo.
- Per problemi operativi o di funzionamento provocati da dispositivi di altri produttori, rivolgersi ai produttori pertinenti.

Collegamento a un computer/dispositivo video

INPUT E



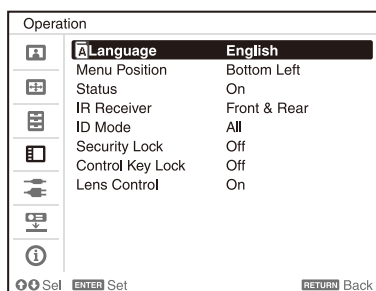
Per informazioni su altri metodi di collegamento, consultare "Collegamento del proiettore" nelle Istruzioni d'uso fornite nel CD-ROM in dotazione.

Selezione della lingua del menu

L'impostazione di fabbrica relativa alla lingua di visualizzazione di menu, messaggi e simili è l'inglese.

Per cambiare la lingua delle indicazioni a schermo, procedere come indicato di seguito:

- 1 Collegare il cavo di alimentazione CA a una presa a muro.
- 2 Accendere il proiettore.
Premere il tasto I/⏻ sull'unità principale oppure il tasto I sul telecomando.
- 3 Premere il tasto MENU per visualizzare il menu.
Se non è possibile visualizzare correttamente le indicazioni, regolare la messa a fuoco, la dimensione e la posizione dell'immagine proiettata (Pagina 18).
- 4 Selezionare la lingua per i menu.
 - ① Premere il tasto ↑ o ↓ per selezionare il menu Operation (E), quindi premere il tasto ENTER.
 - ② Premere il tasto ↑ o ↓ per selezionare "Language (A)", quindi premere il tasto ENTER.



- ③ Premere il tasto ↑/↓/←/→ per selezionare una lingua, quindi premere il tasto ENTER.
- 5 Premere il tasto MENU per chiudere la schermata di menu.

Proiezione dell'immagine

Le dimensioni dell'immagine proiettata dipendono dall'obiettivo montato o dalla distanza tra il proiettore e lo schermo. Posizionare il proiettore in modo che l'immagine proiettata rientri nelle dimensioni dello schermo. Per informazioni sulle distanze di proiezione e sulle dimensioni delle immagini proiettate, vedere "Distanza di proiezione e campo di spostamento dell'obiettivo" nelle Istruzioni d'uso.

- 1 Collegare il cavo di alimentazione CA a una presa a muro.
- 2 Collegare tutti i dispositivi necessari al proiettore (Pagina 15).
- 3 Accendere il proiettore.
Premere il tasto I/⏻ sull'unità principale, oppure il tasto I sul telecomando.
- 4 Accendere il dispositivo collegato.
- 5 Selezionare la sorgente d'ingresso.
Premere il tasto INPUT sul proiettore o sul telecomando per visualizzare la finestra di selezione dell'ingresso. Premere più volte il tasto INPUT o il tasto ↑/↓ per selezionare un'immagine da proiettare. L'icona di segnale -E- compare sul lato destro nella finestra di selezione dell'ingresso quando viene immesso un segnale.*1
È inoltre possibile selezionare un segnale di ingresso sul telecomando.
*1: Quando viene immesso INPUT F con l'adattatore opzionale compatibile collegato, viene sempre visualizzata l'icona di segnale -E-. (Disponibile solo per VPL-FHZ120L)
- 6 Cambiare la destinazione di uscita dello schermo del computer su un display esterno. Il metodo per commutare la destinazione di uscita varia in funzione del tipo di computer.
(Esempio)



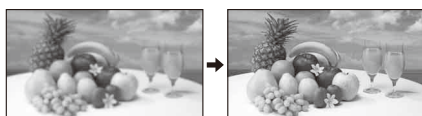
- 7 Regolare l'immagine proiettata (Pagina 18).

Spegnimento dell'alimentazione

- 1 Premere il tasto I/⏻ sull'unità principale oppure il tasto ⏻ sul telecomando.
Il processo di spegnimento si avvia e il proiettore entra in modalità di attesa.
- 2 Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro.

Regolazione dell'immagine proiettata

Messa a fuoco dell'immagine (Fuoco)

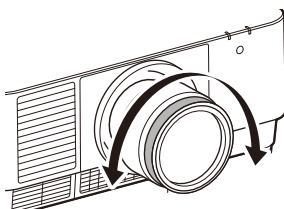


Con obiettivo con messa a fuoco asservita

Premere il tasto FOCUS sul proiettore o sul telecomando, quindi premere il tasto ⬆/⬇/⬅/➡.

Con obiettivo con messa a fuoco manuale

Ruotare l'anello di messa a fuoco.



Regolazione della dimensione dell'immagine (Zoom)

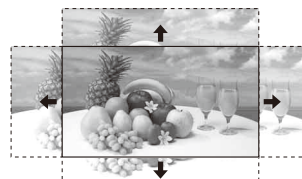


Con obiettivo con zoom asservito

Premere il tasto ZOOM sul proiettore o sul telecomando, quindi premere il tasto ⬆/⬇/⬅/➡.

Regolazione della posizione dell'immagine (Spostamento obiettivo)

Premere il tasto LENS SHIFT/SHIFT sul proiettore o sul telecomando, quindi premere il tasto ⬆/⬇/⬅/➡.

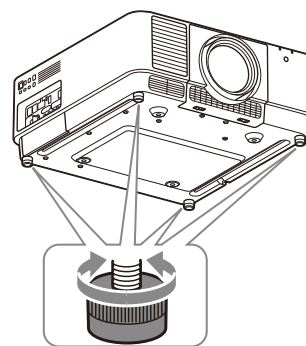


Per riportare l'obiettivo nella posizione centrale dell'immagine proiettata

Premere il tasto RESET sul telecomando durante la regolazione della posizione dell'immagine.

Regolazione dell'inclinazione del proiettore con i piedini regolabili

Se il proiettore è installato su una superficie non uniforme, regolarlo tramite i piedini regolabili.



Note

- Fare attenzione a non pizzicarsi le dita.
- Non spingere con forza sulla parte superiore del proiettore quando i piedini regolabili sono estesi. Potrebbe verificarsi un malfunzionamento.

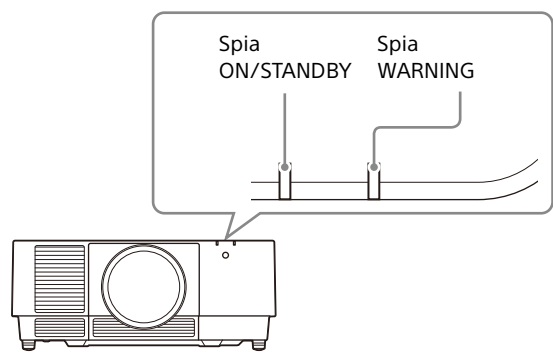
Visualizzazione di un modello per la regolazione di un'immagine

È possibile visualizzare un modello per la regolazione dell'immagine proiettata utilizzando il tasto PATTERN sul telecomando. Utilizzare ⬆/⬇ per cambiare il modello e ⬅/➡ per cambiare il colore. Premere nuovamente il tasto PATTERN per ripristinare l'immagine precedente.

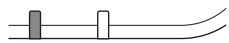
Se fosse necessario regolare ulteriormente le immagini proiettate, consultare "Proiezione/regolazione dell'immagine" nelle Istruzioni d'uso fornite nel CD-ROM in dotazione.

Spie

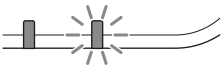
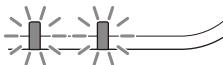
È possibile verificare lo stato o anomalie del proiettore controllando lo stato di illuminazione/lampeggio della spia ON/STANDBY e della spia WARNING sulla parte anteriore. Se le spie lampeggiano in rosso, risolvere il problema come indicato in “Spie di indicazione e soluzioni” (Pagina 20).



Indicazione stato

Stato spia	Stato di funzionamento	Descrizione
 (Accesa, (Spenta) rossa)	Attesa	Viene fornita alimentazione al proiettore e il proiettore è in modo di attesa secondo le impostazioni.
 (Lampeggiante, (Spenta) verde)	Riscaldamento	Il proiettore è in riscaldamento dopo l'accensione, oppure è in corso l'aggiornamento del software.
 (Accesa, (Spenta) verde)	Pronto	Il proiettore è pronto per la proiezione.
 (Accesa, (Spenta) arancione)	Altro stato di attesa	Il proiettore è in modo di attesa No s. ingr. (Speg. luce) o Riavvio rapido.

Spie di indicazione e soluzioni

Stato spia	Numero di lampeggi	Significato/Soluzioni
 (Accesa, (Lampeggiante, rossa) rossa)	Due	Il coperchio del filtro o il filtro dell'aria non è installato saldamente. Verificare il fissaggio del coperchio del filtro o del filtro dell'aria e fissare saldamente (Pagina 21).
	Tre	La sorgente luminosa non si accende correttamente. Scollegare il cavo di alimentazione CA e accertare che la spia ON/STANDBY si spenga. Inserire quindi la spina del cavo di alimentazione CA nella presa a muro e accendere il proiettore.
	Quattro	È stato rilevato un errore durante l'aggiornamento del software dell'unità. Scollegare il cavo di alimentazione CA e verificare che la spia ON/STANDBY si spenga. Controllare la connessione USB o LAN prima di collegare il cavo di alimentazione CA alla presa a muro e accendere il proiettore. Aggiornare quindi di nuovo il software.
	Sei	È stato rilevato un forte urto al proiettore. Se non vi sono anomalie visibili, scollegare il cavo di alimentazione CA e accertarsi che la spia ON/STANDBY si spenga. Inserire quindi la spina del cavo di alimentazione CA nella presa a muro e accendere il proiettore.
	Otto	L'obiettivo non è fissato correttamente. Verificare il fissaggio dell'obiettivo e installarlo saldamente (Pagina 13).
 (Lampeggiante, (Lampeggiante, rossa) rossa) Entrambe le spie lampeggiano	Due	La temperatura del proiettore è anomala. Eseguire le operazioni seguenti. • Controllare se il filtro dell'aria è intasato, quindi pulirlo o sostituirlo (Pagina 21). • Verificare che le prese di ventilazione (aspirazione/scarico) non siano ostruite da un muro o da un oggetto e assicurare uno spazio sufficiente. • Verificare la temperatura ambiente e utilizzare il proiettore entro la gamma di temperatura di funzionamento.

Se le spie lampeggiano in modi differenti da quelli descritti, scollegare il cavo di alimentazione CA e accertarsi che la spia ON/STANDBY si spenga. Inserire quindi la spina del cavo di alimentazione CA nella presa a muro e accendere il proiettore.

Se il problema persiste, rivolgersi a personale Sony qualificato.

Se si verificano problemi o viene visualizzato un messaggio di errore sullo schermo, consultare "Elenco dei messaggi" o "Risoluzione dei problemi" nelle Istruzioni d'uso fornite nel CD-ROM in dotazione.

Pulizia del filtro dell'aria

Quando viene visualizzato il messaggio che richiede di pulire il filtro dell'aria, procedere alla sua pulizia.

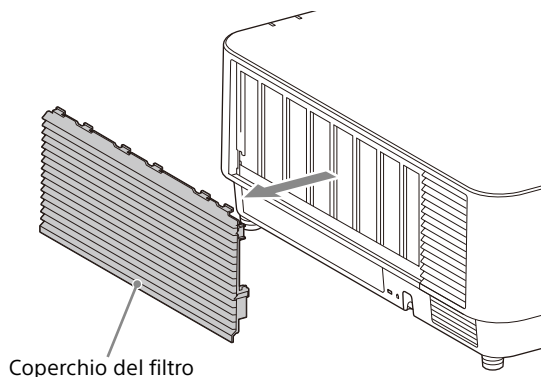
Se non è possibile togliere la polvere dal filtro dell'aria anche dopo la pulizia, sostituirlo con un filtro nuovo.

Per i dettagli sul nuovo filtro dell'aria, rivolgersi a personale Sony qualificato.

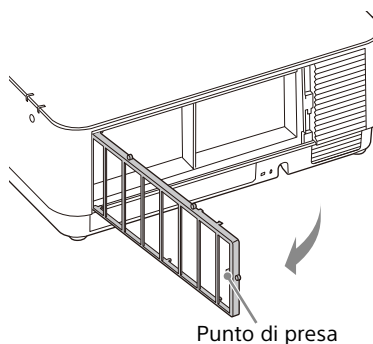
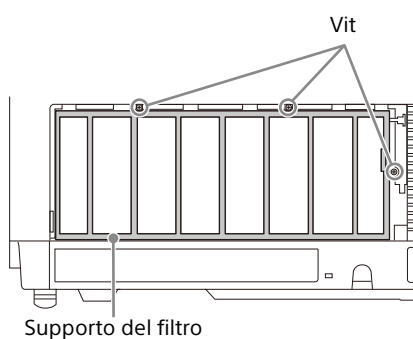
Attenzione

Se si continua a utilizzare il proiettore anche dopo la visualizzazione del messaggio, la polvere può accumularsi e provocare ostruzioni. Di conseguenza, la temperatura interna dell'unità potrebbe aumentare, comportando problemi di funzionamento e incendi.

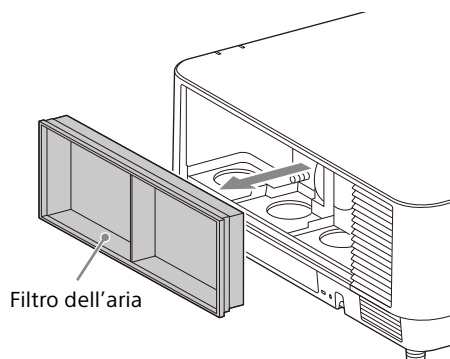
- 1 Spegnerne il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA.
- 2 Fare scorrere verso il basso il coperchio del filtro spingendo gli angoli superiori sui due lati per rimuovere il coperchio del filtro.



- 3 Allentare le viti (tre) ed estrarre il supporto del filtro pizzicando i punti di presa sul lato destro e ruotando il supporto.



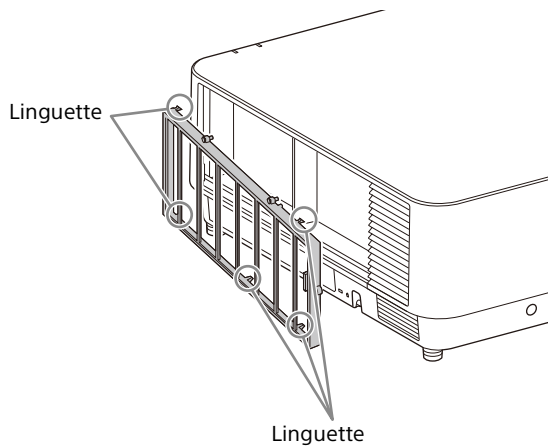
- 4 Estrarre il filtro dell'aria dall'unità principale.



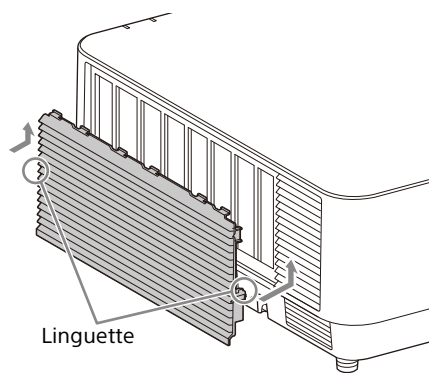
- 5 Pulire il filtro dell'aria con un aspirapolvere.

6 Ripristinare il filtro dell'aria e fissare il supporto del filtro.

Quando si fissa il supporto del filtro, inserire prima le due linguette a sinistra, inserire le tre linguette a destra e serrare le tre viti.



7 Inserire le linguette sul coperchio del filtro e far scorrere il coperchio del filtro verso l'alto.



Nota

Verificare di fissare saldamente il filtro dell'aria: nel caso questo non sia fissato saldamente, l'alimentazione non potrà essere attivata.

О документе Краткое справочное руководство

В данном документе “Краткое справочное руководство” описаны основные операции для проецирования изображений. В этом руководстве также содержатся важные примечания и предупреждения, которым следует уделять особое внимание при обращении с аппаратом и его эксплуатации.

При необходимости см. “Индикаторы” и “Очистка воздушного фильтра”.

Для получения дополнительной информации об операциях см. документ Инструкция по эксплуатации, содержащийся на прилагаемом компакт-диске.

Шаг 1.

Подготовка.....Стр. 19

Шаг 2.

ПодключениеСтр. 22

Шаг 3.

Проецирование.....Стр. 24

ИндикаторыСтр. 26

Очистка воздушного фильтраСтр. 28

Проектор данных VPL-FHZ120L/FHZ90L

Перед использованием устройства внимательно прочитайте настоящее руководство и сохраните его для получения необходимой информации в будущем.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Для снижения риска возгорания и поражения электрическим током не допускайте воздействия на аппарат влаги и сырости.

Чтобы исключить риск поражения электрическим током, не вскрывайте корпус. Обслуживание аппарата должны выполнять только квалифицированные специалисты.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Данное устройство должно быть заземлено.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

При установке устройства используйте легкодоступный прерыватель питания с фиксированной проводкой или подключите провод питания к легкодоступной настенной розетке, расположенной рядом с устройством. Если в процессе эксплуатации блока возникнет неисправность, с помощью прерывателя отключите питание, или отсоедините провод питания.

ВНИМАНИЕ

- При неправильной замене элементов питания возникает опасность взрыва. Используйте для замены только идентичные или эквивалентные элементы питания, рекомендуемые изготовителем.
- При утилизации аккумулятора или изделия следует соблюдать законы соответствующей страны или соответствующего региона. Не утилизируйте аккумулятор или изделие в огне или в горячей печи, не уничтожайте их механическим путем и не разрезайте аккумулятор. Он может взорваться или привести к пожару. Не подвергайте аккумулятор воздействию чрезвычайно низкого атмосферного давления, которое может привести к взрыву или утечке воспламеняющейся жидкости или воспламеняющегося газа.

- Не размещайте аккумулятор в местах с высокой температурой, например под воздействием прямых солнечных лучей или возле огня. Он может загореться, взорваться или привести к пожару. Не подвергайте аккумулятор воздействию воды. Это может привести к поражению электрическим током.

ОСТОРОЖНО

Разъем LAN

В целях обеспечения безопасности не подключайте к этому порту соединительные разъемы электропроводки периферических устройств, которые, возможно, имеют чрезмерно высокое напряжение.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

1. Используйте разрешенные к применению шнур питания (с 3-жильным силовым проводом) / разъем для подключения бытовых приборов / штепсельную вилку с заземляющими контактами, соответствующие действующим нормам техники безопасности каждой отдельной страны.
2. Используйте шнур питания (с 3-жильным силовым проводом) / разъем для подключения бытовых приборов / штепсельную вилку, соответствующие допустимым номинальным характеристикам (напряжение, сила тока).

В случае вопросов относительно использования упомянутых выше шнура питания / разъема для подключения бытовых приборов / штепсельной вилки, пожалуйста, обращайтесь к квалифицированным специалистам по сервисному обслуживанию.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Использование этого оборудования в жилой зоне может вызвать радиопомехи.

Для пользователей в Европе

Данный аппарат не следует использовать в жилой зоне.

SONY

Сони Корпорейшн

1-7-1 Конан Минато-ку Токио, 108-0075 Япония

Сделано в Китае

Импортер на территории стран Таможенного союза
АО «Сони Электроникс», Россия, 123103, Москва,
Карамышевский проезд, 6

Это устройство является проектором для проецирования изображений с подключенного компьютера или видеооборудования.

Условия хранения во время использования:

Изделия следует хранить в темных, сухих, чистых, хорошо проветриваемых местах, изолированных от мест хранения кислот и щелочей.

Хранить вдали от тепла и влаги во избежание конденсации.

– Температура хранения: От -10 °C до +60 °C.

– Допустимая влажность при хранении: Не более 20%–80% без конденсации.

Срок хранения не установлен.

Транспортировать в оригинальной упаковке, во время транспортировки не бросать, оберегать от падений, ударов, не подвергать излишней вибрации.

Если неисправность не удается устранить следуя данной инструкции

– обратитесь в ближайший авторизованный SONY центр по ремонту и обслуживанию.

Дата изготовления указана на изделии и упаковке на этикетке со штрих-кодом в следующем формате: YYY-ММ, где ММ - месяц, YYY - год изготовления.

Реализацию осуществлять в соответствии с действующими требованиями законодательства. Отслужившее изделие утилизировать в соответствии с действующими требованиями законодательства.

Қазақстандағы тұтынушыларға арналған

Ақпараттық проектор VPL-FHZ120L/FHZ90L

ЕСКЕРТУ

Өрт шығу немесе ток соғу қаупін азайту үшін бұл құрылғыны жаңбырдың астында немесе ылғалды жерде қалдырмаңыз.

Ток соғуды болдырмау үшін құрылғының корпусын ашпаңыз. Жөндеу жұмыстарын білікті мамандар ғана орындауы тиіс.

ЕСКЕРТУ

Бұл құрылғыны жерге қосу керек.

ЕСКЕРТУ

Құрылғыны орнатқан кезде, бекітілген электр схемасына оңай қол жеткізуге болатын ажыратқышты қосыңыз немесе штепсельді құрылғының жанындағы оңай қол жеткізуге болатын желілік розеткаға қосыңыз. Құрылғыны пайдалану кезінде ақау пайда болса, қуат көзін ажырату үшін ажыратқышты пайдаланыңыз немесе штепсельді ажыратыңыз.

АБАЙЛАҢЫЗ

- Батарея дұрыс ауыстырылмаған жағдайда жарылыс қаупі бар. Тек өндіруші ұсынған немесе баламалы түрдегі батареяларға ауыстырыңыз.
- Батареяны немесе өнімді утилизациялағанда, тиісті аумақтың немесе елдің заңдарын сақтау қажетсіз. Батареяны немесе өнімді отта, қысқа толқынды пеште немесе механикалық түрде езу не кесу арқылы утилизацияламаңыз. Ол жарылысқа немесе өртке әкелуі мүмкін. Батареяны ауа қысымы өте төмен жерге қоймаңыз, себебі жарылуға немесе оңай тұтанатын сұйықтықтың не газдың шығуына әкелуі мүмкін.
- Батареяны температурасы жоғары орынға, мысалы, тікелей түсетін күн сәулесіне, отқа жақын қоймаңыз. Ол тұтануға, жарылуға немесе өртке әкелуі мүмкін. Батареяны суға немесе теңіз суына батырмаңыз немесе жумаңыз. Бұл ток соғуға әкелуі мүмкін.

АБАЙЛАҢЫЗ

LAN коннекторы туралы

Қауіпсіздік үшін коннекторды бұл портқа артық кернеу түсіруі мүмкін перифериялық құрылғысымына жалғамаңыз.

ЕСКЕРТУ

1. Мүмкін болса, мақұлданған және әр елдің қауіпсіздік ережелеріне сай Қуат сымын (3-өзекті желі сымы) / Құрылғы коннекторын / Жерге тұйықтау түйіспелері бар айыр штепсельді пайдаланыңыз.
2. Тиісті көрсеткіштерге (Кернеу, ампер) сай Қуат сымын (3-өзекті желі сымы) / Құрылғы коннекторын / Айыр штепсельді пайдаланыңыз.

Егер жоғарыдағы Қуат сымын / Құрылғы коннекторын / Айыр штепсельді пайдалану туралы сұрақтарыңыз болса, білікті маманға жүгініңіз.

ЕСКЕРТУ

Бұл жабдықты тұрғылықты ортада пайдалану радио кедергіге себеп болуы мүмкін.

Еуропадағы тұтынушыларға арналған

Бұл құрылғыны тұрғын аумақта пайдалануға болмайды.

АБАЙЛАҢЫЗ

Келесі өлшемді және батарея саны қашықтан басқару пультіне талап етіледі.

- AA (R6) өлшемді батарея
- 2 дана

Жарылыс қаупін болдырмау үшін келесі батарея түрін пайдаланыңыз.

- Марганец немесе сілтілі батарея

SONY

Өндіруші:

Сони Корпорейшн

Өндіруші мекенжайы:

1-7-1 Конан Минато-ку Токио, 108-0075 Жапония

Қытайда жасалған

Кеден одағы жеріндегі шетелден әкелуші

«Сони Электроникс» АҚ, Ресей, 123103, Мәскеу, Карамышевский өтпе көшесі, 6

Бұл проектор жалғанған компьютерден немесе бейне құрылғыдан суреттер көрсету үшін пайдаланылады.

Пайдалану кезіндегі сақтау шарттары:

Өнімдер қышқылдар мен сілтілерге арналған сақтау орындарынан оқшауланған қараңғы, құрғақ, таза, жақсы желдетілетін жерлерде сақталуы керек.

Конденсацияны болдырмау үшін, ыстық және ылғал көздерінен алыс сақтаңыз.

– Сақтау температурасы: -10°C – $+60^{\circ}\text{C}$.

– Сақтау ылғалдылығы: конденсациясыз 20% – 80% аспайды.

Сақтау мерзімі белгіленбеген.

Түпнұсқалық орамда тасымалдау керек, тасымалдау кезінде лақтыруға болмайды, құлаудан, соққылардан қорғау керек, шектен тыс дірілге ұшыратпау керек.

Егер осы нұсқаулыққа сүйене отырып, ақаулықты жою мүмкін болмаса, ең жақын заңды тіркелген SONY жөндеу және күтіп ұстау орталығына хабарласыңыз.

Қажетті қуат:

VPL-FHZ120L: 100 В – 240 В айнымалы ток, 10,8 А – 4,4 А, 50/60 Гц

VPL-FHZ90L: 100 В – 240 В айнымалы ток, 8,4 А – 3,4 А, 50/60 Гц

Тұтынылатын қуат:

100 В – 120 В айнымалы ток: VPL-FHZ120L:

1076 Вт, VPL-FHZ90L: 840 Вт

220 В – 240 В айнымалы ток: VPL-FHZ120L:

1033 Вт, VPL-FHZ90L: 814 Вт

Тұтынылатын қуат (күту режимі):

100 В – 120 В айнымалы ток: 0,50 Вт (күту режимі төмен мәнге қойылғанда)

220 В – 240 В айнымалы ток: 0,50 Вт (күту режимі төмен мәнге қойылғанда)

Тұтынылатын қуат (желілік күту режимі):

100 В – 120 В айнымалы ток: 21,6 Вт (LAN), 26,5 Вт (HDBaseT), 26,6 Вт (барлық клеммалар мен желілер жалғанған) (күту режиміне стандартты мән қойылғанда)

220 В – 240 В айнымалы ток: 21,3 Вт (LAN), 26,5 Вт (HDBaseT), 26,6 Вт (барлық клеммалар мен желілер жалғанған) (күту режиміне стандартты мән қойылғанда)

Жылу таралуы:

100 В – 120 В айнымалы ток: VPL-FHZ120L:

3671 БЖБ/сағ, VPL-FHZ90L: 2866 БЖБ/сағ

220 В – 240 В айнымалы ток: VPL-FHZ120L:

3524 БЖБ/сағ, VPL-FHZ90L: 2777 БЖБ/сағ

Сыртқы көлемдері:

544×225×572 мм (Е/Б/Қ)

544×205×564 мм (Е/Б/Қ) (шығыңқы бөліктерсіз)

Салмағы:

VPL-FHZ120L: шамамен 27 кг

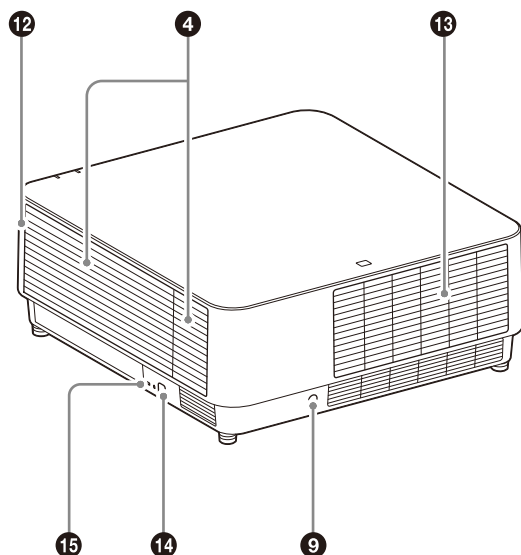
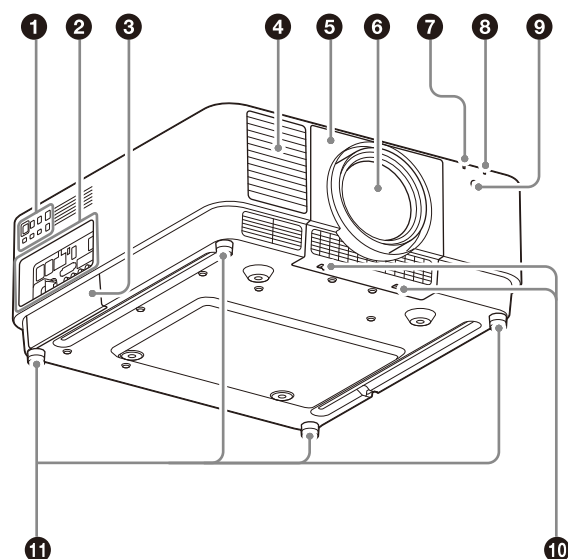
VPL-FHZ90L: шамамен 26 кг

Шығарылған күн өнімде немесе жапсырмада штрихкодпен бірге мынадай форматта көрсетілген: YYYY-MM, мұндағы MM шығарылған айды, YYYY жылды білдіреді.

Сатуды күшінде тұрған заң талаптарына сәйкес жүзеге асыру керек. Қызмет мерзімі біткен бұйымды күшінде тұрған заң талаптарына сәйкес залалсыз кәдеге асыру керек.

Басқару элементтерінің орны

Негізгі құрылғы



❶ Басқару панелі (7-бет)

❷ Клеммалар (7-бет)

❸ Таңдаулы адаптер слоты
(тек VPL-FHZ120L моделінде бар)

Таңдаулы адаптерді (жинақта берілмеген) бекітуге болады.

❹ Желдету тесіктері (тартатын)

❺ Объектив қақпағы

❻ Объектив (жинақта берілмеген)

❼ ON/STANDBY индикаторы

❽ WARNING индикаторы

❾ Қашықтан сигнал қабылдағыш

Проектордың алдында және артында орналасқан.

❿ LENS COVER RELEASE түймелері

⓫ Реттемелі аяқтар

⓫ Сүзгі қақпағы

⓫ Желдету тесіктері (шығаратын)

⓫ Ұрлыққа қарсы кедергі

Сатып алынған ұрлыққа қарсы тізбекті немесе сымды қосады.

⓫ Ұрлыққа қарсы құлып

Kensington шығарған таңдаулы ұрлыққа қарсы кабельді жалғайды.

Толық мәліметтерді Kensington веб-сайтынан қараңыз.

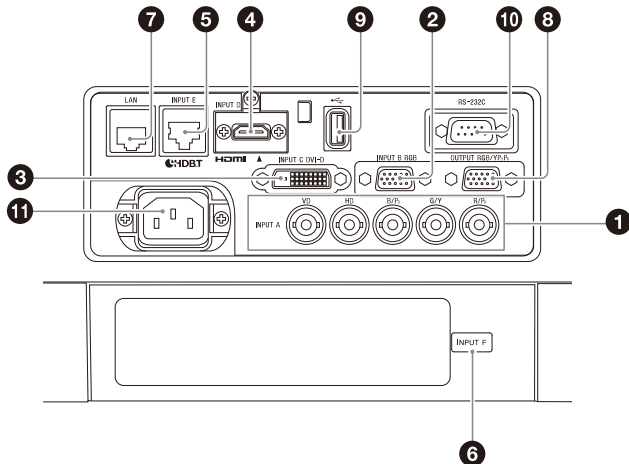
<http://www.kensington.com/>

Абайлаңыз

Желдету тесіктерінің жанына ештеңе қоймаңыз.

Температура құрылғының ішінде көтеріліп, ақауға немесе өрттің шығуына себеп болуы мүмкін. Желдету тесіктерінің (шығаратын) жанына және оларға жақын жерлерге қолыңызды немесе оңай бүлінетін заттарды қоймаңыз. Қойған жағдайда күйдіруі немесе бүлдіруі мүмкін.

Клеммалар



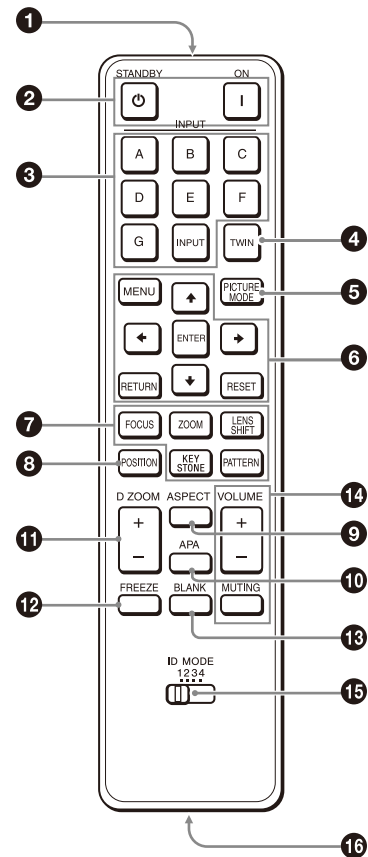
- 1 INPUT A**
Бейне: RGB/YP_BP_R кіріс клеммасы (RGB HD VD/YP_BP_R)
- 2 INPUT B**
Бейне: RGB кіріс клеммасы (RGB)
- 3 INPUT C**
Бейне: DVI-D кіріс клеммасы (DVI-D)
- 4 INPUT D**
Бейне: HDMI кіріс клеммасы (HDMI)
- 5 INPUT E**
HDBaseT клеммасы
- 6 INPUT F** (тек VPL-FHZ120L моделінде бар)
- 7 LAN клеммасы**
HTML көру құралы функциясына пайдаланылғанда INPUT G ретінде қолжетімді.
- 8 OUTPUT**
Бейне: RGB/YP_BP_R шығыс клеммасы (RGB/YP_BP_R)
Бұл клемма көрсетілетін кескіндерді шығарады. Компьютер сигналы RGB кіріс клеммасынан (INPUT A, INPUT B) немесе бейне сигнал YP_BP_R кіріс клеммасынан (INPUT A) келгенде, кескіндер шығады.
- 9 USB порты**
HTML көру құралы және бағдарламалық құралды жаңарту үшін.
HTML көру құралы функциясына пайдаланылғанда INPUT G ретінде қолжетімді.

- 10 RS-232C клеммасы**
RS-232C үйлесімді басқару клеммасы

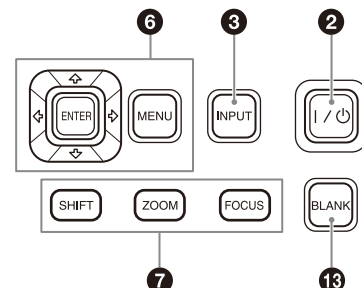
- 11 AC IN (⌚) ұясы**
Жинақта берілген айнымалы ток шнурын жалғайды.

Қашықтан басқару құралы және басқару панелі

Қашықтан басқару құралы



Басқару панелі



- 1 Инфрақызыл сигнал жібергіш**
- 2 I (қосулы) пернесі/⏻ (күту режимі) пернесі**
Проекторды қосады немесе күту режиміне кіреді.

- 3 **INPUT пернесі**
Кіріс сигналын таңдау.
- 4 **TWIN (қос сурет) пернесі**
Экраннан екі кіріс сигналынан алынған кескіндерді негізгі сурет және қосалқы сурет етіп бір уақытта көрсетуге болады.
- 5 **PICTURE MODE пернесі**
Сурет сапасы режимін өзгертеді.
- 6 **MENU пернесі/ENTER пернесі/▲/▼/◀/▶ (көрсеткі) пернелері/RETURN пернесі/RESET пернесі**
Мәзірді пайдалану.
- 7 **FOCUS пернесі**
Электр фокустау объективін бекіткенде, осы пернені пайдаланыңыз
ZOOM пернесі
Электр масштабтау объективін бекіткенде, осы пернені пайдаланыңыз
LENS SHIFT/SHIFT пернесі/PATTERN пернесі/KEYSTONE пернесі
Көрсетілген кескінді реттеген кезде, осы пернені пайдаланыңыз.
- 8 **POSITION (сурет орны) пернесі**
Объектив параметрлерінің (фокус, сурет өлшемі (масштаб), сурет орны (объектив өзгерісі)) алты комбинациясына дейін сақтауға болады.
- 9 **ASPECT пернесі**
Көрсетілген кескіннің өлшемдер арақатынасын өзгертеді.
- 10 **APA (пикселдерді автоматты туралау) пернесі**
Компьютерден сигнал RGB кіріс клеммасынан (INPUT A, INPUT B) берілгенде, суреттің ең анық түріне автоматты түрде туралайды. Реттеу кезінде APA пернесін қайтадан басып, реттеуден бас тартуға болады.
- 11 **D ZOOM (цифрлық масштаб) пернесі**
Көрсетілетін кескіннің бір бөлігін үлкейтеді.
- 12 **FREEZE пернесі**
Көрсетіліп жатқан кескінді уақытша тоқтатады. Кескінді қалпына келтіру үшін қайтадан басыңыз. Компьютер сигналынан келгенде, осы пернені пайдаланыңыз.
- 13 **BLANK пернесі**
Кескінді уақытша өшіреді. Кескінді қалпына келтіру үшін қайтадан басыңыз.
- 14 **VOLUME пернесі/MUTING пернесі**
Проекторда пайдаланылмайды.
- 15 **ID MODE қосқышы**
Қашықтан басқару құралының идентификациялық режимін белгілейді. Бірнеше проектор пайдаланылған кезде әр проекторға әр түрлі идентификациялық нөмір тағайындалса, қашықтан басқару құралының біредей идентификациялық режим арқылы ғана проекторды басқара аласыз.
- 16 **CONTROL S шығыс клеммасы**
Проекторда пайдаланылмайды.

Қашықтан басқару құралын пайдалану туралы

- Қашықтан басқару құралын қашықтан сигнал қабылдағышқа бағыттаңыз.
- Қашықтан басқару құралы мен проектордың арасы неғұрлым жақын болса, соғұрлым кең бұрышпен қашықтан басқару құралы проекторды басқара алады.
- Егер қашықтан басқару құралы мен проектордағы қашықтан сигнал қабылдағыштың арасында қандай да бір кедергі болса, проектор қашықтан басқару құралынан сигналдар қабылдай алмауы мүмкін.

Предупреждение о необходимости соблюдения техники безопасности при использовании интенсивного лазерного или светового излучения



IEC 60825-1:2014
ЛАЗЕРНАЯ АППАРАТУРА КЛАССА 1

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ: Нельзя смотреть сквозь линзу при использовании.

Внимание

Использование устройств управления, регулировок и других процедур может привести к опасной экспозиции излучения.

Осторожно!

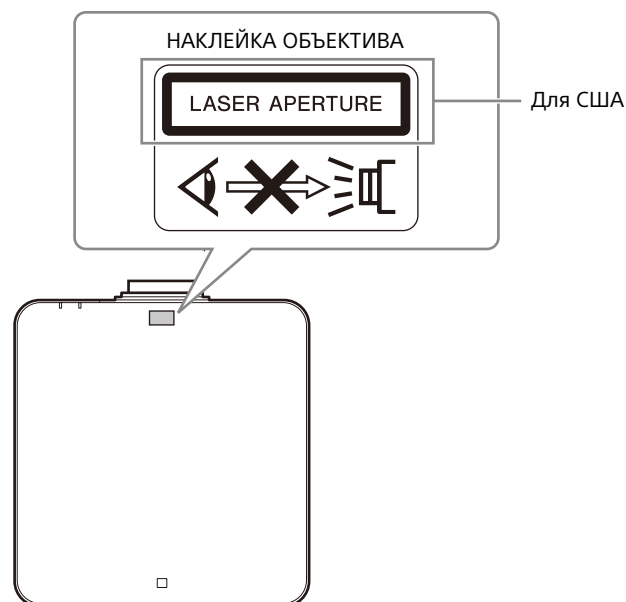
Использование оптических инструментов с данным изделием приведет к увеличению опасного воздействия на глаза.

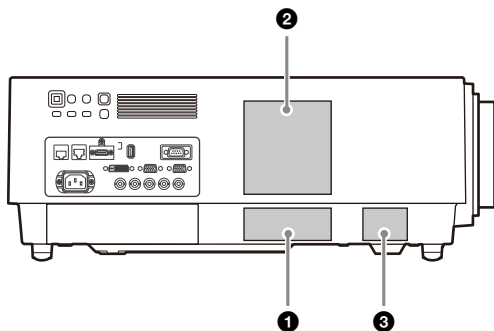
Как и в случае с любым источником яркого света, не смотрите прямо на луч, RG2 IEC 62471-5:2015.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

- Не допускается прямое воздействие луча
- Операторам следует контролировать доступ к лучу в пределах опасного расстояния либо установить изделие на высоте, предотвращающей воздействие на глаза в пределах опасного расстояния.

Расположение информации на наклейках





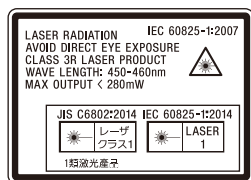
① Пояснительное обозначение для группы риска (для стран за пределами США)

注意 ビームをのぞき込まないこと RG2 このプロジェクタは、投射比が3.4より大きい交換レンズを装着すると、RG3になることがある。運転前に取扱説明書のレンズ一覧と警告図表を確認すること。RG3になるプロジェクタとレンズの組み合わせは、業務用であって、民生用ではない。	Caution Do not stare into the beam RG2 This projector may become RG3 when an interchangeable lens with throw ratio greater than 3.4 is installed. Refer to the manual for the lens list and hazard distance before operation. Such combinations of projector and lens are intended for professional use only, and are not intended for consumer use.
---	--

② Пояснительное обозначение для группы риска

Attention Ne pas regarder fixement dans le faisceau RG2 Ce projecteur peut passer au Groupe de risque RG3 lorsqu'un objectif interchangeable dont le rapport de projection est supérieur à 3,4 est installé. Consulter le manuel pour voir la liste des objectifs et la distance de risque avant de faire fonctionner le projecteur. De telles combinaisons du projecteur et de l'objectif sont destinées à une utilisation exclusivement professionnelle, pas à une utilisation par les consommateurs.	Vorsicht Schauen Sie nicht länger in den Strahl RG2 Dieser Projektor ist unter Umständen als RG3 einzustufen, wenn ein Wechselobjektiv mit einem größeren Projektionsverhältnis als 3,4 installiert wird. Schlagen Sie vor dem Betrieb im Handbuch die Objektivliste und den Gefahrenabstand nach. Solche Kombinationen von Projektor und Objektiv sind ausschließlich auf den professionellen Betrieb ausgelegt und nicht für private Zwecke gedacht.
Precaución No mire directamente al haz RG2 Este proyector puede pasar a ser de tipo RG3 si se instala un objetivo intercambiable con una relación de proyección superior a 3,4. Consulte el manual para ver una lista de objetivos y la distancia de riesgo antes de la utilización. Estas combinaciones de proyector y objetivo están pensadas únicamente para usos profesionales y no para su utilización por parte de los consumidores.	Ostöröj Ne smotrite v lúč RG2 Этот проектор может стать RG3, когда установлен сменный объектив с коэффициентом проекционного отношения, превышающим 3.4. Перед началом работы ознакомьтесь с руководством по применению для получения информации о перечне перечне объективов и опасном расстоянии. Такие комбинации проектора и объектива предназначены только для профессионального использования и не предназначены для использования потребителями в личных целях.
Attenzione Non fissare il raggio RG2 Il presente proiettore può diventare RG3 se si installa un obiettivo intercambiabile con rapporto di proiezione maggiore di 3,4. Per l'elenco degli obiettivi e la distanza di pericolo, consultare il manuale prima dell'utilizzo. Tali combinazioni di proiettore e obiettivo sono previste solo per uso professionale e non per l'uso personale.	Försiktighet! Titta inte rakt in i strålen RG2 Denna projektor kan bli RG3 när ett utbytbar objektiv med ett projiceringsförhållande som är större än 3,4 monteras. Se handboken för en lista över objektiv och riskavstånd före användning. Sådana kombinationer av projektorer och objektiv är endast avsedda för professionell användning och inte för användning av konsument.

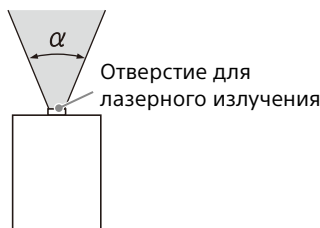
③ ОБОЗНАЧЕНИЕ КЛАССА 1/КЛАССА 3R



Характеристики источника света

Лазерные диоды 4,7 Вт
 × 64 (VPL-FHZ120L)
 × 48 (VPL-FHZ90L)
 Длина волны: 450–460 нм

Угол расходимости пучка от объектива устройства

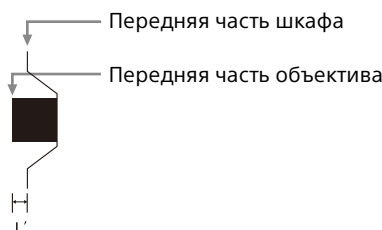


Объектив	Максимальный масштаб: α	Минимальный масштаб: α
VPLL-4008	61°	—
VPLL-Z4015	49°	33°
VPLL-Z4111	35°	27°
VPLL-Z4019	28°	22°
VPLL-Z4025	22°	12°
VPLL-Z4045	12°	7°

Расстояние L' между передней частью объектива (в центре) и передней частью шкафа

Ед. изм.: мм

Объектив	L'
VPLL-4008	98
VPLL-Z4015	88
VPLL-Z4111	123
VPLL-Z4019	67
VPLL-Z4025	96
VPLL-Z4045	93



ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ О НЕОБХОДИМОСТИ СОБЛЮДЕНИЯ ТЕХНИКИ БЕЗОПАСНОСТИ ВО ИЗБЕЖАНИЕ ТРАВМЫ ГЛАЗ

Данное изделие, в соответствии со стандартом IEC 62471-5:2015, имеет группу риска 2 (RG2), но при использовании объектива с высоким коэффициентом проекционного отношения (TR) он приобретает группу риска 3 (RG3).



ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

ПРОЕКТОРЫ, ОТНЕСЕННЫЕ К ГРУППЕ РИСКА 3 (RG3), ПОДЛЕЖАТ УСТАНОВКЕ ТОЛЬКО НА ПОТОЛКЕ. ПРОЧИЕ СПОСОБЫ УСТАНОВКИ ЗАПРЕЩЕНЫ.

ПЕРЕД ИСПОЛЬЗОВАНИЕМ ПРОЕКТОРА ОБРАТИТЕСЬ К ОФИЦИАЛЬНОМУ ДИЛЕРУ SONY.

Проекторы RG2 можно безопасно использовать во всех ситуациях, за исключением случаев, когда предполагается внутрилучевое (прямое) воздействие на близком расстоянии.

Как и на любой яркий источник света, не смотрите в луч, RG2 IEC 62471-5:2015

Изделия группы риска 3 (RG3) представляют потенциальную опасность даже при мгновенном прямом внутрилучевом воздействии на близком расстоянии (на опасном расстоянии).

Не допускается прямое воздействие луча, RG3 IEC 62471-5:2015

Значения опасного расстояния для каждого сменного объектива данного изделия приведены в следующей таблице.

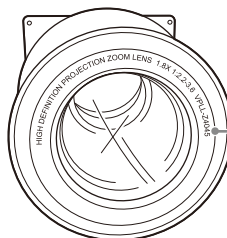
X: разрешено —: запрещено

Тип объектива	Коэффициент проекционного отношения (*1)	Опасное расстояние Ед. изм.: м	Установка на столе	Потолочная установка	Описание типа объектива
VPLL-4008	1,0	Нет данных (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4111	1,3 – 2,0	Нет данных (RG2)	X	X	—
VPLL-Z4015	1,9 – 2,4	Нет данных (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4019	2,4 – 3,1	Нет данных (RG2)	X	X	X
VPLL-Z4025	3,0 – 3,4	Нет данных (RG2)	—	X (*2)	X
	3,4 – 4,1	1,1 (RG3)			
	4,1 – 4,8	1,2 (RG3)			
	4,8 – 5,5	1,3 (RG3)			
	5,5 – 5,6	1,4 (RG3)			
VPLL-Z4045	5,6 – 6,5	2,1 (RG3)	—	X (*2)	X
	6,5 – 8,6	2,2 (RG3)			
	8,6 – 9,6	2,3 (RG3)			

*1: Значение, разделяющее размер экрана (H) на расстояние проецирования
Коэффициент проекционного отношения определяется в зависимости от проектора, с которым используется каждый объектив.
Значения, приведенные выше, относятся к моделям VPL-FHZ120L и VPL-FHZ90L.

*2: Эти комбинации предназначены только для профессионального использования, а не для использования потребителем.

Для получения более подробной информации об установке обратитесь к местному официальному дилеру Sony или квалифицированному персоналу Sony.



Тип объектива отмечен на передней части объектива.

В пределах диапазона проецирования область между объективом и опасным расстоянием определяется как опасная зона (см. следующие рисунки). В опасной зоне интенсивность света превышает максимально допустимую экспозицию (M.P.E.) роговицы глаза. Это представляет опасность, если оператор или посетитель смотрит непосредственно на луч света.

Для безопасной установки (для изделий с установленным объективом RG3)

Перед установкой изделия RG3 ознакомьтесь с приведенными ниже примерами установки и выполните следующие действия.

- Установите изделие в достаточно высоком месте над уровнем пола (2,5 м или выше), чтобы не смотреть на луч света в опасной зоне.
- Используйте физические барьеры (или предупреждающий знак на полу) для посетителей, чтобы избежать непреднамеренного доступа в эту зону.

Для безопасной работы

Если вы устанавливаете изделие RG3 на недостаточной высоте, операторы должны ограничить доступ посетителей в опасную зону.

Если кто-либо непредотвратимо входит в опасную зону, выключите устройство или нажмите клавишу BLANK, чтобы временно отключить изображение.

Даже при использовании изделия RG2 убедитесь, что посетители не смотрят внутрь пучка (прямого луча) с близкого расстояния.

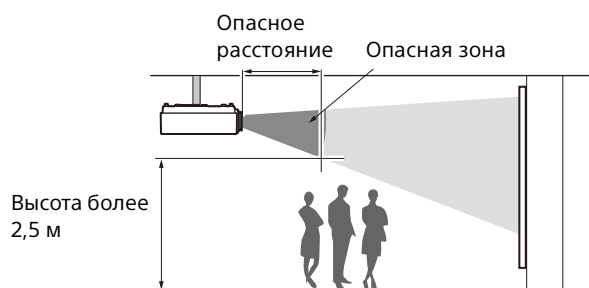
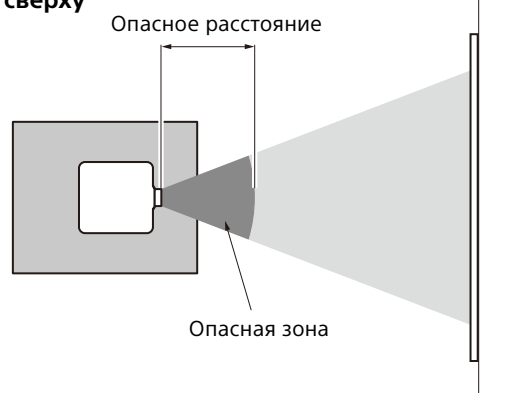
Для безопасного обслуживания (для изделий с установленным объективом RG3)

Обслуживание изделия RG3 должно проводиться квалифицированным персоналом.

Изделие RG3: опасное расстояние и опасная зона

Потолочная установка изделия RG3

Вид сверху



Проекторы с объективом из группы RG3 предназначены только для профессионального использования и не предназначены для бытового использования.

Для получения более подробной информации об установке обратитесь к местному официальному дилеру Sony или квалифицированному персоналу Sony.

Меры предосторожности

Сведения о безопасности

- Убедитесь, что рабочее напряжение устройства идентично напряжению местной электросети. При необходимости адаптации напряжения обратитесь к квалифицированному персоналу компании Sony.
- В случае попадания внутрь корпуса устройства посторонних предметов или жидкостей отключите его от электрической сети и перед дальнейшим использованием передайте на проверку квалифицированному персоналу компании Sony.
- Если устройство не будет использоваться на протяжении нескольких дней, отключите его от электрической розетки.
- Для отсоединения шнура беритесь за штепсель. Никогда не тяните за шнур.
- Устройство следует подключать к расположенной рядом электрической розетке, доступ к которой ничем не затруднен.
- Устройство остается подключенным к источнику питания переменного тока, пока оно подключено к электрической розетке, даже если само устройство выключено.
- Нельзя смотреть сквозь линзу при использовании.
- Не позволяйте детям самостоятельно использовать устройство.
- Не подносите руки или какие-либо предметы к вентиляционным отверстиям - из них выходит горячий воздух.
- Соблюдайте осторожность, чтобы не защемить пальцы ножками (регулируемыми) во время регулировки высоты устройства. Не давите на устройство с силой, когда регулятор выдвинут.
- Перемещать устройство нужно вдвоем, взявшись за обе стороны устройства.
- Не используйте удлинитель в условиях низкого напряжения - это может вызвать короткое замыкание и привести к травмам.
- Будьте осторожны, чтобы не прищемить пальцы, передвигая проектор, установленный на полу.
- Будьте осторожны, чтобы пальцы не попали в вентилятор.
- Не переносите проектор внутри корпуса с открытой крышкой.

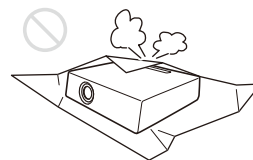
- Не устанавливайте проектор возле источников тепла, например батарей или трубопроводов горячего воздуха, а также в местах, не защищенных от прямых солнечных лучей, в условиях чрезмерной запыленности или влажности, механических вибраций или толчков.
- В случае блокировки вентиляционных отверстий внутренняя температура устройства повышается, что может стать причиной пожара или повреждения устройства. Выполните следующие действия, чтобы обеспечить необходимую циркуляцию воздуха и предотвратить повышение внутренней температуры устройства.
- Установите устройство на некотором расстоянии от стен и других объектов (Стр. 15).



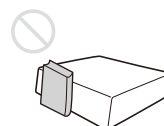
- Ничем не накрывайте вентиляционные отверстия (выходные/входные).



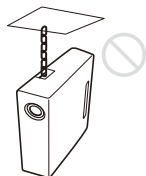
- Не подкладывайте под устройство упаковочный материал, мягкую ткань, коврики, листы или обрезки бумаги. Такие материалы могут попасть в вентиляционные отверстия.



- Не располагайте непосредственно перед линзой какие-либо предметы, которые могут загораться светом во время проецирования. Излучаемое тепло может повредить предмет. Используйте функцию блокировки изображения, чтобы прервать отображение.



- При транспортировке или установке устройства не используйте защитную панель для предотвращения кражи устройства. Не поднимайте и не подвешивайте устройство за защитную панель - это может привести к падению и повреждению устройства, а также травмам.



Информация для дилеров

- Для установки проектора на потолке необходимо использовать кронштейн производства компании Sony или аналогичное рекомендованное крепление.
- При установке на потолок плотно закрывайте крышку корпуса.

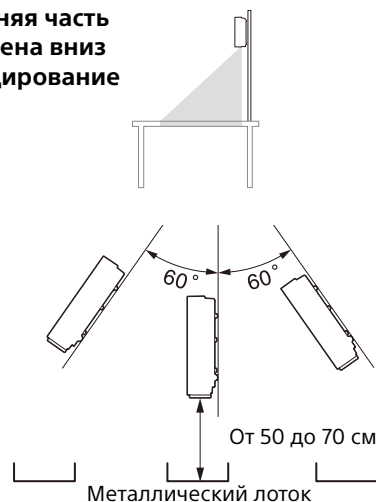
Внимание!

Установка устройства под углом, как показано на рисунке: если вентиляционные отверстия обращены вниз, установите металлический лоток (мин. 70 см × 40 см), оставив непосредственно под вентиляционными отверстиями указанное далее расстояние. Убедитесь в том, что посторонние предметы и жидкости не могут попасть в вентиляционные отверстия.

**Передняя часть
обращена вверх
(проецирование
вверх)**



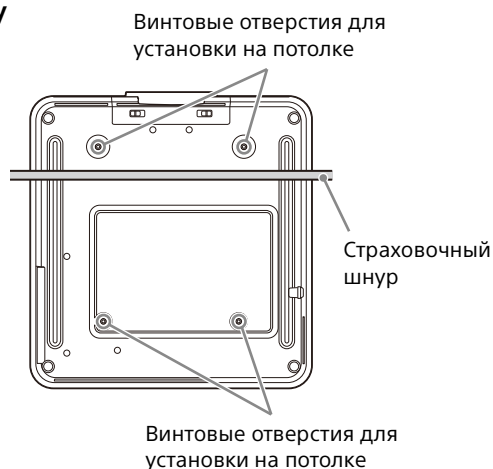
**Передняя часть
обращена вниз
(проецирование
вниз)**



Меры предосторожности при установке устройства на потолке

- Не пытайтесь установить проектор на потолок или переместить его самостоятельно. Обязательно проконсультируйтесь со специалистом в магазине, где был приобретен проектор, или с опытным монтажником.
- Устанавливая устройство на потолке, обязательно используйте страховочный шнур или другие средства для предотвращения падения устройства. Перед установкой обязательно проконсультируйтесь со специалистом в магазине, где был приобретен проектор, или с опытным монтажником.

Вид снизу

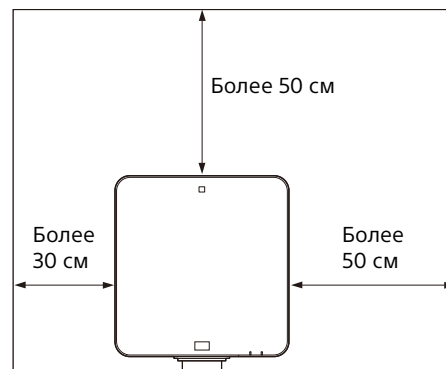


Для установки устройства на потолке поместите страховочный шнур между передней и задней частями винтовых отверстий.
(Страховочный шнур с проектором не поставляется.)

Информация по установке

- Устанавливайте устройство на расстоянии от стен и других объектов, как показано на рисунке.

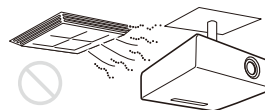
Вид сверху



- Не устанавливайте устройство в помещениях с повышенной температурой и влажностью, или пониженной температурой.



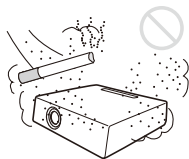
- Не устанавливайте устройство вблизи кондиционера, под прямым потоком холодного или теплого воздуха. Установка в таких местах может привести к неисправности устройства вследствие конденсации влаги или повышения температуры.



- Не устанавливайте устройство вблизи датчиков температуры или дыма. Это может стать причиной неисправности датчика.



- Не устанавливайте устройство в условиях крайней запыленности или задымленности. Воздушный фильтр может засориться, что приведет к неисправности устройства или его повреждению.



- В случае использования устройства на высоте от 1500 м устанавливайте для параметра "Режим выс.пол" значение "Вкл" в меню установки. Если при эксплуатации на значительной высоте не установить данный режим, могут возникать нежелательные эффекты, такие как снижение надежности некоторых компонентов.
- Задайте необходимое значение для положения установки в меню "Монтаж" в соответствии с углом установки. Использование неправильных настроек может повлиять на надежность компонентов.

Очистка линзы и корпуса

- Перед очисткой отключите шнур питания переменного тока от электрической розетки.
- Не вытирайте устройство грязной тканью - это может привести к появлению царапин на корпусе.
- Длительный контакт с летучими веществами (например, средство от насекомых), а также изделиями из резины или винила может привести к изменению внешнего вида устройства и повреждению покрытия.
- Не касайтесь линзы голыми руками.
- Очистка поверхности линзы:
Аккуратно протрите линзу мягкой тканью, например тканью для очистки стекла. Загрязнение, которое не удастся устранить, можно очистить, слегка смочив ткань водой. Не используйте растворители, спирт, бензин или кислоту, щелочные и абразивные моющие средства или пропитанную ткань для очистки.

- Очистка корпуса:
Аккуратно очистите корпус мягкой тканью. Загрязнения, которые не удастся устранить, можно очистить, слегка смочив ткань слабым раствором моющего средства, предварительно отжав ее, а затем протерев корпус сухой мягкой тканью. Не используйте растворители, спирт, бензин или разбавитель, кислоту, щелочные и абразивные средства или пропитанную ткань для очистки.

Освещение

Для получения изображения хорошего качества необходимо, чтобы экран был защищен от прямого освещения или солнечного света.

О рассеянии тепла

Температура корпуса проектора может повышаться во время использования или сразу после него; однако это не является неисправностью.

Экран

При использовании экрана с негладкой поверхностью на экране могут иногда появляться полосы, в зависимости от расстояния между экраном и устройством, а также значения приближения. Это не является неисправностью устройства.

Вентилятор

Проектор оснащен внутренним вентилятором, который служит для снижения внутренней температуры. Работа вентилятора может сопровождаться легким шумом. Этот эффект является нормальным результатом производственного процесса и не свидетельствует о неисправности. Однако, при высоком уровне шума следует обратиться к квалифицированному персоналу компании Sony.

Звуки, возникающие при использовании функции автоматической очистки

Когда включена функция автоматического пылеулавливания, появляются некоторые звуки при нажатии. Они возникают из-за особенностей конструкции проектора и не являются неисправностями.

Замена линзы

Не устанавливайте другие объективы, кроме указанного дополнительного объектива (продается отдельно).

Осмотр компонентов источника освещения

В данном устройстве используется лазер, поэтому при обслуживании или осмотре компонентов источника освещения необходимо соблюдать осторожность и обеспечить безопасность. Обязательно проконсультируйтесь с квалифицированным персоналом компании Sony.

Жидкокристаллический проектор

ЖК-проектор создан с использованием высокоточных технологий. Однако, на экране ЖК-проектора могут периодически появляться мелкие черные и/или яркие (красные, синие или зеленые) точки. Этот эффект является нормальным результатом производственного процесса и не свидетельствует о неисправности.

Кроме того, при использовании для проецирования на один экран нескольких ЖК-проекторов, даже одной модели, цветопередача разных проекторов может отличаться, так как баланс цвета на них может быть настроен по-разному.

О конденсации

При быстром изменении температуры в помещении, в котором установлен проектор, или при быстром перемещении проектора из холодного в теплое место внутри него может образоваться конденсат. Так как конденсат может привести к неисправности, соблюдайте осторожность при изменении настроек температуры кондиционера. При образовании конденсата перед использованием проектора оставьте его включенным приблизительно на два часа.

Примечания о безопасности

- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА КАКОЙ БЫ ТО НИ БЫЛО УЩЕРБ, ВОЗНИКШИЙ ВСЛЕДСТВИЕ НЕСОБЛЮЖДЕНИЯ МЕР ПРЕДОСТОРОЖНОСТИ ПРИ ИСПОЛЬЗОВАНИИ УСТРОЙСТВ ПЕРЕДАЧИ ДАННЫХ, НЕИЗБЕЖНЫХ УТЕЧЕК ИНФОРМАЦИИ, СВЯЗАННЫХ СО СПЕЦИФИКАЦИЯМИ ПЕРЕДАЧИ ДАННЫХ, ИЛИ ПРОБЛЕМ БЕЗОПАСНОСТИ ЛЮБОГО РОДА.
- В зависимости от операционной среды возможен несанкционированный доступ посторонних лиц к устройству. При подключении устройства к сети убедитесь в том, что сеть надежно защищена.
- При использовании устройства, подключенного к сети, в целях безопасности рекомендуется открыть окно управления с помощью веб-браузера и изменить заводские настройки по умолчанию для ограничения доступа (см. раздел "Использование сетевых функций" в документе "Инструкции по эксплуатации"). Кроме того, рекомендуется регулярно менять пароль.
- Во время установки настроек и после ее завершения не заходите на какие-либо веб-сайты через веб-браузер. Поскольку состояние входа сохраняется в браузере, по завершении настроек закройте веб-браузер, чтобы предотвратить несанкционированный доступ посторонних лиц к устройству и воздействие вредоносного программного обеспечения.

Примечания

- Всегда проверяйте исправность устройства, прежде чем его использовать. КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА КАКОЙ БЫ ТО НИ БЫЛО УЩЕРБ, ВКЛЮЧАЯ, В ЧАСТНОСТИ, КОМПЕНСАЦИЮ ИЛИ ВОЗМЕЩЕНИЕ УБЫТКОВ В СВЯЗИ С УТРАТОЙ ИЛИ НЕДОПОЛУЧЕНИЕМ ПРИБЫЛЕЙ ИЗ-ЗА НЕРАБОТОСПОСОБНОСТИ ЭТОГО ОБОРУДОВАНИЯ, КАК НА ПРОТЯЖЕНИИ ГАРАНТИЙНОГО ПЕРИОДА, ТАК И ПОСЛЕ ИСТЕЧЕНИЯ ГАРАНТИЙНОГО СРОКА, А ТАКЖЕ ВСЛЕДСТВИЕ ЛЮБЫХ ИНЫХ ВОЗМОЖНЫХ ПРИЧИН.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕТЕНЗИИ ЛЮБОГО РОДА, ПРЕДЪЯВЛЕННЫЕ ПОЛЬЗОВАТЕЛЯМИ ЭТОГО ПРИБОРА ИЛИ ТРЕТЬИМИ ЛИЦАМИ.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕКРАЩЕНИЕ ИЛИ ПРИОСТАНОВКУ ПРЕДОСТАВЛЕНИЯ КАКИХ-ЛИБО УСЛУГ, СВЯЗАННЫХ С ЭТИМ ПРИБОРОМ, ВНЕ ЗАВИСИМОСТИ ОТ ОБСТОЯТЕЛЬСТВ.

Проверка аксессуаров из комплекта поставки

RM-PJ30 - пульт дистанционного управления (1)
Батареи размера AA (R6) (2)
Шнур питания переменного тока (1)
Держатель штекера (1)
Крышка разъема (1)
Краткое справочное руководство (данное руководство) (1)
Инструкция по эксплуатации (CD-ROM) (1)

Использование руководств на компакт-диске

Руководства можно просматривать с помощью компьютера, на котором установлена программа Adobe Reader. Программу Adobe Reader можно бесплатно скачать с веб-сайта Adobe.

- 1 Откройте файл «index.html» на компакт-диске.
- 2 Выберите язык руководства, которое необходимо просмотреть.

Примечание

В случае повреждения или утери компакт-диска новый диск можно приобрести у своего дилера или в сервисном представительстве Sony.

Установка батарей**ВНИМАНИЕ**

Для пульта дистанционного управления требуется следующее число аккумуляторов следующего размера.

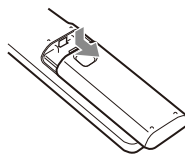
- Аккумулятор размера AA (R6)
- 2 штуки

Чтобы избежать опасности взрыва, используйте только аккумуляторы следующего типа.

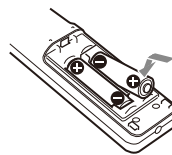
- Марганцевый или щелочной аккумулятор

- 1 Снимите крышку и установите две батареи размера AA (R6) (прилагаются), учитывая полярность.

Сдвиньте крышку, нажав на нее.



Вставляйте батарею со стороны ⊖.

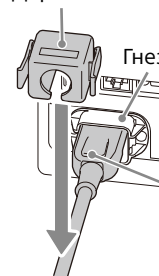


- 2 Закройте крышку.

Подключение кабеля питания переменного тока

- 1 Вставьте кабель питания переменного тока в гнездо AC IN, затем подключите держатель штекера к кабелю питания переменного тока.

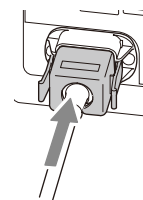
Держатель штекера (прилагается)



Гнездо AC IN

Кабель питания переменного тока (прилагается)

- 2 Сдвиньте держатель штекера по кабелю питания переменного тока для крепления к устройству.



Установка объектива проектора

Примечания

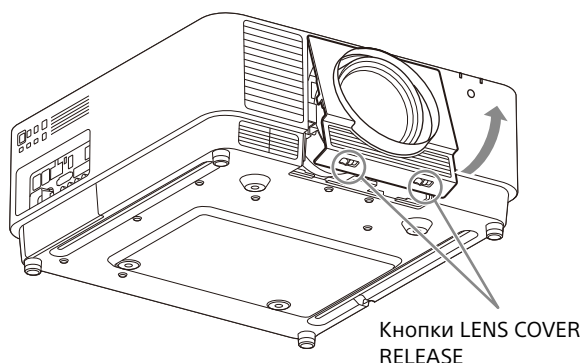
- Старайтесь не выполнять снятие или установку объектива проектора, установленного на потолке.
- Список подходящих объективов проектора см. в разделе “Дополнительные принадлежности” в Инструкции по эксплуатации.
- Не устанавливайте другие объективы, кроме указанного дополнительного объектива (продается отдельно).
- Будьте аккуратны, чтобы не уронить объектив проектора.
- Не прикасайтесь к линзе объектива.

- 1 Выключите проектор, а затем отсоедините кабель питания переменного тока от настенной розетки.

Осторожно

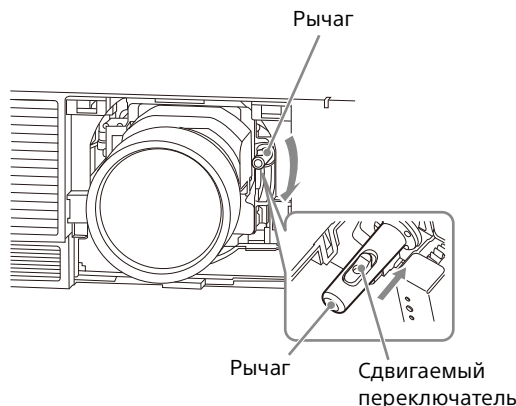
При замене объектива возможно попадание яркого света в глаза, что может повредить зрение. Перед заменой объектива выключите проектор и отсоедините кабель питания переменного тока.

- 2 Снимите крышку объектива. Сдвигая кнопки LENS COVER RELEASE внутрь, потяните крышку объектива, чтобы она встала на место с характерным щелчком.



- 3 Поверните контактную основу влево к передней части объектива и до конца вставьте объектив.

- 4 Удерживая нажатым ползунковый переключатель, опустите рычаг до щелчка.



- 5 Установите крышку объектива. Прикрепите верхнюю часть крышки объектива на верхнюю крышку проектора и прижмите ее до щелчка. Затем, сдвигая кнопки LENS COVER RELEASE внутрь, установите крышку объектива.

Даже если объектив установлен, вы можете прикрепить или снять крышку объектива таким же образом.

Снятие объектива проектора

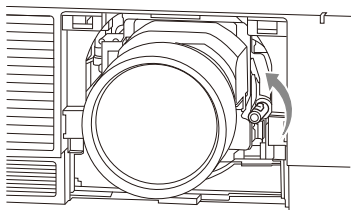
- 1 Верните объектив проектора в центральное положение. При включенном проекторе нажмите клавишу LENS SHIFT на пульте дистанционного управления, а затем нажмите клавишу RESET. Объектив проектора вернется в центральное положение.
- 2 Выключите проектор, а затем отсоедините кабель питания переменного тока от настенной розетки.

Осторожно

При замене объектива возможно попадание яркого света в глаза, что может повредить зрение. Перед заменой объектива выключите проектор и отсоедините кабель питания переменного тока.

- 3 Снимите крышку объектива.

- 4** Прижимая передвижной переключатель, передвиньте рычаг до упора и ровно вытащите объектив.



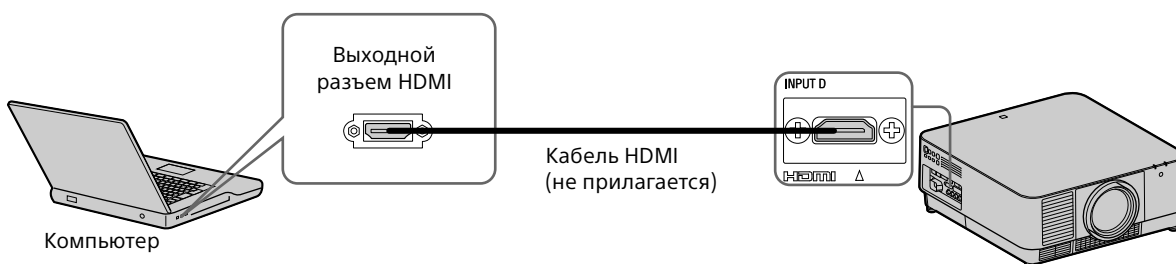
- 5** Установите крышку объектива.

Примечания

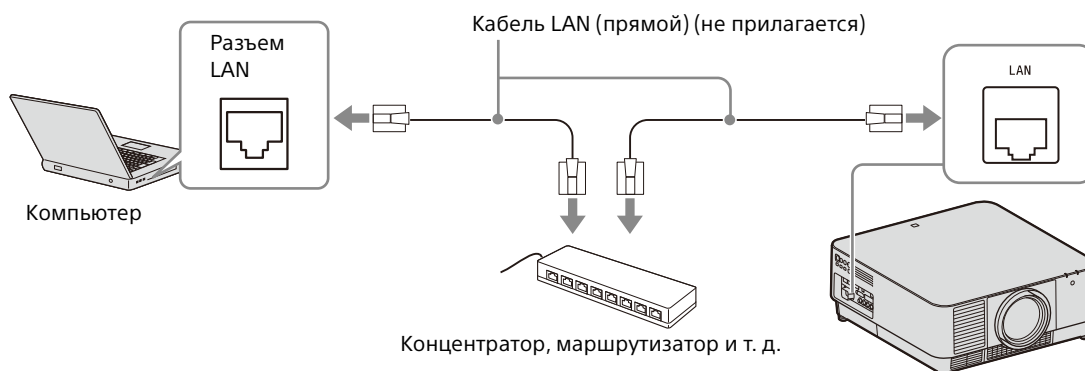
- Выключите все устройства перед выполнением любых подключений.
- Используйте соответствующий кабель для каждого соединения.
- Плотно вставляйте штекеры кабеля. Ненадежный контакт может привести к снижению качества видеосигнала или неправильной работе устройства. При отсоединении кабеля тяните за штекер, а не за сам кабель.
- Для получения подробной информации также см. инструкции по эксплуатации подключаемого устройства.

Подключение к компьютеру**INPUT D**

Этот разъем используется при подключении проектора к компьютеру, оснащенного выходным разъемом HDMI.

**Примечания**

- Используйте устройство с поддержкой стандарта HDMI и логотипом HDMI.
- Используйте высокоскоростные кабели HDMI, на которых присутствует логотип с типом кабеля. (Рекомендуется использовать изделия компании Sony).
- Разъем HDMI этого проектора несовместим с сигналами формата DSD (прямой потоковый цифровой сигнал) и CEC (сигнал управления бытовыми электронными приборами).

Подключение к сетевому оборудованию**Использование разъема LAN****Примечание**

При использовании сетевых функций через разъем LAN убедитесь, что для параметра "Установка LAN" установлено значение "Порт LAN".

Подключение к устройству HDBaseT™

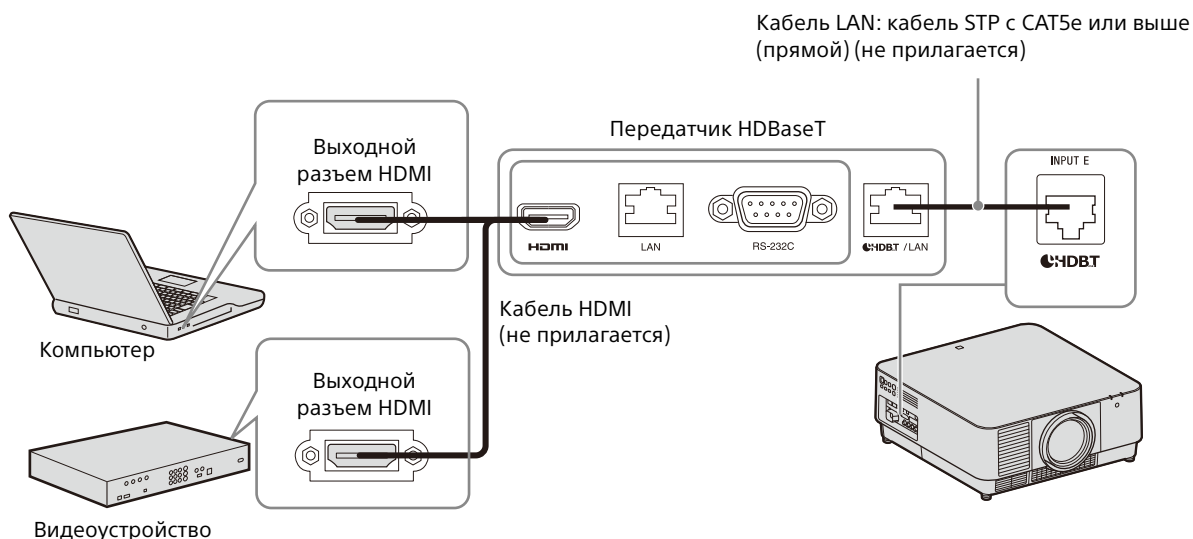
Передатчик HDBaseT используется при подключении проектора к компьютеру, видеоустройству или сетевому оборудованию.

Примечания для подключения этого устройства к передатчику HDBaseT

- Обратитесь к специалисту или к дилеру Sony для выполнения подключения. Если подключение выполнено неправильно, это может повлиять на характеристики кабеля и привести к ухудшению или пропаданию изображения.
- Подключайте кабель напрямую к передатчику HDBaseT без использования промежуточного концентратора или маршрутизатора.
- Используйте кабели, соответствующие следующим требованиям.
 - CAT5e или выше
 - Экранированного типа (с экранированными разъемами)
 - Прямое проводное подключение
 - Одинарный провод
- При прокладке кабелей используйте кабельный тестер, кабельный анализатор или аналогичное устройство для проверки соответствия кабелей стандарту CAT5e или выше. Если между данным устройством и передатчиком HDBaseT существует транзитное соединение, учитывайте его при измерении.
- Для снижения влияния помех прокладывайте и используйте кабель так, чтобы он не был скручен и проходил как можно прямее.
- Прокладывайте кабель вдалеке от других кабелей (особенно от кабеля питания).
- При прокладке нескольких кабелей не связывайте их и максимально сократите участок их параллельного пролегания.
- Максимальная дальность передачи кабеля составляет 100 м. Если расстояние превышает 100 м, возможно пропадание изображения или звука или сбой связи LAN. Не используйте передатчик HDBaseT на расстояниях, превышающих дальность передачи кабеля.
- По вопросам функциональности или проблем с работой, вызванных устройствами других производителей, обращайтесь к соответствующим производителям.

Подключение к компьютеру/видеоустройству

INPUT E

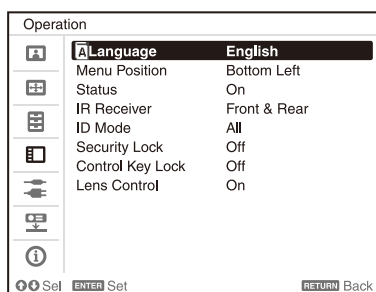


Для получения информации о других способах подключения см. раздел "Подключение проектора" в документе "Инструкции по эксплуатации", содержащемся на прилагаемом компакт-диске.

Выбор языка меню

По умолчанию для отображаемых меню, сообщений и т. д. выбран английский язык. Для изменения языка экрана выполните следующие действия:

- 1 Вставьте шнур питания переменного тока в розетку.
- 2 Включите проектор.
Нажмите клавишу I/⏻ на устройстве или кнопку I на пульте дистанционного управления.
- 3 Нажмите клавишу MENU для отображения меню.
Если экран отображается нечетко, отрегулируйте фокус, размер и положение проектируемого изображения (Стр. 25).
- 4 Выберите язык меню.
 - ① Нажмите клавишу ↑ или ↓, чтобы выбрать меню Operation (⏻), а затем нажмите клавишу ENTER.
 - ② Нажмите клавишу ↑ или ↓, чтобы выбрать "Language (A)", а затем нажмите клавишу ENTER.



- ③ Нажимайте клавишу ↑/↓/←/→ для выбора языка, а затем нажмите ENTER.
- 5 Нажмите клавишу MENU, чтобы отключить экран меню.

Проецирование изображения

Размер проецируемого изображения зависит от установленного объектива или от расстояния между проектором и экраном. Устанавливайте проектор таким образом,

чтобы проецируемое изображение соответствовало размерам экрана. Для получения дополнительной информации о расстояниях проецирования и размерах проецируемого изображения см. "Расстояние проецирования и диапазон сдвига объектива" в Инструкции по эксплуатации.

- 1 Подключите кабель питания переменного тока к электрической розетке.
- 2 Подключите все необходимые устройства к проектору (Стр. 22).
- 3 Включите проектор.
Нажмите клавишу I/⏻ на основном устройстве или клавишу I на пульте дистанционного управления.
- 4 Включите подключенное устройство.
- 5 Выберите источник входного сигнала.
Нажмите клавишу INPUT на проекторе или пульте дистанционного управления, чтобы отобразить окно выбора входа. Повторно нажимайте клавишу INPUT или клавиши ↑/↓, чтобы выбрать проецируемое изображение. Значок сигнала → отображается с правой стороны в окне выбора входа при подаче сигнала.^{*1}
Кроме того, вы можете выбрать входной сигнал на пульте дистанционного управления.
^{*1}: Когда входной сигнал поступает через INPUT F и подключен совместимый дополнительный адаптер, всегда отображается значок сигнала →. (Доступно только для VPL-FHZ120L)

- 6 Измените путь вывода экрана компьютера на внешний дисплей.
Способ изменения пути вывода зависит от типа компьютера.

(Пример)



- 7 Отрегулируйте проецируемое изображение (Стр. 25).

Выключение питания

- 1 Нажмите клавишу I/⏻ на основном устройстве или клавишу ⏻ на пульте дистанционного управления.
Запускается процесс завершения работы и проектор переходит в режим ожидания.
- 2 Отсоедините кабель питания переменного тока от электрической розетки.

Настройка проецируемого изображения

Фокусировка изображения (фокус)

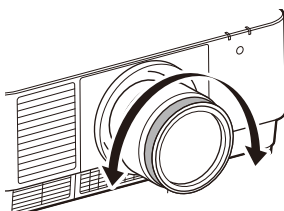


Установлен объектив с функцией электрической фокусировки

Нажмите клавишу FOCUS на проекторе или пульте дистанционного управления, затем нажмите клавишу ⬆/⬇/⬅/➡.

Установлен объектив с функцией ручной фокусировки

Поверните кольцо фокусировки.



Настройка размера изображения (увеличение)

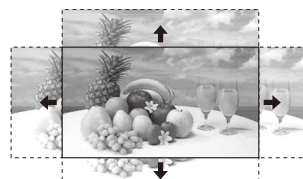


Установлен объектив с функцией электрического увеличения

Нажмите клавишу ZOOM на проекторе или пульте дистанционного управления, затем нажмите клавишу ⬆/⬇/⬅/➡.

Настройка положения изображения (сдвиг объектива)

Нажмите клавишу LENS SHIFT/SHIFT на проекторе или пульте дистанционного управления, затем нажмите клавишу ⬆/⬇/⬅/➡.

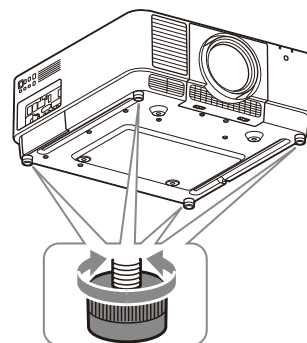


Возврат объектива в центральное положение проецируемого изображения

При регулировке положения изображения нажмите клавишу RESET на пульте дистанционного управления.

Регулировка наклона проектора с помощью регулируемых ножек

Если проектор установлен на неровной поверхности, отрегулируйте его с помощью регулируемых ножек.



Примечания

- Будьте осторожны, чтобы не прищемить пальцы.
- Не давите слишком сильно на верхнюю часть проектора с выдвинутыми регулируемыми ножками. Это может привести к неисправности.

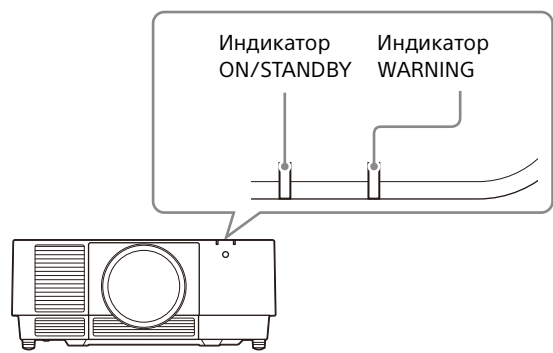
Отображение шаблона для регулировки изображения

Вы можете отобразить шаблон для настройки проецируемого изображения с помощью клавиши PATTERN на пульте дистанционного управления. Используйте клавиши ⬆/⬇ для изменения шаблона и клавиши ⬅/➡ для изменения цвета шаблона. Снова нажмите клавишу PATTERN, чтобы восстановить предыдущее изображение.

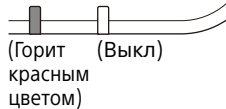
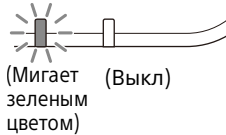
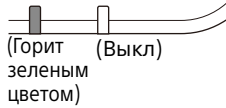
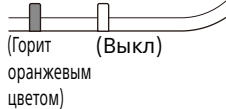
Если требуется дополнительная регулировка проецируемых изображений, см. раздел "Проецирование/регулировка изображения" в документе "Инструкции по эксплуатации", содержащемся на прилагаемом компакт-диске.

Индикаторы

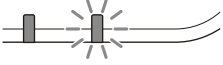
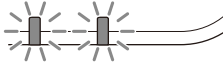
Светящиеся/мигающие индикаторы ON/STANDBY и WARNING на передней части проектора позволяют проверить состояние проектора и узнать о его неправильной работе. Если индикаторы мигают красным светом, решайте проблему в соответствии с указаниями в разделе “Предупреждающие индикаторы и действия по устранению проблем” (Стр. 27).



Индикация состояния

Состояние индикатора	Рабочее состояние	Описание
 (Горит красным цветом)	Ожидание	Питание подается на проектор, и он находится в режиме ожидания в соответствии с настройками.
 (Мигает зеленым цветом)	Прогрев	Проектор прогревается после включения или происходит обновление программного обеспечения.
 (Горит зеленым цветом)	Готовность	Проектор готов к эксплуатации.
 (Горит оранжевым цветом)	Другое состояние ожидания	Проектор находится в режиме ожидания “Без сиг. вх.” (Выкл. света) или “Быстрая загрузка”.

Предупреждающие индикаторы и действия по устранению проблем

Состояние индикатора	Число миганий	Значение/Устранение неполадок
 (Горит красным цветом) (Мигает красным цветом)	Два раза	Крышка фильтра или воздушный фильтр установлены ненадежно. Проверьте крепление крышки фильтра или воздушного фильтра и закрепите их надлежащим образом (Стр. 28).
	Три раза	Источник света не загорается должным образом. Отсоедините кабель питания переменного тока и убедитесь, что индикатор ON/STANDBY отключился, а затем вставьте кабель питания переменного тока в розетку и включите проектор.
	Четыре раза	При обновлении программного обеспечения устройства обнаружена ошибка. Отсоедините кабель питания переменного тока и убедитесь, что индикатор ON/STANDBY выключен. Перед подключением кабеля питания переменного тока к сетевой розетке и включением проектора проверьте подключение USB или LAN. Затем снова обновите программное обеспечение.
	Шесть раз	Обнаружен сильный удар по проектору. Если отсутствуют видимые нарушения работы, отсоедините кабель питания переменного тока и убедитесь, что индикатор ON/STANDBY отключился, а затем вставьте кабель питания переменного тока в розетку и включите проектор.
	Восемь раз	Объектив не установлен соответствующим образом. Проверьте крепление объектива и установите его надлежащим образом (Стр. 20).
 (Мигает красным цветом) (Мигает красным цветом) Оба индикатора мигают	Два раза	Ненормальная температура проектора. Выполните следующее. • Проверьте воздушный фильтр, и если он засорился, очистите или замените его (Стр. 28). • Убедитесь, что вентиляционные отверстия (впускные/выпускные) не заблокированы стеной или предметом, и при необходимости установите проектор на достаточном расстоянии от них. • Проверьте окружающую температуру воздуха и используйте проектор в пределах рабочего диапазона температур.

Если индикаторы мигают иным образом, отличным от описанных выше, отсоедините кабель питания переменного тока и убедитесь, что индикатор ON/STANDBY отключился, а затем вставьте кабель питания переменного тока в розетку и включите проектор.

Если проблему не удастся устранить, обратитесь к квалифицированному персоналу Sony.

При возникновении каких-либо проблем или отображении сообщения об ошибке на экране см. раздел "Список сообщений" или "Исправление проблем" в документе "Инструкции по эксплуатации", содержащемся на прилагаемом компакт-диске.

Очистка воздушного фильтра

При появлении сообщения об очистке воздушного фильтра — очистите воздушный фильтр.

Если даже после очистки пыль из воздушного фильтра удалить не удастся — замените воздушный фильтр новым.

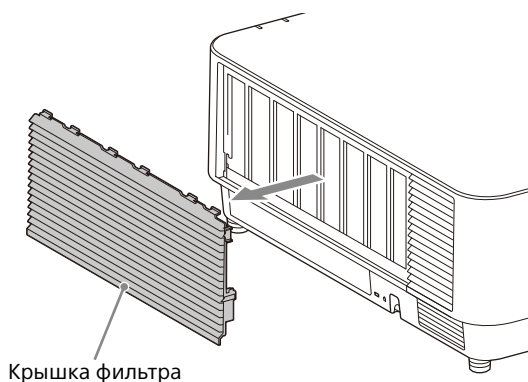
Для получения дополнительной информации о новом воздушном фильтре обратитесь к квалифицированному персоналу Sony.

Осторожно

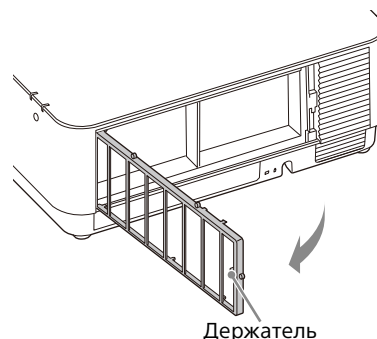
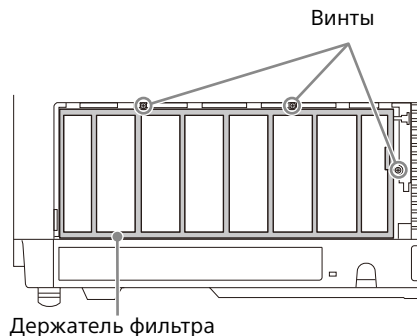
Если продолжить эксплуатацию проектора после отображения этого сообщения, в нем может накопиться пыль, что приведет к засорению. В результате внутри устройства может повыситься температура, что может привести к неисправности или возгоранию.

1 Выключите проектор и отсоедините кабель питания переменного тока от настенной розетки.

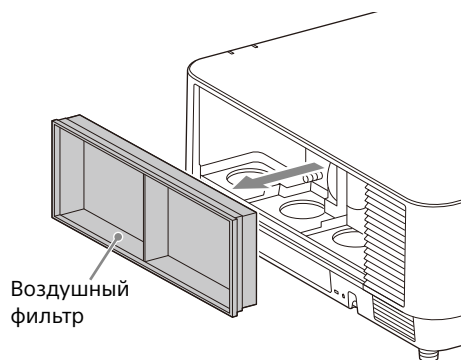
2 Чтобы снять крышку фильтра, сдвиньте крышку фильтра вниз, нажав на верхние углы с обеих сторон.



3 Ослабьте винты (три шт.) и извлеките держатель фильтра, поддев его за ручку с правой стороны и повернув держатель фильтра.

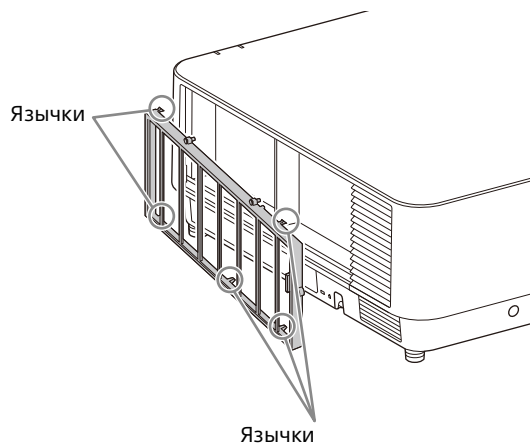


4 Извлеките воздушный фильтр из основного устройства.

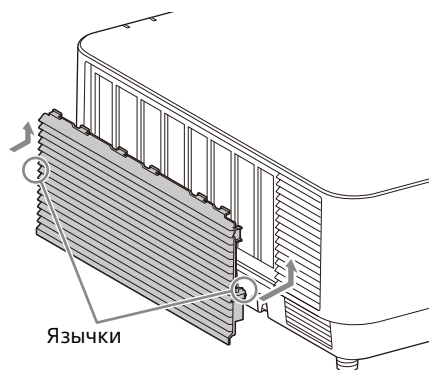


5 Очистите воздушный фильтр пылесосом.

- 6** Замените воздушный фильтр и установите держатель фильтра.
При установке держателя фильтра вставьте два язычка с левой стороны, вставьте три язычка с правой стороны и затяните три винта.



- 7** Вставьте язычки на крышке фильтра в пазы и переместите крышку вверх.



Примечание

Убедитесь в надежной установке воздушного фильтра.
Питание не удастся включить, если он установлен неправильно.